福岡県営五ヶ山ダム関係文化財調査報告Ⅰ

五ヶ山・小川内

― 福岡県那珂川町五ヶ山・佐賀県吉野ヶ里町小川内における文化財調査１ ―

福岡県文化財調査報告書 第215集

〔第４巻〕

２００８

福岡県教育委員会

本文目次

〔第１巻〕

Ⅰ　序論

1　調査に至る経過 …… 1

2　調査組織 …… 6

3　調査経過 …… 13

4　歴史的環境 …… 21

Ⅱ　自然部門

1　地形・地質・鉱物 …… 39

2　植物 …… 57

3　動物 …… 99

Ⅲ　歴史部門

1　中世の脊振山について …… 111

・脊振山関係中世史料集 …… 125～168

2　国境の村々・五ヶ山の歴史 …… 169

3　五ヶ山の地名と地誌 …… 193

4　小川内の地名と地誌 …… 228

5　五ヶ山・小川内　昭和点描 …… 241

〔第２巻〕

Ⅳ　民俗部門：五ヶ山編

1　五ヶ山の生活立地 …… 261

2　網取 …… 267

3　桑河内 …… 291

4　大野 …… 313

5　東小河内 …… 327

6　道十里 …… 345

Ⅴ　建造物部門：五ヶ山編

1　総説 …… 369

2　民家個別解説 …… 393

3　神社・寺院 …… 487

〔第３巻〕

Ⅵ　民俗部門：小川内編

1　小川内の生活立地 …… 495

2　小川内 …… 498

Ⅶ　建造物部門：小川内編
1　東脊振村小川内地区の概要 …… 523
2　民家 …… 532
3　宗教建築ほか …… 609

〔第４巻〕

Ⅷ　美術工芸部門
1　五ヶ山・小川内の美術工芸 …… 643
2　作品目録 …… 645
Ⅸ　特論
1　炭焼きと山林業 …… 707
Ⅹ　結語 …… 713
Ⅺ　【資料編】
1　文書資料解題 …… 721
2　翻刻資料 …… 741～804
1　大正十五年四月五日　東脊振村農会 …… 801～803
2　昭和五年度　小川内区事務報告　小川内区長 …… 795～808
3　昭和五年度　区費決算報告　小川内区 …… 793～795
4－1　昭和五年二月以降　収入及預り金控帳　小川内区 …… 791～792
4－2　昭和六年度区当座帳　小川内区長 …… 775～790
5　小川内区現在戸数控　小川内区　昭和五年～昭和八年 …… 769～774
6　区長日誌　昭和六年一月一日～昭和十年 …… 755～768
7　昭和七年度　小川内区歳出歳入決算書 …… 753～755
8　製炭農事実行組合規約 …… 751～752
9　五ヶ山区規則 …… 741～750
3　文書資料一覧 …… 805～865
1　武廣邦敏家文書 …… 806～829
2　進藤直文家文書 …… 830～843
3　大石久一家文書 …… 844～859
4　山田善寛家文書 …… 860～865
4　民俗資料一覧 …… 866～870

Ⅷ　美術工芸部門

1　五ヶ山・小川内の美術工芸

福岡市早良区と佐賀県神埼郡との境界にある脊振山に源を発する那珂川が、その上流で佐賀県の大野川と合流するあたりが五ヶ山・小川内地区である。五ヶ山とは、東小川内、大野、桑河内、網取、道十里（道枝折）の五地区を指し、道十里はすでに南畑ダムの湖底に沈んでいるが、福岡県筑紫郡那珂川町に属す。小川内は那珂川（小川内川）を挟んで佐賀県神埼郡吉野ヶ里町（旧東脊振村）に属す。

脊振山の北面の谷あいに点在するこの５地区には、江戸時代の『筑前国続風土記』によれば全体でも90戸ほどの小さな村の集まりで、現在では70世帯を切っている。この山に囲まれ平地も狭く、住民の数も少ない地区だけに限っての歴史や文化活動は考え難く、さらに広い範囲のなかに位置づけて考えなければならないであろう。

本稿は、この地域における伝承文化財のなかの美術工芸分野に限った遺品の調査結果であることを、最初にのべておかねばならない。調査対象のほとんどが社寺につたえられた宗教関連の文化財であり、世俗美術は僅かである。その数と質もおのずから限られているし、またその多くがこの地区でつくられたものではなく、外部から持ち込まれたものであった。

五ヶ山・小川内地区の宗教的背景は、当然ながら神仏を習合した脊振山の山岳仏教文化圏のなかにあった。山頂の脊振神社を中心に栄えた天台山岳仏教は、古代から近世にいたるまで時代によって栄枯盛衰はあるが、一時は脊振千坊といわれるほどに山岳修験者の道場が山内各所につくられていたと伝え、その遺跡のいくつかを今日に伝えている。脊振山の歴史と宗教活動についてふれる書物も、ほとんどが天台密教と修験活動とを内容としている。

江戸時代になって、福岡藩と佐賀藩の間で国境争いがおこり、元禄６年（1693）幕府の裁定により佐賀藩の主張が入れられ、尾根筋を境に新たな国境線がひかれ、このとき小川内が那珂川（小川内川）を境に東西に分けられ、西小川内は佐賀藩に、東小河内は福岡藩に属すこととなった。小川内川沿いにはいくつもの国境石がすえられ、国境線を挟んだ両地域はたえず政治的緊張関係の中にあり、これ以後両小川内間の交流は極端に制限されることになった。

この五ヶ山・小川内地区で、脊振山の天台修験につながる遺跡の主たるものに東光寺がある。江戸時代、佐賀鍋島藩は衰微していた脊振山諸坊の復興につとめ、山頂の上宮東門寺（弁財天社）、中宮霊仙寺（五戒坊東福院、水上坊、乙護法堂など十余の僧坊を総称す）、下宮坂本修学院を創建した。東光寺の創建の時期は明らかではないが、元禄４年（1691）五戒坊東福院の別院として創建され、長賀和尚を住職としたと伝える（『東脊振村七十年史』）。たしかに当寺には長賀の墓石が残り、「当寺中興開山長賀大徳　元禄六酉年八月六日」（作品番号76）と刻され、また位牌にも「長賀大徳覚位　元禄六癸酉□八月二日寂」（作品番号67ｅ）とあり、元禄６年（1693）に没していることがわかる。しかし、当寺の半鐘銘には「肥前國神崎郡　小川内村醫王山東光寺常住（中略）寛文九年己酉年霜月吉日　施主現住慈海　惣寺家中　神代平兵衛　冶工樹善兵衛政往作」（作品番号70）と記され、寛文９年（1669）にはすでに醫王山東光寺があ

り、慈海が住持であったことを知る。当時は、全山の中心寺院である脊振山東福院の末寺ないしは修学院末の天台寺院であったと思われるが、東光寺の寺伝には「天和元年（1681）脊振山五戒坊東福院の末寺として創立。東福院は霊仙寺九ヶ坊の総寺院で、当院住職の隠居寺として創建された。修学院の別院。」と記されている。

武廣邦敏家文書の文化元年（1804）の覚（文書番号Ａ-27-２）に「覚　来迎寺隠居寿正和尚、其御村東光寺江住職致され候に付き、病気且つ死去等の節は何時も拙者共方江引受申すべき候、後日のため一筆件の如し　　文化元子年十月　　筑後国下妻郡水田庄　来迎寺禅雅（印）同所目代大島金吾（印）　同所庄屋渕上宗一（印）　同所権目渕上津右衛門（印）　　肥前神崎郡小河内村　東光寺惣御組中様」とみえ、筑後の来迎寺を隠居した寿正和尚が東光寺の住職として入寺している。来迎寺は現在も筑後市にある臨済宗南禅寺派の寺であり、筑後の禅宗寺院の僧が住持となっていることは気にかかるが、東光寺には筑後の北野山住佛師神祇大阿闍利が造った大日如来像（作品番号61）や堀川住筑後大掾常味作で「筑後法林寺隠居安誉」の銘がある銅造伏鉦（作品番号68）があり、筑後との繋がりがあったことは疑えない。『神崎郡郷土誌』には「東光寺あり、元真言宗なりしも今は曹洞宗の僧侶住職す」と記し、途中で何度か転派があったのかもしれない。東光寺は薬師如来を本尊とし、そのほか大日如来、不動三尊、薬師十二神将、弘法大師像など密教系の仏像を多く伝えている。

また文化５年に建立された小川内大山祇神社の鳥居（作品番号85）には、座主脊振山東福院と宮司当村東光寺大石嘉平の名が刻され、東光寺の住職が大山祇神社の宮司を兼ねていたことや、大山祇神社自体が背振山天台修験に組み込まれていたことも知れる。

一方、五ヶ山の東小河内、大野、桑河内、網取の４地区も、江戸時代以前には脊振山の山岳仏教文化圏に属していたはずであるが、現在この地区には寺院はなく、住民の多くは埋金の浄土真宗本願寺派光蓮寺、板屋の浄土真宗本願寺派三光寺を檀那寺としている。４地区にはそれぞれ観音堂があり、東小河内の観音堂には嘉永６年（1835）作の観音坐像（作品番号１）、桑河内には元禄９年（1696）の十一面観音坐像（作品番号34）、網取には文化２年（1805）の観音坐像（作品番号44）、大野には近代の石造観音坐像が安置されている。木像はいずれも地方作の小像である。また４地区にはそれぞれ山神社があるが、御神体は大正２年の神社統合令により那珂川町市ノ瀬の日吉神社に遷座されており、絵馬や近代の石像を残すのみである。

その他この地区に共通して認められるのは自然石に刻された猿田彦神と、同じく自然石を立て土地の人たちが地蔵や観音や不動などと呼ぶ仏石（仮称）である。仏石は先端部が細まった楕円形や縦長の自然石を用い、いずれも50～90㎝ほどの高さであるが、表面背面ともに尊像の形も尊名も刻されていず、加工していない自然石のままであるところに特色がある。村人に尊名を聞かなければ、何の尊像か知りえず、村人の記憶から忘れられれば、またもとの自然石にもどるのであろう。この地区には境界石をも含め、自然の石に神仏の力や霊力を感じる信仰があるのであろうか。

以上が五ヶ山・小川内地区の文化財遺品の概要であるあるが、古代・中世に溯る遺物はなく、江戸時代と近代の作例でしめられている。その詳細は調査目録とそれぞれの写真とをみていただきたい。

最後に、東小河内、大野、桑河内、網取、４地区の山神社の御神体が遷されている市ノ瀬の

日吉神社の神像についてふれておきたい。

日吉神社は、天御中主尊、大己貴命、彦火々出見命を祭神として祀り、『筑前国続風土記拾遺』には麻生隆延が肥前神崎郡仁比山日吉を勧請したと記す。

現在、日吉神社には男女の神像60点、神猿像10点、狛犬３点を安置している。これだけ多くの神像を祀る神社は少なく、大正２年の神社統合令により、五ヶ山地区をはじめ近郷の神社・神祠から神像が集められ合祀されたためであろう。男女神像は、いずれも15～30㎝ほどの木造彩色の小像であり、造像年を記すものは３躰のみであるが、ほとんどは江戸時代の作とおもわれる。網取の山神大明神男女神坐像（作品番号163・164）には、像底墨書に「奉寄進　元禄十一 戊寅 歳　十□廿六日　九□筑前那珂郡　五箇山網取　山神大明神　本人　助次郎　惣村氏子中　作者　安武」とあり元禄11年（1698）の作である。木造随身坐像（作品番号169）の背面墨書には「寛延元歳　辰十一月吉祥日　上座郡入地邑　佛師　荒井貞之進」とあり寛延元年（1748）の作である。陶製狛犬（作品番号174）の阿形背面陰刻に「元和五年卯月吉日　那珂郡内岩戸庄　南面里村　寄進者源左衛門」とあり元和５年（1619）の作である。

そのほかの墨書銘のなかに、以前に祭祀されていた神社名とおもわれるものがあり、「上宮大宮」、「八王子　上」、「竈殿」、「中宮　聖女権現」、「中宮　早尾権現」、「下宮　護月権現」等々と記されているが、これらが現在何処にあたるのかはわからない。また網取山神社神像以外で、五ヶ山から遷座された神像がどれにあたるかも、記録がないのでわからない。これらの神像が並んだ様子は、まさに脊振山の神々大集合の観がある。

〔錦織亮介〕

2　作　品　目　録

・調査日：平成14年11月13日（水）、14日（木）
　　15年３月19日（水）、８月４日（月）、９月９日（火）
　　17年２月22日（火）
・調査者：錦織亮介（北九州市立大学）、鈴田由紀夫（佐賀県教委）、
　　竹下正博（佐賀県立博物館）、井形　進（九州歴史資料館）、
　　国生知子（福岡県教委）、茂　和敏（那珂川町教委）

＊数字はFig.Ⅷ１-１～３の地図上の番号に対応。

Pho.Ⅷ２-　１～　12　東小河内地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２- 13～　29　大野地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２- 30～　39　桑河内地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２- 40～　52　網取地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２- 53～　59　旧道十里地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２- 60～111　小川内地区美術工芸品
Pho.Ⅷ２-112～193　那珂川町市ノ瀬：日吉神社の美術工芸品

【東小河内】　（Fig.Ⅷ１-１）

１．木造観音菩薩坐像　〔観音堂〕

〔法量〕　総高（地付～光背頂）49.3㎝

〔概要〕　一木造（広葉樹材）、彩色、彫眼

〔構造〕　両手先を含む像本体、蓮華座、岩座を縦一材から彫出。光背と岩座の左右は別材。

〔銘文〕　（光背裏墨書）「嘉永六年丑六月吉日／肥前国江見津／佛師清三郎／奉　世話人甚助／□□／よし乃／なミ／ゑつ／きさ」

「明治二十年亥旧十二月吉日／佛師廣島平尾文三郎／世話人／付地藤三郎／同伊藤新蔵」

〔時代〕　嘉永６年（1853）

２．銅製鰐口　〔観音堂〕

〔法量〕　最大幅　21.4㎝、最大厚　4.3㎝

〔概要〕　銅製鋳造、右吊環欠失

〔銘文〕　（表面陽刻）「奉寄進」

〔時代〕　近代

３．仏石（お地蔵さま）

〔法量〕　高（地付～頂）　58.0㎝

〔概要〕　像容確認できず。自然石か。

〔時代〕　不詳

４．仏石（掘り出しの観音さま）

〔法量〕　高（地付～頂）　70.0㎝

〔概要〕　像容確認できず。自然石か。

埋まっていたものを、20年位前に築地可隆氏が掘り出して安置。

〔時代〕　不詳

５．五輪塔

〔法量〕　復元高　58.0㎝程度

〔概要〕　凝灰岩、七～八基分あり

〔時代〕　江戸時代

６．大山祇神社石碑　〔東小河内：山神社〕

〔法量〕　総高　42.6㎝

〔銘文〕　（表面陰刻）　「大山祇神社／奉納」

（裏面陰刻）　「築地卯一郎／築地清次」

（右側面陰刻）　「世話人　前田富平」

（左側面陰刻）　「昭和十八年三月吉日／伊藤正人」

〔時代〕　昭和18年（1943）

７．石造毘沙門天立像

〔法量〕　総高（台座下～光背頂）　88.9㎝

1

2

3

4

5

6

7

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「石工／国広石峯／毘沙門天／昭和十八年／三月十二日」
〔時代〕　昭和18年（1943）

8．石造弁財天立像
〔法量〕　総高（台座下～光背頂）　82.7㎝
〔銘文〕　（台座正面陰刻）「昭和十八年／三月十五日／辨戝天／奉納／伊藤茂六」

9．仏石（大日さま）
〔法量〕　高（地付～頂）　98.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。
〔時代〕　不詳

10．石造猿田彦大神
〔法量〕　高（台座上面～頂）　112.0㎝
〔銘文〕　「猿田彦大神」
〔時代〕　江戸時代

11．仏石（お不動さま）
〔法量〕　高（地付～頂）　48.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。
〔時代〕　不詳

12．国境石
〔法量〕　最大高　120.0㎝、最大幅　170.0㎝
〔銘文〕　「此石垣／相□申間鋪事／筑前國／五箇山村」
〔時代〕　江戸時代

【大野】　（Fig.Ⅷ１-２、Ⅰ４-２-１）

13．国境石（Ⅰ4-2-1〈28〉）
a.〔法量〕　高　58.0㎝
〔銘文〕　（陰刻銘）「従是西」
b.〔法量〕　高　67.0㎝
〔銘文〕　「従是東□」
〔時代〕　江戸時代

14．国境石（Ⅰ4-2-1〈28〉）
a.〔法量〕　高　87.0㎝
〔銘文〕　「従是南肥前國」
b.〔法量〕　高　106.0㎝
〔銘文〕　確認できず。
〔時代〕　江戸時代

15．陶製面（恵比須又は大黒天）　〔築地敏恵氏宅〕
〔法量〕　縦（最大）　27.0㎝、横（最大）　26.6㎝
厚（最大）　9.0㎝　　※烏帽子部分で計測

8

9

10

11

12

13

14a

14b

〔概要〕　白色下地上に彩色をほどこす。目・口に穴をあける。両耳上に小穴。
〔時代〕　江戸時代

16. 陶製花器　〔築地敏恵氏宅〕
〔法量〕　（向かって右）高　12.6㎝　口径　6.7㎝　底径　5.3㎝
（向かって左）高　11.8㎝　口径　6.5㎝　底径　5.5㎝
〔概要〕　高取焼
〔時代〕　江戸時代（19世紀）

17. 絵馬（船の上から櫂を差し出す図柄）　〔大野：山神社〕
〔法量〕　縦　77.5㎝、横　96.0㎝
〔銘文〕　（表面墨書）「安政六〔未□〕□□月□日／　獻」
（裏面墨書）「安政五年春夏福國一□悪病流行仕候／□願□民／□□
仕候處□依御神画ニ捨□／奉納仕候□／安政六年卯月／奉納之」
〔時代〕　安政６年（1859）

18. 絵馬（騎馬武者一騎打ちの図柄）　〔大野：山神社〕
〔法量〕　縦　90.2㎝、横　127.7㎝
〔時代〕　江戸時代

19. 絵馬（騎馬武者が水上を泳ぐ図柄）　〔大野：山神社〕
〔法量〕　縦　33.2㎝、横　49.0㎝
〔時代〕　江戸時代

20. 石造猿田彦大神　〔大野：山神社〕
〔法量〕　高（地付～頂）　117.0㎝
〔銘文〕　（陰刻銘）　「猿田彦大神」
〔概要〕　大野の山神社境内にある。元は高村にあったもの。
〔時代〕　江戸時代

21. 仏石（尊名不詳）　〔大野：山神社〕
〔法量〕　高（地付～頂）　63.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。山神社境内にある。元は高村にあったものか。
〔時代〕　不詳

22. 仏石（尊名不詳）　〔大野：山神社〕
〔法量〕　高（地付～頂）　36.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。山神社境内にある。元は高村にあったものか。
〔時代〕　不詳

23. 柄鏡（松竹梅に鶴亀の図柄）　〔築地幾雄氏宅〕
〔法量〕　縦　33.5㎝、横　23.7㎝
〔銘文〕　（陽刻銘）　「天下一松村因幡守藤原義信」
〔時代〕　江戸時代

24. 柄鏡（宝づくしの図柄）　〔築地幾雄氏宅〕
〔法量〕　縦　21.8㎝、横　14.0㎝

15

16

17

20

18

21

19

22

〔銘文〕　（陽刻銘）　「義勝」
〔時代〕　江戸時代

25．石造観音菩薩坐像　〔観音堂〕
〔法量〕　総高（地付～光背頂）　36.5㎝
〔時代〕　近代

26．石造地蔵菩薩坐像　〔お地蔵さま〕
〔法量〕　総高（台座下～光背頂）　31.9㎝
〔時代〕　江戸時代

27．石製板碑　〔お地蔵さま〕
〔法量〕　高（地面～頂）　32.7㎝　※現状で見える範囲。
〔時代〕　江戸時代

28．石造観音菩薩立像　〔白土城〕
〔法量〕　総高（台座下～光背頂）　84.5㎝
〔銘文〕　（台座正面陰刻）　「昭和九年八月／観世音菩薩／三養基四国／信者一同」
〔時代〕　昭和９年（1934）

29．石造弘法大師坐像　〔白土城〕
〔法量〕　総高　59.4㎝、像高　43.6㎝
〔時代〕　近代

【桑河内】　（Fig.Ⅷ１－３）

30．銅製御幣　〔築地勝蔵氏宅〕
〔法量〕　総高（台座下～頂）72.1㎝、厨子総高　80.1㎝
〔銘文〕　（台座正面墨書）「奉寄進」
（台座背面墨書）「弘化二年／乙巳十月」
（台座底面墨書）「春吉村／大工恵吉」
〔概要〕　上端が折れ曲がっている。座元を決めて持ち回りしている氏神さま。
言い伝えでは、厨子を開けてはならないと言われていた。
〔時代〕　弘化２年（1845）

31．法螺貝　〔築地勝蔵氏宅〕
〔法量〕　長　15.7㎝
〔時代〕　不詳

32．瓶子及び猪口　〔築地勝蔵氏宅〕
〔法量〕　（瓶子）　高　18.2㎝
（猪口）　高　4.2㎝
〔銘文〕　（瓶子底面刻印）　「博多／岡平蔵」
〔時代〕　江戸時代

33．銅製鰐口　〔観音堂〕
〔法量〕　最大幅　30.6㎝、径（横）　25.2㎝、最大厚　10.1㎝

23

24

25

26

27

28

29

30

30

〔銘文〕　（表面陰刻）「筑前國河□内五ヶ山桑河内村田中彦四郎／奉寄進／延寶六年〔戊午〕歳三月十八日」

〔時代〕　延宝６年（1678）

34．木造十一面観音菩薩坐像　〔観音堂〕

〔法量〕　総高（蓮肉下～頭頂）　23.5㎝、机高　16.4㎝

〔概要〕　一木造（広葉樹材）、彩色、彫眼

〔構造〕　左手に未敷蓮華を持す。右手先亡失。頭体と蓮華座を一材から彫出。

〔銘文〕　（岩座底面墨書）「元禄九年〔丙子〕暦／奉再興／本願鬼塚□（小カ）兵衛／庄屋□□傳□永□（心カ）／十一面観世音菩薩／田中清兵衛／氏子中／安武□郎左衛門作／七月吉祥日」

（岩座背面墨書）「九劦筑前國那珂郡／五箇山村ノ内桑河内村」

（机上面墨書）「文久四年〔甲子〕六月／□祥日／□興／施主／築地□□‥／‥□主／築地六右エ門／組頭／鬼塚□□‥‥／□（麻カ）□□‥‥‥□作」

〔時代〕　元禄９年（1696）（観音）

文久４年（1864）（机）

35．木造僧形坐像　〔観音堂〕

〔概要〕　一木造、彩色、彫眼

〔法量〕　像高　11.9㎝、　厨子高　23.7㎝

〔構造〕　右手を屈臂、左手を膝前に伸べる僧形像。両手先、亡失。

〔銘文〕　（厨子背面墨書）「文久四年〔甲子〕仲夏　　施主／和蔵／寂■阿闍梨／宇都宮教旻大徳十八世宇都宮／彌三郎朝継三十七代／宇都宮姓麻生次郎／藤原隆置／法名如幻鏡空作佛」

〔時代〕　文久４年（1864）

36．木製鏡台　〔観音堂〕

〔法量〕　総高　19.8㎝

〔銘文〕　（台座背面墨書）「藤原／□□（十三カ）郎」

（軸部背面墨書）「筑前國」

〔時代〕　江戸時代

37．石造弘法大師坐像（観音堂境内の大師堂に安置）　〔観音堂〕

〔法量〕　総高　58.0㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「奥院／弘法大師」

〔時代〕　近代

38．仏石（地蔵）

〔法量〕　高　88.0㎝

〔概要〕　像容確認できず。自然石か。

道路を通すにあたって移動することを石に聞いたが、動かないとの返事。

〔時代〕　不詳

31

32

33

34

35

36

39．石造猿田彦大神

〔法量〕　高（台座上～頂）　72.0㎝　　※一石部分

〔銘文〕　（表面陰刻）　「猿田彦大神」

（裏面陰刻）　「天保八年／酉十一月吉日」

〔時代〕　天保８年（1837）

【網取】　（Fig.Ⅷ１－３）

40．三十六歌仙絵馬　12面　〔船地蔵〕

〔法量〕　縦（木枠含む）　51.2㎝

横（木枠含む）　33.8㎝　　※藤原高光にて計測

〔時代〕　江戸時代

41．仏石　〔船地蔵〕

〔法量〕　高　63.0㎝

〔概要〕　像容確認できず。自然石か。

〔時代〕　不詳

42．仏石　〔船地蔵〕

〔法量〕　高　80.0㎝

〔概要〕　像容確認できず。自然石か。

〔時代〕　不詳

43．石造菩薩坐像（準胝観音カ）　〔船地蔵〕

〔法量〕　総高（方座下～光背頂）　81.9㎝

像高（方座上～光背頂）　64.2㎝

〔概要〕　八臂の菩薩坐像

〔時代〕　江戸時代

44．木造観音菩薩坐像　〔観音堂〕

〔法量〕　総高（蓮華座下～頭頂）　51.6㎝

像高（蓮華座上～頭頂）　39.9㎝

〔概要〕　一木造（樟）、彩色、彫眼

〔銘文〕　（荷葉座底面墨書）

「文化二歳／□□（朝州カ）舩本／惣七／奉寄進／丑ノ十一月中旬」

（蓮華座と荷葉座間の円材上面朱書）

「奉再粧□□　香□･･･／□治二十年　月□日　」

（蓮華座と荷葉座間の円材下面朱書）

「三日再／網取　組合中／元年／･･･□□八月□□･･･」

〔時代〕　文化２年（1805）

45．石造弘法大師坐像〔観音堂〕

〔法量〕　総高　56.0㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）　　「奥院／弘法大師」

37

38

39

40

40

41

42

43

44

45

〔時代〕　近代

46．銅製鰐口　〔観音堂〕

〔法量〕　最大幅　34.8㎝

径（横）28.4㎝、径（縦）30.6㎝

〔概要〕　銅製鋳造、左吊環欠失

〔銘文〕　（表面陽刻）「奉献」

（裏面陰刻）「安政六年未三月吉日／筑前那河郡五ヶ山一ノ河内産神子孫七」

〔時代〕　安政６年（1859）

47．銅製鰐口　〔観音堂〕

〔法量〕　最大幅　21.2㎝、径（横）　17.0㎝、径（縦）　18.1㎝

〔概要〕　銅製鋳造、両吊環欠失

〔銘文〕　（表面陽刻）「奉寄進」

（裏面陰刻）「安政六年三月吉日／筑前那河郡五ヶ山一ノ河内産神子孫七」

〔時代〕　安政６年（1859）

48．石造地蔵菩薩坐像　〔観音堂〕

〔法量〕　総高（地付～頂）　35.0㎝

〔時代〕　江戸時代

49．仏石　〔観音堂〕

〔法量〕　高　85.0㎝

〔概要〕　表面に○の陰刻あり。その他の像容は確認できず。

〔時代〕　不詳

50．石塔４基　〔観音堂〕

〔法量〕　高　55㎝程度

〔概要〕　いくつかの五輪塔の残欠を組み合わせたもの。

〔時代〕　江戸時代

51．山神社石造鳥居　〔網取：山神社〕

〔銘文〕　（額）「山神社」

（柱）「明治十七年歳在甲申／三月吉辰建之　氏子中」

〔時代〕　明治17年（1884）

52．石造釈迦如来立像　〔釈迦堂〕

〔法量〕　総高　112.0㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「釈迦如来／那珂川四国／八拾八ケ所／石工／久にひろ／発起人／田中嘉平」

（台座左側面陰刻）「相続人／田中貞吉／神代房吉」

〔時代〕　近代

【旧道十里】　（Fig.Ⅷ１－３）

53．木造十二神将像　〔薬師堂〕

46

47

48

49

51

50

52

〔法量〕　高　15㎝程度
〔概要〕　木造、彩色　　※薬師堂は、もと道十里にあったもの。
〔時代〕　江戸時代

54．石造弘法大師坐像　〔薬師堂〕
〔法量〕　総高　57㎝程度
〔時代〕　近代

55．仏石（尊名不詳）
〔法量〕　高　99.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。もとは道十里にあったもの。
〔時代〕　不詳

56．仏石（尊名不詳）
〔法量〕　高　110.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石を一部加工。もとは道十里にあったもの。
〔時代〕　不詳

57．仏石（尊名不詳）
〔法量〕　高　77.0㎝
〔概要〕　像容確認できず。自然石か。もとは道十里にあったもの。
〔時代〕　不詳

58．石造猿田彦大神　〔薬師堂の横〕
〔法量〕　高　108.0㎝
〔銘文〕　「猿田彦大神」
〔概要〕　もとは道十里にあったもの。
〔時代〕　江戸時代

59．石造猿田彦大神　〔五山荘の横〕
〔法量〕　高　105.0㎝
〔概略〕　左肩に日、右肩に月の陰刻あり。もとは道十里にあったもの。
〔銘文〕　「猿田彦大神」

【吉野ヶ里町小川内】　（Fig.Ⅷ１-１）

60．木造薬師如来坐像（本尊）　〔東光寺〕
〔法量〕　総高（台座地付～頭頂）71.3㎝、像高　44.3㎝
〔概要〕　広葉樹材、寄木造、漆箔彩色、彫眼
〔構造〕　頭部と体幹部を別材から彫出する。
〔銘文〕　（台座底面墨書）「東光寺　本尊」、「寛政四子年再光」、「現住了海僧代」
〔時代〕　江戸時代、修理年代　寛政４年（1792）

61．木造大日如来立像　〔東光寺〕
〔法量〕　像高　79.2㎝
〔概要〕　広葉樹材、寄木造、彩色、玉眼

53

54

55

56

57

58

59

〔構造〕　頭部と体幹部を別材でつくり、両腕の上膊以下を矧ぎ付ける。
頭部の大半を一材から彫出。体幹部を一材から彫出。背面腰下に窓をあけて像内を刳る。内に銘文あり。

〔銘文〕　（体内墨書）「延宝元年九月大吉日　男子　長十郎／九八郎／吉三郎／大日如來建立者爲息災延命長久／施主北野山住佛師神祇大阿闍利□／一者爲二親菩提也右者父作ニテ一七日／□□修行仕候□名源町加右衛門」

〔時代〕　延宝元年（1673）

62．木造不動三尊像　〔東光寺〕

〔法量〕　像高（不動）　34.2㎝
像高（左：矜羯羅）　16.5㎝、（右：制吒迦）　16.6cm

〔概要〕　寄木造、彩色、玉眼

〔構造〕　不動は寄木造（詳細不明）。脇侍は一木造。

〔銘文〕　（台座正面朱書）「奉納／三養基郡中原村字山ノ内／施主　多賀寅藏」

〔時代〕　江戸時代

63．木造菩薩形坐像　〔東光寺〕

〔法量〕　総高（台座地付～光背頂）54.3㎝、像高（髻欠）17.8㎝

〔概要〕　桧材、寄木造、漆箔、玉眼

〔構造〕　頭体根幹部を前後二材から彫出し、両腕と膝前を矧ぎ付ける。

〔時代〕　江戸時代

〔備考〕　厨子の中に、寛永通宝五枚納入。

64．木造弘法大師坐像　〔東光寺〕

〔法量〕　総高（椅子地付～頭頂）58.5㎝
像高　38.0㎝

〔概要〕　寄木造、彩色、玉眼

〔銘文〕　（椅子座面裏墨書）「一尺之折イス之／タヽミ」

〔時代〕　江戸時代

65．木造薬師十二神将像　〔東光寺〕

〔法量〕　像高（薬師）　17.7㎝

〔概要〕　針葉樹材、木造、漆箔、彫眼

〔銘文〕　（厨子台正面朱書）「念佛講會員／大石セキ／進藤ヨト／西村キナ／宗雲ソイ／築地トヨ／大石ミヨ／武廣ミツ／三橋スナ／西村ユキ／杉谷イシ／武廣イシ／原口ノブ／宗雲フサ／大石エツ／大石アヤ／武廣ソデ／杉谷マス／杉谷スマ／宗雲ユク／大石玉代」
（厨子台側面朱書）「世話人　大石岩吉／宗雲政吉／杉谷兵太郎」

〔時代〕　近現代

東光寺全景

60

61

62

63

64

65

66．木造菩薩形坐像　〔東光寺〕

〔法量〕　総高（台座地付～光背頂）65.9㎝

像高　33.4㎝

〔概要〕　桧材、寄木造、漆箔、玉眼

〔銘文〕　（台座側面墨書）「昭和九年四月下旬吉祥日／威徳院住／牟田智海代」

「佐賀市蓮池町／佛師　村山広市」

〔時代〕　近現代

67．木造位牌　〔東光寺〕

a ）高　51.5㎝

表（墨書）　「梵字（ア）豎者法印慶寛／　豎者法印巍長／成就院傳舜／各位」

裏なし

〔時代〕　江戸時代

b ）高　43.8㎝

表（墨書）「東岸慈海首座」

裏（墨書）「文化元年子九月十三日／尾州之人也看住九年新開田地二反アリ／本山御院主様ヨリ鳥目寄附」

〔時代〕　文化元年（1804）

c ）高　62.9㎝

表（陰刻）　「梵字（キリーク）　三界萬霊等」

裏（墨書）　「寛政四年子九月脊振山東光寺前住了海代建立」

〔時代〕　寛政４年（1792）

d ）高　40.0㎝

表（墨書）　「梵字（ア）　法印權大僧都玄契　霊位」

裏（墨書）　「維時　元治元年／甲子七月十七日　寂」

〔時代〕　元治元年（1864）

e ）高　39.4㎝

表（陰刻）　「梵字（ア）　長賀大徳覚位」

裏（陰刻）　「元禄六癸酉□／八月二日寂」

〔時代〕　元禄６年（1693）

f ）高　42.8㎝

表（墨書）　「還源權大僧都慶光法印大和尚位」

裏　なし

〔時代〕　江戸時代

68．銅造伏鉦　〔東光寺〕

〔法量〕　上面径　18.6㎝

最大幅　21.4㎝

高　　8.2㎝

〔概要〕　銅製鋳造

66

67a

67b

67c

67d

67e

67f

68

69

〔銘文〕　（底面陰刻）「寛延三午年十月十五日」、「堀川住筑後大掾常味作」、
「筑後法林寺隠居安誉」

〔時代〕　寛延３年（1750）

69．銅製双盤　〔東光寺〕

〔法量〕　表面径　30.1㎝
最大幅　34.1㎝
高　　9.1㎝

〔概要〕　銅製鋳造

〔銘文〕　（裏面陰刻）「奉寄進／肥前神崎郡小川内村醫王山東光寺／文政十一年子正月吉日」、「施主　杉谷卯平治／可め／よ祢／せん／や哉／りへ／ふて／のり／くま／さ哉／やへ／いろ／とめ／ミよ／者川（はつ）／きよ／可る／てる／尓ハ／奈ゐ／まん／ま川（まつ）」

〔時代〕　文政11年（1828）

70．銅鐘　〔東光寺〕

〔法量〕　高　50.0㎝

〔概要〕　銅製鋳造

〔銘文〕　（陰刻銘）「肥前國神崎郡／小川内村醫王山／東光寺常住／伏以國家安全／万民快楽／諸且越爲現當／二世安楽／諸行無常／是生滅法／消滅滅已／寂滅爲楽／寛文九年己酉年霜月吉日／山口□亥之九／施主現住慈海／惣寺家中／神代平兵衛／冶工　樹善兵衛政往作」

〔作者〕　樹善兵衛政往

〔時代〕　寛文９年（1669）

71．石造六地蔵尊像（東光寺庭先）　６躯　〔東光寺〕

〔法量〕　像高（向かって右端）　30.8㎝　※頭部欠

〔時代〕　江戸時代

72．石造十一面観音像　〔東光寺〕

〔法量〕　68.0㎝

〔時代〕　江戸時代

73．石造如意輪観音像　〔東光寺〕

〔法量〕　63.0㎝

〔時代〕　江戸時代

74．弁財天・天満宮・金毘羅社合祀石祠　〔東光寺〕

〔法量〕　総高　56.0㎝

〔銘文〕　「大弁財天／天満宮／金毘羅社」、「維時安永八己亥天／六月吉祥日」

〔時代〕　安永八年（1779）

75．南無阿弥陀仏名号石碑　〔東光寺〕

〔法量〕　100㎝

〔銘文〕　「梵字（キリーク）南無阿弥陀仏」

70

72

73

71

74

75

76

〔時代〕　江戸時代

76．中興開山長賀墓碑　〔東光寺〕

〔法量〕　160㎝

〔銘文〕　「梵字（キリーク）当寺中興開山長賀大徳／元禄六酉年／八月六日」

〔時代〕　元禄６年（1693）

77．木造伝薬師如来立像（東光寺前の池畔）　〔東光寺〕

〔法量〕　総高（現状）　49.0㎝

〔像容〕　風化が著しく、像容は定かでない。

〔時代〕　江戸時代

78．木造地蔵菩薩立像（東光寺前の池畔）　〔東光寺〕

〔法量〕　総高（現状）　25.0㎝

〔像容〕　風化が著しく、像容は定かでない。

〔時代〕　江戸時代

79．石造弘法大師坐像（東脊振村寺屋敷）

〔法量〕　総高（台座地付～頭頂）　約55㎝、像高　約38㎝

〔時代〕　江戸時代

80．石造狛犬　１対　〔大山祇神社〕

〔法量〕　阿形（本殿から見て右）　総高　約45㎝

吽形（本殿から見て左）　総高　約48㎝

〔時代〕　江戸時代

81．石造灯籠　２基　〔大山祇神社〕

〔法量〕　ａ（本殿から見て右）　総高　約123㎝

ｂ（本殿から見て左）　総高　約141㎝

〔銘文〕（正面陰刻）各「奉献」

（背面陰刻）各「天保十二辛丑年六月吉日　施主　村中　当村　西村儀兵衛／権藤寛蔵／大石嘉内」

〔時代〕　天保12年（1841）

82．稲荷石造祠　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高（下の台座上面～頂）　約85㎝、下の台座高　約35㎝

〔銘文〕（陰刻銘）「正一位　稲荷大明神」、「文化十一戊九月吉祥日　当村中」

〔時代〕　文化11年（1814）

83．石造庚申塔　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高（台座上面～頂）　約185㎝

〔時代〕　江戸時代

84．石造燈籠（嘉永元年銘）　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高　約200㎝

〔銘文〕（陰刻銘）「常夜灯　一基」、「嘉永元戊申歳九月吉日」

〔時代〕　嘉永元年（1848）

77

78

79

80

80

81a

82

83

84

85．石造鳥居　〔大山祇神社〕

〔法量〕　高　280㎝

〔銘文〕　（陰刻名）額「山祇神社」、柱「肥前国神崎郡小川内村氏子中／天下泰平座主背振山東福院／文化五年十一月吉祥日／国家安全　宮司当村東光寺／大石嘉平」

〔時代〕　文化５年（1808）

86．石段止飾石　〔大山祇神社〕

〔法量〕　高　48.0㎝

〔銘文〕　（陰刻名）右「奉寄進／弘化三丙／午三月吉日」、「百疋　権藤寛蔵／七拾疋　杉谷作平／五拾疋　宗雲普助」
左「奉寄進」、「弐百疋　金坊院／百疋　多聞坊」

〔時代〕　弘化３年（1846）

87．石造忠霊塔　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高390㎝

〔銘文〕　（陰刻銘）「忠霊塔」「昭和廿七年九月建之　役員一同」
＊供養者16名の氏名省略。

〔時代〕　昭和27年

88．孝子久内石碑　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高　315㎝

〔銘文〕　（陰刻銘）「孝子久内之碑」「小川内区／昭和二十八年八月之建／佐賀県知事　鍋島直紹書」

〔時代〕　昭和28年

89．大山祇神社改築記念碑　２基　〔大山祇神社〕

〔法量〕　a　左　総高　178㎝（鋳造円筒部88㎝）
b　右　総高　113㎝（砲弾部欠失）

〔銘文〕　（鋳造円筒部陽鋳銘）「大山神社改築記念寄付者芳名／昭和二十八年九月二十日落成」、「博多西堅粕七丁目／中島合金鋳造所　中島勇吉　仝健朝」、「世話人　宗雲巳之助　（以下略）」
（右石塔陰刻銘）「奉献」、「該弾ハ旅順口陥落ノ際黄金山砲台ノモニヲ露軍ハ後日ノ難ヲ惶レ海中ニ投棄セルモノナリ／明治四十五年六月吉日」

〔時代〕　昭和28年

90．小川内の杉・佐賀県指定石碑　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高158㎝

〔銘文〕　（陰刻銘）「佐賀県史跡天然記念物　小川内の杉」、「昭和三十一年三月一日指定」、「昭和三十一年八月一日建設　佐賀県教育委員会」

〔時代〕　昭和31年

85

86

87

88

89a

89b

90

91

91．神功皇后遠征図絵馬　〔大山祇神社〕

〔法量〕　縦　104.0㎝、横　160.8㎝

〔像容〕　龍頭鷁首船に乗った神功皇后の船戦図。

〔銘文〕　「奉納御寶前」、「綾部幸利（朱方印２つ）」、「願主／宗雲久太郎／武廣幸次郎／権藤喜七／女房／大石久米蔵／親」、「氏子中／敬白」、「文政三年」、「願主／宗雲久太郎／武廣幸次郎／権藤喜七／女房／大石久米蔵／母親」、「氏子中／敬白」、「文政三年」

〔時代〕　文政３年（1820）

92．義経弓流し図絵馬　〔大山祇神社〕

〔法量〕　縦　102.5㎝、横　193.4㎝

〔像容〕　流された弓を拾う源義経と、船上から義経を熊手で絡め取ろうとする平盛嗣の図。

〔銘文〕　「奉寄進」、「明治十七年申二月廿三日　當村中」、「世話人　西村喜内／進藤平治」

〔時代〕　明治17年（1884）

93．連歌絵馬　〔大山祇神社〕

〔法量〕　縦　43.0㎝、横　194.0㎝

〔銘文〕　（冒頭部分墨書）「観世音奉納四季／混題発句六百八十余／吟中抜粋六十五章／配明之巻／三□舎／素白撰」

（末尾部分墨書）「維時明治廿七年八月中旬／世話人／宗雲芦水　大石卯月／同□水　権藤楽笑／西村梅枝　西村北仙」

〔時代〕　明治27年（1894）

94．木造敷板　〔大山祇神社〕

〔銘文〕　（裏面墨書）「當地東光寺住了海／寛政四子天　再光也□氏子中／九月吉日」

〔時代〕　寛政４年（1792）

95．木造女神坐像　〔大山祇神社〕

〔法量〕　総高　39.6㎝、像高　32.2㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼

〔銘文〕　（台座裏面墨書）「此御神二社／明治廿一年／子十月廿九日」、「代二円拾銭也／久留米大石村／佛師　江下茂市／行年三十二才二ヶ月／サイシキス／宗雲源四郎／家ニテ」

〔時代〕　江戸時代

96．木造男神坐像　〔大山祇神社〕

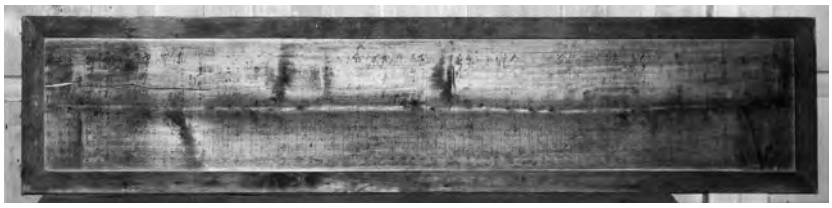
〔法量〕　総高　44.1㎝、像高　36.5㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼

〔構造〕　頭体の根幹部を一材から彫出し、膝前と両袖脇に別材を寄せる。

〔銘文〕　（台座裏面墨書）「長崎大佛師／岡田徳三郎／奉粉色　久留米宮地（久～地は別筆か？）／同門弟　中岡大吉／天保三辰霜月吉日／施主」

92



93

94

95

96

97

98

〔時代〕　天保３年（1832）

97．不動明王石碑　〔カツマタノウエ〕

〔法量〕　総高　65.5㎝

〔銘文〕　（正面陰刻）「不動明王」

（左側面陰刻）「寄附人名／一金弐円五十銭　大石マサエ　一仝一円杉谷スマ／一仝弐円　権藤ミ子　一仝一円　宗雲夕子／一仝弐円大坪ヨオ　一仝一円　宗雲フイ／一仝一円五十銭　杉谷ミヤ一金一円五十銭　武廣寅吉／一仝一円五十銭　大　石源太郎一金三円　小川内処女会」

（右側面陰刻）「念佛講會建立人名／井上ミイ／大石セキ　杉谷イシ／進藤ヨド　西村ユキ／西村キナ　武廣イシ／宗雲ソイ　原中ノブ／築地トヨ　宗雲フサ／大石ミヨ　大石アヤ／三橋スナ武廣ソデ／武廣ミツ　宗雲ユク」

（背面陰刻）　「世話人／武廣卯次郎／大石岩吉／宗雲政吉／杉谷兵太郎／大正十四年三月吉日建立／神埼郡東脊振村小川内／中原村地蔵町／石工　田中巳代吉」

〔時代〕　近代

98．石造不動明王立像　〔カツマタノウエ〕

〔法量〕　像高　68㎝（目測）

〔銘文〕　未確認

〔時代〕　近代

99．石造如意輪観音坐像　〔カツマタノウエ〕

〔法量〕　総高（台座地付～光背頂）52.5㎝　　像高　45.0㎝

〔銘文〕　（光背背面陰刻）「安政六未年／小川内村／女人中」

〔時代〕　安政六年（1859）

100．石造弘法大師坐像　〔カツマタノウエ〕

〔法量〕　像高　　45.0㎝

台座高　25.0㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「弘法大師」

〔時代〕　江戸時代

101．石造地蔵菩薩立像　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕

〔法量〕　総高（台座地付～頂）81.5㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「昭和六十三年／十二月吉日／地蔵菩薩／施主／西村敏」

〔時代〕　昭和63年（1988）

102．石造大日如来坐像　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕

〔法量〕　総高　78.6㎝

〔銘文〕　（台座正面陰刻）「昭和六十三年／十二月吉日／大日如来／施主／西村敏」

〔時代〕　昭和63年（1988）

99

100

101

102

103

104

105

106

103．石造水子地蔵尊　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕
　〔法量〕　総高　50.4㎝
　〔銘文〕　（台座正面陰刻）「昭和六十一年／十一月吉日／水子地蔵尊」
　〔時代〕　昭和61年（1986）
104．石造伝地蔵菩薩坐像　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕
　〔法量〕　像高　36.2㎝
　〔概要〕　頭部後補
　〔時代〕　近代
105．仏石　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕
　〔法量〕　総高　64.5㎝
　〔概要〕　自然石か。
　〔時代〕　不詳
106．大石覚兵衛の墓　〔竹ノ屋敷：いぼとり地蔵〕
　〔銘文〕　（中央）「法名釋寶海信士」／（左脇）「法名釋妙還信女」／
　　（右脇）「法名釈青林信士」
　〔時代〕　不詳
107．香椎聖母宮石碑　〔竹ノ屋敷〕
　〔法量〕　総高　88.2㎝
　〔時代〕　不詳
108．木造男神坐像　〔海童神社〕
　〔法量〕　総高　26.3㎝
　〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
　〔構造〕　頭体の根幹部を一材から彫出する。両袖脇と膝前を桧の別材から彫出。
　〔時代〕　江戸時代
109．木造女神坐像　〔海童神社〕
　〔法量〕　総高　24.9㎝
　〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
　〔構造〕　頭体の根幹部を一材で彫出。顔の左側部に桧の別材を足す。
　〔時代〕　江戸時代
110．石祠　〔稚児神様〕
　〔法量〕　高　　77.7㎝
　〔像容〕　祠奥の石に地蔵菩薩坐像の浮彫あり。
　〔時代〕　江戸時代
111．板碑　16基　〔稚児神様〕
　〔法量〕　高　26.2㎝　（祠右前のもの）
　　高　26.7㎝　（祠左前のもの）
　〔時代〕　江戸時代

107

108

109

110

111

112

【那珂川町市ノ瀬：日吉神社】　（Fig.Ⅰ 4 - 2 - 1 〈39〉）　（神殿横の倉庫内）

112．木造男神坐像　※112～120一具

〔法量〕　像高　15.6㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。

〔時代〕　江戸時代

113．木造男神坐像

〔法量〕　像高　17.2㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。両手先別材。

〔時代〕　江戸時代

114．木造男神坐像

〔法量〕　像高　16.3㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。

〔時代〕　江戸時代

115．木造男神坐像

〔法量〕　像高　16.2㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。

〔時代〕　江戸時代

116．木造男神坐像

〔法量〕　像高　15.5㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。右手先別材。

〔時代〕　江戸時代

117．木造男神坐像

〔法量〕　像高　16.8㎝

〔概要〕　一木造、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。両手先別材。

〔時代〕　江戸時代

118．木造男神坐像

〔法量〕　像高　16.2㎝

〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。

〔銘文〕　（台座裏墨書）「八」

〔時代〕　江戸時代

113

114

115

116

117

118

119．木造男神坐像（上七社大宮権現）
〔法量〕　像高　13.6㎝（現状）
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一材から彫出。冠上部を欠失。
〔銘文〕　（台座裏墨書）「上宮／大宮」
〔時代〕　江戸時代

120．木造男神坐像
〔概要〕　一木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼
〔法量〕　像高　16.0㎝
〔構造〕　像全体を一材から彫出。
〔時代〕　江戸時代

121．木造男神坐像
〔概要〕　寄木造、針葉樹材（桧）、彩色、彫眼
〔法量〕　像高　22.4㎝
〔構造〕　体部を前後二材矧ぎとし、頭部を挿し首とする。
〔銘文〕　（像底墨書）「志田／惣王子　下」
〔時代〕　江戸時代

122．木造男神坐像
〔法量〕　像高　22.0㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。右手先別材。
〔銘文〕　像底に墨書あるも不明。
〔時代〕　江戸時代

123．木造男神坐像（上七社八王子権現）
〔法量〕　像高　21.6㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。
〔銘文〕　（像底墨書）「八王子　上」
〔時代〕　江戸時代

124．木造男神坐像
〔法量〕　像高　23.2㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。
〔銘文〕　（像底墨書）「下　上末」
〔時代〕　江戸時代

125．木造男神坐像
〔法量〕　像高　21.6㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼

119

120

121

122

123

124

〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。
〔銘文〕　像底に墨書の痕跡あるも不明。
〔時代〕　江戸時代

126. 木造男神坐像（下七社小禅師権現）
〔法量〕　像高　22.0㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出し、頭部は挿首とする。両手先別材（亡失）。冠上部欠失。
〔銘文〕　（像底墨書）「下　小禅子」
〔時代〕　江戸時代

127. 木造男神坐像（下七社　岩滝権現）
〔法量〕　像高　23.3㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を竪一材から彫出、頭部を挿し首とする。左手先別材（亡失）。
〔銘文〕　（像底墨書）「岩滝」
〔時代〕　江戸時代

128. 木造男神坐像（下七社　竈殿権現）
〔法量〕　像高　23.5㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。冠上部別材。
〔銘文〕　（像背面白書）「竈殿」、（像底墨書）「竈殿」
〔時代〕　江戸時代

129. 木造男神坐像（上七社　客人権現）
〔法量〕　像高　23.7㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を横一材から彫出、頭部を挿し首とする。
〔銘文〕　（像背面白書）「客人」、（像底墨書）「客人」、
（台座上面墨書）「きさ」、（台座底面墨書）「上宮／客人権現」
〔時代〕　江戸時代

130. 木造女神坐像（中七社　聖女権現）
〔法量〕　像高　29.0㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部を竪一材から彫出し、頭部を挿首とす。膝前、両袖脇、髻、両手先別材。両袖脇、両手先を亡失。
〔銘文〕　（膝前裏墨書）「中宮／聖女権現」、
（膝前矧面墨書、体部・膝前とも）「聖」
※背面の彩色下に墨書あるも、不明。
〔時代〕　江戸時代

125

126

127

128

129

130

131．木造男神坐像

〔法量〕　像高　27.8㎝

〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部の根幹を一材から彫出。頭部は前後二材矧ぎで挿し首とする。膝前、両袖脇、持物は別材。膝前、左袖脇を亡失。

〔銘文〕　（笏前面墨書）「□周」

〔時代〕　江戸時代

132．木造男神坐像（中七社　早尾権現）

〔法量〕　像高　28.6㎝

〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿し首とする。膝前、袖脇、左手首先、冠上部は別材。左手先亡失。

〔銘文〕　（膝前裏墨書）「中宮／早尾権現」

〔時代〕　江戸時代

133．木造男神坐像（上七社　客人権現）

〔法量〕　像高　28.7㎝

〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部は前後二材矧ぎで挿し首とする。膝前、両手先別材。両手先亡失。

〔像容〕　髻を結い、袍を着して両沓先をあらわして坐す。両手を屈臂する。

〔銘文〕　（膝前裏墨書）「上／客人権現」、（頭部背面）「客人」

〔時代〕　江戸時代

134．木造男神坐像（悪王子権現）

〔法量〕　像高　26.6㎝（現状、冠の上面まで）

〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部は前後二材矧ぎで挿首とする。膝前、両袖脇、左手先、冠上部は別材。左袖脇、左手先、冠上部亡失。

〔銘文〕　（背面墨書）「下／悪王□□・・」、（膝裏墨書）「下宮／悪王子権現　権現」
※下半の「権現」は別筆。元の字をはつって上に書いたか。

〔時代〕　江戸時代

135．木造男神坐像（護月権現）

〔法量〕　像高　27.0㎝

〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部の根幹材を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前別材。

〔銘文〕　（頭部背面墨書）「護月」、（膝裏墨書）「下宮／護月権現」
※背面に墨書有るも不明。

〔時代〕　江戸時代

136．木造男神坐像

131

132

133

134

135

136

〔法量〕　像高　29.2㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両手先、両袖脇、冠上部は別材。膝前、右袖脇亡失。
〔時代〕　江戸時代

137. 木造男神坐像（王子権現）
〔法量〕　像高　26.4㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部は前後二材矧ぎで挿首とする。膝前、両袖脇は別材。両袖脇亡失。
〔銘文〕　（膝前裏墨書）「中宮／王子宮　宮」
※下半の宮は別筆。元の字をはつって上に書いたか。
※像底に墨書あるも不明。
〔時代〕　江戸時代

138. 木造神坐像（上七社　大宮権現）
〔法量〕　像高　18.8㎝（現状、頭部亡失）
〔概要〕　頭体別材、彩色
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、左手先は別材。頭部、左手先を亡失。
〔銘文〕　（膝前裏墨書）「上／太宮権現」
〔時代〕　江戸時代

139. 木造神坐像
〔法量〕　像高　18.0㎝（現状、頭部亡失）
〔概要〕　頭体別材、彩色
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両手先別材。頭部、両手先を亡失。
〔時代〕　江戸時代

140. 木造神坐像（上七社　三宮権現）
〔法量〕　像高　26.0㎝（現状、髻亡失）
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部は前後二材矧ぎで挿首とする。膝前、両袖脇、両手先、髻別材。左袖脇、両手先、髻亡失。台座を像底に釘どめ。
〔銘文〕　（膝前裏墨書）「上／三宮／権
上／三宮／権」
※下半は、像底に打ち付けられた台座のため読めず。
（台座裏墨書）「上宮」
〔時代〕　江戸時代

137

138

139

140

141

142

141．木造男神坐像
〔法量〕　像高　25.7㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両袖脇、両手先別材、右袖脇、両手先を亡失。台座を像底に釘どめ。
〔時代〕　江戸時代

142．木造男神坐像（上七社　八王子権現）
〔法量〕　像高　30.5㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両袖脇、冠上部別材。両袖脇亡失。
〔銘文〕　（膝前裏墨書）「上　八王子権現」、（膝前矧ぎ面墨書）「八」
〔時代〕　江戸時代

143．木造男神坐像
〔法量〕　像高　31.0㎝
〔概要〕　頭体別材、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両袖脇別材。膝前、両袖脇亡失。
〔時代〕　江戸時代

144．木造男神坐像
〔法量〕　像高　28.8㎝
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部の根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、前膊を含む両袖脇、持物別材。
〔時代〕　江戸時代

145．木造女神坐像
〔法量〕　像高　28.0㎝（現状）
〔概要〕　一木造、広葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。背面及び左体側部に朽損あり。
〔時代〕　江戸時代

146．木造女神坐像　　※147と対か
〔法量〕　像高　27.8㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体を一材から彫出する。
〔時代〕　江戸時代

147．木造男神坐像　※146と対か
〔法量〕　像高　34.2㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼

143

144

145

146

147

148

〔構造〕　頭体を一材から彫出する。
〔時代〕　江戸時代

148. 木造男神坐像
〔法量〕　像高　33.0㎝（現状）
〔概要〕　一木造、広葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出する。膝前、両体側部、両手先、冠上面別材、亡失。
〔時代〕　江戸時代

149. 木造女神坐像
〔法量〕　像高　25.2㎝
〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一材から彫出する。
〔時代〕　江戸時代

150. 木造女神坐像
〔法量〕　像高　22.6㎝
〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。膝前、左手先別材。
〔時代〕　江戸時代

151. 木造男神坐像
〔法量〕　像高　32.0㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。膝前に朽損あり。
〔時代〕　江戸時代

152. 木造男神立像
〔法量〕　像高　32.7㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を両袖まで含んで一材から彫出。両手先別材、亡失。
〔時代〕　江戸時代

153. 木造女神立像
〔法量〕　像高　29.5㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を両袖まで含み一材から彫出。両手先別材。右手先亡失。
〔時代〕　江戸時代

154. 木造女神坐像　※156と対
〔法量〕　像高　33.6㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。
〔銘文〕　（像底墨書）「佛／九右衛門」
〔時代〕　江戸時代

149

150

151

152

153

154

155

156

155．木造男神坐像
〔法量〕　像高　38.3㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。
〔時代〕　江戸時代

156．木造男神坐像　※154と対
〔法量〕　像高　35.0㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。
〔銘文〕　（像底墨書）「佛九右衛門」
〔時代〕　江戸時代

157．木造男神坐像
〔法量〕　高　38.1㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　像全体を一木から彫出。
〔時代〕　江戸時代

158．木造女神坐像
〔法量〕　高　30.1㎝
〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。膝前別材、亡失。
〔銘文〕　（像底陰刻）「木」
〔時代〕　江戸時代

159．木造男神坐像
〔法量〕　像高　25.4㎝（現状）
〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。下半身朽損。
〔時代〕　江戸時代

160．木造女神坐像
〔法量〕　像高　24.0㎝（現状）
〔概要〕　一木造、樟材、漆箔、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。漆箔の痕跡あり。
〔時代〕　江戸時代

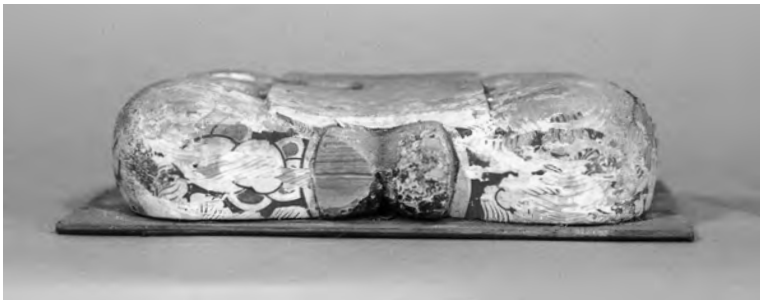
161．木造男神坐像膝前部
〔法量〕　高　5.5㎝
〔概要〕　木造、針葉樹材、彩色
〔構造〕　横一材製。
〔時代〕　江戸時代

157

158

159

160



161

162

162．木造男神坐像膝前部

〔法量〕　高　5.7㎝

〔概要〕　木造、針葉樹材、彩色

〔構造〕　横一材製。

〔時代〕　江戸時代

163．木造男神坐像（網取山神大明神）　※164と対

〔法量〕　像高　31.2㎝

納入品長　約4.7㎝

〔概要〕　頭体別材、広葉樹材、肉身漆箔・着衣彩色、彫眼

〔構造〕　体部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。体部は首部から内部を彫り込み、像内に納入品（卒塔婆形板十四点）を収める。持物別材、亡失。

〔銘文〕　（像底墨書）「奉寄進／元禄十一戊寅歳／十□廿六日／九□筑前那珂郡／五箇山網取／山神大明神／本人／助次郎／惣村氏子中／作者／安武」

（納入品墨書）

①「田」　②「田中清七郎」　③「石原左衛門」

④「山田源左衛門」　⑤「田中惣次郎」　⑥「高野源六」

⑦「　　」　⑧「高野」　⑨「高野吉郎」

⑩「高野　郎」　⑪「　　」　⑫「高野源助」

⑬「　　助」　⑭「鬼塚九左エ門」、「八十六歳」

〔時代〕　元禄11年（1698）

164．木造女神坐像（網取山神大明神女）　※163と対

〔法量〕　像高　31.1㎝

〔概要〕　頭体別材、樟材、肉身漆箔・着衣彩色、彫眼

〔構造〕　体部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。体部は首部から内部を彫り込み、像内に納入品（卒塔婆形板二点）を収める。両袖脇別材。

〔銘文〕　（像底墨書）「奉建立／元禄十一戊寅／十月廿六日／筑前那珂郡／五箇山網取／山神大明神女／桑原杢兵衛／作者／安武」

（納入品墨書）

①表「山神女／桑原杢兵衛／重勝」、裏「奉建立／元禄十一年／戊寅十月廿六日」

②表「奉寄進／桑原□□□」、裏「玉テンクハン一川」

〔時代〕　元禄11年（1698）

165．木造随身坐像

〔法量〕　像高　59.4㎝、座高　45.8㎝

〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼

〔構造〕　体部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両手先別材。両手先亡失。

〔時代〕　江戸時代

166．木造随身坐像　※170と対

〔法量〕　像高　42.0㎝、坐高　32.7㎝（現状）

163

163

164

164

165

166

167

〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とする。膝前、両前膊半から先、両足先別材。両前膊半から先、両足先を亡失。頭頂部欠失。
〔銘文〕　膝裏に墨書らしいものあるも不明。
〔時代〕　江戸時代

167．木造随身坐像
〔法量〕　像高　29.6㎝、座高　21.6㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出、膝前、両手先別材。
〔時代〕　江戸時代

168．木造随身坐像　※169と対
〔法量〕　像高　40.0㎝、座高　26.7㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。両手先、両足先、両袖外端別材。
〔時代〕　江戸時代

169．木造随身坐像　※168と対
〔法量〕　像高　40.2㎝、座高　25.5㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。両手先、両足先、両袖外端、刀別材。右手先、右袖外端亡失。
〔銘文〕　（背面墨書）「寛延元歳／辰十一月吉祥日／上座郡入地邑／佛師／荒井貞之進」
〔時代〕　寛延元年（1748）

170．木造随身坐像　※166と対
〔法量〕　像高　44.6㎝、座高　33.1㎝（現状）
〔概要〕　頭体別材、彩色、彫眼
〔構造〕　体部根幹部を一材から彫出し、頭部を挿首とす。両前膊半から先、左手首先、両足先別材。右前膊半から先、左手先亡失。右足下半折損。
〔時代〕　江戸時代

171．木造女神坐像　※172と対
〔概要〕　一木造、樟材、彩色
〔法量〕　像高　37.4㎝、座高　25.7㎝
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。腹前に一材を足す。虫損多し。
〔時代〕　江戸時代

172．木造男神坐像　※171と対
〔法量〕　像高　44.1㎝、座高　31.8㎝
〔概要〕　一木造、樟材、彩色
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。腹前に一材を足す。虫損多し。
〔時代〕　江戸時代

168

169

170

171

172

173

174

173．木造随身頭部

〔法量〕　高　21.6㎝（現状）

〔概要〕　木造、針葉樹材、彩色、彫眼

〔構造〕　頭部を一材から彫出。左纓別材。

〔時代〕　江戸時代

174．陶製狛犬

〔法量〕　高（阿形）　25.3㎝、高（吽形）　24.2㎝

〔概要〕　陶製

〔構造〕　陶製。両手足、両耳先、尾先を欠損。

〔銘文〕　（阿形背面陰刻）「元和五年／那珂郡内岩戸庄／南面里村／寄進者源左衛門／卯月吉日」

（吽形背面陰刻）「那珂郡内岩戸庄／南面里村／寄進者源左衛門／元和五年卯月吉日」

〔時代〕　元和５年（1619）

175．木造狛犬

〔法量〕　像高　47.2㎝（現状）

〔概要〕　一木造、樟材、彩色

〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出する。全体に朽損多し。

〔時代〕　江戸時代

176．木製獅子残欠

〔法量〕　最大長　25.4㎝（後足部）

〔概要〕　木造、広葉樹材、彩色

〔構造〕　各部を一材から彫出する。裏面平板。板貼り付けか？

〔像容〕　前足部２片、後足部２片、毛部２片。

〔時代〕　江戸時代

177．木造神猿坐像　※178、179と対

〔法量〕　像高　43.1㎝

〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。

〔時代〕　江戸時代

178．木造神猿坐像　※177、179と対

〔法量〕　像高　41.8㎝

〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼

〔構造〕　像全体を一材から彫出。持物別材、亡失。

〔時代〕　江戸時代

179．木造神猿坐像　※177、178と対

〔法量〕　総高　49.7㎝

〔概要〕　一木造、樟材、彩色、彫眼

175

176

177

178

179

180

181

182

〔構造〕　像全体を一木から彫出。持物別材、亡失。
〔時代〕　江戸時代

180．木造神猿坐像
〔法量〕　像高　24.7㎝
〔概要〕　一木造、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。左肩先、左足先を欠失。
〔時代〕　江戸時代

181．木造神猿坐像
〔法量〕　像高　30.7㎝
〔概要〕　一木造、針葉樹材、彩色、彫眼
〔構造〕　頭体根幹部を一材から彫出。背板、右肩先、両足先を別材。右肩先、両足先亡失。
〔銘文〕　背面に墨書あるも不詳。
〔時代〕　江戸時代

182．陶製神猿坐像
〔法量〕　前後二枚型、頭頂欠損。
〔概要〕　陶製、前後二枚型、彩色
〔時代〕　江戸時代

183．石造神猿坐像
〔法量〕　総高　24.3㎝
〔概要〕　石造
〔時代〕　近代

184．石造神猿坐像
〔法量〕　総高　20.5㎝
〔概要〕　石造
〔時代〕　近代

185．石造神猿坐像
〔法量〕　総高　20.0㎝
〔概要〕　石造、彩色
〔時代〕　近代

186．陶製神猿残欠
〔法量〕　最大長　19.8㎝
〔概要〕　陶製、彩色
〔像容〕　頭部２片、烏帽子２片、体部２片
〔時代〕　江戸時代

187．陶製白神猿残欠
〔法量〕　最大長　16.9㎝
〔概要〕　陶製、彩色

183

184

185

186

187

188

〔像容〕　体部２片
〔時代〕　江戸時代

188．木製鼻高面残欠
〔法量〕　最大長　29.2㎝　（現状）
〔概要〕　針葉樹材、彩色
〔時代〕　江戸時代

189．御幣台
〔法量〕　総高　47.7㎝
〔概要〕　木造、菊花飾金具打ち付け
〔時代〕　近代

190．木製鳥居
〔法量〕　未計測
〔銘文〕　①表額墨書「玉取神社」、②柱裏墨書「奉寄進、③柱裏墨書「明治卅二年五月吉日　午年女」
〔時代〕　明治32年（1899）

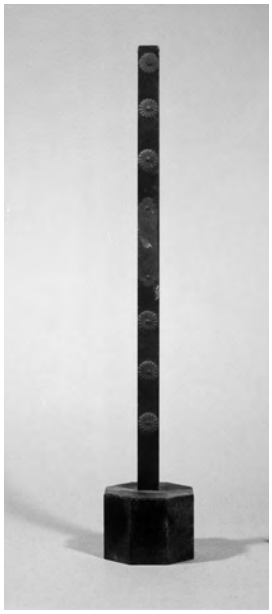
191．仏石（いずれも自然石）五個
三個（倉庫床上に置く）
一個（地上部より石を積み上げた上に立てる。高床の倉庫内に突出して積む）
一個（上段戸棚の中に置く）
〔時代〕　不詳

（境内祠の中）

192．木造弁才天坐像
〔法量〕　高　32.0㎝
〔概要〕　木造、彩色
〔構造〕　十一面化仏欠失
〔時代〕　江戸時代
〔備考〕　祠内に銅製鳥居あり。

193．石造大黒天立像
〔法量〕　高　約46㎝
〔概要〕　石造
〔時代〕　近代

190



189

191

192

193

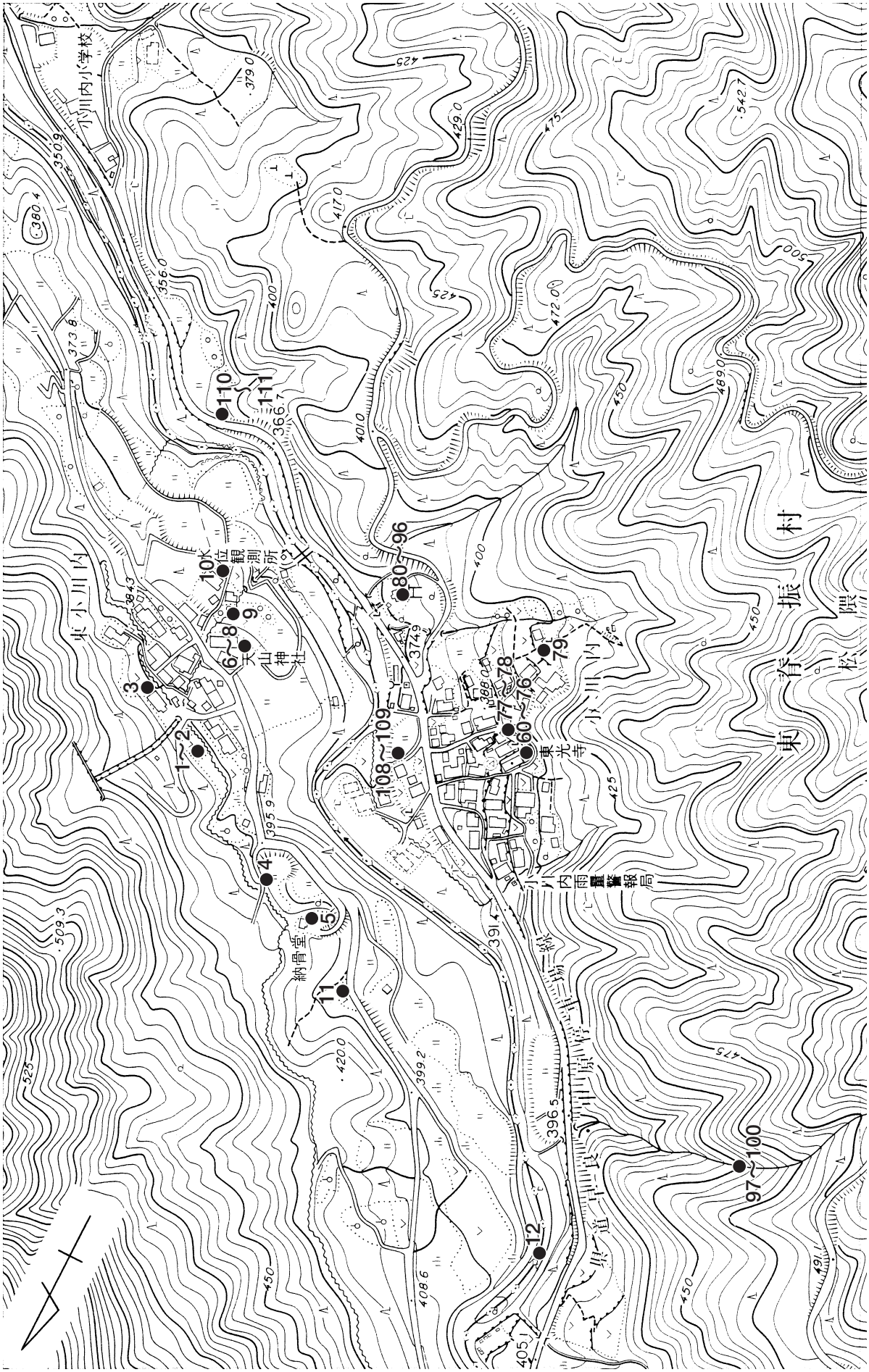


Fig.Ⅷ 2-1　小川内・東小河内の美術工芸品資料分布図（1/5,000）

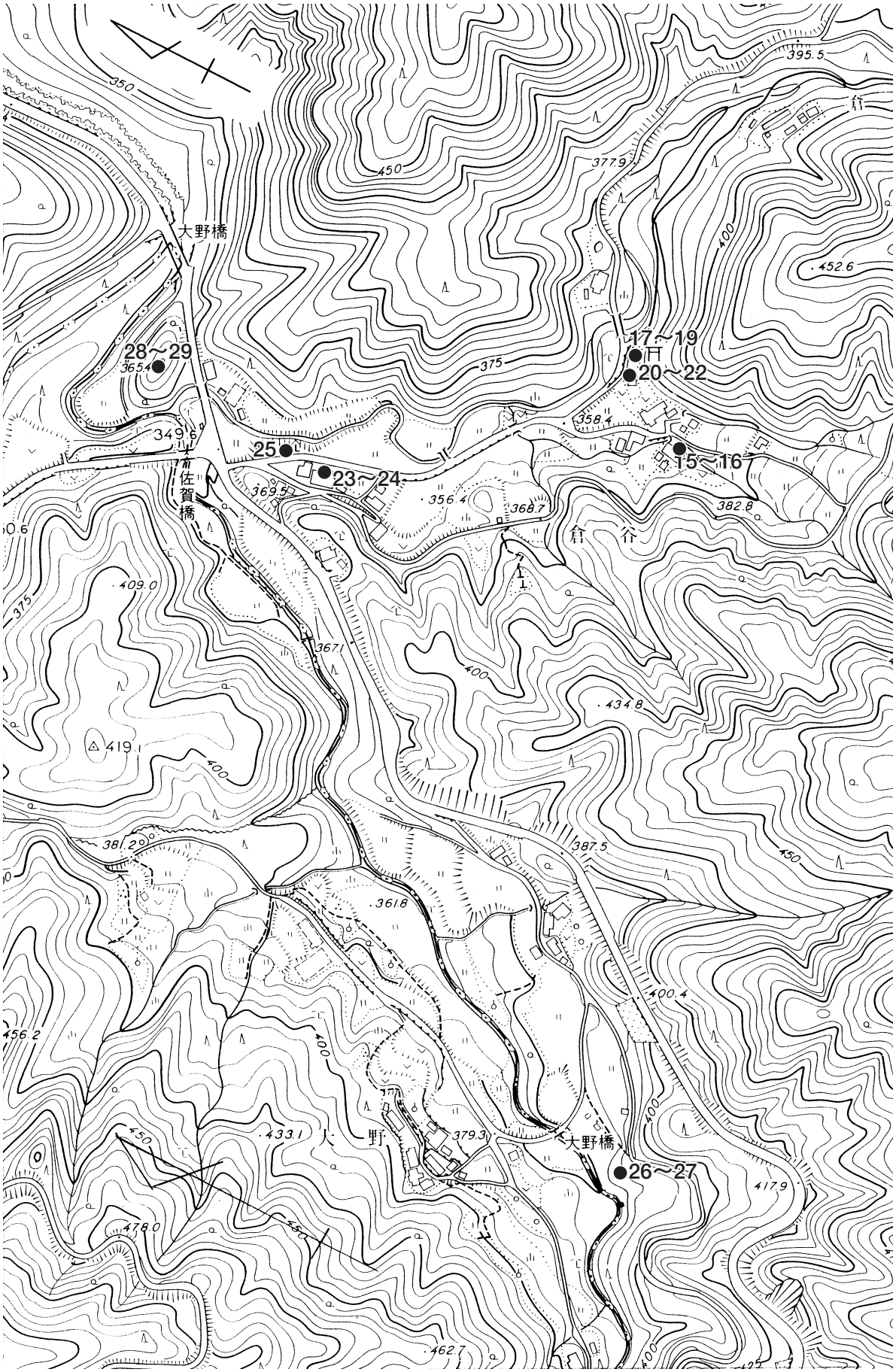


Fig.Ⅷ 2 - 2　大野の美術工芸品資料分布図（1/5,000）

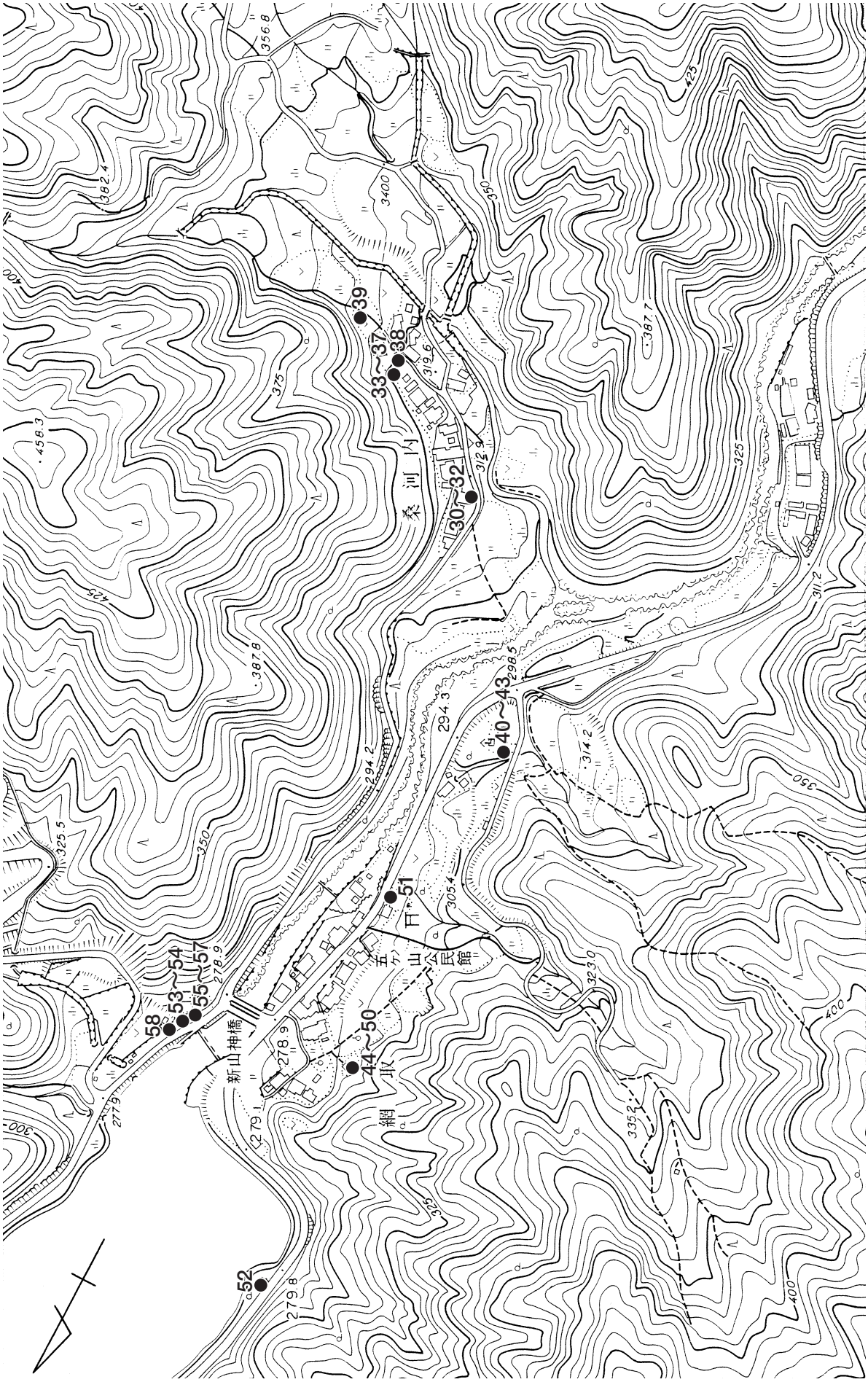


Fig.Ⅷ 2-3　網取・桑河内の美術工芸品資料分布図（1/5,000）

Ⅸ　特論

1　炭焼きと山林業

i．炭焼き

山間部に集落の点在する五ヶ山・小河内地区では、耕地面積が少なく、山林からの生産物で生計が維持されていた。『福岡県地理全誌』の那珂郡五箇村の項には、「凡此村田圃ハ少ケレトモ、平地ノ村里ヨリモ薪炭・木楮ヲ販キ、茶ヲ製シ、山菓ヲ取テ市中ニ輸出ス」とあって、明治初期における「物産」のうち輸出に次のものをあげている。

輸出	蕨	九百把	此代金	六拾四錢
	山芋	百斤	此代金	六拾錢
	筍	五百斤	此代金	壹圓
	薇	百五拾斤	此代金	三圓七拾八錢
	山葵	三千斤	此代金	三拾圓
	栗	壹石五斗	此代金	三圓七拾五錢
	茶	千斤	此代金	五拾六圓七拾錢
	櫨實	四千斤	此代金	五拾圓
	菜種	六石	此代金	三拾圓
	材木	拾五駄	此代金	四圓九拾五錢
	竹	拾束	此代金	壹圓三拾錢
	樫炭	貳千五百俵	此代金	貳百圓
	消炭	千五百俵	此代金	貳拾八圓三拾五錢
	悪炭	貳拾石	此代金	八圓八拾貳錢
		總　計		四百拾九圓八拾九錢

ここに見られるように、木炭の生産高が全体の56％強を占めており、それが山林業の中心をなしていたことを示している。

炭焼きは、保証人を二人立てれば誰にでも許可されたので、ほとんどの農家が副業として行い、専業の業者はまれであった。

個人の持ち山のほか、村の共有林、のちには営林署の官林の木を払い下げてもらい、木炭組合の世話人が区画を分け入札によって山を割り当て、それぞれが伐採した木を寄せて焼いていた。自分の山を持っている人でも、官林の木が安ければ山を売ってでも買っていた。営林署のほうも官林の木を払い下げて炭を焼かせ、雑木を伐ったあとに杉・ヒノキの植林をし、住民に下草刈り・間伐などをさせて国有林に育てた。伐採して炭焼きに用いた広葉樹は、切り株から芽が出るが、三，四年“根ざらえ”（芽を切る）をすると自然に枯れた。ちなみに、1889（明治22）当時の五ヶ山の山林は、官林が856町歩、私有林が242町歩であった（『福岡県市町村合

併史』「明治二十二年町村合併調書」)。

木炭の原木は、樫・クヌギ・松・ツバキ・ネズミモチ、中でも樫炭がもっとも硬く良質で、クヌギも樫に次いでよい炭になったが原木が少なかった。松の炭は鉄工所や鍛冶屋で用いられていた。そのほか雑木として、タブ・ナラ・オモノキ（シデ）・シイ・リョウボウなどがあったが、ナラの炭は火をつけるとパチパチとはじき、オモノキは炭はきれいだが樫よりも柔らかだった。これら広葉樹は、根元から伐っても切り株から芽を出すので、勢いのいい芽だけを残して他をナタで切って育てると、二，三十年たってもとの大きさになっていた（萌芽更新）。

炭を焼く時期は、農繁期と暑い夏場を避け、九月末ごろから翌年の三，四月頃までで、農繁期は自家の田植えが終わると福岡市の五十川あたりに日雇いに出かけていた。

炭焼き窯を築く場所は、湿気の無いところ、岩盤・岩石・砂礫のないところ、炭窯を築く石や窯土の採取に便利なところ、南向きで北風の当たらぬところ、給水に便利なところを選んだ。窯土は一般に粘土と砂の混合物（砂質土壌）が用いられたが、窯の亀裂や崩壊を防ぐためには、結合力の強い粘土と、収縮度の少ない砂を六対四ぐらいの割合で混ぜるのが適当であった。

窯の作り方はそこここによって異なるが、傾斜地を削って作るのが便利であった。基本的な構造は図に示した通りで、先ず地面に奥のほうの広い卵型の窯底を象って土を削り、凹凸のないよう平らによく搗き固め、その外側に窯壁を築く。窯底は普通縦の直径が３ｍ、横の幅広い部分の直径が3.5ｍぐらいで、底が固く水平になるのが窯の良否を決定する条件になる。此の大きさで15kgの俵60～70俵ぐらいの木炭が焼けた。

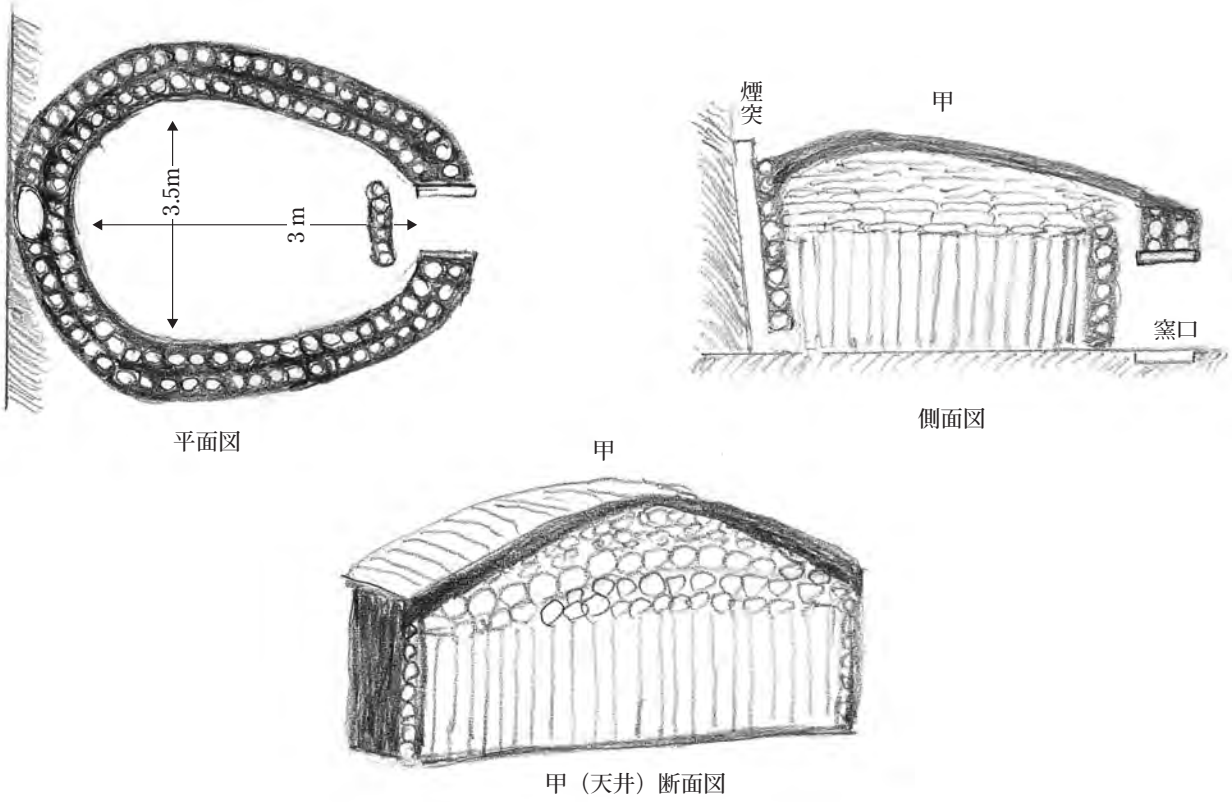


Fig.Ⅸ1-1　炭焼窯の図

窯壁は天井の重量を支えたり、外気の進入を防いで窯内の温度を保つ重要な役目を果たすだけに堅固に作る必要がある。窯底の手前に、縦90㎝、横70㎝ほどの、人が出入りできる程度の窯口の空間を残して、周りに石と粘土を交互に積み上げ、外側からも砂混じりの粘土を叩きつけて固めながら築いていく。窯口には両側に平たいタテ石を立て、上にヨコ石をのせる。鉄の枠を取り付ける場合もある。窯口の50㎝ほど奥に薪の火が上に上がるように石で障壁を作る。五ヶ山では土の加減で窯壁を堅固にするため、外側にもう一列石組みをして粘土で固め窯壁を厚くすることもある。高さは1.5ｍほどで、窯壁の奥には削った斜面に沿って石組みをし、煙突の空間を残す。

窯壁ができて粘土が乾くと、窯底の乾燥を見計らって、奥のほうから樫などの良質の原木を、ウラを下に，モトを上に、高さを揃えて逆さに立て、隙間無く詰め込む。原木はあらかじめ選別して、窯の下と窯口の近くの木は灰になるので手前には火のつきやすい柔らかい木を詰める。原木を詰め終わると、その上に直径10㎝ほどの丸太を横に並べ、間に小枝を詰め込んで山型に盛り上げ、上にムシロをかぶせ土を置いて叩き固める。“甲”と呼び、土は中央の山の部分の厚さ15㎝、両端の厚さ25㎝ぐらいにする。よほど硬く叩き固めないと天井（甲）が崩落する。窯が出来上がり実際に炭を焼くまでには、窯底・窯壁・甲の乾燥するのを待たねばならないので、三週間から一ヵ月ぐらいはかかる。その間にトタン張りの屋根を作る。

窯が出来上がると窯口に薪を入れて点火する。火が焚口の障壁を伝って上の甲木に燃え移り窯の中に広がるのを見計らって、直径５㎝ほどの通風口を残して窯口を石と粘土で塞ぐ。そのあとは煙突から出る煙の温度と色が目安となる。点火後５時間ぐらいたつと、煙の温度が摂氏80度ぐらいになり原木に火がつく。火がついて８時間から９時間たって、煙突の温度が170度から200度ぐらいに上がると通風口を塞いで蒸し焼きにする。大きな窯なら２～３日かかることもある。煙の色は80度ぐらいでは透き通っているが、温度が上がると青くなり、200度を過ぎると見えなくなる。煙の色は朝と夕、湿度の差で違うので、温度計で計るのが最も確かである。温度計の無いときには、マッチの軸を煙突の上に当てて、五つ数えて火がつけば釜の中の温度が200度になっているのを経験的に学んでいた。通風口を密閉して１週間ほど置くと中の火が消えるので窯口を開け、中の炭を取り出す。奥からは樫の堅炭が取れ、手前と下部は灰になっているが、火の残っている雑木は砂や水を掛けて消炭にする。樫炭は三通りあって、大きなのをアラ、直径４㎝ぐらいのをコマル、大きさのまちまちなのをコミという。取り出した炭は種類ごとに15㎏の炭俵に入れる。

炭俵は茅を縄で編んで作った。ダツという。高さ約１ｍ、直径33㎝ほどの円筒形で、アタマ（上）とシリ（下）は木の小枝をはめこんで塞いだ。

木炭は不入道や佐賀県中原町や綾部の仲買人のもとに出荷した。

炭焼き窯は、付近の原木の量にもよるが、一度作った窯で10回から12～13回ぐらい焼いた。

〔話者〕　築地松蔵　伊藤博行

〔参考文献〕　『佐賀の林業』第１巻第２号～第４号　昭和28年４月～６月

ⅱ．林業

五ヶ山・小川内の林業は炭焼きとともに生業の中心をなしているが、『地理全誌』の「物産」の項に見られるように、材木の販売高は木炭の比ではない。このことは、住民の林業への関与が、一部を除いて、官林（国有林）の植林や、雑木の根ざらえ、下草刈りや間伐などの日雇いが中心であったことを物語っている。

この地方の山林は、一般に見られるように、幕藩時代における藩の直轄林と村持入会林野のうちから官有となった林野と、以前からの村持入会林、山林地主の私有林からなっていたが、官有林の占める比率が高かった。

国有林の呼称は1899（明治32）年からで、国が経営・管理をしたが、雑木の茂った山林を払い下げて炭を焼かせたあとに、杉・檜の植林をさせ、根ざらえ・下草刈り・間伐などの造林も村人の日雇いで行わせ、伐採は“山キリサン”と呼ぶ専門業者にまかせて、材木は民間に払い下げたり国の用に供した。

林業を専業とするものをヤマシといったが、私有林を山ごと買い取って、伐採・搬出には山キリサンを雇い、製材した材木を福岡や八幡の市場に売っていた。松材は十条製紙などの製紙会社に売った。ヤマシは山を買うときにあらかじめ石高の見当をつけて買い取り、市場でセリにかけて売った。山林の持ち主は材木の相場を知らないので安く買い取れ、ヤマシにとっては二重の儲けになっていた。五ヶ山にはもとヤマシが二人いたが、のちには四人になった。

山キリさんは、板屋や長崎県の五島から熟練者を雇い、村人がテゴ（下働き）を勤めた。材木の伐採にはザンギリノコを用い、小枝はチュウノで切った。搬出はカンを打ち込んで牛に曳かせて下った。険しいところではソリを用いたり、キンマミチ（木馬道）を作って降ろした。

材木を計る単位は、以前は一尺真四角を一石、一寸真四角を一才といっていたが、今は１m真四角を１リュ―ベと言うようになっている。

〔話者〕　築地松蔵（東小河内）

〔佐々木哲哉〕

Pho.Ⅸ1-1　小川内の炭焼き窯で炭焼中

Pho.Ⅸ1-2
炭焼窯

Pho.Ⅸ1-3
炭焼窯焚口

Pho.Ⅸ1-4
焼いた炭

Pho.Ⅸ1-5・6　一の岳城跡に残る炭焼窯

X　結語

五ヶ山ダムの建設が計画されたのは昭和54（1979）年、そしてダム建設事業が採択されたのは昭和63（1988）年であり、事業採択からしてもすでに20年近い歳月が流れた。ダム建設によって影響を受ける地域は広く、佐賀県神埼郡東脊振村［現吉野ヶ里町］小川内及び福岡県筑紫郡那珂川町五ヶ山（網取・桑河内・東小河内・大野）の全域に及び、そこの66世帯の方々は平成19（2007）年度までにほぼ移転を終わり、現地ではダム建設に向けた附帯工事が進捗している。ダムの完成は平成29（2017）年度末の予定である。

五ヶ山ダムは重力式コンクリートダムで、完成時には堤高102.5ｍ、堤頂長556ｍ、総貯水量4,020万㎥の規模となり、福岡県下最大のダムとなる。これは多目的ダムであって、利水容量と渇水対策容量とを併せ持つものとなる。

福岡県下には大小さまざまなダムという体裁をとるものが30基ほどある。これらの築造にかかる事業主体は、水資源機構［旧水資源開発公団］や農林水産省、福岡県の土木部・農政部、そして福岡市などといった部署であり、それらは洪水調節や水道用水、工業用水、発電用水、灌漑用水などの目的を持って建設されてきた。そして、平成19年現在で、この五ヶ山ダムを含めて４基が建設中及び調査中である。

これらのダム建設に際しては住民移転を伴うものも少なくなかったが、そのことに対して、民俗等を含めた文化財的視点での総合的調査が実施されたものはあまり多くはない。

伊良原ダムに係る『伊良原』でも触れられているが、民俗・歴史等については、日向神、油木、江川、寺内、犬鳴、伊良原の６ヶ所のダム建設に関わる調査がなされ、埋蔵文化財を対象としたものとしては牛頸、犬鳴、福智山の各ダムがある。伊良原ダムも五ヶ山ダムも埋蔵文化財についての調査も行われるので（平成19年段階で両方とも調査に取りかかっている）、これらは犬鳴とともにダム建設に係る文化財の総合調査を実施したものとして位置づけることができよう。

今回の五ヶ山ダムと同じ那珂川水系で、既設の南畑ダム（昭和41年［1966］３月完成）、脊振ダム（昭和52年［1977］３月完工）については、前者が補償家屋11戸、後者は水没家屋２戸とされているものの、それに伴った民俗等の文化財的な調査はなされていない。とくに南畑ダムについては、五ヶ山の中の一集落（道十里）が水没し、いま南畑ダムの南端に近い湖畔に記念碑が建立されていて、関係の10名の方々の芳名を見るが、この集落の在りし日の様相についてダム建設前に調査・記録されることはなかった。

このたびの五ヶ山ダム建設に伴い、その道十里集落にかつて居住していた築地裕さん、築地ナナエさんからも聞き取りを行うことができ、その成果が歴史と民俗の両部門に収録されたことは大きな成果といえよう。

福岡県で、これまでにダム建設に関連して文化財の調査がなされ、報告書が刊行されているものについては下記を参照されたい。

さて、序論でも触れているけれども、五ヶ山ダム建設に先立つ文化財の調査は、埋蔵文化財を除いた自然・歴史・民俗・建造物・美術工芸の５部門を対象として、平成14（2002）年度から開始した。集落が移転する前に、住民の皆さんがまだ五ヶ山と小川内で生活し、あるいは生業を営んでいる間に調査すべきものとして取り組んだのであった。

地元の区長や小組合長ほかの方々の中から何人かの「地元協力者」をお願いし、主にその人たちを介して「五ヶ山ダム関係文化財調査指導委員会」の委員及び調査員が現地へ出向き、聞取り、写真撮影、実測調査、現地踏査などを行った。委員及び調査員の大半の方々は本務の傍らで時間をやり繰りして調査に従事していただくという状況であった。

各部門での調査のうち、ことに建造物・美術工芸の現地調査や歴史・民俗・建造物部門での聞取りは、それぞれのお宅で快く受け入れてくださったことで順調に進めることができた。

担当者としても、なるべく現地に足を運び、ともに調査に携わるよう努力はしたつもりであるが、万全というわけにはいかなかった。

さて、各部門の調査や記録等において、担当者の個人的な感懐かもしれないが、印象深く感じたことのいくつかを記しておきたい。

○　金の採掘……小川内大野や五ヶ山大野で、大正時代と昭和の終戦後に金を採掘しており、坑口がまだ遺存していた。実態の詳細は不明であるが、どのくらいの金が生産されたのだろうか。

○　「小川内の杉」……佐賀県指定天然記念物のこのスギに関して、宮島委員ほかの調査により、同じ小川内の中に同一遺伝子型のスギ「杉谷の大杉」のあることがわかった。胸高周囲4.37ｍのかなり大きなスギである。また、それよりやや小さめではあるが蛤水道の近くにも同一遺伝子型のスギがあった。これらはひとつの「スギ」から挿し木で成長したものである。また同一遺伝子型ではないが、脊振旧登山道や浮岳南方に　もかなり大きなスギの一群のあることがわかった。

○　小川内のキリシタン伝承……小川内の周辺にキリシタンに関わる伝承があるということには少なからず驚いた。「たたり石」など真偽のほどは不明だが、そのような伝承があるということ自体に興　味が尽きない。

○　稚児落しの滝の雨乞い……佐賀県小川内と福岡県東小河内の間にある滝で櫛田神社の「虎頭」を使った雨乞いが行われていたという記録があり、また地元の古老の話にもあったので、櫛田神社に確認したところ、それが収蔵されていた。水源に近い場所での雨乞いということであり、民俗事象としてもきわめて興味あることであった。

○　佐賀弁と福岡弁……佐賀県側の小川内の古老の言葉は佐賀弁であった。一方、福岡県側の五ヶ山の言葉は福岡弁であった。当然といえば当然のことなのかもしれないが、小川内集落　と福岡県側の東小河内集落とは川（那珂川）を挟んで100～200ｍほどの距離しかないのであ　る。その言葉の違いはやはり旧藩時代の国の違い（肥前と筑前）に由来しているのであろう。　言葉の違いのみならず、これまでに双方の集落間の婚姻関係がなかったことなどをも含めて　旧藩時代からの歴史の重みが感じられるところである。

ところで、この五ヶ山ダム関係の文化財調査で得られた成果は、小川内と五ヶ山（網取・桑

河内・東小河内・大野）の集落に長年暮らしてきた生活の証しとして、今回移転していった旧住民の方々が第一義的に享受すべきものであろう。もとより、集落とその周辺の全てについて記録できたわけではなく、限界もあったが、それでもかなりの部分を盛り込むことができたのではないかと考えている。

そして、この調査成果は、自然、歴史、民俗、建造物、美術工芸等の各分野における学術的な研究にも少なからず寄与するであろう。

最終的にこの報告書にまとめることができたのは、委員、調査員の方々の自らの御努力とともに皆さんのさまざまな御指導、御支援、御助力によるところが大きい。そして地元の皆さんの暖かい御協力により調査が進捗したからである。関係の皆さんに深く感謝いたします。

なお、このダムを造る主管課である福岡県河川開発課及び福岡県五ヶ山ダム建設事務所においては、調査に関してさまざまな便宜を図っていただいた。厚く御礼を申し上げる次第である。

そういった関係者の協力のもとに記録されたこの報告書が、小川内と五ヶ山４集落に住んでいた皆さんやその子々孫々の方々にとってふるさとを偲ぶよすがとなれば、調査に携わった者としてこれに過ぎる喜びはない。

■　福岡県　ダム関連報告書

○　日向神ダム　　福岡県八女郡矢部村

・福岡県教育委員会　『矢部村の歴史と民俗　―水没地帯を中心として―　』
〔福岡県文化財調査報告書　第19集〕　1959年（昭和34）３月

○　油木ダム　　福岡県田川郡添田町

・添田町　『津野　福岡県田川郡添田町津野地区民俗資料緊急調査報告書』
1967年（昭和42）３.31

○　江川ダム　　福岡県朝倉市［旧甘木市］

・甘木市教育委員会　『民俗資料緊急調査報告書　江川』　1969年（昭和44）５.１
（編集）江川地区民俗資料緊急調査委員会
〈佐々木哲哉編『九州・沖縄の民俗福岡県編』（大島暁雄・松崎憲三・宮本袈裟雄編『日本民俗調査報告集成』）平成８年（1996）11月30日　三一書房　に再録〉

○　寺内ダム　　福岡県朝倉市［旧甘木市］

・甘木市教育委員会・寺内ダム民俗資料緊急調査委員会
『やのたけ（矢ノ竹）　寺内ダム民俗資料報告書』　1974年（昭和49）３月

○　牛頸ダム　　福岡県大野城市

・福岡県教育委員会　『牛頸窯跡群Ⅰ―大野城市大字牛頸所在窯跡群の調査―』
〈牛頸川治水ダム関係埋蔵文化財調査報告〉
〔福岡県文化財調査報告書　第80集〕　1988年（昭和63）３

・福岡県教育委員会　『牛頸窯跡群Ⅱ―大野城市大字牛頸所在窯跡群の調査―』
〈牛頸川治水ダム関係埋蔵文化財調査報告〉
〔福岡県文化財調査報告書　第89集〕　1989年（平成元）3

○　犬鳴ダム　福岡県宮若市［旧鞍手郡若宮町］
・福岡県教育委員会　『犬鳴　Ⅰ　―福岡県鞍手郡若宮町犬鳴区の調査―　』
〈犬鳴川治水ダム関係文化財調査報告１〉〔福岡県文化財調査報告書　第91集〕
1990年（平成２）3
・福岡県教育委員会　『犬鳴　Ⅱ　―福岡県鞍手郡若宮町犬鳴区の調査―　』
〈犬鳴川治水ダム関係文化財調査報告２〉　〔福岡県文化財調査報告書　第94集〕
1991年（平成３）3
・福岡県教育委員会　『犬鳴　Ⅲ　―福岡県鞍手郡若宮町犬鳴区の調査―　』
〈犬鳴川治水ダム関係文化財調査報告３〉　〔福岡県文化財調査報告書　第100集〕
1992年（平成４）3

○　伊良原ダム　福岡県京都郡みやこ町［旧犀川町］
・福岡県教育委員会『伊良原　―民俗文化財の調査―　』
〈伊良原ダム関係文化財調査報告〉　［県営伊良原ダムで水没する福岡県京都郡犀川町伊良原（いらはら）地域における民俗文化財調査報告］
〔福岡県文化財調査報告書　第143集〕　1999年（平成11）3

○　福智山ダム　福岡県直方市
・福岡県教育委員会　『内ヶ磯窯跡　1　―福知山ダム建設に伴う福岡県直方市大字頓野所在近世窯跡の調査―』
〔福岡県文化財調査報告書　第163集〕　2001年（平成13）3
・福岡県教育委員会　『内ヶ磯窯跡　2　―福知山ダム建設に伴う福岡県直方市大字頓野所在近世窯跡の調査―』
〔福岡県文化財調査報告書　第170集〕　2002年（平成14）3
・福岡県教育委員会　『内ヶ磯窯跡　3　―福知山ダム建設に伴う福岡県直方市大字頓野所在近世窯跡の調査―』
〔福岡県文化財調査報告書　第181集〕　2003年（平成15）3

■　五ヶ山・小川内にかかる関係文献等

五ヶ山や小川内に関する文献について、目に触れたものを中心に列挙しておきたい。
なお、書名・論文名のみで実見していないものも含まれている。

〔自然部門〕

◎　佐藤敬二「垂乳根薬師の大銀杏」　『名勝・天然記念物』
福岡県文化財調査報告書　第23輯　昭和36年（1961）12月

◎　浦田英夫　「脊振山塊中の洪積層」　九州大学教養部地学研究報告第10号
昭和38年（1963）３月

◎　細川隆英監修『脊振・雷山の自然』　福岡県衛生部環境整備局自然保護課
昭和54年（1979）３月

◎　土木学会監査支部編『水のなんでも小事典―飲み水から地球の水まで―』
平成元年（1989）10月20日　　講談社

◎　河西照勝・福田勉・森山昌弘・永田潔文『自然ガイド　脊振を歩く』
平成14年（2002）４月25日　　葦書房

◎　柚原雅樹・祐徳信武　「那珂川上流、五ヶ山地域の金探鉱跡地周辺に認められる早良花崗岩の変質」福岡大学理学集報第35巻　第１号平成17年（2005）３月

◎　川野良信・柚原雅樹　「福岡県五ヶ山周辺に分布する花崗岩類」
佐賀大学文化教育学部研究論文集　第10集　第１号　　平成17年（2005）９月

◎　柚原雅樹・祐徳信武・宇藤千恵・小路泰之
「那珂川上流、五ヶ山地域の金探鉱跡周辺の熱水変質早良花崗岩のヒ素含有量」
福岡大学理学集報第36巻　第１号　　平成18年（2006）３月

◎　柚原雅樹・宇藤千恵・小路泰之・川野良信
「那珂川上流、五ヶ山地域の白亜紀花崗岩類に発達する断裂系」
福岡大学理学集報第36巻　第１号　　平成18年（2006）３月

〔歴史部門〕

◎　栗山賚四郎　『神埼郡郷土誌』　大正３年（1914）２月［昭和49年（1974）３月26日復刻］

◎　川頭芳雄「天台密教の脊振山」
中野幡能編『英彦山と九州の修験道』［五来重監修　山岳宗教史叢書　13］　所収
昭和52年（1977）12月25日　　名著出版

◎　波佐場義隆「脊振山修験の歴史と宗教活動」
中野幡能編『英彦山と九州の修験道』［五来重監修　山岳宗教史叢書　13］　所収
昭和52年（1977）12月25日　　名著出版

◎　東脊振村教育委員会『霊仙寺跡』（東脊振村文化財調査報告書第4集）
昭和55年（1980）３月３日

◎　東脊振村史編さん委員会『東脊振村史』　昭和57年（1982）11月３日

◎　近藤典二『筑紫野の地方史』　昭和59年（1984）７月１日　葦書房

◎　古賀敏朗「塩買峠の国境石」　新郷土　昭和60年７月号［436］（1985）

◎　築地善光「坂本峠の藩境石」　新郷土　昭和61年２月号［443］（1986）
◎　蒲原宏行「脊振山経塚群出土の経筒・経巻」　新郷土　昭和61年10月号［451］（1986）
◎　吉良国光「背振山の所領支配と村落　―筑前国早良郡脇山を中心として―」
九州史学特集号　昭和62年（1987）
◎　吉良国光「筑前早良郡脇山地方における村落の形成過程について―戦国時代を中心にして―」福岡市教育委員会『脇山Ⅱ』［福岡市埋蔵文化財調査報告書第269集］
所収　平成３年（1991）３月
◎　城本武千代「権現山―九千部山―七曲峠の国境石」
『“国境の石”をめぐって　Ⅰ』　栖　第26号　所収　平成７年（1995）５月20日
◎　長　忠生「文書にみる九千部山尾根筋の国境石」
『“国境の石”をめぐって　Ⅱ』　栖　第26号　所収　平成７年（1995）５月20日
◎　入江史子「古絵図を参考に筑前と肥前の境界を歩く」
『“国境の石”をめぐって　Ⅲ』　栖　第26号　所収　平成７年（1995）５月20日
◎　長　忠生「きやぶ北東部の国境石」
『“国境の石”をめぐって　Ⅳ』　栖　第26号　所収　平成７年（1995）５月20日
◎　川崎幹二「那珂川町の国境石―背振山をめぐる国境争い―」
「旧久留米藩・天領日田国境石」福岡県文化財指定記念国境石シンポジウム実行委員会
『国境石シンポジウム』資料　所収　平成10年（1998）10月31日
◎　川崎幹二『那珂川町の歴史探訪』　平成13年（2001）４月10日　海鳥社
◎　秀村選三監修『筑肥国境背振山争論文書』　［地域史資料叢書　第一輯］
平成13年（2001）10月25日　九州大学出版会
◎　那珂川町教育委員会『国境石　那珂川町文化財ハンドブック』平成14年（2002）３月
◎　中西義昌「戦国期筑前南部における領主権力の動向」
『福岡地方史研究』　40　平成14年（2002）７月28日　海鳥社
◎　川崎幹二「肥前・筑前街道を歩いて」　西日本文化391（2003-5）　平成15年（2003）
◎　堀本一繁「背振山の歴史と文化」
『福岡市博物館常設展示室解説』232　平成15年（2003）11月26日～平成16年１月25日

〔民俗部門〕

◎　佐賀県立神埼農業高校郷土研究クラブ『さふり　23』　昭和43年（1968）２月
◎　北九州大学民俗研究会『背振山麓の民俗』
福岡県早良郡早良町内野・脇山地区　昭和44年度調査報告書　昭和45年（1970）２月20日
〈佐々木哲哉編『九州・沖縄の民俗　福岡県編』　（大島暁雄・松崎憲三・宮本袈裟雄編『日本民俗調査報告集成』）　平成８年（1996）11月30日　三一書房　に再録　〉
◎　松谷みよ子『日本の伝説　３』　昭和45年（1970）３月20日　講談社
◎　北九州大学民俗研究会『続・背振山麓の民俗』　昭和46年（1971）２月
◎　市場直次郎『日本の民俗　佐賀』　昭和47年（1972）４月10日　第一法規出版
◎　臼田甚五郎監修　國學院大學説話研究会編『佐賀　百話』昭和47年（1972）６月１日　桜楓社
※　東脊振村小川内の語り手３人の６話を収録。

宗雲ミナ「皿々山」、武広勇「横道孫兵衛（その一）」・「横道孫兵衛（その二）」・「そば食い平太」・「三人片輪」、築地カネ「横道孫兵衛（その三）」

◎　市場直次郎編著『豊国筑紫路の伝説』　昭和48年（1973）８月15日　　第一法規出版

◎　宮地武彦編『佐賀の民話』（日本の民話60）昭和51年（1976）６月30日　　未来社

※　東脊振村小川内の武広勇・武広邦敏氏の語った民話３話を収録

武広勇「そば食い平太」・「三人の片輪者」、武広邦敏「七兵衛と八兵衛」

◎　佐賀県小学校教育研究会国語部会編『佐賀のむかし話』昭和52年（1977）８月１日

※　東脊振村小川内の武広勇氏が話者（畑瀬一夫：再話）として「そば食い平太」を収録

◎　宮地武彦編　［解説：臼田甚五郎］『脊振山麓昔話集　佐賀』（全国昔話資料集成26）

昭和52年（1977）11月30日　　岩崎美術社

※　東脊振村小川内の大石タツ・宗雲ミナ・築地カネ・宗雲増実・武広勇・武広邦敏・杉谷与一氏の語った昔話40話を収録

〔建造物部門〕

◎　福岡県教育委員会『福岡県の民家　緊急調査報告書』　　昭和47年（1972）７月20日

※　［九州大学太田静六教授ほか］　五ヶ山桑河内の鬼塚初長氏宅の図面・写真登載

◎　佐賀県教育委員会『佐賀県の民家』

◎　佐賀県教育委員会『佐賀県の近代和風建築』

〔美術工芸部門〕

◎　千綿春次『小川内の石造文化財』（手書き製本）　　平成９年（1997）３月

◎　福岡県博物館協議会『福岡県の絵馬　第３集　―福岡教育事務所管内篇―』

平成11年（1999）３月

〔総合〕

◎　貝原益軒編　　『筑前国続風土記』　　元禄16年（1703）

◎　加藤一純編　　『筑前国続風土記附録』　　寛政10年（1798）

◎　青柳種信ほか　『筑前国続風土記拾遺』　　安政元年（1854）

◎　『神埼郡郷土誌　全』　　大正３年（1914）２月刊　［昭和49年（1974）３月復刻　名著出版］

◎　『郷土誌　那珂川』　那珂川町教育委員会　　昭和51年（1976）10月30日

◎　東脊振村史編さん委員会『東脊振村史』　　昭和57年（1983）11月

◎　『小川内誌』　東背振村小川内　（編集）小川内誌編纂委員会　昭和60年（1985）２月

〔その他関連文献〕

◎　大木惣右衛門　『肥前古跡縁起』（肥前叢書第1輯）寛文５年（1665）

［昭和48年（1973）12月復刻　青潮社］

◎　森錦洲　『肥前国誌』　明治36年（1903）８月

◎　『早良郡誌　全』　　大正12年（1923）刊　［昭和48年（1973）３月復刻　名著出版］

◎　佐賀県史蹟名勝天然記念物調査会『佐賀県史蹟名勝天然記念物梗概』大正14年（1915）３月

◎　「東脊振の自生の茶」

佐賀県史蹟名勝天然紀念物調査報告　第二輯　　昭和５年（1930）

◎　松尾禎作「吉野室町戦国時代勝尾城及附近史蹟」
佐賀県史蹟名勝天然紀念物調査報告　第四輯　　昭和９年（1934）
◎　久保源六「日本最初の茶樹栽培地」
佐賀県史蹟名勝天然紀念物調査報告　第六輯　　昭和13年（1938）
◎　佐賀県教育委員会『佐賀県の民俗』佐賀県文化財調査報告書第15集昭和40年（1965）12月
◎　小川内小学校・小川内親杉会『小川内観光案内』（ガリ版刷り）　昭和42年（1967）
◎　岡崎　敬「考古学からみた脊振山」　新郷土　昭和42年10月号（1967）
◎　岡崎　敬「考古学からみた脊振山」　茶の起源研究　第５号　　昭和42年（1967）
◎　吉原　勝「小川内キリシタン序論」　昭和43年（1968）７月
◎　武広　勇「秘境小川内　（一）」　新郷土　昭和44年10月号［247］（1969）
◎　武広　勇「秘境小川内　（二）　隠れキリシタン」新郷土　昭和44年11月号［248］（1969）
◎　武広　勇「秘境小川内　（三）」　新郷土　昭和45年１月号［250］（1970）
◎　東脊振村立小川内小学校卒業生後援会一同『風雪百年記念誌』
昭和51年（1976）３月14日
◎　『ひがしせふり村勢要覧』　　昭和51年（1976）12月
◎　真鍋大覚『那珂川の歳時月令』　昭和51年（1976）３月10日　那珂川町教育委員会
◎　真鍋大覚『儺の國の星』　　昭和57年（1982）３月31日
◎　真鍋大覚『儺の國の星拾遺』　　昭和60年（1985）３月30日
◎　藤島正之『随想　那珂川の流域―邪馬台国は山台国か―』昭和55年（1980）７月３日
◎　中島弘二「脊振山麓東脊振村における伝統的環境利用―主体的環境区分をとおして―」
人文地理第38巻第１号　　昭和61年（1986）２月28日
◎　中村琳宥・白濱信之・柴田勝喜・黒木俊弘「肥前修験発掘こぼれ話　（一）～（十）」
新郷土　昭和62年１月号［454］～昭和62年10月号［463］（1987）
◎　佐賀県教育委員会『佐賀県の民謡　―佐賀県民謡緊急調査報告書―』昭和63年（1988）3月
※　［「脊振山・天山とその周辺」の概説あり。脊振山にも触れる。］
◎　井上　優『物語ハイク　北部九州100山120話』西日本新聞社　　平成２年（1990）4月16日
◎　『福岡県文化百選７　水編』　　平成６年（1994）２月26日　　西日本新聞社
※　五ヶ山の「稚児落としの滝」「南畑ダム」の紹介
◎　佐賀県教育委員会『佐賀県の文化財』　佐賀新聞社　　平成６年（1994）３月31日
◎　『福岡県文化百選９　歴史散歩編』　平成８年（1996）７月27日　　西日本新聞社
◎　「五ヶ山の記憶　（冬・春・夏・秋）」　西日本新聞　夕刊記事
平成９年（1997）1/24～1/31（冬：７回）、４/17～４/　（夏：８回）、
7/30～8/　（夏：５回）、11/11～11/　（昭：５回）
◎　福岡県土木部『福岡県のダム事業』　平成14年（2002）３月
◎　観世　広『歴史と文学の散歩みち』　梓書院　　平成16年（2004）８月20日

〔伊崎〕

Ⅺ　資料編

1　文書資料解題

歴史部門の平成14年度から聞き取り調査の中で、小川内の武廣邦敏さん、進藤直文さん、大石久一さん、そして網取の山田善寛さんのお宅で明治～昭和の近代の文書等を所有していることがわかったので、それらについてはリストを作成した（Tab.Ⅺ3-1～4）。武廣邦敏家文書の一部については近代の一山村の様相を知る史料として翻刻することとした（P751～P803）。

また、大野の鬼塚泰介さん、東小河内の築地正輝さんからは書籍や書簡等の寄贈を受けたが、鬼塚さん資料の「五ヶ山区規則」についても翻刻した（P741～P750）。　〔伊﨑〕

1　各家文書概要

○　東脊振村松隈　小川内　武廣邦敏家文書　（614点）

武廣家文書は、昭和10年代より延べ17年間にわたり村議会議員として、また同36～40年には東脊振村長をも務めた先代の勇氏（明治32年生れ）が収集した史料群を当代の邦敏氏が保管していたものが中心となっている。

これらは『小川内誌』（昭和60年刊）執筆の参考資料として収集されたものがその大部分を占める。従って、史料の内容も多岐にわたり、明治・大正・昭和戦前期の行政史料、とくに村議会議案関連の史料が多数含まれている。また当時の保健衛生事情をかいま見ることができる「種痘人別帳」や葬送関連の史料もみられる。勇氏は戦後も引き続き村の要職にあり、この間の日誌なども伝存している。

近世史料としては、文化元年（1830）、来迎寺（下妻郡水田庄）の住職・寿山の隠居寺として当村の東光寺が選定されたことに関する「覚」があり、現史料群の中では最も古い。

これらの史料群は『小川内誌』編纂の経緯だけでなく、村の有力者としての県政・村政等への関わり合いを理解するのに適した史料群である。

〔翻刻資料〕

1　「大正十五年四月五日　東脊振村農会」　〔整理番号C-27〕
2　「昭和五年度　小川内区事務報告」　〔整理番号A-62〕
3　「昭和五年度　区費決算報告　〔整理番号A-70〕
4-1　「昭和五年二月以降収入及預リ金控帳　小川内区」　〔整理番号A-53-2-2②〕
4-2　「昭和六年度区当座帳　〔整理番号A-53-2-2①〕
5　「小川内区現在戸数控　小川内区　昭和五年～昭和八年　〔整理番号A-20〕
6　「区長日誌　昭和六年一月一日～昭和十0年　〔整理番号B-58〕
7　「昭和七年度小川内区歳出歳入決算書　〔整理番号A-53-2-14〕
8　「製炭農事実行組合規約　〔整理番号B-29〕

○　**東脊振村松隈　小川内　進藤直文家文書**　（374点）

進藤家文書は、進藤平治氏（弘化２年生れ）とその長男の岡市氏（明治11年生れ）に関する史料を中心とする。平治氏は東脊振村成立（明治22年）直後に村会議員となって２期６年奉職していたので、同村村議案などの村政関係史料が残されている。氏は「世外」と号し、書道や三味線をも嗜む多芸な人物であったようで、揮毫類（軸装のもの、未装のものあり）や三味線の楽譜と思われる備忘が多数見られる。岡市氏もまた大正期には当地の区長を務め、その後村会議員となり、小川内里道の改良や木炭組合の創立などに尽力したという（『小川内誌』）。「木炭組合出資券（株券）」などの証券類や、村政関係の史料が確認できる。

その他、当地婦人会（処女会）の「料理講習の栞」なども見られ、明治・大正・昭和戦前期に及ぶ当地の村政や生活習慣の把握に寄与する史料群である。　〔吉田洋一〕

○　**東脊振村松隈　小川内　大石久一家文書**　（316点＋75点＝391点）

大石家文書は当初は316点であった。これは明治～昭和期の教科書、書簡などを主とした史料群であり、多くは段ボール箱と衣装箱で保管されていた史料であったが、襖の下張りに使用されていたものもある。教科書の刊本・写本、和歌等の手習い、土地関係証文、写真、賞状、書簡類があり、総数220余点のうち書簡類が最も多い。襖の下張りは３枚の襖に張られていたものであり、教科書、借用証文、暦などを一丁毎に貼付したものである。

下張り史料以外では土地関係証文や書簡類などの私的な文書が大半であり、計24点の写真（明治期～昭和戦前期か）も確認された。

後日、75点の史料が追加され、その史料群は江戸時代末期の地方文書と近代の村政史料に大別される。地方文書には御定銀上納、出稼ぎの百姓滞在に関する覚、船荷物の覚、借用証文など、近代の村政史料には明治30年代から昭和10年代までの小川内村議会関係書類を一括で綴ったものがあり、村議会の変遷を把握するのに適している。　〔本田佳奈〕

○　**那珂川町五ヶ山　網取　山田善寛家文書**　（180点）

山田（善）家文書は木箱（２点）と紙袋に納められていたが、一つの木箱の蓋には安政５年と記されている。明治～昭和戦前期に同家の当主であった山田善八氏関連資料を中心とする。内容は証文類（金銭・米借用証及び受取証、永代売渡証文、領収書、借用書など）が大部分を占める（約150点）。その中でも天保14年（1843）６月付けの「永代売渡証文」が最も古く（B-2-7）、弘化３年（1846）～慶応元年（1865）までの借用証文類が確認されている。

近代史料は、明治０年代～大正年間にかけての証文類のほか、子供のノートや「愛馬進軍歌」（C-27）、「國民進軍歌」（C-29）など備忘類が確認された（約30点）。

当地の産業に関わるものとして、茶業組合の報告書や「櫨実摘取願」、「炭製造業鑑札」などがあり、また「職業之儀ニ付」として大鋸職の届、あるいは「自家用濁酒・焼酎免許証」といったものもあり、当地の産業・生活の一端を伺うことができる。

〔吉田洋一〕

2　武廣邦敏家文書解題

1.「大正十五年四月五日　東脊振村農会」　〔整理番号 C-27〕

東脊振村農会の農事実行組合長会議において配られた資料である。種籾と肥料の共同購入の際の品種、価格、施肥量目安、肥料の配合量の目安などを分かりやすく記している。村農会とは農協の前身である。佐賀県農会は1892年（明治25）、1,000名の会員をもって設立し、傘下に市町村農会が作られた。また農事実行組合は全国的には1932年（昭和７）以降に従来の農家小組合と事業別（養鶏・出荷・採種などの特定事業）農家小組合、養蚕組合が整理統合された際の新名称である。すでに佐賀では農家小組合を実行組合と呼び、共同作業や農事視察、共同購入、納税奨励などの多様な活動を行っていたようだ（註１）。

「二、大正十五年度稲種籾申込ノ件」の項目では、５つの品種名が挙がっている。そのうち３種は「神力」とある。神力は1877年（明治10）に兵庫県で発見された。佐賀には、1902年（明治35）に初めて種子がもたらされた。品種改良の結果、明治末には中生神力、神力１号、神力２号が誕生した（註２）。なお「晩７号」という品種名はない。おそらく晩生品種の通称だろう。これら５品種の特性を調べてみると下記のTab.Ⅺ１-２-１になる。Tab.Ⅺ１-２-２は現在の九州地方で作付け面積の多い粳（うるち）米と糯（もち）米である（註３）。この２つの表を比べてみると、当時の五ヶ山の田植え時期は現代の平均的なそれに比べて１ヵ月ほど遅かったことがわかる。ことに晩生の神力２号の出穂期（穂が出てくる時期）は９月12日、神力糯のそれは９月16～18日ごろである。昔は９月15～18日が出穂のぎりぎりのラインだった。これを過ぎれば気温が低下するため、登熟（しだいに発育・肥大し、炭水化物やタンパク質が集積されること）が悪く、籾が太く実らずに低収となる。神力２号と神力糯は、かなりの晩生品種だった。したがってこれら晩生品種は、気温や水温が低く日照時間の少ない谷筋に作付けし、中生品種の中生神力と具味糯は、平坦地に作付けしたと考えられる。そして稈長（かんちょう）（ワラの部分になる茎の長さ）・穂長（穂の部分の長さ）・千粒重（せんりゅうじゅう）（1000粒分の重さ）を見てみると、モチは現在のヒヨクモチのほうが断然に稈長が短いが、ウルチはそれほど差がない。ただし穂長は長い。昔の品種は今に比べて稈長・穂長が長く、風の抵抗が大きく倒れやすかった。

「三、大正十五年度稲第一期肥料共同購入ノ件」の項目によると、共同購入予定の肥料は大豆粕をはじめ13種だった。ちなみに佐賀県農会が行なった共同購入の第一回入札は1907年（明治40）である。このとき入札にかかったのは配合肥料と過燐酸石灰1,500俵だった（佐賀県史下巻、巻末年表より）。

史料２頁目には肥料の配合表がある。第１例では６種類の肥料（土堆肥・大豆粕・鰛〆粕・過燐酸石灰・硫酸加里・石灰）の配合分量が記されている。三要素成分量として窒素・燐酸・加里が挙げられているが、このうちもっとも稲の育成に影響を与えるのが窒素である。第１例での窒素総量は2,502貫となるが、土壌中にこれ以上窒素が増えると生育がオーバーペース（栄養過多のため茎数が増え、稈長が伸び過ぎること）となり、稲が倒れたり登熟歩合が低下してしまう。一見するとただの配合例に過ぎないが、実際は施用量の目安となる大切な表だったことがわかる。

種　類	早晩型	品種名	田植え	出穂にかかる日数	出　穂	成熟にかかる日数	成　熟	稈　長	穂　長	千粒重
ウルチ	中生	中生神力	7/1	63	9/1	50	10/20	75	22.0	20.0
	晩生	晩７号								
	晩生	神力２号		74	9/12		10/31	87	20.0	26.0
モチ	中生	具味糯		64	9/2		10/21	87	21.0	22.0
	晩生	神力糯		77～79	9/16～18		11/4～6	86～97	20.0	20～22

Catalouge of Rice Germplasm in kyushu university, p20-63.

Tab.Ⅺ1-2-1　「二、大正十五年度種籾申込ノ件」の稲の品種

種　類	早晩型	品種名	田植え	出穂にかかる日数	出　穂	成熟にかかる日数	成　熟	稈　長	穂　長	千粒重
ウルチ	中生	ヒノヒカリ	6/1	69	8/28	44	10/10	88	19.6	22.2
モチ	晩生	ヒヨクモチ		78	9/6	27	10/3	69	19.1	21.5

「水陸稲・麦類・大豆奨励品種特性表」p124～127

Tab.Ⅺ1-2-2　現在九州地方で作付け面積の多い粳米と糯米

「三、肥料成分一覧表」では22種類の肥料の三要素成分量と速・緩効性について記している。ここには綿実油粕や鰛粕などの購入肥料のほか、下肥や厩肥といった自家生産肥料（手間肥）も項目に上がっている。「肥料市状通報」によれば、綿実油は単価5.6円、鰛〆粕は10.5円という高価な肥料である。各戸の経済事情に見合う肥料をより効果的に利用できるようにという配慮があったのだろう。肥料名にある蚕渣（さんさ）とは蚕の糞・籾殻・桑葉のくず・脱穀殻などの混合肥料である。大豆・綿実・菜種など油脂の多い実を搾った粕は、窒素肥料として用いられた。煙草中骨灰の骨灰とは動物骨から膠（にかわ）（ゼラチン）などを除去した後、焼いてできる白色粉末である。これは燐酸肥料として用いられた。なお表中の下部に見える藁灰・木灰・野草（新）・稲藁・米糠は、田植え前の鋤き返しの際に水田へ施用したと考えられる。

肥料には多くの種類がありその効能も様々だった。肥料の難解な化学的効能を区民へ分かりやすく説き、施用方法を指導し、多収穫へ導くことが、実行組合長の大切な役割だったことが伺える。

註

1　『佐賀県史』下巻. 1968年　産業と生活・巻末年表参照

2　Kyushu University Rice Database
（http://w3.grt.kyushu-u.ac.jp/Rice_Kyushu/rice-kyushu/htdocs/main/html）

3　農林水産省生産局「水陸稲・麦類・大豆奨励品種特性表」　2005年12月.　124～127
Institute of Genetic Resources Faculty of Agriculture Kyushu University.
CATALOUGE OF RICE GERMPLASM IN KYUSHU UNIVERSITY. 1994年　20～63

※　なお、稲と肥料の品種・性質については、福岡県農業総合試験場農産部の尾形武文氏に御教示いただいた。

２.「昭和五年度　小川内区事務報告」　〔整理番号 A-62〕

第16代区長を務めた故武廣金作氏の手による業務日誌。内容は税金や寄付金の徴収、各種産業組合の活動、小川内区の年中行事や学事暦、道路・山林管理の公役等について。日誌の文体は簡潔だが、いつ、どこで、誰が（或いはどれだけの人数が）、何をどのように行ったのか、といった事項が漏れなく記されており、昭和５年当時の小川内区のありさまがよく伝わってくる。なお括弧内は日誌の日付である。

１．税金と寄付

日誌の最後の頁によると、昭和五年度の小川内区の納税金額は1,770円43銭である。これを３月から12月までの９回、約１ヶ月おきに徴収している。区長が全37戸を回って集金し、翌日に役場へ納税するのが通例だったようだ。税金の種類は前・後期に分けた県税・地租付加税・同村付加税・特別地税・県税雑種税などである。特別戸数資力調査によれば、当時の小川内区の資産価値は、自作田30円、小作田15円、畑自作10円、畑小作５円、貸付田15円、山林１円、養蚕１角２円だった（5/6・5/15）。寄付金の徴収については、赤十字と英彦山神社奉幣殿修築の寄付、伊豆地方震災義捐金（4/6・11/30）があった。震災義捐金では１戸あたり10銭を寄付している。

２．組織のありさま

小川内区は東脊振産業組合、東脊振村農会、畜産組合、中川養魚組合などの生産組合に加入していた（2/22・6/26・7/6・7/27・10/10）。佐賀県山林会主催の大会では、区代表１名が木炭を出品した（5/3）。東脊振村の区長例会は月１回、区集会は年に７回開かれた。区集会は区長例会の翌日が通例だったようだ。区内には、組合長・組合長補夫・人夫長・早使（連絡係）などの役職があり、各種組合活動や区の運営に携わった。投票によって選ばれ、給料も支給された（2/14）。

３．寺社

３月10日、大山祇神社の社殿修理を行った。境内の大木が折れて社殿を一部壊してしまったためである。同月20日には、神社用の杉苗1,530本を26人で植えた。７月30日には海童神社も修理した。お盆のころになると、東光寺への香典が各戸から集金された（３円・8/16）。東脊振村の村社である籾神社では、例祭と新嘗祭が執り行われた（10/11・11/23）。大山祇神社でも例祭があった（12/3）。

４．学校

３月15日、小川内校の青木敏美校長の祖父逝去の電報が届き、区民を代表して２名が唐津での葬儀に出席した。旅費は区有金から出され、全生徒からの仏前料も届けられた（3/15）。校長が地区でいかに大きな存在であったかが察せられる。ちなみに青木校長はこの後昭和９年まで在職。剣道２段の腕前で剣道部を鍛えた。小川内剣道部は東脊振村の代表として活躍した。青木氏が作った「小川内新聞」は、戦地にある小川内の青年たちへも届けられた（昭和８年3/31～4/3・『東脊振村誌』92頁）。卒業証書授与式、天長節（昭和天皇の誕生日）、五ヶ山校併合運動会、教育勅語奉載４周年記念式、明治節拝賀式（明治天皇の誕生日）などの年行事があった（3/29・4/29・9/30・10/30・11/3）。学校の屋根棟替えは海童神社の修理と一緒に行

われた（7/30）。６月５日に小川内校寄付金の通達が届き、７日に徴収した（この特別指定寄付金については733頁の６-４-２）にて後述）。７月には東脊振尋常高等小学校の改築工事もあった。年末に学事視察があり、佐賀県視学橋本五郎氏、東脊振校長江口氏、松隈助役が訪れた（12/8）。

５．戦局をあらわすもの

９月の末、宗雲忠臣氏の入隊を祝う送別会が開かれた。翌日は全37戸から一人ずつ出て佐賀橋まで宗雲氏を見送った。しかし、２ヶ月ほどで退営となり、再び区民一同で歓迎し、大山祇神社にて歓迎会が開かれた（9/29・9/30・11/25）。

６．農業・林業・そのほかの生業等

春になると茅床の火入れ、共有林分と大山祇神社棟替分の杉苗が植えられた。大山祇神社分は1,530本だった（3/20・27）。６月には佐賀営林署から秣払い下げの税金納付通達があった。

７月17日夜、小川内区は激しい台風に見舞われた。翌18日には「暴風ノタメ当区の被害甚大」と記されている。寺社と学校は無事だったが、竹ノ屋敷の結城家が倒壊した。県社会事業協会から結城家に12円下附され、代議士栗山氏、村長、助役が結城家を見舞った（8/22・8/24）。また、この風害で損木となった東小川内の春ノ山の松木２本は５円と７円で、寺ノ上山の杉と松木はそれぞれ３円で売却処分された（8/20）。

８月20日に区共有林の杉の手入れと茅払いを行った。９月12日に営林署の助手が茅払いの出張。10月になると共有林のハマグリ権藤の杉植林にて、根払い（根元の雑草・雑木を刈ること）。同日、家を新築する宗雲倉吉氏に杉一本（５尺１寸周り）が寄贈された。倉吉氏は区へ清酒５升を納めた（10/8）。

７．道の手入れ

春と秋に集中して修繕作業が行われた。春は脊振県道掃除と小川内区の里道修理が行われた（4/19）。５月13日の区集会では、大谷里道の修理を業者に委託することに決定した。費用は100円。道の長さ10間（18m）、石垣の高さが２間半（4.5m）、道幅９尺（2.7m）。落成期限は植え付け（田植え）前まで。15年間保険をかけ、完成後に事業金を支払うこととした。森田官市・多良七太夫氏が工事を請負い、５月24日に完成した。工事途中の20日に春季小川内区里道修理が行われた。７月28日、一本杉旧道の道切りに７人出ている。道切りとは村境に注連縄を張ることで、小川内にはこういった習俗があったようだ。

秋は修理箇所が多い。台風が原因だろうか。この年の刈り入れ時期が大正15年と同じ10月中旬であったとすれば（724頁 Tab.Ⅺ1-2-1参照）、おそらくその前に大掛かりな修繕をおこなったのだろう。まず９月19日の前川の飛石掛けを皮切りに、21日の佐賀橋～豆野間は大野地区と小川内地区（秋季里道修理）で一本杉旧道の水害破損箇所を修理。10月２日には、豆野～大谷原間。先回の台風での洪水のことと思われるが「洪水のため道路が特別に損じ」とある。土砂がだいぶ道に入り込んでいるため、荷馬車で土を運んでいる。区内で荷を運べる馬を持つ２名が雇われた。10月３～４日は大谷～竹之屋敷間で、荷馬車を使って土出し作業だった。この日、別所の臼杵酒造太郎氏から清酒３升の寄付があった。前川では「朝鮮田吾作君自発的ニ出役ス」とある。本来は区役に出る義務はないため、特記したようだ。彼の名は10月２日の道修理の記事にも「田吾作君二三木氏奉仕下サル」とある。この日は普段よりも出足が少なかった。

慰労として何がしか進呈したようだ。

８．そのほか

家屋税調査委員選挙（4/10）、異動地調査のため香月・北村氏出張（4/22）、清潔検査大掃除（4/28）、種痘に関する通達（5/3）、秩父宮殿下を目田［達］原にて奉迎（8/21）、神埼署北村警部補、香田巡査部長、舩津巡査巡視のため出張（9/19）。

３．「昭和五年度　区費決算報告」　〔整理番号 A-70〕

昭和５年度の区費決算。区長日誌に見られる各役職の給料、寺社行事、公役経費などの詳細が明らかになる。分類すると以下のとおりである。

１．税金

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
		4.750	昭和５年度納税賞与金半額分

２．各役職の給料

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
		50.000	昭和５年度区長給料
		9.600	組合長給料４人分
		15.000	昭和５年度支夫給料
		2.500	消防長および役員俸給１ヶ年分
		2.400	寺世話給料
		11.650	昭和５年度330日に対する人夫長給料
		17.350	昭和５年度特別普通区役および内夫日当

３．寺社行事

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
8	16	3.000	寺崎龍好氏へ贈る御仏前

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
12	24	1.640	大師講雑費
		3.100	海童神社例祭雑費

４．学校行事

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
5	15	0.400	学校屋根棟修理の麦藁代
7	30	4.625	学校修理費村費支出金。区費計算後の収入金

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
10	15	5.140	五箇山小川内連合運動会来賓接待費用
11	3	2.100	明治節拝賀式御神酒代

５－２．公役の修理費用

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
		51.750	昭和５年度区役出不足金総高

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
3	10	2.590	山祇神社神殿修理雑費
3	20	0.540	山祇神社屋根棟替雑費
7	28	5.630	海童神社学校屋根修理雑費
		10.800	昭和５年度里道修理荷馬車４日に対する賃金

５－２．公役慰労・祝賀会

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
2	14	1.300	消防初出式祝い酒肴料および雑費
8	16	2.300	小川内消防点検慰労酒肴代
8	20	6.262	共有林杉茅払慰労酒代
9	19	5.820	前川飛石掛慰労酒及肴代
10	3	0.500	里道修理の折り臼杵酒造太郎氏寄付酒飲酒の折の肴代
11	25	2.000	宗雲忠臣君退営歓迎会酒代

６．官吏・代議士出張

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
2	20	1.000	佐賀営林署成富氏宿泊謝礼

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
2	20	1.990	佐賀営林署成富氏宿泊雑費
8	25	12.030	栗山代議士招待人夫及び宿礼
9	19	7.100	神埼署勤務警部補北村氏巡査部長香田氏船津巡査巡回宿泊雑費
12	8	7.180	橋本県視学、松隈助役、江口校長視察出張宿泊雑費

７．山林

【収入】

月	日	金額(円)	ことがら
4	19	5.000	山祇神社樫枯木、杉谷嘉六氏へ売り渡し代金
8		3.000	小川内共有林風害損木、売り払い代杉谷嘉六氏分
8	10	5.000	小川内区共有林風害損木売り払い代金宗雲倉吉氏分
8	20	7.000	小川内区共有林売り払い代金西村友吉氏分

８．そのほか

【支出】

月	日	金額(円)	ことがら
5	8	0.200	秣払い下げ願書証券印紙代
6	12	0.850	秣払い下げ納金佐賀行き雑費
12	25	1.290	総会会計筆紙代及び朱硯石代
5	8	0.200	区用筆紙代
		0.350	消防提灯張替え料　ただし１張代
10	10	1.550	南畑村長および組合長打ち合わせの雑費

Tab.Ⅺ 1-2-3　昭和５年度　区費決算報告の内容分類

４－１.「昭和五年二月以降収入及び預リ金控帳　小川内区」　〔整理番号Ａ-53-２-２-②〕

昭和５年２月20日から昭和９年１月４日までの区収入と預かり金（宿泊料金・屋根棟替え修理の麦藁代・損木売却金・農林省交付金・大会遅刻料など）の書き上げである。小川内区事務報告（Ａ-62）の昭和５年10月８日によると、区は宗雲倉吉氏宅の新築に際して胴回り５尺１寸（約153㎝）の杉一本を贈った。これに対し宗雲氏は区へ清酒５升を寄贈した。そして「都合上定期総会迄右清酒ハ区長預リ置ク」とある。しかしこの控帳を見てみると、「左ノ人名ヲ以テ右清酒五升ヲ壱升宛預リ置ク」とあり、実際は５人で保管したことが分かる。卵１個がおよそ４銭、清酒１升はおよそ１円５銭の時代である（４-２.「昭和六年度当座帳」Tab.Ⅺ１-２-５参照）。１人で一升瓶５本を預かるのは少々荷が重かったのだろうか。また昭和８年２月19日には「経済更生区民大会ノ遅刻料」とあり遅刻者３名から５銭ずつ取っている。なかなか時間に厳しかったようだ。

宿泊謝礼金などを受け取ったり、誰かにお金を包む際には必ず「○×氏立会いの上金作預かり」「○×氏立会いの上包金」と書かれている（昭和５年２/20・５/７・昭和６年11/30など）。これも区費用の透明性を図るためだろう。これらはすべて小さな記載事項であるが、区長日誌や区収支決算書には記載されない日常の金銭の動きを細やかに記している。

４－２.「昭和６年度区当座帳」　〔整理番号 Ａ-53-２-２①〕

表紙は昭和６年度となっているが、実際には昭和５年２月14日から昭和８年４月22日までの当座帳である。年中行事・区役・役人出張等の際に必要な品目を誰がどれ用意したのか、その数量と金額が書き上げられている。

昭和５年度分の書上げをTab.Ⅺ１-２-４にまとめてみた。これを見ていくと人名欄には18名の区民の氏名、そして発電所と三橋店が記されている。ここでは単に「○×」と氏名を書くほかに、「○×立替」「○×出し」「○×より」「○×行き」「○×出品」といった様々な表記方法がされている。その他記載事項欄によると「共有金より支払う（3/20）」「村費より支出す（7/30）」といった記載もあり、一時的に現金を立替え、後日返金された場合もあったようだ。しかし当座帳に書き付けられたすべての金額がどのような形で後日返金されたのかについては、この史料の限りでは明らかではない。

武廣金作区長は、28円61銭５厘もの大金を負担している（異動地調査での区役給料３円10銭と「金作取前５円69銭」は含まず）。ついで三橋店が16円14銭（8/20の区有林茅払いの折三橋店における飲食代、11/3の「清酒１升三橋店より購入」、異動地調査の際の諸費４円92銭は含まず）、発電所が11円20銭負担している（異動地調査の際の諸費４円92銭は含まず）。この他に負担額１円未満の区民は８名、１円以上５円未満が８名、５円以上10円未満が１名、10円以上が３名であった。また区役の慰労会や役人接待では、清酒１升とあげまき（揚巻貝）缶詰を１つ用意するのが定番だったことがわかる。役人出張の接待では、山芋・魚（あるいは鶏）・卵が必ず用意され、時に竹輪・こんにゃく・蔬菜類が加わることもあった。朝日、敷島といった煙草も何箱か用意した。

月	日	できごと	品目	数量	金額(円)	人名	合計(円)	その他記載事項
2	14	消防出初式の祝い酒。旧正月16日	清酒	1升	2.110	三橋店	2.380	「消防夫一同にて飲食す」
			あげまき	1缶	0.270			
2	20	佐賀営林署より成富氏の宿泊雑費	茶菓子	—	—	発電所勇使	0.480	
			竹輪	4本	—			
			清酒	5合	—			
			山芋	90目	0.120	金作出し		
			鯉	110目	0.280	寅吉出し		
			卵	2個	0.080			
3	10	山祇神社修理のおり御神酒および材料	清酒	1升	1.050	三橋店	2.590	
			一丈たる木	2本	0.300	三橋元松		
			一丈看板	8枚	0.800			
			大六寸釘	130目	0.190	杉谷儀一		
			四寸釘	—	0.15ずつ	築地乙吉		
			かすがい	2本	0.100			
3	20	山祇神社屋根棟葺諸雑費及出品者人名	ハナワ（端縄）	4斤	0.240	大坪広吉	0.240	
			竹	1把	—	杉谷兵太郎		
3	20	区有林杉苗数量及び人名価格	杉苗2年生	550本	3.850	築地音吉	11.060	「共有金より支払う」
			杉苗2年生	1030本	7.210	宗雲巳之助出し		
4	21	異動地調査出張香月氏外1名 21日夕食より27日昼食迄の雑費	卵	2個	0.080	金作	1.100	
			鯖	2尾	0.380			
			卵	4個	0.160			
			山芋	1斤	0.200			
			竹輪･天ぷら･こんにゃく	—	0.280			
4	21		清酒	1升	1.100	発電所	1.100	
4	23		茶菓子	15個	0.200		0.200	「〆て2円40銭以上発電所」
4	25		清酒	1升	1.100		1.100	
4	21		あげまき	1缶	0.270	三橋店	0.270	
4	22		シカ	1把	0.050	武廣寅吉	0.050	
5	6	異動地調査香月北村氏出張 6日の夕食より7日の昼食迄の雑費	清酒	1升	1.100	三橋店	1.1	
			生鯨	1斤	0.260	武廣金作出し	0.420	「〆1円42銭」
			竹輪	2本	0.080			
			卵	2個	0.080			
5	8	秣払い下げ願書	証券印紙代	—	0.200	金作立替	0.300	
			半紙	1帖	0.100			
5	21		罫紙	1帖	0.100	金作立替	0.100	
5	18	大谷里道修理請負人昼食	昼食	4人	—	金作賄	—	
6	12	秣払い下げ金納金のため佐賀行旅費	汽車及自動車代	—	0.850	金作立替	0.850	
7	28	海童神社及学校屋根修理ノ釘代	大6寸	100目	0.080	金作替し	2.050	
			杉皮代	10坪代	1.200	西村友吉出し		「坪12銭」
			一間半杉看板	10枚	0.700	三橋元松出し		「1枚7銭」
7	30	学校修理材料及び代価	杉背板	34枚	2.340	三橋元松出し	12.380	「（杉板）一枚に付7銭」「修理費本村々費より支出す」
			杉皮	17坪	2.040	西村友吉出し		
			3寸釘	100目	0.150	金作替し		
			大5寸釘	15本	0.050	井上伊三郎出し		
			人夫賃金	6人分	7.800			
8	16	小川内消防点検慰労酒代	清酒	2升	2.100	三橋店より(使虎彦)	2.100	
8	16	寺崎和尚へ御仏前	仏前料	—	3.000	金作替し	3.000	「西村喜三氏立会いの上封す」
8	20	区有林茅払いの折三橋店における飲食代	大口魚	490匁	0.882		6.262	
			菓子	—	2.000			
			黒砂糖	—	0.180			
			醤油	—	0.200			
			清酒	3升	3.000			
8	25	栗山代議士接待のためタバコ代帳落	敷島（煙草）	6箱	1.200	発電所より	1.200	
9	19	神埼署勤務警部補北村氏　巡査部長香田氏　舩津氏3氏出張宿泊雑費（巡視のため一泊）	大口魚	120目	0.240	金作替し	7.350	「〆て2円75銭合計にて別紙に直す」
			あげまき	1缶	0.250			
			茶菓子	3人前	0.200			
			鶏	480目	1.500			
			白米	2升	0.520			
			ふ	1袋	0.040			
			わさび	10本	0.250	武廣寅吉		「〆て金66銭」
			卵	7個	0.350			
			天ぷら	2つ	0.060			
			卵	5個	0.250	武廣芳太郎		
			清酒	3升	3.150	三橋店		
			あげまき	2缶	0.540			
9	19	小川内前川飛石掛の折慰労酒及び菓子代	清酒	3.5升	3.650	三橋店	5.820	
			大口魚	320目	0.600			
			黒砂糖	1斤	0.180			
			醤油	5合	0.200			
			菓子	—	0.650			
			あげまき	2缶	0.540			

Tab.Ⅺ1-2-4　昭和5年2月～12月末までの当座帳①

月	日	できごと	品目	数量	金額(円)	人名	合計(円)	その他記載事項
10	3	里道修理のおり臼杵酒造太郎氏清酒3升小川内区へ下さる	肴代	—	0.500	大石源太郎	0.500	「直ちに大石源太郎氏宅において飲酒す。肴として大石源太郎氏より賄い下さる。一、金50銭を肴代として記帳す」
10	10	南畑村長河川養魚及学校委託に関する談合の折り昼食雑費	清酒	1升	1.050	金作替し	1.590	「〆て1円59銭　合計にて直す」
			大口魚	140目	0.280			
			卵	1個	0.040			
			天ぷら	1枚	0.020			
			山芋	180目	0.200			
10	9	栗山賚四郎氏宿代として小川内より謝礼金	宿泊代	1人分	5.000	金作替し	5.000	「宗雲組合長会立の上封じ西村喜三氏へ贈る。」
10	13	栗山賚四郎氏一行の宿泊謝礼として大石岩吉氏、進藤氏2氏へ贈る	手拭い	4筋	0.450	金作替し	0.450	
10	15	10月7日五ヶ山小川内連合運動会来賓接待費用小川内5人分の入費	来賓接待費用	5人分	5.140	金作替し	5.140	
11	3	明治節拝賀式御神酒	清酒	1升	1.050	三橋店より購入	1.050	
11	3	明治拝賀式御神酒　発電所分	清酒	1升	1.050	発電所	1.050	
11	25	宗雲忠臣君退営歓迎会酒2升代	清酒	2升	2.000	発電所	2.000	
12	8	小川内小学校視察のため県視学出張雑費	鯉	330目	0.820	武廣友七出品	5.905	「来客氏名　視孝橋本五郎　中副校長　江口次郎　助役　杉隈乙松」
			鶏	2斤7合	1.350			
			豆腐	15切れ	0.600	井上藤七出品		
			山芋	2斤	0.400	金作		
			卵	8つ	0.320			
			永昆若	5つ	0.035			
			醤油	5合	0.250			
			米	4升	0.720			
			山廃	5本	0.120			
			鯛	3尾	0.750			
			竹把（竹輪）	10本	0.300			
			ツト(苞･カマボコ)	2本	0.200			
			ふ	1袋	0.040			
12	8		清酒	1升	0.800	金作替し	0.800	
12	17	区用筆紙代	筆紙	—	0.660	金作替し	0.660	
12	20	朱肉ならびに籍代	朱肉と箱代	—	0.630	金作替し	0.630	
12	24	区費計算につき木炭代金	木炭	—	0.480	金作出し	0.480	
12	5	佐賀県視孝視察の為出張宿泊費	酒	1升	1.000	発電所	1.000	
12	8		酒	1升	1.000	発電所	2.250	
			菓子	—	0.500			
			アサヒ（煙草）	3つ	0.450			
			菓子	—	0.300			
		昭和5年度組合長年俸4人分。一人につき2円40銭		—	9.600			
		消防長年俸		—	1.000	築地音吉	135.349	
		副長年俸		—	0.500	宗雲乗夫		
		水官係俸給		—	0.500	杉谷一		
		水官係俸給		—	0.500	杉谷吉作		
		寺世話料		—	2.400	宗雲政吉		
		区長給料1ヶ月に対する分一日に対する分		—	4.150			
		同じく給料12日に対する分13銭8厘5毛		—	1.765			
		区長1給料10ヶ月と18日分の料給		—	44.090			
		仕夫給1ヶ月分に対する分　喜太郎分に割30円に割1日に付き4銭2厘宛		— —	1.250			
		仕夫給12日に対する分　喜太郎分		—	0.504			
		1月13日から12月31日までの仕夫給料		—	13.250			
		2月13日から12月31日までの区長給料		—	44.190			
		142日に対する人夫長の給料但し1ヶ月に付81銭7厘1日に付2銭7厘　宗雲乗夫分		— —	3.830			
		188日に対する分の人夫長ノ給料1日に付き45厘6毛　一ヶ月につき1円25銭宛　宗雲幾市分		— —	7.820			
		異動地調査雑費　香月氏および北村氏の二人	諸費	—	4.920	三橋店及び発電所の諸費	12.880	「合計12.88円。内10円香月・北村氏より謝礼」
			諸費	—	0.420	金作の替金		
			米	7.2升	1.440	金作替し		
			内敷	5回	1.000	武廣チヨ		
			区役給料	3.5日分	3.100	金作分		
			諸費	—	1.750	宗雲鉄之助分		
			白米	2人分	0.250	鉄之助替し		
				—	5.690	金作取前	5.690	
				—	1.000	夘次郎	1.000	
12	26	定期総会雑費	魚代	—	1.200		1.200	
		異動地調査費用		—	4.190	三橋店行	15.230	「15.24円。内10円謝礼。差し引き5.24円の不足」
				—	2.400	発電所		
			区長宅雑費	—	1.100			
			区役給料	3.5日分	3.100			
			内夫	—	1.000			
			米	7.2升	1.440			
				—	2.000	宗雲宅行		

Tab.Ⅺ1-2-4　昭和5年2月～12月末までの当座帳②

1）食品・調味料

品　目	単　位	金　額
米	1升	およそ20銭1厘
鶏	1斤	50銭
大口魚（ひらめ・かれい）	1斤	29銭9厘
鯉	1斤	50銭
生鯨	1斤	26銭
鯛	1尾	25銭
鯖	1尾	19銭
山芋	1斤	およそ1厘8分
わさび	1本	2銭5厘
シカ（ウド）	1把	5銭
豆腐	1切れ	4銭
ふ	1袋	40銭
卵	1個	およそ4銭3厘
天ぷら	1枚	およそ2銭6厘
あげまき	1缶	およそ26銭7厘
竹輪	1本	およそ3銭1厘
ツト（苞・カマボコ）	1本	10銭
永昆若	1枚	7厘
黒砂糖	1斤	18銭
醤油	1升	45銭

2）嗜好品

品　目	単　位	金　額
酒	1升	およそ1円5銭4厘
アサヒ（煙草）	1つ	15銭
敷島（煙草）	1つ	20銭
茶菓子	1個	1銭

4）木材

品　目	単　位	金　額
一丈たる木	1本	15銭
一丈看板	1本	10銭
一間半杉看板	1枚	70銭
杉皮	1坪	12銭
杉皮代	1坪	12銭
杉背板	1枚	およそ6銭8厘

5）大工用具

品　目	単　位	金　額
三寸釘	1斤	24銭
かすがい	1本	5銭
大五寸釘	100本	3厘
大六寸釘	1斤	23銭3厘
ハナワ（端縄）	1斤	6銭

6）杉苗

品　目	単　位	金　額
2年生の杉苗	1本	70銭

7）区用筆記用具

品　目	単　位	金　額
罫紙	1帖	10銭
朱肉と箱代	—	63銭
半紙	1帖	10銭
筆紙	—	66銭
証券印紙代	—	20銭

※1目＝1匁＝3.75g　　160匁＝1斤＝600g

3）労働賃金・宿泊・接待費用など

品　目	単　位	金　額	備　考
汽車及自動車代	—	85銭	6月12日秣払い下げの為佐賀行き
人夫賃金	1人	1円3銭	7月30日学校修理
栗山氏宿泊代	1人	45銭	10月9日小川内区より西村喜三氏への謝礼代
運動会来賓接待費用	1人	およそ1円2銭	10月7日五ヶ山小川内連合運動会
手ぬぐい	1筋	およそ11銭2厘	10月13日大石・進藤氏へ宿泊謝礼
区役給料	1日	89銭7厘	異動地調査
区役給料	1日	89銭7厘	
区長宅雑費	—	1円10銭	
内夫	—	1円10銭	
内敷	1回	1円10銭	

Tab.Ⅺ1-2-5　昭和6年当時の食品・嗜好品などの価格一覧

Tab.Ⅺ1-2-5-1）～7）はTab.Ⅺ1-2-4に見られる品目の価格を一覧表にしたものである。単位は主に1升や1斤（600ｇ）であらわした。昭和6年当時の小川内地区における食糧・嗜好品・用材といった日用品の価格や、汽車賃・労働賃金などの具体的な金額を知ることができる。

5.「小川内区現在戸数控　小川内区　昭和五年～昭和八年」　〔整理番号 A-20〕

年に2度おこなわれた戸数調査の控え。昭和9年を除き昭和4年から昭和10年まで揃っており、当時の小川内区構成員を知ることができる。昭和5～6年4月の戸主記載順はまったく同じだが、それ以降の順番は年によって変化している。この5年間に4戸が戸主変更し、3戸が転出、3戸が新たに小川内区に加わった。昭和5年は37戸、昭和6～7年3月は38戸、昭和10年は再び37戸となった。

６.「区長日誌　昭和六年一月一日～昭和十年」　〔整理番号 B-58〕

昭和６年から昭和10年までの区長日誌。武広金作氏が昭和６年１月から昭和８年４月までを執筆し、同年５月より昭和10年まで次の区長である大石嘉作氏が執筆したと考えられる。なお５年にわたる膨大な記述のため、年ごとに分けてまとめることとする。

昭和６年

１．税金と寄付

税金徴収に関する記述を抜き出すと以下の通りである。

一月　　七日　本村区域割ノタメ村役場行　小川内区割当金九円九十壱銭也
一月　十一日　五年度第壱期田租取立
一月二十六日　六年度第壱期宅地祖取立
二月二十三日　五年度第壱期田租取立
三月二十七日　五年度第三期田租取立
四月二十六日　県税地祖付加税・同村付加税取立
五月二十七日　昭和六年度前期農会費、地祖付加税、軍人待遇費、小川内校指定寄付金取立
六月二十五日　昭和六年度秣払下金納付ノタメ佐賀百六銀行行キ
六月二十六日　前期村税・特別税戸数割徴収
七月二十八日　県税・営業税取立
八月二十八日　六年度前期県税家屋税徴収
十一月二十六日　納税徴収
十二月　　九日　免税申請書提出　十二月十五日限リヲ以テ小川内区賃貸格調書ノタメ村役場行キ
十二月　十一日　午後七時ヨリ免税資格者集会申請書ヲ製作ナス　同日納税徴収
十二月　十二日　納税納付ノタメ村役場行キ
十二月　十三日　免税申請書提出ナス

小川内区の人々は、９月と10月を除いた毎月税金を納めていた。徴収日は月の11日、もしくは26～28日だった。区長は各戸を廻って徴収し、翌日村役場に納付した。寄付金については、脊振神社（1/21･10/1・10/9・4/24）と東松浦郡高串村義捐金（10/1・10/5）の徴収があった。

２．組織のありさま

１）選挙

２月14日におこなわれた。当時の小川内区は38戸だったが、このときの選挙では26名が投票した。その結果最高票５票で杉谷兵太郎氏が区長代理に、６票をもって宗雲鉄之助氏が区組合長に選ばれた。翌日は東脊振村産業組合の通常総会が開かれ、区長と一番組の４名が出席した。

３月24日の区集会では農会総代の推薦会予選が行われ、小川内区の候補者は大石泰三氏となった。26日夜、大石氏宅にて選挙の準備が進められた。大石氏は４月１日の総代選挙で48票を獲得し、みごと新総代となった。

また、年末になると青年会の幹部が辞任した。青木会長（おそらく校長）が名誉会員を集め

て討論した末、議員組合長と共に前役員が復職することで落着した（12/3）。

２）養魚組合の設立

この年、副業による現金収入増加を目的とした養魚組合が設立された。前年秋、南畑村長による「中川養魚組合設置ニ関スル打合せノタメ」の出張大会では５名の区民が参加しており（２.「昭和五年度小川内区事務報告」10/10）、２月14日の区集会で「水産組織ニ関スル照会アリ　同集会ニ附議」するところとなった。３月16日「午後七時ヨリ五ヶ山校ニ於テ養魚組合設置ニ関スル打合セ」には区長と区組合長が出席した。こうした経緯の結果、３月24日の区集会ですべての区組合員が養魚組合に加入することとなり、区委員４名を選んだ。同月29日には第１回小川内五ヶ山養魚組合委員会が開かれた。その後６月に鯉児配布数が通達されたが事前の申請数（五千五百尾）と異なっており、再交渉をおこなった（5/26・6/30）。７月４日の午後、大石琢摩氏が蓮池の古川金吾宅に出向き、小川内区分の鯉児を受け取った。大石氏の日当は１尾につき２厘５毛だった。養魚組合のありようについては、昭和８年３月に「五箇山養魚組合費徴収」という一文のみが記されており、その後の活動については不明である。

３）消防加入のこと

３月４日と15日に東光寺で集会が開かれ、消防ポンプの購入について話し合われた。

４月27日には御宮の屋根の棟替用と消防ポンプ小屋用の木材を取り寄せた。９月７日巡回に訪れた船津巡査より「当区消防組公設加入方勧誘」を受ける。集会の上回答する旨返答したが、翌日の区集会では加入は一時見合せということになった。しかし結局は加入することになったようで、年末に神埼署長一行が巡視に訪れた際、区長、消防組頭、小頭が進藤議員宅において打ち合わせをおこなっている（12/2）。

３．寺社

第１回目の区集会において東光寺改築案が出され（1/22）、３月に改築委員３名を選び、用材を運んだ（3/4・3/8）。３月23の村社籾神社の祈年祭には区長が区民代表として参詣した。４月６日には大山祇神社でも祈年祭と学事報告が行われた。７月１日はお宮掃除の区役があり、10月19日には籾神社で秋季祭典が執り行われた。

４．学校

１）年中行事

小川内校新年拝賀式、新年祝賀会、天長節拝賀式、運動会（に関する打合せ）、明治節拝賀式、神埼郡北部教育会の学事視察といった行事があった。（1/1・4/29・10/12・11/3・11/30）。

２）特別指定寄付金の廃止運動

特別指定寄付金とは区民の寄付金によって区の学校教員の給与をまかなう制度である。明治42年以来小川内区民は特別指定寄付金を支払い続け、区内の教育活動を維持してきた。大正５年の学校寄付人名書上では「小川内区負担分三十九円」となっている（武廣邦敏家文書　C-54）。大正９年になると東脊振村の教育費は更に逼迫したため、小川内校の高学年児童は東脊振校へ通学するという学校縮小案が村議会に提出された。区民は学校の存続を陳情し、指定寄付金を増額負担することで縮小化案は取りやめとなった。しかし教育の重要性を認識しつつも、寄付金の支出はどの家庭においても苦しい問題であったに違いない（『小川内誌』92頁）。そのためこの年の１月の中旬から１ヶ月ほどの間、区民は特別指定寄付金廃止を求めて請願運動を

おこした。１月16日、進藤議員と区長代理（勇氏）が松隈助役宅を訪問。翌日、進藤議員と区長が下石動村の村長宅を訪問。村長は不在だったため６人の議員と懇談し請願書提出の根回しをおこなった。小川内区に戻った進藤議員は２月12日に区長と相談し、翌日には各戸を訪問し願書に署名を得た。

しかしながら、区民の願いは村議会に聞き届けられなかったようだ。５月27日に他の税金とともに寄付金が徴収されている。しかし「七月七日　小川内校指定寄付金納付方村役場ヨリ通知アリ。直チニ同日早使ヲシテ徴収セシム。」「七月十日　小川内校指定寄付金不納取立ヲナス」とあるように、なかなか徴収が進まず７月15日にやっと完納した。

その後も寄付は続いた。昭和13年の小川内小学校寄付金収支決算綴では「収入ノ部　金五百七十六円　支出ノ部　金参百参十円四拾銭」とある（同上　Ｃ－36）。昭和15年になって小川内区における特別指定寄付金制度はようやく廃止されることになった（『小川内誌』91頁）。

３）青年訓練生の行軍

青年訓練所とは大正15年に全国に設置された機関で、勤労青年を主として軍事訓練、修身公民、普通学科、職業教育などをおこなった。昭和10年には実業補習学校と統合され青年学校となる。１月20日、東脊振村訓練生80余名が指導員と校長他３名の監督のもと行軍し、小川内で宿泊した。８月30日にも神埼郡西郷村の訓練生88名が行軍のため小川内を訪れており、区長は宿泊の采配に追われた。他所の若者たちを大勢迎え入れ、小川内はずいぶんと賑やかな１日となったのであろう。

５．戦局をあらわすもの

１）三笠艦・武徳殿の寄付と在満軍慰問金

昭和６年といえば軍部や右翼が満蒙の危機を叫び、３月事件、９月の柳条湖事件や満州事変、10月事件がおこった年である。日誌の紙面上も戦時色が次第に強まりつつある。２月の区長例会で三笠艦保存の寄付金の話が持ち上がり、小川内区からも徴収した（3/5）。三笠艦とは日露戦争における聯合艦隊の旗艦であり、日露戦争のシンボルだった。武徳殿（京都平安神宮横にある大日本武徳会演場）の寄付金募集では、神埼署の部長と巡査が助役とともに出張して組合長や区内の有志と懇談し、４日後の区集会で協議されている（7/21・7/25）。在満軍慰問金募集には全37戸が応募し３円70銭集まった（12/17）。

２）西村克比古君の入営

６月１日、西村克比古氏の朝鮮龍山歩兵第七十八聯隊入営を祝し、夜の９時より小学校において歓送会を催した。その３日後、区民総出で西村氏を村外れまで見送った（6/1・6/4）。しかし半年後、区民は「日支事件ノタメ出動中チヽハル附近ニテ馬占山軍ト戦ヒ天晴名誉ノ負傷ノ報」に接することとなる（12/3）。ちょうど小川内区では西村氏の武運長久を祈念し、氏神への日参をはじめたばかりだった（１戸ずつ順番で順番帳も作成した）。負傷の報が届いた２日後、社任の春野氏は平癒祈願を執り行い、区民・学校の職員・各団体が玉串を捧げた。区長は代表として慰問状を送った。12月７日、村長・助役・兵事の三氏と区長進藤議員が西村家を慰問。12月19日には負傷中の西村氏から礼状が届いた。

６．農業・林業・そのほかの生業について

１）農業

８月20日、村農会から大石農会長と技手３名が農事巡視に訪れた。午後８時から東光寺において講和会を開催した。

２）山の区役

３月24日、茅切りは各人にて切る事に決定。屋根用の茅を切った後、炭俵用を切る事にした。日時は４月８日で参加者は６名（築地音吉　宗雲大造　杉谷嘉六　大石宅磨　宗雲倉吉　大石琢摩）だった。４月17日は茅床焼きの区役と杉の補植、そして新たに500本の苗木を植えた。９月13日には区共有林の杉の手入れがあった。

３）製茶・養蚕

２月21日の区長例会では東脊振茶発展について話し合われた。５月13日に嬉野で茶山・製茶の視察をおこなった。同月17日から２日間、嬉野式製茶の講師田中氏、松隈助役、井上農業技手が小川内へ出張し、製茶伝習会を開いた。６月８日、村農会より当地産製茶の共同試売に関する通知があり、出荷量を報告。８月21日に販売出荷の打合せをおこなった。９月21日に共同出荷の荷造りをして、翌22日に製茶を村農会へ納付した。

養蚕については、７月７日に村農会から夏蚕種の通知が届いた。しかし申し込みが遅れたため、17日夏秋蚕８月１日掃き立て分を申し込み、８月11日に村農会へ代金を納付した。

７．道の手入れ

この年は春秋のほか夏にも里道修理をおこなった。１月22日の集会では、佐賀橋小川内間里道修理について話し合われ、同月29日に筑前より藤野勘次氏と人夫６名が荷馬車１台を曳いて里道修理に参加。彼らは清酒５升を携えており、ただちに発電所で酒盛りをおこなっている。馬車挽連中への謝礼は２円だった。翌日も修理をしたが古川内の築地武夫氏の麦田から土礫を取ってしまった。詫び代として築地氏の出不足金１日分を麦の損害に充てることで諒解を得たようだ。２月12日、村会に提出するために道路間数（小川内～竹ノ屋敷間）を宗雲幾市氏と原口栄氏が測量した。間数は約1,140間だった。３月８日には大野の七十二番観世音の参道作りをした。24日の区集会では苗代作りの後で大野里道を改修することに決まった。４月24日の区集会では県道掃除について話し合われ、27日に行われた。７月９日、大野一本杉旧道の修理を７名でおこなった。８月６日、大野里道修理をおこなう。９月８日、大野里道のうち笹原付近の木橋が危険であるため、大野の５戸で修理した。10月１日は秋季里道修理、10月５日は脊振県道掃除だった。

昭和７年

１．税金と寄付

３月26日仁比山神社への寄付金に関する件が区集会にて可決。３月28日、役場の池田氏と県税務課の１名が「当区不納税徴収ノタメ出張」とある。同月29日、昭和７年度小川内区免税申請書を大石調査員立会いの上作成し、ただちに提出した。５月27日、昭和６年度の資力調書を提出した。

２．組織のありさま

衆議院選挙がおこなわれ小川内の有権者53名が投票した（2/20）。宗雲幾一氏が人夫長選挙にて再選された（7/1）。また天然痘流行のため種痘がおこなわれた（7/17・7/23）。実行組合

の事務所設置の件について、区長と大石農会総代が役場に出張した（9/5）。「時局ニ関スル講演会」も開かれた（9/6）。また国民自力更生運動の活動写真開催のため、県から石井氏他１名出張。区長は青木地方委員と共に準備の打ち合わせ及び招待をおこなった。

３．寺社

お宮の屋根棟替えがおこなわれた（5/18）。夏に宮掃除の区役が２回あった（7/1・8/1）。また「十月二日　寺崎龍県氏と本山布教師の税教（説教？）の件に付打ち合わせをなす」とある。寺崎氏の名は4-2.「昭和６年度当座帳」に「昭和五年八月十六日寺崎和尚へ御仏前　一、金参円也」とあり、東光寺住職であったと考えられる。10月19日には村社籾神社の秋祭りがあった。

４．学校

１月１日の午後８時から区集会が開かれ、学校敷地と運動場設置について話し合われた。拝賀式後候補地の見分はおこなっていたが、「議論百出、協定ニ至ラズ」となり、全員一致の結論を見出せなかった。このため委員を選びすべてを委ねることになった。指定寄付金の徴収納付もおこなわれた（6/19・6/21）。運動場の件は秋になってようやく落着したようで、海童神社の社地開きと運動場地ならしが執り行われた（9/28）。小川内校運動会では助役、村議、巡査の来賓があり（10/13）、明治節拝賀式も執り行われた（11/3）。

５．戦局をあらわすもの

昭和７年３月、満州国が建国された。この年の区集会では「日支事件慰問金ニ関スル件」(2/27)、赤十字社愛国婦人会加入申し込みの件（3/26）、出動軍人遺族救護慰問と兵器献納資金寄付に関する件（3/26）、満蒙水害義捐金ならびに消防慰問金に関する件（9/26）、 兵器献納資金第二回払い込みの件（9/26）、兵器献納資金未納徴収（10/22）など、戦局に関係する寄付金が目立ってきている。在満軍人の武運長久を祈願し、高良神社へ１戸１人ずつ参詣した(2/28)。村社籾神社でも皇軍武運長久祈願祭が執り行われた（3/7）。１年前に負傷した西村氏も無事に凱旋した。人々は中原駅まで出向かえ、大山祇神社で祝賀会を催した（11/4）。翌月には他地区の最所氏も無事凱旋し、区長は中原駅での出迎えに参加した（12/2）。

６．農業・林業・そのほかの生業

福岡方面へ農事視察（5/15）。７月、大洪水が起こり小川内区の田畑と道路は甚大な被害を蒙った。区長は被害調査のため佐賀橋より竹ノ屋敷まで見分し （7/7）、村役場からは三好土木員が出張し、古小川内と籠原その他決壊箇所を調査した（7/8）。また決壊箇所の測量のため、三好土木員のほか土木技手２名が出張した（7/21）。

山の区役については、屋根用の茅切りは４月４日に決まり（3/26）、茅床の火入れ区役(4/13)、共有杉の根払い（10/2）などがあった。

そのほかの生業としては、４月の区集会で嬉野式製茶講習会について話し合われ（4/24）、村農会から井上技手、中原蚕業技手が製茶講習のため出張。区民は３組に分かれて講習を受けた（5/26）。井上技手は他日にも製茶の件で出張する。７月になると夏秋蚕種44角を村農会へ申し込んだ （7/18）。佐賀農事試験場からの視察もあった（9/21）。

７．道の手入れ

大野道と小川内矢討付近の里道を、議員と組合長の立会いの上で測量する。大野新道の方は関係者を立会わせた（1/23）。３月には大野里道開鑿の区役があった（3/12～21）。矢討里道

付近の石垣修理も村区役でおこなうことに決定し（3/26）、2日かけて修理をおこなった（5/21～22）。この他にも里道修理がおこなわれ（5/18）、営林署の森林技手２名が豆野国有原野の林道測量のため出張した（7/3～4）。長谷里道修理と前川の飛び石掛けがあった（7/24）。また昭和７年度秋季里道修理もおこなわれた（9/12）。

昭和８年

１．税金と寄付

３月12日の区集会で、佐賀神社三勇士銅像・三陸震災寄付および義捐金に関する件が話し合われている。６月27日、軍人待遇費を集金。

２．組織のありさま

２月11日、経済更生についての区大会が開かれ、各組合から１名ずつ小組合長を決めた（計４名）。また区集会の時間規則が決定された。夜の場合は８時から。昼の場合は１時から。区の公役は午前８時から午後５時まで。遅刻者は昼夜ともに５銭の罰金。不参加者には10銭が科せられたが、３月18日の区集会では規則改正をおこなっている。２月17日、東脊振校において経済更生村民大会が開催され、先の選挙で決まったばかりの小組合長３名と大石嘉作、武廣勇、青木校長が出席した。２月27日には昭和7年度産業組合通常総会が開かれ、小川内区から代表者５名が出席した。３月17日には神埼郡農（会？）技手２名の経済更生に関する講演会が開かれた。その二日後は県議会総選挙があった。４月２日、東脊振村の区長たちは長崎方面へ視察に赴いている。４月12日、村会議員候補者の予選会投票の結果、43票のうち最高32票にて大石嘉作氏が当選し、23日の本選挙に臨んだ。翌28日、武廣区長が辞職届けを提出し、杉谷区長代理に事務の引継ぎをし、新旧区長立会いの上事務引継ぎを正式におこない、新旧区長の送迎会をおこなった（4/28～29・5/12・5/14）。

３．寺社

７月９～10日、大山祇神社の屋根葺き。

４．学校

２月11日に紀元節拝賀式が執り行われた。２月５日の区集会では学校改築移転と敷地設置について話し合われ「請願書連名ニテ提出ノ事ニ可決」し、西村喜三氏はじめ５名が村役場へ赴いた（2/9）。また３月27日には第38回卒業証書および修了証書授与式が執り行われた。３月31日には教員住宅の壁土寄せ作業、４月12日には壁塗り作業をおこなった。夏になるとチフスの予防注射をおこなった（8/8）。

５．農業・林業など

昭和７年９月、農林省は昭和恐慌による農村の疲弊を改善すべく経済更生部を新設し、「農山漁村経済更生計画に関スル件」の訓令を発表した。そのためであろうか。昭和８年の農産業に関する記述は随分内容が濃くなり、農事実行組合や農事試験場からの技手の出張・講演会も回数が多くなっている。

１）農業

３月18日に補水および溜池設置について話し合われる（この後９月25日に豆野橋〔重尾〕と

古小川内に土管池が造られた)。３月28日には東脊振農事実行委員、佐賀郡東与賀村実行組合が肥料配合視察。小川内からは４名が代表して参加した。４月13日、土壌検査県農事試験場より村農技手３名（石井・水田・井上）が出張。５月15日、肥料申し込みついての総会。同月24日には東脊振小学校において佐賀農事試験場より肥料配合ならびに肥料施用法の講演が開かれ、区民27名が出席した。肥料は６月15日に到着し、受け取りのため市ノ瀬まで宗雲幾市氏が出張し、翌日各自に分配された。６月27日、イモチ病発生のため井上技手が出張。７月11日に佐賀農事試験場の前田氏、郡農会の中尾氏・井上技手の計３名が出張。８月10日、畑の土壌検査のためふたたび佐賀農事試験場より石井・川崎・井上氏が出張。10月17日、東脊振小学校において小麦肥料配合講演。５名が出席した。

２）林業

４月22日に区共有の萱場にて火入れが行われた。６月７日、山林会記念品評会出品に関する総会を開いた。７月１日、原野竹林造植と不用村地整理をおこない、同月20日には区共有林の大杉４本売買のため区集会を開き、700円にて福岡市塩原の神社建築材用に売却することとなった。秋に入ると９月７日に区用林下払いの区役があり、同月23日、炭窯講習のために宗雲己之助氏と大石泰三氏が出張した。

６．道の手入れ

佐賀橋より竹ノ屋敷間修理。９月11～18日には古小川内の石垣造りがあった。

７．大野の電力工事

５月18日に大野集落での電気設置について組頭（組合長の意か）その他数名で相談。同月25日には前区長と西村喜三両名が佐賀まで出張した。７月１日の区集会においても話しあわれ、同月24日に進藤技手が出張し電気試験を行なった。翌日５名が参加して工事をおこなった。翌年の秋に松隈発電所から所員が出張し、再度電気工事が行われた（昭和９年9/22)。

昭和９年

「昭和八年一月一日」という一文から始まっているが、昭和９年の記事と見て間違いない。筆写した際の誤記であろう。

１．税金と寄付

これまでの各年度区長日誌と同様に、区民は毎月の納税・学校特別指定寄付金・各種寄付金を納めている。戦局の展開につれ軍事色の強い義捐金の徴収が増加している。この年、区民が納税に苦しむ姿が日誌上にはっきりと現れる。４月20日の夜、不納税者が集められ、話し合いが持たれた。４月分あるいはそれ以前からの滞納金についての懇談であろう。しかし翌月にも不納税者があったようで、５月27日、古川助役みずからが小川内へ出張し、午後８時から農会費田祖４期分・畜産組合滞納を徴収した。すでに区長だけでは解決しようがなかったのだろうか。６月28日には昭和９年度村税の第１期分を徴収し、翌日役場へ完納することができた。

２．寺社

３月16日、大山神社の再築役員集会が開かれた。７月１日、例年どおりに神社の掃除がおこなわれた。

３．学校

１月１日、新年拝賀式が執り行われた。同月４日に西村喜三氏ほか５名が小川内校問題のため「神埼中島様宅並ニ県庁ニ出張ス」とあり、翌月22日には「東脊振村会通常会ニ指定寄付金問題出張ス」とある。昭和５年度に引き続き指定寄付金解除の請願であろう。この請願運動は先述の不納税者問題と無関係ではなかったと考えられる。また３月末に校長職交代があり、青木先生が小川内区を離れることとなった。歓送迎会には新任の藤原校長も出席した。４月３日から２日かけて青木元校長の荷物を中原駅まで７人で運んだ。同月４日には小学校の入学式があった。

４．戦局をあらわすもの

１月16日、宗雲繁雄氏入営の送別会を催した。３月16日に国防献金を完納。６月３日に徴兵検査の通達を受け、翌日通達書の受領を集め村役場へ送った。

５．農業・生業・林業など

共有林については杉枝打ち（3/2）、スギの根払い（7/24）と手入れの区役があった。初夏には東光寺において木炭総会が開かれた（7/12）。田に関しては10月18日に稲の坪刈りの記載が見られる。その他の生業としては６月７日に鯉児を申し込み、６月20日には蚕を申し込んだ。同月25日には養蚕技手が出張し、７月23日には繭売却のため養蚕技手が出張してきた。冬になると郡農会による小川内区山葵講習会が開かれた（12/9・12/10）。昭和10年の年明け早々に区長と組頭５名が共有林の中の山葵谷を調査している（1/3）。養蚕と養魚に引き続き、山葵による現金収入の計画が進められていたようだ。また「五月二十四日　海童神社ニ於当区牛馬養生ヲナシタ」という記事も見られる。

６．道の手入れ

春の里道修理では、まず最初に豆野里道修理がおこなわれ、修理箇所点検のためわざわざ助役が出張してきている（4/25・4/26・5/2）。５月には脊振県道の修繕、佐賀橋から竹ノ屋敷までの里道掃除があった。また「五ヶ山七回ノ県道修繕ニ人夫ニテ一日区役ノ寄付ヲナシタ」という記事も見られる（5/16・24・27）。

秋は８月１日に「区受持チノ道路修繕ノタメ一日区役」、10月には脊振村県道掃除、村道の区受け持ちの道造りがおこなわれた（10/3・10/5）。

７．「昭和七年度小川内区歳出歳入決算書」　〔整理番号 A-53-2-14〕

「３．昭和五年度　区費決算報告書」同様に、歳出と歳入についての内訳が記されている。「歳入之部」には昭和６年度繰越金が４円31銭、昭和６年度農林省交付金が18円18銭、測量宿泊謝礼金２円、昭和７年区共有補助金が10円。区役出不足金など58円55銭（矢落石垣改築費）とある。「歳出ノ部」経常費では区長をはじめとする区内の役職給料の内訳が記載されている。区長日誌にもあるように、この年は農会技手の出張のほかに土木技手が洪水被害調査のため出張し、自力更生運動の一環である活動写真の映写会が開催された。こういった出張雑費や、大野新道をつくるための測量士や石工の手間賃といった雑費も明記されている。

８.「製炭農事実行組合規約」　〔整理番号Ｂ-29〕

松隈製炭農事組合の規約と加入申込書の写し。加入申込書に昭和と印刷されているが、具体的な年月日は不明。規約は第１章（総則）と第２章（加入及脱退）で構成される。事務所は大字松隈に設置し、組合地域は大字松隈・石動・三津であった。組合長は宗雲己ノ助氏で理事も兼任した。その他の理事は宗雲大造氏と宗雲幾市氏である。この加入申込書に規約と組合員名簿を添付し、東脊振村産業組合長の川原和佐一氏へ提出したと考えられる。大正15年の小川内木炭組合株券があることを考えると、既にあった木炭組合が農事実行組合として新しく組織化された際の資料と見て良いだろう（進藤家文書Ｃ-２-５）。また古小川内の木炭倉庫の材料・寸法・材料費の書き上げもある（年代不明。武廣邦敏家文書Ａ-53-８-21）。昔、小川内の男の子たちは、30㎝ほどのミニ炭窯を造って遊んだ。 たいてい親の炭窯の近くや境内の隅に造ったという。“かまかま”と呼び、本格的に煙をモクモク上げて楽しんだ（『小川内誌』175頁）。小川内の人々にとって、製炭業は子供のころから身近な存在であった。

〔本田佳奈〕

1. □□□□□□□□□□年賦償還□□□ベシ
2. □□□□□畫□□□業□□□□創□□□ルベシ
3. 各戸無記名ニテ土地貯金借財等ヲ調ヘ區會議員ヘ報告スベシ
4. 區会議員ハ組合内ノ統計ヲ作リ區長ニ報告スベシ
5. 區長ハ報告書ニ依リ區内生活情況一覧表ヲ作リ毎年區発展情況ヲ明カナラシムベシ

20ウ　21オ

第五條　婚禮ニ際シテノ節約ヲ左ノ通リ定ム
1. 婚禮ノ荷ハ箪笥一ツ限リトス
2. 結婚後ト雖モ長持タラヒ等ハ贈ラザル事
3. 祝儀ノ宴會ニハ案内ナキモノハイカザルコト
4. 祝品ハ代トスルコト

第六條　子供客ノ節約ヲ左ノ通リ定ム
1. 祝宴ハ長男長女ヲ限リ親族ノ外近隣四五戸ニ止ムベシ
2. 二男二女以下ノ祝宴ヲ廃スルコト但シ祝品ノ配布ヲナスハ妨ゲザルモノトス此ノ場合返礼ヲナサザルモノトス
3. 祝宴ノ際ノ贈リ物ハ代トス但シ父子兄弟姉妹ハ此ノ限リニアラズ

第七條　入退営ニ関シテ左ノ通リ決定ス
1. 旅ノ贈呈ヲ廃シ止ヲ得ヌ家ニハ代トシテ贈ルコトヲ得
2. 自祝宴ハ質素ヲ旨トシ親族小組合ノミトシ友人等ニハ饗應セザルコト
3. 餞別ハ出發ノ朝贈呈スル事
4. 送迎ノ祝酒ハ區ヨリ金参円ヲ出シテ酒肴料トシ入退営ノ家ヨリ酒壱升ヲ持チ寄リ簡素ニ冷酒ノ宴ヲナスコト
5. 退営者ノ土産品ハ絶対ニ配付ヲ禁ズルコト
6. 分會員青年会員小組合員ハ手弁当ニテ送迎スル事
7. 送迎ノ場所ハ不入道廣瀬トス

21ウ　22オ

第八條　葬儀及佛事ヲ左ノ通リ定ム
1. 学齢以上ノモノニ對シ弔慰規定ノ香花料弐拾銭ヲ贈リ學齢以下ハ之ヲ廃ス
2. 小組合ハ年齢ノ如何ニカヽワラズ本葬以上ノモノニ準用ス
3. 親族以外ノ會葬者アル場合ハ近隣ニ控所ヲ設クルコト
4. 親族以外ノ會葬者ニハ取肴冷酒飯限リトス
5. 本膳ニハ木壷ニ冷酒ヲ汲ミテ配膳シ燗酒ヲ汲マザルコト
6. 葬儀ニハナルベク本膳ヲ廃シ共有ニテ台ヲ作リ之ヲ代用スル事ニツトムベシ
7. 組合ヘノ酒ハ壱戸當リ五合以下トシ地取リ人ヘハ組合ノ酒ヨリ適量ヲ送ルベシ
8. 地取り人ハ墓限リトス
9. 小組合ハ本葬以上ニ際シテ白米弐升及金参拾銭香花料ヲ贈ルモノトス
10. 弔旗ハ贈ラヌ事
11. 夜食ハ原料又ハ代トシテ贈ル事
12. 年忌供養ノ手向ハ代ニスルコト

第九條　前各條ノ外初老、古稀、喜、米、字等ノ祝宴トモ簡素ニナスコト

第十條　普請見舞大工見舞伊勢神宮本山詣リ等ノ見舞ヲナサヌコトヽシ土産モノヽ配付ヲ禁ズルコト

第十壱條　本規約ノ結果ヲ明カニスルタメ左ノ各項ヲ行フ

18オ

附則　本則ハ昭和三年十一月十六日ヨリ實施ス

弔慰規定

第壱條　當區ハ区則第十條ニ基キ弔慰規定ヲ左ノ通リ定ム

第弐條　當區民ニシテ死亡又ハ災厄ニカヽリタルトキハ其都度區又ハ區民ヨリ弔慰ヲナスモノトス

第三條　弔慰ハ左ノ標準ニヨルモノトス

1．區民ニシテ區ノ事業ノ為メ負傷又ハ疾病ニ罹リタルトキハ見舞金トシテ區ヨリ拾円以内ノ金品ヲ送ルモノトス

2．區ノ事業並ニ國家ノ為メ死亡シタルトキハ五拾円以内ノ香花料ヲ贈リ區民全部會葬スルモノトス

3．區民ノ死亡ニ對シテハ区内各戸ヨリ金弐拾銭宛ヲ線香代トシテ贈ルモノトス

4．當區役員ノ死亡ニ際シテハ區ヨリ弔詞並ニ金拾円以内ノ香花料ヲ贈リ各小組合ヨリ代表者壱名宛会葬ヲナスモノトス

5．當區役員壱ヶ月以上ノ病気ニカヽリタルトキハ見舞金トシテ金品五円以下ヲ贈ルコトヲ得

6．當區指定販賣店主病気ノ時ハ金品参円以下ノ見舞ヲナシ死亡ノ時ハ五円以内ノ香花料ヲ贈ルモノトス

第四條　區民死亡ニ際シ弔フベキ年齢ハ學齢以上トシ小組合ニアリテハ本葬以上トス

18ウ

第五條　第三條中當區役員トアルハ當区評議員以上ノ役員トシ學校職員等ヲモ含ムモノトス

第六條　當区ノ為メ特ニ功労アリタルモノハ第三條第四項第五項ヲ準用スルモノトス

第七條　弔慰スベキ事件発生シタルトキハ當該區會議員ハ直チニ區長ニ報告スベキモノトス

第八條　現役軍人出征軍人ノ家族ハ區ノ公役ヲ免ズルモノトス

第九條　戰病死者並ニ區ノ事業ノ為メ死亡シタル者ノ遺族ニシテ拾八歳未満ノモノハ區ノ公役ヲ免ズルモノトス

第拾條　弔慰金ハ毎年當区ノ予算ニヨリ之ヲ定ム

附則　本則ハ昭和三年十一月十六日ヨリ實施ス

節約規定

第壹條　當区ハ区則第拾章第廿六條ニ基キ節約規定ヲ左ノ通リ定ム

第弐條　年始中元ノ贈答品ハ代トシテ贈リ止ヲ得ヌトキハ実用品ヲ贈ル事　但シ花嫁花婿ノトキハ此ノ限リニアラズ

第参條　初盆ニハ行カザルコト但シ親族小組合ハ此ノ限リニアラズ

第四條　破魔弓羽子板雛幟菓子等ノ贈答ヲ廃スルコト　但シ近親小組合ハ代トシテ贈ルコトヲ得

20オ

15オ　15ウ

修養團体補助規定

第壱條　五ヶ山区ハ區則第九章ニ基キ修養団体補助規定ヲ左ノ通リ定ム

第弐條　本區ハ本区内ニ結束スル左ノ修養団体ニシテ特ニ必要ト認ムルモノニ對シ金品或ハ公役ノ補助ヲナスモノトス

在郷軍人分會　青年會　主婦會
處女會　其他ノ団体

第参條　修養團体ニシテ左記各項ニ該当スル事業ヲナシタルトキハ概算書ヲ区長ニ提出シ補助ノ申請ヲナスベシ

1．本区ノ發展ニ関スル事業
2．各團体ノ基本財産醸成ニ関スル事業
3．後進者指導ノ為メ盡碎シタルトキ
4．教育事業ニ特ニ應援シタルトキ
5．公益事業ニ努力シタルトキ
6．非常事変ニ際シ多大ノ金品ヲ支出シタルトキ
7．其他特ニ必要ト認メタルトキ

第四條　前条中金品ニ関スルモノニハ二分ノ一以内ノ補助ヲナシ労役ニ對シテハ二分ノ一以内ノ補助ヲナシ公役使役帳ニ記入スルモノトス

第五條　区長補助申請ヲ受ケタルトキハ區会議員又ハ評議員ニ諮リ補助ノ成否及歩合等決定スルモノトス

附則　本則ハ昭和三年十一月十六日ヨリ實施ス

16オ　16ウ　17オ

表彰規定

第壹條　五ヶ山区ハ區則第十七條ニ基キ表彰規定ヲ左ノ通リ定ム

第弐條　当区ハ区ニ對シ特ニ功労アルモノ若シクハ区民中ノ篤行者ニシテ他ノ模範トナルモノアル時ハ総会ニ於テ之ヲ表彰ス

第参條　区民ニシテ左ノ各項ノ一ニ該当スルモノアルトキハ区会議員又ハ各種団体長ハ其ノ平素ノ行為性格等精細ニ調査シ区長ノ許ニ報告スベシ
但シ区会議員其他当区役員ヲ表彰セントスルトキハ區長其ノ調査ノ任ニ當ルモノトス

1．父母及家族ニ對シ孝悌友愛ナルモノ（一家円満）
2．農産物ノ改良又ハ副業ノ創設ニ努メタルモノ
3．質素勤勉ニシテ家業ニ努ムルモノ
4．公益事業ニ特ニ盡力シタルモノ
5．区ノ発展ノ為研究シ又ハ盡力シタルモノ
6．區則ヲ遵守シ他ノ模範トナルモノ
7．非常事変ニ際シ特ニ功労アリタルモノ
8．當區ノ為メ金品五十円以上ヲ寄附シタルモノ

第四條　表彰セントスル區民ニ對シテハ区長ハ区会議員又ハ各種團体長ノ報告セル調査書ニ依リ區会議員又ハ各種團体長ニ諮リ之ヲ決定スルモノトス

第五條　表彰ニハ表彰状及記念ノ金品ヲ贈ルモノトス

第六條　本規定實行ニ要スル費用ハ毎年本區豫算ヲ以テ定ム

12ウ

組合長ハ會務ヲ総理シ本會ヲ代表ス
副組合長ハ会長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
評議員ハ本會ノ事業ニツキテ協議ヲナスモノトス

第五章　會議

第九條　本組合ノ會議ハ左ノ弐種トス
　　総會　　役員會
第拾條　総会ハ毎年壱回之ヲ開ク但シ必要アル場合ハ臨時会ヲ開クコトヲ得
　　総会ニ於テハ左ノ事項ヲ行フ
　　1．予算決算並ニ會務報告
　　2．事業ニ関スル実験談又ハ視察報告
　　3．正副組合長選擧
　　4．其他必要ト認ムル事項

13オ

第拾一條　役員会ハ組合長之ヲ召集ス
　　役員会ニ於テハ左ノ事項ヲ行フ
　　1．預算決算ニ関スル件
　　2．事業計劃ニ関スル件
　　3．其他必要ト認ムル事項

第六章　庶務、會計

第拾弐條　本組合ニ左ノ帳簿ヲ置ク
　　組合規則並ニ諸規定
　　組合員名簿　　役員名簿　　日誌
　　會計簿　　事業計劃簿　　決議録
　　其他必要ナル帳簿

13ウ

第拾三條　本組合ノ會計年度ハ一月一日ニ始メ十二月末日ニ終ル
第拾四條　本組合ノ経費ハ組合員ノ負担トシ並ニ区ノ補助ヲ以テ之ニ充ツ
第拾五條　本組合ノ会則ヲ変更セントスルトキハ役員會ニ於テ決議シ総會ノ承認ヲ経ルモノトス
　　附則　本規則ハ昭和三年十一月十六日ヨリ実施ス

14オ

希望組合規約

第壱條　本組合ハ特種ノ副産物ノ創設ヲ計ルヲ以テ目的トス
第弐條　本組合ハ試作地又ハ研究所ヲ設ケ真剣ニ研究スベキモノトス
第参條　本組合ハ事業ノ概要並ニ収支計算ヲ區長並ニ農事組合ニ報告スルモノトス
第四條　本組合事業ハ常ニ開放シ秘密ヲ守ラサル事

14ウ

第五條　本組合ハ収支ヲ明カニスルモノトス
第六條　本組合ハ事業経路ヲ明カニスルモノトス
第七條　本組合ニハ必要ナル役員ヲ置ク
第八條　本組合ノ経費ハ組合員ノ負担トシ區ノ補助ヲ受クル事アルベシ

10ウ

合ノ発展ヲ助長スル責ニ任ズ
事業主任ハ専ラ椎茸養成ニ意ヲ注ギ乾燥販賣等ノ任ニ當ルモノトス

第五章　會議

第九條　本組合ノ會議ハ左ノ弐種トス
1．総会　2．役員會

第拾條　総会ハ年一回之ヲ開キ必要ニ應ジ臨時会ヲ開クコトヲ得
総会ニ於ケル擧行事項
1．予算決算　會務事業ノ報告
2．役員ノ選出
3．事業ニ関スル實験談及視察報告等

第拾壱條　役員会ハ必要ニ応シ組合長之ヲ召集シ左ノ事項ヲ行フ
1．予算決算　2．事業計画

第八章　會務

第拾弐條　本組合ノ収支ハ本区トノ連絡ヲ保ツモノトス

第拾参條　本組合ニ左ノ帳簿ヲ置ク
1．組合規則並ニ細則　2．組合員名簿及役員名簿
3．日誌　4．会計簿　5．財産台帳
6．決議録　7．其他

第拾四條　本組合ノ会計年度ハ一月一日ニ始メ十二月末日ニ終ルモノトス

第拾五條　本組合ノ会則変更ハ役員会ニ於テシ総会ノ承認ヲ得ルモノトス

11オ　11ウ　12オ

農事組合規則

第壹章　名称、位置、目的

第壱條　本組合ヲ五ヶ山農事組合ト称ス

第弐條　本組合ノ事務所ヲ組合長宅ニ置ク

第参條　本組合ハ農事ノ改良発達ヲ計ル為メ小組合並ニ希望組合ヲ統一スルモノトス
但シ希望組合ハ同志五名以上ヲ以テ一組合ト認ム

第弐章　事業

第四條　本組合ハ前条ノ目的ヲ達スルタメ左ノ事業ヲナス
1．農産物ノ増収及販賣ヲナスコト
2．講習會講演會視察會見學ヲナス事
3．品評会相互視察會ヲナスコト
4．共同購入ヲナスコト
5．農産物ノ改良副業ノ創設ヲナスコト
6．其他必要

第三章

第五條　本組合ハ小組合並ニ希望組合ヲ以テ組織ス

第四章

第六條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク
但シ役員ノ任期ハ二ヶ年トス
組合長壱名　副会長壱名
評議員若干名

第七條　正副組合長ハ総会ニ於テ選挙シ評議員ハ小組合長並ニ希望組合長ヲ以テス

第八條　本組合役員ノ職務ハ左ノ如シ

8ウ

ノトス
一、議長ハ閉会前ニ当日ノ決議事項ヲ讀ミアゲ全出席員ニ徹底セシムベシ
一、重要ナル決議事項ハ出席者中ヨリ二名以上記名捺印セシムベシ
一、決議ハ多数ヲ以テ決シ可否同数ナルトキハ議長之ヲ定ム
一、町村吏員並ニ教職ニアルモノハ如何ナル会合ニ於テモ意見ヲ述ブルコトヲ得
一、総会其他ノ会合ノ通知ニハ時刻、會場、議題ノ大要ヲ知ラシムベシ
一、総会並ニ其他ノ会合ニハ必ス出席スベキモノトス若シ止ヲ得ザル事故又ハ病気ノトキハ口頭又ハ文書ヲ以テ届出ズベシ
一、欠席三回遅刻早引五回ヲ以テ公役一人ト定ム
但シ止ムヲ得サル事情其他ノ場合ハ議長是ヲ斟酌ス
一、欠席者ハ当日ノ決議事項ハ必ス聞キ合セ置ク義務アルモノトス
一、勝手ニ雑談ヲナシ又ハ会議ノ妨害ヲナスモノハ議長ヨリ退席ヲ命スル事ヲ得
一、区民ノ思想ヲ悪化セシムル如キ言辞ヲナスモノハ発言ヲ禁スルコトヲ得

9オ　9ウ　10オ

椎茸養成組合規約

第壱章　名称　地位　目的

第壱條　本組合ヲ五ヶ山椎茸養成組合ト称ス
第弐條　本組合ノ事務所ヲ組合長宅に置ク
第三條　本組合ハ椎茸改良養成ヲ目的トシ区民へ普及ヲ計ルモノトス

第弐章　事業

第四條　本組合ハ前條ノ目的ヲ達スル為メ左ノ事業ヲナス
1．國有林拂下ニ依リテ椎茸材料木ヲ得ルモノトス
2．椎茸材料木以外ノ雑木ハ薪炭材トシテ賣却スルモノトス
3．椎茸養成ノタメ講師ヲ聘シ又ハ視察見學ヲナスコト
4．椎茸養成乾燥搬出等ニ必要ナル設備
5．國有林拂下ニ関スル一切ノ手続
6．其他必要ト認ムルモノ

第参章　組織

第五條　本組合ハ五ヶ山區民ヲ以テ組織ス

第四章　役員、任期、權限、選定

第六條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク　但シ任期ハ二ヶ年トス
組合長壱名　理事四名　事業主任一名
第七條　役員ハ総テ組合総會ニ於テ選任スルモノトス
第八條　組合長ハ本區トノ連絡ヲ保チ組合事務ヲ総理シ本組合ヲ代表ス
理事ハ本組合ノ事業協定ヲナシ組合長ヲ補佐シ本組

6オ

3．本人又ハ家族一ヶ月以上入院シ又ハ一ヶ年以上引續キ病人アリタルトキ
4．年齒六十歳以上ニ達シタルトキ
5．病気ノ為メ職ニタヘザルトキ
但シ此ノ場合ハ当該小組合連署ヲ以テ辞職願ヲ區長ニ提出スベシ
6．同一組合ニテ同一家族ノモノ二名當選シタルトキ
7．一人ニテ三ヶ以上ノ役員ヲ選出セラレタルトキ
但シ評議員以上トス
8．老幼ヲ世話スルモノナキ場合

6ウ

第廿壱條　前條ノ理由ナクシテ辞職シタルモノハ三ヶ年以内ノ區民権ヲ停止スルコトアルベシ
第廿弐條　當区内各種團体ニ於テ行フ事業中特ニ必要ト認メタル場合ハ補助ヲナスモノトス
但シ此ノ場合ハ事業ニ對スル概算書ヲ添ヘ區長ニ請求スベシ
第廿参條　各種團体ノ事業中区ノ発展後進者指導公益事業等ニ對シテハ区ノ公役トシテ認ムルコトヲ得
第廿四條　前二ヶ條ノ為メニハ別ニ内規ヲ設クルモノトス
第廿五條　國有林ノ根浚並ニ床切リ等賃金ヲ受クル出役ニハ補助金ヲ與ヘザルヲ本体トス

第拾章　節約

第廿六條　當区ニ拾ヶ年計畫ヲ以テ節約規定並ニ基本金積立規定ヲ設ク

7オ

第拾壱章　建議

第廿七條　區ニ建議セントスルトキハ建設案ヲ口頭又ハ文書ヲ以テ區長ニ提出スベシ
但シ此場合ハ総会ニ於テ建議者ハ充分ナル説明ヲナスベシ

第拾貳章

第弐拾八條　本規則ヲ改廃セントスルトキハ區評議員會ヘ提出シ承認ヲ経総會ニ報告スルモノトス
第弐拾九條　本規則ハ拾ヶ年ヲ経過シ異議ナキトキハ継續スルモノトス
第参拾條　本規則ヲ確守センタメ各記名捺印ス
附則　本規則ハ昭和三年十一月十六日ヨリ實施ス

8オ

會議ニ関スル内規

一、総会並ニ役員会等ハ組合員会員等出席義務者ノ過半数ノ出席者アルニアラザレバ開会スルヲ得ズ　但シ委任者ハ計算ニ入ル、事ヲ得
一、総会其他ノ会合ニハ議長ヨリ左ノ役員ヲ指名スルコトヲ得
1．参與員　2．書記
一、総会其ノ他ノ会合ハ可成會議法ニ依ルモノトス
一、質問意見等発言ヲナス場合ハ議長ノ許可ヲ得テ発表シ勝手ニ発言スベカラズ
一、議長ハ會議ノ始メ並ニ終リニハ必ス人員ヲ調フベキモ

3ウ

5．山総代ハ國有林ニ関スル一切ヲ総理シ代表ヲナス
但シ区会議員並ニ山惣代ハ各種ノ會合ニ列席シ意見ヲ述ブルコトヲ得
6．各種團体長並ニ小組合長山惣代及区会議員ヲ以テ評議員トシ区ノ事業事務予算決算並ニ計畫等区ノ発展上必要ナル事項ニツキ評議シ決定ヲナスモノトス

第五章　會議

第九條　當區ノ會議ヲ左ノ通リトナス
1．総會　2．各種組合並ニ部會総會
3．區會団体長會　評議員會　理事會
修養団体ノ役員會

4オ

第拾條　総代ハ毎年壱回之ヲ開ク但シ必要アル場合ハ臨時総会ヲ開クコトヲ得
総会ニ於テハ左ノ事項ヲナス
1．豫算、決算ノ報告
2．事業報告
3．第七條ノ1ニ該当スル役員ノ選擧
4．其他必要ナル事項

第拾壱條　総會以下各種ノ會合ハ区長又ハ各種ノ團体長之ヲ召集ス

第拾弐條　會議法ハ別ニ之ヲ定ムルモノトス

第六章　庶務會計

第拾参條　當区ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ事務ヲ整理ス
1．區規則　2．各種団体規則
3．會員名簿　4．役員名簿

4ウ

5ウ

5．日誌　6．出席簿
7．事業計畫簿　8．決議録
9．建議簿　10．各種團体事業予定
11．事蹟綴　12．五ヶ山區一覧表
13．其他必要ナル帳簿

第拾四條　會計ニ関スル左ノ帳簿ヲ置ク
1．會計簿　2．予算決算書綴
3．基本財産台帳　4．領収証綴
5．各種團体補助一覧表
6．各種團体経費一覧表
7．其他必要ナル帳簿

5オ

第拾五條　當区會計年度ハ一月一日ニ始マリ十二月末日終ル

第拾六條　當區ノ経費ハ區民ノ負担トス

第拾七條　表彰ニ関スル規定ハ別ニ之ヲ設ク

第七章　表彰　弔慰　罰則

第拾八條　組合員相互ノ慰安並ニ互助ノ為メ別ニ弔慰規定ヲ定ム

第拾九條　風紀矯正並ニ罰則ニ関シテハ別ニ矯風組合規定ヲ設ク

第八章　役員辞職

第弐拾條　當区ノ各種役員ニ當選シタルモノハ左ノ理由アルニアラザレバ辞職スルコトヲ得ズ
1．家族一ヶ年以上ノ現役ニ服シタルトキ
2．家族戦役ノ為メ召集セラレタルトキ

9

1オ　1ウ　2オ

五ヶ山區規則

第壹章　位置　目的

第壹條　當區ハ事務所ヲ五ヶ山区長宅ニ置リ

第弐條　當區ハ區内各種ノ組合並ニ会ヲ統一シ一致協力勤倹美風ヲ涵養シ農事ノ改良農家経濟ノ向上ヲ計リ區民相互ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第貳章事業組合並ニ部會

第參條　前條ノ目的ヲ達スル爲メ左記ノ組合並ニ部會ヲ設ク

1. 區會
2. 販賣組合
3. 茸山組合
4. 農事組合
5. 矯風組合
6. 在郷軍人分會
7. 青年會
8. 保護者會
9. 主婦會
10. 處女會
11. 其他必要ナル會

第參章　組合員

第四條　当区内居住者ニシテ一家ヲ構へ壱ヶ年以上ヲ経過シ永住ノ見込アルモノハ當区ノ組合員トス

但シ分家シタルモノ並ニ當区ニ本籍ヲ置キ出寄届ヲナシタルモノ帰郷シタルトキハ其月ヨリ組合員トナス

2ウ　3オ

第五條　当区組合員ハ性年齢体質職業別等ニヨリ第參條ノ各種ノ内該当スル會ニ加入スベキモノトス

第四章　役員任期選出法職権

第六條　役員

區長　區長代理　區會議員　矯風組合（矯風組合ハ区長区会議員兼務）　以上任期四ヶ年

販賣組合理事長並ニ理事　以上任期三ヶ年

茸養成組合農事組合　各種修養團体　以上任期二ヶ年

第七條　選出法

1. 區長　區長代理　區會議員　茸山組合　販賣組合　矯風組合ノ役員　並ニ　農事組合ノ正副組合長ハ総會ニ於テ選出ス
2. 修養団体並ニ小組合ノ役員ハ其組合ニ於テ選出ス

第八條　役員ノ職務

1. 區長ハ區内ニ於ケル各種組合並ニ会ヲ総理シ区ノ代理ヲナス
2. 區長代理ハ区長ヲ補佐シ區長事故アルトキ代理ヲナス
3. 各種團体長ハ受持ノ團体ヲ總理シ其ノ代表ヲナスモノトス
4. 區會議員ハ各種事業団体並ニ修養団体ニアラザル区の事業及事務ニツキ協議シ區長ト区民トノ連絡ヲ保チ部落ノ代表ヲナス

2ウ

記

一、組合規約　別紙添付
一、組合員名簿　別紙添付
一、役員ノ氏名住所
東脊振村大字松隈　番地
理事　宗雲大造（印）
同村　大字　松隈　番地
理事
同村　大字　松隈二二〇九番地
監事　宗雲幾市（印）

8

1オ

製炭農事實行組合規約

第一章　總則

第一條　本組合ハ隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ノ共同ノ利益增進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本組合ハ松隈製炭農事實行組合ト稱ス

第三條　本組合ノ地區ハ佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈大字石動大字三津トス

第四條　本組合ノ事務所ハ之ヲ佐賀縣神埼郡東脊振村字松隈ニ置ク

第五條　本組合ハ地區内ノ居住者ニシテ製炭ニ關係アル者ヲ以テ組合員トス

第六條　本組合ハ其ノ目的ヲ達スルタメ關係機關ト連絡シテ左ノ事業ヲ行フ

一、必需品ノ共同購入
二、生産物ノ共同販賣
三、資金ノ融通並斡旋
四、共同利用設備ノ設置
五、品評會、講話會、講習會ノ開催
六、製炭業ノ指導奬勵
七、其他組合ノ目的ヲ達スル為必要ナル事業

第七條　本組合ハ　産業組合ニ加入スルモノトス

第八條　本組合ノ公告ハ組合ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ為ス

1ウ

2オ

第二章　加入及脱退

第九條　本組合ニ加入セントスル者ハ其氏名及住所ヲ記載シタル書面ヲ組合ニ提出スベシ
理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨本人ニ通知ス

第十條　組合員脱退セントスル時ハ少クトモ三ケ月以前ニ其旨ヲ記載シタル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第十一條　組合員死亡シタルトキハ其ノ家督相續人ニシテ組合員タル資格アル者ハ被相續人ニ代リテ組合員ト為ルモノトス

第十二條　組合員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、組合ノ事業ヲ妨クル行為アリタルトキ
二、犯罪其ノ他不正ノ行為ニ依リ組合ノ信用ヲ毀損シタルトキ

加入申込書

貴組合定欵承諾ノ上出資　口加入致度候條
左記書類相添へ此段及申込候也

昭和　年　月　日

松隈製炭農事實行組合
組合長理事　宗雲巳之助（印）

産業組合
組合長　川原和佐一　殿

6ウ

（附紙）

歳　「出」

一、金貳百四拾四円八拾参銭　七年度歳出高

一、金壱百八拾参円七拾九銭　六年度歳出高

差引金六拾壱円〇四銭ノ増

歳　入

一、金壱百四拾六円六拾四銭　七年度歳入高

一、金　五拾六円九拾五銭　六年度歳入高

差引金八拾九円六拾九銭ノ増

4ウ

金高	種目
九・五七	十月十三日運動会来賓招待雑費
貳・四五	十月十八日自力更生活動石井氏外壱名宿泊雑費
九・貳〇	十一月四日西村克比古君凱旋祝賀会雑費
壱・四〇	五月二十七日製茶練習会井上技手出張雑費
壱・壱〇	稲被害見分村農会出張雑費

5オ

円	
・二〇	立札作賃
四・五五	大野新道測量人夫六人半日当金
参・五〇	大野新道仕上人夫五人分賃金
四・九〇	大山神社枯木引直七人分賃金
壱・七五	種痘ニ付人夫弐人半分賃金
四・九〇	壱本杉道切七人分ノ人夫賃金
参・五〇	久保山道切五人分人夫日当金
貳・八〇	自力更生活動運搬人夫四人分賃金
壱・七五	東光寺修理材料代及人夫半日賃金
円	
参・六〇	昭和七年度他行區役三人分日当金
五・六〇	大野新道石屋手間人夫八人分賃金
壱八・〇〇	大野新道石屋日当拾弐日分賃金
九・七〇	大野新道作り諸雑費
壱・参五	杉苗　弐百本代（運賃共）
参・〇〇	土地名寄帳加除池田氏エノ謝禮金
・八五	宮屋根修理諸雑費
・六〇	昭和七年度内夫参回分賃金
・五〇	大野新道作り石工日当三合分賃金
六	昭和七年度通信費切手代

柱に「小計百五」とあり。

5ウ（附紙）

「計金壱百五拾円八拾参銭」

昭和七年度歳入歳出對照

一、金壱百四拾六円六拾四銭　歳入總高

（附紙）

一、金貳百四拾四円八拾参銭　歳「出」總高

差引金九拾八円拾九銭

6オ

一、金九拾八円拾九銭　昭和七年度歳入不足金

一、金貳拾円　昭和七年度準備金

計金壱百拾八円拾九銭

右　処分案

（附紙）

戸数割七分地租割参分ノ割合ニテ徴収ス「参拾八戸割」

戸数割壱戸ニ對スル割当金弐円拾六銭六厘

6オ

租掛　壱円ニ對スル弐拾六銭

準備金処分

一、金弐拾円

總会雑費及帳落金支払ヒ残金ヲ昭和八年度エ繰越シ

6ウ

前年度歳入歳出對照

7

1オ

昭和七年度小川内區歳出歳入決算書

昭和七年度歳入高

一、金壱百四拾六円六拾四銭

昭和七年度歳出高

一、金貳百四拾四円八拾参銭

2オ

歳入之部

金高	種目
円	
四・参壱	昭和六年度繰越金
壱八・壱八	昭和六年度農林省交附金
弐・〇〇	昭和七年七月三日林道測量宿泊謝禮金
壱〇・〇〇	昭和七年度區共有金補助金
五参・六〇	昭和七年度區公役出不足金其他
五八・五五	里道修理東背振村支出金（矢落ノ石垣築）

（附紙）

計　壱百四拾六円六拾四銭

昭和七年度歳出高

2ウ

一、金貳百四拾四円八拾参銭

内訳

一、金九拾四円　昭和七年度經常費

一、金壱百五拾円八拾参銭昭和七年度臨時費

3オ

歳出之部

金高	種目
円	
	經常費
五〇・〇〇	昭和七年度區長手當金
九・六〇	昭和七年度組合長四人分手當金
壱五・〇〇	昭和七年度早使手當金
壱五・〇〇	昭和七年度人夫長手當金
貳・四〇	昭和七年度東光寺大世話人手當金
貳・〇〇	昭和七年度消防組頭及小頭手當金
小計　九拾四円	

3ウ

金高	種目
円	
	臨時費
壱〇・四六	昭和六年度區域割割当金
貳・〇〇	二月二十九日髙良神社参詣御神酒代
五・参〇	三月二十二日大野新道竣功祝賀会雑費
貳・六〇	三月二十六日集会夕食雑費
壱・九五	三月二十八日納税徴収縣税務課ヨリ宿泊雑費
六・五〇	五月二十二日矢落石垣竣功祝雑費
壱八・七壱	五月二十三日神埼署長消防組視察招待雑費
壱・六六	五月二十六日村農技手宿泊雑費
貳・参参	七月三日林道調査羽山成富出張雑費

4オ

金高	種目
円	
壱・〇壱	七月八日洪水被害調査村役場ヨリ出張雑費
壱・〇〇	七月十四日宮樫枯木引直し雑費
・九五	七月十七日種痘雑費
壱・五五	七月二十一日洪水被害里道調査縣土木技手宿泊雑費

31オ

七月廿一日　東脊振役場ニ例会ニ出張ス
七月廿三日　農会ヨリ繭之賣却之為メ執□□蚕技手出張ス
七月廿四日　區有林内之杉根拂ヒ区役ヲ執行ス
七月廿八日　宅地税納金之為役場出張ス
八月一日　区受持之道路修善［膳］之為メ一日区役執行ス
八月三日　九年度第二回之掃除檢査執行ス
八月廿一日　区長列［例］会之為出張ス
八月廿三日　實行組合列［例］会ヲ実
八月廿八日　家屋税集ヲナシ廿九日ニ大石嘉作氏便ヲナシタリ

31ウ

九月二日　当部落共有造林之手入レ
九月三日　東脊振役場ニ協議会之為メ出張ス
九月九日　東脊振村民大会ニ出張ス
九月二十二日　大野電気工事為メ松隈発電所出張ス
九月二十八日　当役場ニ雑地租納金為メ出張ス
九月廿日　横田西村助吉死去為メ出張ス
十月一日　小川内小學校運動會参加ス
十月三日　脊振村道掃除ヲ実行ス
十月五日　村道之区受持道造實行ス
十月十八日　稲之坪刈リ実行ス
十月十九日　区長例会ニ出張ス
十一月二十六日　納金ヲ集金ヲ実施ス
十二月九日　拾日　両日二日間郡農会主催ニテ小川内区ニ於テ山葵講習会実施セラレル
昭和拾年一月以降日誌

32オ

一月一日　小川内小學校ニ於テ一月一日之拝賀式ニ参烈［列］ス
一月三日　小川内区有林内葵谷ヲ区長組頭五名ニテ調査ス
一月五日　区有深野存地整理ノ為メ委員権藤郡作、西村喜三、杉谷兵太郎、進藤岡一、大石嘉作、武廣勇、区長七名テ調査ス
一月五日　五日夜ハ存地整理ノ為メ区總会ヲ執行ス
一月十二日　存地整理委員数名ニテ調査ス
一月十三日　竹之屋敷方面之存地調査ス
一月十三日　夜ハ組頭実行小組合長各官［幹］部会ヲ執行ス
一月十四日　区總會ヲ執行ス
一月十五日　佐賀営林署ヨリ署長以下六名出張アリタリ
一月十六日　署長午前八時ニ出発サレタリ

32ウ

33オ

29オ

四月八日　昭和九年四月八日ヲ以テ現在戸数三十七名ヲ提出ス
四月十五日　十六日　小川内小學校家［屋］根替ヲナシタリ
四月十七日　東背振区長唐津ニ視察ヲナシタリ
四月廿日　夜村税不納ヲ集會ヲナシタリ
四月廿一日　区長列［例］会ニ出張ス
四月廿二日　夜藤原先生ト立合上小學校家フキ計算ヲナシタリ
四月廿三日　午后一時ヨリ同区之列［例］会ヲナシタリ
四月廿五日　豆野理［里］道修善［膳］ヲナシタリ
四月廿六日　豆野理［里］道修善［膳］ヲナシ定期之道造同日ニ實施シタリ
四［五］月二日　昭和九年第一期生［清］潔檢査ヲ實施ナシタリ

29ウ

四［五］月二日　道路修善［膳］シ檢査ニ助役氏出張ス
四［五］月三日　昭和九年度第一期種痘ヲ施行ス
四［五］月九日　竈麻之指令受付同日請求ヲ書ヲ指出ス
四［五］月十日　種痘之檢査ヲ行ヒタリ
五月十六日　脊振道之修善［繕］ヲナシタリ
五月廿日　東脊振信用組合専務理事出張ス
五月廿一日　区長例会ニ出席ス
五月廿三日　實行組合之例事ヲナシタリ
五月廿四日　海道神社ニ於当区牛馬養生ヲナシタ
五月廿四日　午后二時ヨリ佐賀橋ヨリ竹之屋敷間之構掃除ヲナシタリ

30オ

五月廿七日　五ケ山七回之縣道修善［膳］ニ人部［夫］ニテ一日区役ノ寄附ヲナシタ　同日ニ古川助役納金帯［滞］納之為メ出張ス
五月廿七日　午后八時ヨリ農会費田租四期分畜産組合納金ヲ徴収ヲナシ
五月廿八日　東脊振村役場ニ納金完納之為メ出張ス
六月三日　徴兵檢査通達受付
六月四日　徴兵檢査通達書領収ヲ相集メ村役場ニ送ル
六月七日　鯉児申込送達受付
六月九日　時之記念日ニテ時計合執行ス
六月十一日　夏期蚕申込送達受付
六月十八日　鯉児申込書ヲ農会ニ送ル
六月廿日　蚕申込書送付

30ウ

六月廿二日　村役場ニ例會ニ出張ス
六月廿五日　東脊振養蚕技手当区ニ出張ス
六月廿八日　昭和九年度村税第一期分徴収ス
六月廿八日　都合ニヨリ六月廿八日例會ヲ執行ス
六月廿九日　村税完納ニ役場ニ出張ス
七月一日　例之通リ神社掃除ヲ執行ス
七月一日　神社掃除祭東光寺ニ於テ人部［夫］頭ヲ撰［選］擧ヲ成シ結果西村克比古ニ当選ニテ其後西村克比古氏ヨリ断リヲ申シ出タリ
七月十二日　東光寺ニ於テ木炭總会之折ニ人部［夫］長ヲ宗雲幾市氏ニ相談ヲナシタリ

26ウ

九月廿三日　宗雲己之助　大石泰三両名炭竈公［講］習為
出張ス
九月二十五日　豆野橋（重尾）之土管池ヲナシ（但古小川
内土管池ヲナシ　小校住宅ニ土寄ヲナシ）
九月二十七日　夜ハ雑地租徴集ヲナシ
九月二十九日　村区役ニ納金為出張ス
十月十七日　東脊振小學校ニ小麦肥料配合講演出席者　大
石泰三　武廣巳之助、武廣勇、杉谷一　原口稲作
十月廿一日　区長例會ニ出席ス
十一月十一日　縣廳官区並ニ役場土木係り二名出張ス
十一月廿一日　区長例會ニ出席ス
十一月廿三日　当区實行組合之例會ヲ衍フ出張ス行フ
十一月廿七日　納金徴集ス
昭和八［九］年一月一日　小川内尋常小学校新年拝賀式ニ
参列ス
一月四日　西村喜三　進藤岡一　大石嘉作　大石泰三　青
木敏美五名小川内小學校問題之為メ神埼中島様宅並ニ縣
廳ニ出張ス
一月六日　東脊振村城割ニ出張ス
一月十六日　宗雲繁雄氏入営ニ付送別會ヲ執行ス
一月廿二日　区長例會ニ出張ス
一月廿四日　碇巡査当部落ニ出張ス
二月七日　東脊振村正之為メ出張ス
二月廿一日　区長例會ニ出張ス
二月廿二日　東脊振村會通城［常］會ニ支定竒府［指定寄

27オ

27ウ

附］會［金］問題ニ出張ス
二月廿四日　實行組合之列［例］會ヲ執行ス
二月廿五日　納金徴集し役場ニ出張ス
二月廿六日　東脊振村産業組合各監事各信用評定員會ニ協
議會ニ出席ス
三月二日　共有林之杉技持［打］ヲ執行ス
三月十五日　昭和九年度就學届ラ提出ス
三月十六日　國防獻金ヲ完納ス
三月十六日　午後一時大山神社再築役員集會ス
三月廿二日　区長列［例］會ニ出席ス
三月廿四日　實行組合列［例］會ヲ執行ス（三月廿六日
役場ヨリ古川助役　柿本二名出張ス）
三月廿七日　昭和九年度三期田租徴集ス（三月廿七日卒業
式参列ス）

28オ

三月廿八日　松隈寺崎氏幸便ニテ田祖送附ス
三月廿一日　小學教員移［異］動ニ関スル集會ヲナシタリ
四月二日　当区小學校屋根茅切ヲナシ
四月二日　午后九時ニ教員青木先生藤原先生両人ニ勧［歓］
送會ヲ執行ス
四月三日　青木先生之荷物ヲ中原驛迄送附ス　人名ハ武廣
正史　同芳太郎　宗雲光成　原口稲作　大石重利　大石
新　権藤得利計七名

28ウ

四月四日　杉谷儀市　宗雲乕彦二名荷物送ル
四月四日　午後四時小學校入学式
四月七日　宗教拓発社會事業為メ五名出張サシタリ

24オ

五月廿二日　区長例會ニ出席
五月廿四日　東脊振柑小學校ニ於テ佐賀農事試驗場ヨリ
肥料配合並ニ肥料施用法之講演アリ区民二十七名出席
五月廿五日　大野電気為メ武廣金作西村喜三両名佐賀ニ出
張ス
五月廿七日　納金農會費並ニ七年度第四期田租集金ス
五月廿八日　役場之収入役ニ納金ス
六月七日　山林會十廻（ママ）記念品評會ニ出品関スル惣［総］會
ヲナシタ
六月十五日　配合肥料が到着シ（但し宗雲幾市氏ヲ受〈ケ
ト〉リニ一之瀬迄出張シ）
六月十六日　配合肥料各自分配シ　南用南田＝＝苗代之
鑑査（ママ）

24ウ

六月廿一日　区長例會ニ出席
六月二十七日　水田（イモチ病蔓之為井上技手出張ス
六月二十七日　軍人待遇費集金ス
七月一日　午後一時ヨリ原野竹林造植不用村地整理　大野
電気ニ関スル集合ヲナシ
七月二日　昭和八年度第一期戸数割徴収ス
七月六日　戸数割納金為メ役場ニ出張ス
七月九日十日　大山神社家［屋］根葺ヲ致シマシタ
七月十一日　佐賀農事試驗場ヨリ前田氏郡農會ヨリ中尾氏
井上技手三名出張シ
七月廿日　区共用大杉四本賣々之為区集會ヲ
ナシ同夜七百円ニテ福岡市塩原之神社建築之材料ニ賣却

25オ

ス
七月廿一日　区長例會ニ出席ス
七月廿二日　昭和八年度之第二期生［清］潔檢査之為メ三
好氏出張ス
七月廿三日　午後九時ニ實行組合之例會ニ施行ス
七月廿四日　電気試驗之為メ進藤技手出張ス
七月廿五日　大野電氣工事為區役西村喜三　進藤岡市　原
口榮　武廣勇　大石泰三五名出役ス
七月廿七日　午後八時ニ縣税営業税並ニ宅地税ヲ徴集［収］
ス

25ウ

七月廿八日　納金為メ役場ニ出張ス
八月八日　小川内小学校ニ於テチフス豫防注射ヲ施行ス
八月十日　畑之土壌檢査之為メ佐賀試驗場ヨリ石井氏
川崎、井上氏三名出張ス
八月廿一日　村役場ニ例會為メ出張ス
八月廿三日　小川内区例會ヲ施行ス
八月廿九日　神埼警察署ヨリ刑事橋口氏　舟津氏ニ出張ス
八月廿一日　神埼警察著長外巡査三名村會議員一名消防点
檢　部落之視察ニ出張ス

26オ

九月七日　小川内区用林之下払之区役ヲナシ
九月十一日　古小川内石垣之石寄セナシタリ
九月十二日　古小川内石垣之区役ヲナシ
九月十三日　古小川内之石垣之区役ヲナシ　今三ヶ間終メ
九月十八日　古小川内之第二号工事之石垣ヲナシタ
九月廿日　区長例會ヲ役場ニ出張ス

21ウ

五時迄　遅刻は晝夜共各五銭。出不足金ハ集会拾銭　小組合長。第壱組長宗雲虎夫。第二組長武廣金作　第三組長宗雲幾市。第四組長。杉谷一。

二月十七日　東背振校ニ於テ経済更生村民大会アリ左ノ者ヲ區代表ニテ出席セシム

大石嘉作。青木敏美。宗雲虎夫。武廣勇。宗雲幾市。杉谷一。

二月二十一日　區長例会出席

二月二十五日　昭和七年度第二期田租徴収納金。

二月二十七日　昭和七年度産業組合通常總会出席。代表出席者武廣金作。西村喜三。大石岩吉。宗雲鉄之助。宗雲民彌。五名

22オ

三月十二日　午前九時ヨリ區集会。佐賀神社及三勇士銅像。三陸震災寄附及義捐金に関スル件

三月十五日　村役場行

三月十七日　神埼郡農技手中尾氏及村井上技手ノ経済更生ニ関スル講演アリ

三月十八日　午後八時區集会協議事項一、寄附金ニ関スル件　二、補水及溜池設置ニ関スル件。（以上産業組合）三、區壱般集会時間改正の件。　四、五ケ山小川内養魚組合費徴収の件。

三月十九日　佐賀縣々会議總選擧區有権者投票ヲナス

三月二十七日　小川内尋常小學校第三十八回卒業證書及修業證書授與式参列

三月二十八日　東背振農事実行委員佐賀郡東与賀村実行組合肥料配合視察　小川内區代表者大石泰三。大石嘉作宗雲虎夫。杉谷一。武廣勇。

22ウ

三月三十一日　教員住宅壁土寄せ出役人名大石保衛。杉谷亮　宗雲宗人。大石新。杉谷與一。武廣金作。

四月二日　東背振區長長埼方面視察。

四月十二日　午後九時ヨリ村会議員候補者豫選会投票ノ結果四拾三票の内最高三十二票にて大石嘉作君当選す。

四月十三日　土壌檢査縣農事試験場より石井水田井上村農技手出張

23オ

四月十二日　住宅壁塗り

四月二十二日　區共有萱床ノ火入れをなす

四月二十三日　村会議員總選挙投票

四月二十六日　縣税地租附加税同村附加税。特別地税同村附加税。徴収

四月二十七日　納金村役場行

23ウ

昭和八年四月二十八日　區長辞職届提出ス

四月二十九日　杉谷區長代理へ急ヲ要スル事務ノ引継ヲナス

五月十二日　新旧区長立合上事務引継ギヲナシタ

五月十四日　夜ハ新旧区長ノ送迎執行致シタ此之祭出席者ガ多数デ有タ

五月十五日　午後九時肥料申込ニ関スル区総會ナシ

五月十八日　大野電気設置ニ関スル件組頭外数名集會ナス

五月廿日　佐賀橋ヨリ竹之屋敷間道路修善［繕］ス

18ウ

九月二十七日　納金村役場行き
九月二十八日　昭和七年度秋季背振縣道掃除午後より海童
　社地開き運動場地ならし出不足六名
昭和七年十月二日　共有杁の根払ひ出不足三名寺崎龍縣氏
　と本山布教師の税教の件に付打合せをなす
十月七日　松坂橋渡橋式参列
十月十三日　小川内校運動会村役場ヨリ松隈助役井上村
　議。船津巡査三名来賓招待をなす
十月十八日　國民自力更生運動ノタメ活動寫眞開催ノタメ
　縣ヨリ石井氏外一名出張青木地方委員ト共ニ準備の打合
　せ及ビ招待ヲナス。
十月十九日　区長例会。（十月分繰り上げ）村社籾神社秋
　祭り代参

19オ

十月二十二日　兵器献納資金未納徴収
十一月三日　明治節拝賀式参列
十一月四日　西村克比古君凱旋中原駅迄歓迎す　大山祇神
　社にて祝賀會開催す
十一月二十一日　区長例會

19ウ

十一月二十五日　昭和七年度後期村税特別税戸数割徴収
十一月二十六日　納税村役場行
十二月二日　本村出身満州出動軍人最所君凱旋歓迎ノタメ
　中原駅行キ
十二月十一日　納税徴収
十二月十二日　納金ノタメ村役場行
十二月二十一日　区長例会　村役場行き

20オ

十二月二十四日　区費計算
同二十五日　〃
十二月二十六日　昭和七年度区總会召集
　昭和七年度区集会　参回
昭和七年度区公役　十八日（十八回
　出役延人員　六百拾六人半
　~~出不足―五十四人半~~
　区長例会　十二回
　其他公務出張　八回
　納税徴収　十弐回
　納税納附役場行　十弐回
　組合長会　参回

20ウ

昭和八年一月十二日　区域割のため村役場行き東背振駐在
　所船津巡査神埼署刑事壱名出張
一月二十八日　昭和八年度第壱期赤愛会年醵金及七年度第
　二期宅地租　七年度第壱期田租徴収納金
二月五日　午後壱時ヨリ區集会協議事項一、小川内校舎移
　轉及敷地設置に関スル件。請願書連名ニテ提出ノ事ニ可
　決ス

21オ

二月九日　小川内校舎改築請願ノタメ村役場行キ。人名西
　村喜三。宗雲巳之助。大石泰三。宗雲虎夫。武廣金作。
二月十一日　紀元節拝賀式　午後より経済更生ニ関スル區
　大会開催ス　各組合ヨリ壱名小組合長ヲ選擧ナス
　時間決定ノ件。區集会ノ集合時間ヲ左ノ如ク協定ス　夜
　ルハ午後八時。晝ハ午後壱時。區公役午前八時ヨリ午後

16オ

五月十五日　納税徴収
五月十五日　福岡方面農事視察同日納金
五月十八日　區公役お宮ノ屋根棟替里道修理
五月二十一日　矢討附近石垣修理區公役區長例会
五月二十二日　同　　本日落成祝酒ヲ飲ム
五月二十三日　消防点檢神埼署長松隈助役船津巡査三好書
　記出張春季大掃除檢査
五月二十六日　村農会より井上技手中原蚕業技手二名製茶
　講習ノタメ出張参組ニ分ケ各講習ヲ受ク
五月二十七日　納税徴収七年度軍人待遇会費農会費第四期
　田租　昭和六年年度資力調書提出ス
五月二十八日　納税村役場行
六月十九日　昭和六年度小川内校指定寄附金徴収
六月二十一日　區長例会指定寄附金納附ス
六月二十六日　昭和七年度村税特別税戸数割徴収
六月二十七日　納金ノタメ村役場行

16ウ

七月一日　宮掃除區公役（人夫長任期満了ナルヲ以テ選挙
　ニ関スル件ニ付キ集会ニ附議ス満場一致ニテ宗雲幾市君
　再選ス）
七月三日　営林署ヨリ成富。羽山森林技手豆野国有原野ノ
　林道測量ノタメ出張
七月四日　午前中ニテ測量終ル
七月七日　大洪水ノタメ田畑及道路の被害甚大ナルヲ以テ
　午後ヨリ被害調査ノタメ佐賀橋ヨリ竹之屋敷迄見分ス
七月八日　水害地調査ノタメ村役場ヨリ三好土木員出張古

17オ

小川内。及籠原其ノ他決潰ヶ所ヲ調査ス
七月十七日　全國各地ニ天然痘流行スルヲ以テ種痘ヲ植エ
　ル
七月十八日　夏秋蚕種四十四角村農会エ申込ム
七月二十一日　區長例会水害里道決潰箇所測量ノタメ三好
　氏及ビ外二名土木技手出張調査
七月二十三日　第二日目種痘植エ
七月二十四日　區公役長谷道修理前川飛石掛出不足五名

17ウ

七月二十七日　昭和五七年度第壱期宅地租徴収
七月二十八日　納金ノタメ村役場行
八月一日　區公役宮掃除
八月二十二日　區長例会村役場行
八月二十六日　昭和七年度後期縣税家屋税同村附加税徴収
八月二十七日　家屋税納金ノタメ村役場行
九月五日　本村農事実行組合事務所設置ノ件ニ付キ大石農
　会總代ト共ニ村役場行キ
九月六日　時局ニ関スル講演会ノタメ村役場行
九月十日　井上農業技手製茶ノ件ニ付キ当區出張
九月十二日　昭和七年度秋季里道修理區公役出不足三名ト
　半

18オ

九月二十一日　佐賀農事試験場視察例會
九月二十六日　區集会。一、兵器献納資金第二回払込ニ関
　スル件　二、満蒙水害義損金竝消防組慰問金ニ関スル件
　三、納税徴収

13オ

公務役場行参拾回
他行區役拾壱日
納税徴収拾壱回

13ウ

昭和七年一月一日　區集会ヲ開催ス
一、小川内校敷地及運動場設置ニ関スル件
拝賀式後右候補地ヲ見分ナス　午後八時ヨリ小川内校ニ
於右ニ関スル件ヲ協議ニ附ス　議論百出協定ニ至ラズ
結果左ノ通リ委員ヲ選挙ナシ右ノ件ニ関スル一般ヲ附
詫ス

14オ

一月二十一日　區長例会出席
一月二十三日　大野道及小川内矢討附近里道ヲ議員組合長
立合ノ上測量ナス大野新道測量ハ関係者ヲ立会セシム
二月二十日　衆議院議員總選擧有権者五十三名
二月二十二日　區長例会出席
二月二十五日　納税徴収
二月二十六日　納税ノタメ村役場行キ
二月二十七日　小川内原口宅ニ於テ区集会開催ス
一、日支事件慰問金ニ関スル件
二、武運長久祈願ノタメ高良神社エ村中参拝ヲナスコト
二月二十八日　在満軍人武運長久祈願ノタメ區民壱戸一人
宛高良神社ニ参詣ナス
三月七日　村社籾神社エ皇軍武運長久祈願祭エ区代参
三月十二日　大野里道開鑿区公役
三月十三日　同区公役
三月十七日　同

14ウ

15オ

三月十八日　〃
三月十九日　〃
三月二十日　〃
三月二十一日　〃　區長例会本日大野里道開鑿開通ス
三月二十六日　午後壱時ヨリ區集会ヲ開催ス
協議事項
一、小川内區等級改正ニ関スル件
二、出動軍人遺族救護慰問並ニ兵器献納資金寄
附ニ関スル件可決
三、仁比山神社寄附金ニ関スル件　可決
四、赤十字社愛國婦人会加入申込ノ件
五、屋根茅切日定ノ件四月四〈日〉ニ協定ス
六、里道矢討附近石垣修理ノ件。村區役ニテナス事ニ可
決
七、昭和七年度秣払下願捺印ノ件
八、納税徴収
三月二十八日　納税ノタメ村役場行。村役場池田氏及縣税
務課より一名当区不納税徴収ノタメ出張
三月二十九日　昭和七年度小川内區免税申請書ヲ大石調査
員立會ノ上作製直チニ村役場エ提出ス
四月十三日　茅床火入レ區公役出役三十二名出不足五名
四月二十一日　區長例会出席
四月二十四日　集会一、嬉野式製茶講習会出席ニ関スル件
四月二十五日　昭和七年四月一日小川内區現在戸数参拾八
戸届出

15ウ

11オ

十月九日　夜武廣早使ト共ニ背振神社寄附金徴収ニ行ク
十月十日　五ケ山小川内聯合運動会ニ関スル打合せヲ五ケ山築地区長ト協議ス
十月十二日　小五聯合運動会出席
十月十九日　村社籾神社秋季祭典代参ヲナス
十月二十日　昭和六年度十月一日現戸数三十八戸届出
十月二十一日　區長例会出席
十一月三日　明治節拝賀式参列
十一月十一日　聖上陛下迎送目田原［目達原］行
十一月二十一日　區長例会出席
十一月二十六日　納税徴収出張
十一月二十七日　納金ノタメ村役場行
十一月三十日　神埼郡北部教育会小川内學事視察ノタメ仁比山於保。三田川野口。三瀬高島。神埼森田四校長出張
同夜当区ニ於テ招待ス

11ウ

十二月二日　神埼署長一行当區巡視　消防組頭及小頭ト共ニ進藤議員宅ニ於テ公設消防加入ニ関スル打合せヲナス
十二月三日　当區出身西村克比古君朝鮮龍山歩兵七十八聯隊第七中隊へ入隊ノトコロ此ノ度ノ日支事件ノタメ出動中チヽハル附近ニテ馬占山軍ト戦ヒ天晴名譽ノ負傷ノ報ニ接ス直チニ此ノ旨區民一般へ通知ヲナス　十二月一日ヨリ在満軍及西村君ノ武運長久ノタメ區民ノ一日一戸巡番ニテ当氏神日参を始ム巡番帳ヲ製作ス　同夜当區青年会幹部辞任ノタメ青木会長ヨリ名譽会員ノ召集アリ議員組合長ト共ニ前役員ノ復職ヲ誘［認］ム結果円満復職ノタメ解決ス
十二月五日　午前七時ヨリ西村克比古君負傷ノタメ神社々任春野氏ニ平癒祈願ヲ依頼ナシ区民及学校職員生徒各團體玉串ヲ捧ゲ代表ニテ祈願ス　同日名譽ノ負傷者西村克比古君ノタメエ当区ヲ代表シテ慰問状ヲ送附ス

12オ

十二月七日　東脊振村長松隈助役小野兵事三氏西村君御家族慰問ノタメ出張進藤議員ト共ニ同行ノ旨村長ヨリ指令アリ同行慰問ス。

12オ

十二月九日　免税申請書提出　十二月十五日限リヲ以テ小川内區賃貸格［各？］調書調査ノタメ村役場行キ
十二月十一日　午後七時ヨリ免税資格者集会申請書ヲ製作ナス　同日納税徴収
十二月十二日　納税納附ノタメ村役場行キ
十二月十三日　免税申請書提出ナス

12ウ

十二月十七日　在満軍慰問金應募集應募人員三十七戸金三円七拾銭
十二月十八日　慰問金ヲ村役場へ發送ス
十二月十九日　西村克比古君ヨリ御禮状倒［到］着イタシマシタ
昭和六年度區長事務早見表
區公役拾三日延人員参百参拾八名半
仝出不足延人員四拾二名半
区集会拾壱回
組合長集会参回

8ウ

配附ナス
七月七日　小川内校指定寄附金納附方村役場ヨリ通知アリ
直チニ同日早使ヲシテ徴収セシム。村農会ヨリ夏蚕種ノ
件ニ付キ通知アリ
七月九日　大野一本杉旧道修理出役七名
七月十日　小川内校指定寄附金不納取立ヲナス
七月十五日　小川内校指定寄附金納金ノタメ村役場行
七月十七日　夏蚕種申込後レタルタメ夏秋蚕秋八月一日掃
立ノモノ六十四㊐申込ム
七月二十一日　區長例会出席
七月二十一日　武徳殿寄附募集ノタメ神埼署川久保部長船
津巡査。松隈助役。三名出張一泊組合長有志ト共ニ右ノ
件ニ付キ打合セヲナス
七月二十五日　午後壱時ヨリ區集会ヲ開ク　協議事項武徳
殿寄附ニ関スル件
七月二十八日　昭和六年度縣税営業税取立　小川内出張
七月二十九日　納税村役場行キ
七月八月六日　大野里道修理出役三十六名出不足三名宗雲
巳之助氏宅田地潰地ハ同氏及組合長協議ノ上包金ノ事ニ
決定ス
八月十一日　夏秋蚕種代金村農会へ納附ナス
八月二十日　本村々農会ヨリ大石農会長外技手三名当區農
事巡視　午後八時ヨリ東光寺ニ於テ講話会開催ス
八月二十一日　当区製茶販賣出荷ニ関スル打合セヲナス
当日ハ區長例会村役場行

9オ

9ウ

八月二十八日　昭和五六年度前半期縣税家屋税徴収小川内
行
八月二十九日　消防非常稱［招］集點検ヲナス　家屋税納
付ノタメ村役場行
八月三十日　西郷村青年訓練生八十八名行軍小川内エ宿泊
ナス　当地青訓〈練〉生ト共ニ宿舎ノ割当ヲナス
九月五日　築山信輔氏逝去ノタメ議員区長代表トシテ會葬
ス　同日金五円当区ヨリ香典トシテ贈ル
九月七日　当村巡査船津氏戸籍㊙ノ件ニ付キ巡回　当区消
防組公設加入方勧誘セラル　集会ノ上回答ス可ク約ス
九月八日　午後八時東光寺ニ於テ區集会ヲ開ク　公設消防
加入ノ件ニ付協議ヲナス　一時見合セノ事ニ協定ス　同
日ハ大野里道笹原附近木橋危険ナルヲ以テ大野部五戸ニ
テ公役修理ヲナス　出役五名
九月十一日　區長例会出席
九月十三日　區共有杁植林ノ手入　區公役出役二十九名出
不足一名
九月二十一日　小川内製茶ノ共同出荷ノ荷造リヲナス
九月二十二日　製茶ヲ村農会へ納附ス
十月一日　昭和六年度秋季里道修理　夜ルハ区集会　背振
神社
再寄附ニ関スル件　二、東松浦郡高串暴風雨損害義損金
ニ関スル件本日區公役出役三十三名出不足五名
十月五日　背振縣道掃除出役三十五名出不足三名　同日東
松浦郡高串村義損金村役場へ納付ス

10オ

10ウ

6オ

込ノ場合ハ集会決議ノ上相当ノ加入金納金スルモノトス
四月十七日　區公役（茅床焼キ）及杉補植並ニ新植五百本
出役二十五四名半出不足五名半）
昭和六年四月二十四日　午後壱時區集会開会　昭和五年度
資力調書提出　二、背振神社寄附金ニ関スル件　縣道掃
除ニ関スル件　御宮屋根棟替エニ関スル件。
昭和六年四月二十六日　縣税地租附加税同村附加税取立
小川内出張

6ウ

四月二十七日　納金ノタメ村役場行　同日縣道掃除區公役
午後ヨリ御宮ノ屋根棟替及消防ポンプ小屋ノ木材取寄セ
出役三十一名出不足七名
四月二十九日　天長節拝賀式参列　午後より婦人会主催敬
老会男女青年總会出席
五月十三日　嬉野茶山及製茶視察
五月十四日　昭和六年度春期清潔檢査　船津。筒井両氏出
張

7オ

五月十七日　嬉野式製茶講師田中氏出張　村役場より松隈
助役井上農業技手二名同日壱泊。直チニ組合長婦人会長
青木氏と共に協議の結果小川内校運動場にて婦人会主催
ノ下に講習なす事に決定なし　武廣早使をして茶盃釜を
築かしむ　講師の日当は村の補助にして宿泊及び賄は区
費より補助す。
五月十八日　製茶傳習会本日修了
五月二十一日　区長例会出席
五月二十六日　昭和六年度春期里道修理出役三十八名出不

7ウ

足二名　同日本村より配布の鯉魚児五千五百尾申込の事
に決定
五月二十七日　昭和六年度前期村農会費。地租付加税。軍
人待遇費。小川内校指定寄附金取立　小川内出張
五月二十八日　納税のため村役場行
五月六月一日　西村克比古君朝鮮龍山歩兵第七十八聯隊
へ入隊せらるゝを以て同君のため午後九時より小学校に
於て歓送会を開催す
六月四日　西村克比古君出郷に付き區民一同村ハズレ迄見
送りをなす
六月八日　村農会より当地産製茶の共同試賣に関する通知
あり直ちに出荷量を報告なす
六月二十二日　区長例会出席
六月二十五日　昭和六年度秣払下金納附ノタメ村役場佐賀
百六銀行行キ
六月二十六日　昭和六年度第前期村税特別税戸数割徴収ノ
タメ小川内出張

8オ

六月二十七日　納金ノタメ村役場行キ
六月三十日　鯉兒配附ニ関スル通達アリ　申込数ト相異ス
ルヲ以テ再交渉ヲナス
昭和六年七月一日　宮掃除村工役出役三十名半出不足五名
半
七月四日　鯉児ノ受取ノタメ大石宅麻［摩］君ヲ蓮池古川
金吾宛行カシム日当壱尾ニ付キ二厘五毛。~~二十~~尾ノ約定
午後大石君鯉児ヲ受取ッテ来る　同人共ニ申込数ニ割宛

3ウ

昭和六年二月十四日　東光寺ニ於テ集会ヲ開ク 協議事項
産業組合總会出席巡［順］番決定ニ関スル件 区長代理
及区組合長改選ニ関ス件 選擧ノ結果投票總数弐拾六票
ノ内最高五票杉谷兵太郎氏区長代理当選。投票總数弐拾
六票ノ内最高六票ニテ
宗雲鐵之助氏当選ス。五ケ山ヨリ水産組合組識ニ関スル
照會アリ 同集會ニ附議ス
昭和六年二月十五日　本村産業組合通常總会出席人名。第
壱番組権藤郡作 進藤岡市 西村友吉 原口稲作四名。區長
ハ信用評定委員トシテ出席ナス
昭和六年二月二十一日　區長例會出席。協議事項。三笠艦
保存会寄附ニ関スル件　東脊振茶發展ニ関スル件
二月二十三日　昭和五年度第壱期田租取立小川内出張
二月二十四日　田租納金村役場行
三月五日　三笠艦寄附金ヲ村役場エ送附ナス
三月四日　東光寺ニ於テ集会ヲ開ク 協議事項消防ポンプ
購入ニ関スル件。東光寺改築委員選擧ニ関スル件。選挙
結果。大石岩吉。杉谷兵太郎。宗雲政吉三氏当選ス
三月八日　大野七十二番観世音ノ参道作リ村區役。午後ヨ
リ東光寺用材運般［搬］ナス 本日ノ出役参拾五名。出
不足三名。
三月十五日　東光寺ニ於テ集会 協議事項ポンプ購入ニ関
スル件。
三月十六日　午後七時ヨリ五ケ山校ニ於テ養魚組合設置ニ
関スル打合せノタメ当区ヨリ代表者出席方案内アリ 不

4オ

肖及宗雲㊞組合長二名代表シテ出席ナス
三月二十三日　區長例会出席 同日午前十一時より村社籾
神社の祈年祭区民代表にて参指［詣］す
三月二十四日　區集会 一、農会總代推薦会豫選の結果大
石泰三氏を多数にて推薦なす 二、養魚組合加入に関す
る件 当区組合員全部加入の事に決定す 創立委員選擧の
結果。西村喜三氏 大石嘉作氏 宗雲大造氏。武廣区長決
定す 三、大野里道改修に関する件苗代後になす事に決
定す　茅
切りは各人にて切る事に決定なし屋根用茅切りたる後炭
ダツ用は切る事となす 日時は四月八日。築地音吉。宗
雲大造。杉谷嘉六。大石宅磨。宗雲倉吉。大石宅摩。
三月二十六日　夜に大石泰三氏宅にて農会總代選擧準備の
事務をとる
三月二十七日　昭和五年度第三期田租取立小川内出張
三月二十八日　田租納税のため村役場行
三月二十九日　小川内五ケ山養魚組合委員会五ケ山校に於
いて開會　委員両方共全部出席打合せなす
昭和六年四月一日　東背振農会總代選擧当区代表
者大石泰三氏得票四十八票ニテ当選ス
昭和六年四月六日　大山祇神社祈年祭及學事報告祭代参
四月十四日　午後七時東光寺ニ於テ集会（組合長）三橋元
松氏区共有財産ノ権利義務ニ関スル件。集会ヲ開ク事ニ
決定ス 直チニ区集会ノ協議ニ附ス 結果同氏ハ他村ヨリ
ノ移住民ト認メ前記財産ノ加入者ト認メズ 但シ加入申

4ウ

5ウ

5オ

6

1オ

昭和六年一月一日　小川内校新年拝賀式ヘ参列、式後同講当ニ於テ新年祝賀会ヲ開催ス

昭和六年一月七日　本村區域割ノタメ村役場行　小川内區割当金九円九拾壱銭也

昭和六年一月十一日　昭和五年度第壱期田租取立小川内出張

一月十二日　田租納金ノタメ村役場行

一月十六日　午後ヨリ進藤議〈員〉ト共ニ（勇代理）小川内校指定寄附全癈（ママ）請願ノタメ松隈助役宅迄行ク　同夜松隈田中店ニ於テ松隈助役ト共ニ手續ニ関スル打合セヲナス　同日同所エ一泊ナス

1ウ

一月十七日　進藤氏ト共ニ請願書ヲ下石動村長自宅迄持参ナス　村長佐賀ヘ出勤後ニテ不在　ヤムナク同村井上議員ヲ訪問ナシ件ニ付キ諒解ヲ求ム　村役場エ行キ請願書ヲ松隈助役ニ提出ナシ午後ヨリ與党議員。井上。井手。筒井忠。鶴田。川原。三好。六氏ヲ田中店ニ招待ナシ　右ニ付運動ノ意志ヲ述ベテ大イニ諒解ヲ求ム結果六氏共ニ当區ノ意志ニ賛成セラル。

昭和六年一月二十一日　區長例会出席　協議事項一、低利資金貸附ニ関スル件、家屋税ニ関スル件　背振神社寄附ニ関スル件

2オ

壱月二十二日　昭和六年度第壱回集会ヲ開催ス。協議事項一、低利資金ニ関スル件　二、家屋税申告ニ関スル件三、東光寺改築ニ関スル件　四、佐賀橋小川内間里道修理ニ関スル件。　東光寺改築委員左ノ通リ決定ス―杉谷兵太郎氏。大石岩吉氏宗雲政吉氏

昭和六年一月二十日　午後本村青年訓練生八拾餘名当地ヘ行軍ニ来リテ宿舎ヲ求ム　小川内訓練生ト打合セ宿舎ノ割当ヲナス　指導員福田氏外三名ヲ大石岩吉氏宅ヘ依頼ナシ　江口校長外三名ヲ拙宅エ宿泊サス

昭和六年一月二十六日　昭和六年度第一期田宅地租取立ノタメ小川内出張

一月二十八日　宅地租納金ノタメ村役場行キ

昭和六年一月二十九日　佐賀橋小川内間里道修理区公役約定通リ筑前ノ方ヨリ藤野勘次氏外六名荷馬車壱台ト共ニ御加勢シテ下サル　同日清酒五舛[升]ヲ藤野勘次氏外馬車挽御連中ヨリ寄贈小川内区ヘ下サル　直チニ発電所ニ於テ飲酒ナス　当區ヨリ金弐円也ヲ馬車挽連中エ謝禮トシテ贈ル　本日ノ區役出役参拾名出不足六名

2ウ

一月三十日　佐賀橋附近里道修理。古小川内築地武夫氏管理ノ麦田ヨリ土礫ヲ取ル　麦損害セルヲ以テ当日ノ區役同氏ノ出不足金ヲ以テ（但一日分）麦ノ損害ニ充ツル事ニ諒解ヲ求ム　直チニ受諾セラル同日東小川内築地卯一郎氏ヨリ炭釜[窯]借用ノ謝禮トシテ清酒二舛[升]ヲ小川内區エ贈ラル同日飲酒ナス

3オ

昭和六年二月十二日　進藤議員小川内校指定寄附ノ件ニ附寄附請願書ニ連名捺印ニ関スル打合セアリ　同日願書調製ノ上各戸別訪問捺印ス　同日村會提出ノタメ小川内竹之屋敷間道路間数ヲ宗雲幾市　原口榮君ヲ以テ測量セシム　間数約一千百四十間

別紙1

委任状

15ウ

宗雲　才吉
大石　嘉作
杉谷　與市
宗雲　倉吉
武廣　乕吉
築地　乙吉
大石　保衛
三橋　元松
大石　茂
杉谷　嘉六
杉谷　吉作
大石　宅摩
杉谷　儀市
宗雲　大造
西村　友吉
大石源太郎
藤原留太郎
田中伊セ吉
森本　勘次
大坪　廣吉
井上喜太郎
結城安三郎
安永　文基
深町又次郎

15オ

拙者儀組合員武廣竹一氏ヲ以テ代理
人ト定メ左ノ事項ヲ委任ス
一、昭和十年四月貳拾　日第二十四回保証責任
東脊振信用購買販賣利用組合通常総會
ニ於ケル決議並ニ選挙ニ関スル一切ノ件
右代理委任状依而如件
昭和十年四月廿日
組合員　宗雲　倉吉
仝　大石　保衛
仝　杉谷　儀市
仝　大石　嘉作

別紙2

委　任　状

拙者儀組合員宗雲己之助氏ヲ以テ代理
人ト定メ左ノ事項ヲ委任ス
一、昭和十年四月貳拾　日第二十四回保証責任
東脊振信用購買販賣利用組合通常総會
ニ於ケル決議並ニ選挙ニ関スル一切ノ件
右代理委任状依而如件
昭和十年四月廿日
組合員　宗雲　徳夫
仝　西村　喜三
仝　宗雲鉄之助
仝　杉谷兵太郎

12ウ

権藤　郡作
杉谷兵太郎
西村　喜三
宗雲鉄之助
進藤　岡市
宗雲己之助
原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣外次郎
武廣　亀吉
宗雲　才吉
宗雲　政吉
宗雲　倉吉
杉谷　與市
大石　保衛
大石源太郎
築地　乙吉
武廣　虎吉
杉谷　関松
西村　友吉
大石　　茂
杉谷　嘉六
大石　宅摩
三橋　元松

13オ

13ウ

宗雲　大造
杉谷　儀市
青木　敏美
築地　武夫
田中伊勢吉
森本　勘次
井上喜太郎
深町又次郎
大坪　廣吉
結城安三郎

以上参拾七戸

前年度ヨリ壱戸減（宗雲　積）

14オ

昭和拾年四月改正

武廣　金作
大石　泰三
権藤　郡作
杉谷兵太郎
西村　喜三
宗雲鉄之助
宗雲己之助
進藤　岡一
原口　稲作
宗雲　徳夫
武廣外次郎
武廣　亀吉
宗雲　政吉

14ウ

10オ

大坪　広吉
三橋　元松
田中伊セ吉
森本　勘次
井上喜太郎
深町又次郎
結城安三郎
宗雲　　積

昭和七年三月二十六日改正等級

武廣　金作
大石　岩吉
権藤　郡作
杉谷兵太郎
西村　喜三
宗雲鐵之助
進藤　岡市
宗雲己之助
原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣外次郎
武廣　亀吉
宗雲　才吉
宗雲　政吉
宗雲　倉吉

10ウ

11オ

杉谷　與市
大石　保衛
大石源太郎
築地　乙吉
武廣　乕吉
杉谷　関松
西村　友吉
大石　　茂
杉谷　嘉六
大石　宅摩
三橋　元松
宗雲　大造
杉谷　儀市
青木　敏美
築地　武夫
田中伊セ吉
森本　勘次
井上喜太郎
深町又次郎
宗雲　　積
大坪　廣吉
結城安三郎

11ウ

出勤キ

昭和八年四月一日現在小川内區

武廣　金作
大石　岩吉

12オ

7ウ

杉谷　関松
西村　友吉
宗雲　大造
大石　　茂
杉谷　嘉六
大石　宅摩
杉谷　儀市
築地　武夫
青木　敏美
田中伊セ吉
森本　勘次
井上喜太郎
宗雲　　積
深町又次郎
結城安三郎
大坪　広吉
杉谷　與市
三橋　元松

8オ

分家
分家
以上参拾八戸昭和四年三月等級改正ノ通リ
昭和六年十月一日現在
武廣　金作
権藤　郡作
大石　岩吉
西村　喜三
杉谷兵太郎

8ウ

宗雲鐵之助
進藤　岡市
宗雲己之助
原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣卯次郎
武廣　亀吉
築地　乙吉
宗雲　才吉
宗雲倉政吉
宗雲　倉吉
大石　保衛
大石源太郎
武廣　虎吉
杉谷　関松
西村　友吉
宗雲　大造
大石　　茂
杉谷　嘉六
杉谷　與市
大石　宅摩
杉谷　儀市
青木　敏美
築地　武夫

9オ

9ウ

4ウ

原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣卯次郎
武廣　亀吉
築地　惣八
宗雲　才吉
宗雲　政吉
宗雲　倉吉
大石　保衛
大石源太郎
武廣　虎吉
杉谷　関松
西村　友吉
宗雲　大造
大石　　茂
杉谷　嘉六
大石　宅摩
杉谷　儀市
築地　武夫
青木　敏美
田中伊勢吉
森本　勘次
井上喜太郎
宗雲　　積

5オ

5ウ

6オ

昭和六年四月一日現在

深町又次郎
結城安三郎
大坪　廣吉
杉谷　與市

分家ニ付異動

武廣　金作
杉谷兵太郎
權藤　郡作
大石　岩吉
西村　喜三
宗雲鉄之助
進藤　岡市
宗雲己之助
原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣卯次郎
武廣　亀吉
築地　惣八
宗雲　才吉
宗雲倉政吉
宗雲　倉吉
大石　保衛
大石源太郎
武廣　虎吉

6ウ

7オ

5

1オ

小川内區現在戸数控

小川内區

2オ

昭和五年四月一日現在戸数届人名

武廣　金作
杉谷兵太郎
權藤　郡作
大石　岩吉
西村　喜三
宗雲鐵之助
進藤　岡市
宗雲己之助
原口　稲作
宗雲　民弥
大石　嘉作
武廣卯次郎
武廣　亀吉
築地　惣八
宗雲　才吉
宗雲　政吉
宗雲　倉吉
大石　保衛
大石源太郎
武廣　虎吉
杉谷　関松
西村　友吉

2ウ

3オ

3ウ

宗雲　大造
大石　茂
杉谷　嘉六
大石　宅摩
杉谷　儀市
築地　武夫
青木　敏美
田中伊勢吉
森本　勘次
井上喜太郎
宗雲　門吉
深町又次郎
結城安三郎
大坪　廣吉
杉谷　與市

4オ

以上参拾七戸届出

昭和五年十月一日小川内區現在

武廣　金作
杉谷兵太郎
權藤　郡作
大石　岩吉
西村　喜三
宗雲鉄之助
進藤　岡市
宗雲己之助

一、金　　錢　タテ骨　二本　大石岩吉

昭和八年三月二十九日住宅用釘代

一、金七拾錢　武廣金作

一、金二十七錢　同人

昭和八年四月二十二日

一、金七拾錢寺山枯松五本代　受取リ

買受人　杉谷儀市

右村協議ノ上買却ス

17オ

一、金七拾五銭　唐米袋　五ツ代　金作替シ
昭和七年十一月四日　西村克比古君凱旋祝賀會
雑費　十銭　洋ロー　五本
一、金四円五十銭　酒　五舛　三橋店
一、金四円五十銭　酒　五舛　発電所
一、金拾五銭　鯉　弐尾　芳太郎
一、金五銭　竹把　弐本　金作
計九円弐十銭
昭和八年拾弐月二十四日　計算等紙代
一、金拾銭　罫紙　壱帳
一、金八銭　半紙　壱帖
一、金弐拾銭　水〇　弐本
計金参拾八銭　金作

17ウ

一、金壱円四拾銭　井上技手出張雑ヒ　発電所
五月廿六日
一、金壱円拾銭　井上技手製茶ノ為出張雑ヒ
発電所
一、金三十銭也　セメント　十九斤半　大石保衛
一、金弐拾銭　立札作賃金　井上伊三郎
一、金四十二銭　木炭代　武廣外次郎
一、金壱円也　生鯖代　仝　金作
一、同壱円七十一銭　大師講雑費　大石　新
一、同参円七拾五銭　海童神社祭　宗雲　積
一、金壱円四十銭　大石宅摩

18オ

一、金九十銭　同徳夫
昭和八年一月十二日　区域割
金拾円弐拾九銭　小川内区割当金
右金　金作　替シ
昭和八年弐月九日　學校改築請願ノタメ村役場行
村長助役招待茶菓子代
一、金壱円〇五銭　金作替シ
昭和八年二月二十二日區用
一、金拾⅄銭　罫紙代　壱帖
一、金八銭　白紙　壱帖
計金拾八銭　金作替シ
昭和八年二月十一日建国祭祝賀会ノ折
一、金　新　炭　壱俵
金作替シ

18ウ

昭和八年四月小川内校住宅修理壁土スサ藁貫立
壱把　宗雲政吉
〃　杉谷儀市
〃　杉谷與一
〃　杉谷　亮
〃　武廣金作
四月十二日　弐把　杉谷儀市
昭和八年三月二十九日小川内教員住宅雨戸カマチ立タテ骨

16オ

昭和七年七月十七日　種痘雑費
一、金参拾銭　茶菓子代）三橋店
一、同六拾五銭　酒精及脱脂綿代ノ不足金）金作
計金九拾五銭

昭和七年七月二十一日　里道決潰ヶ所測量技手出張雑費
一、金十七銭　タラ　百目
一、同六銭　鶏卵　二ヶ　寅吉
一、金参拾銭　白米　弐舛
一、同九拾銭　清酒　壱舛　金作
一、金拾弐銭　鶏卵　四ヶ）芳太郎
計金四拾銭　鑵詰　弐缶　三橋店
計金壱円五十五銭

昭和七年十月十三日　運動会来賓招待雑費。
松隈助役。舩津巡査。井上村議。
一、金壱円八拾銭　清酒　弐舛
一、同壱円参拾五銭　同　壱舛五合
一、同十八銭　缶詰　一ヶ
一、同弐拾四銭　カマボコ　六ヶ
一、同弐拾銭　茶菓子　發電所
一、金弐拾銭　竹ワ　拾本
一、同拾銭　鮭缶詰　一ツ
一、同八銭　混若　八ツ
一、同七拾銭　カナ山　四尾
一、同四拾銭　白米　弐舛　金作

16ウ

一、同参拾銭　醤油　壱舛
一、同弐拾銭　白米　壱舛
一、金参拾五銭　鯉百三十目）寅吉
一、同参拾七銭　同百四十目
一、同四拾銭　内夫セツ　二回　芳太郎
一、金壱円八拾銭　酒　弐舛
一、金九拾銭　酒　壱舛　三橋店
計金九円五拾七銭

昭和七年十月十八日自力更生活動石井氏外壱名招待雑費
一、金弐拾六銭　天布羅　十二切
一、同参拾銭　山芋　弐斤
一、同拾八銭　鯉　八十目
一、同弐拾銭　白米　壱舛　金作
一、同拾銭　茶菓子
一、同弐拾銭　生鯨　壱斤
一、金五六拾四三銭　清酒　七合）青木
一、同拾八銭　缶詰　一缶）嘉作

一、金弐拾銭　かまぼこ　五本　発電所
一、金弐拾銭　茶菓子　三橋店
計弐円参四拾木五銭
一、金壱円五拾銭ハ一人ニ付一日ニ對スル賃金　金作替シ
一、金拾八円也　大野理道石工賃金拾弐日分
一、同弐円四拾銭　火茶　三百目　代金百目ニ付八拾銭宛

15オ

一、同弐円四十銭　同　参舛ビール代
一、同三十銭　サイダー　壱本
一、同拾五銭　○○　壱ヶ
一、同八銭　麩　弐サゲ
一、金五十銭　三味線代　金作替シ
計金拾八円七拾一銭　　發電所　三橋店

昭和七年五月十八日　御宮屋根藁不足人名（各壱把宛）
森本　勘次
宗雲　積
結城安三郎
深町又次郎
築地　武夫
杉谷　嘉六
西村　友吉
宗雲　大造
三橋　元松
杉谷　嘉六

昭和七年五月二十六日。二十八日井上農技手中原蚕業技手製茶練習出張宿泊雑費
~~十、金白米~~
一、金参拾銭　白米　壱舛　五合
一、金拾六銭　生鯖　弐尾
一、同十銭　混若　五切
一、同弐拾銭　蒲ボコ　弐本　　金作

15ウ

一、同九拾銭　清酒　壱舛）發電所　張落
計金壱円六十六銭

昭和七年七月三日　營林署成富。羽山主事出張雑費
一、金弐拾銭　茶菓子　三橋店
一、同壱円三十五銭　清酒　壱舛五合
一、同十八銭　鶏卵　六ケ　　發電所
一、金　十五銭　鯉　二尾
一、同十五銭　山芋　壱斤
一、同参拾銭　白米　壱舛五合　　金作
計金弐円参拾三銭

昭和七年七月八日　村役場ヨリ三好土木員洪水被害調査出張
宿泊雑費　六十銭　肴壱尾及ビ菓子代十銭
一、金四拾五銭　清酒　五合　發電所　弐缶附
一、同六銭　鶏卵　二ヶ
一、同十銭　白米　五合）　金作
計金壱円〇一銭

一、同弐拾銭　内夫チョ　壱回
昭和七年七月十四日　宮樫枯木引直シ雑費
一、金四拾五銭　御神酒五合
一、同五拾五銭　御菓子　　三橋店
計金壱円也

14オ

計金壱円九十五銭

昭和七年三月二十日大野道作雑費

一、金弐円也　モツコ　五張）芳太郎替シ

一、金弐十五銭　消炭　壱俵　金作替シ

計金弐円弐十五銭

昭和七年四月十日　杉苗弐百本代金及雑費

一、金壱円六拾銭　杉苗弐百本代

一、同　弐拾銭　稲作運賃　金作替シ

内金四拾五銭　賣苗五拾本代　兵太郎エ賣渡ス

差引残金壱円三十五銭

一、金参円也

右金土地名寄帳エ賃貸價格記入池田氏エノ謝禮金（進藤氏立会ノ上）金作替シ）

一、金参銭　秡払下額書ニ関スル切手代　金作替シ

昭和七年五月十八日　宮屋根修理諸雑費

一、金四拾銭　縄　拾斤

一、同弐拾五銭　ホコ竹　壱把　民弥替シ

一、同弐十銭麦藁参把　鉄之助替シ　学校ノ屋根用

計金八十五銭

昭和七年五月二拾二日　矢討石垣落成祝酒雑費

14ウ

一、金八十銭　肴代

一、同三円六十銭　酒五舛

一、同壱円五十銭　肴代　發電所

一金六拾銭　菓子　三橋店

計金六円五十銭

昭和七年五月二十三日　神埼署大石署長。船津巡査。松隈助役。外二名消防点検招待雑費

一、金拾五銭　卵　五ツ

一、同弐拾八銭　筍　二十八斤

一、同七銭　竹把　三本

一、同壱円拾銭　白米　五舛

一、同参拾銭　醤油　壱舛

一、同十二銭　砂糖　壱斤

一、金七拾五銭　山芋　五斤　金作替シ

一、同六拾銭　鯉　壱斤半

一、同十五銭　白魚　五合　芳太郎

一、同五十銭　菓子

一、同壱円八十銭　清酒　弐舛　三橋店

五月十八日

一、金六十銭　菓子代　三橋店

一、金弐円八拾四銭　鶏　六斤三合

一、同拾五銭　タマゴ　五ヶ　虎吉

一、金弐円七拾銭　清酒　参舛）嘉作）

一、同十七銭　ロウソク六本及ビマツチ五個代　三橋店

一、金参円六十銭　清酒　四舛

13オ

一、金三円六十銭　昭和七年三月二十二日大野道作リ落成酒四舛
代金右三橋店
一、金壱円〇五銭　白魚　参舛代
一、金十五銭　醤油　五合代　金作替シ
一、金五十銭　菓子　三橋店
一、金壱円六十銭　白米　八舛代
一、金参拾銭　醤油　壱舛代　金作替シ
一、金参拾五銭　白魚　壱舛代
一、金四拾銭　白米　二舛代　己之助替シ
右昭和七年三月二十六日集会夕食雑費

一、金十五銭　山芋壱斤　昭和七年三月二十八日二十九日
一、金八銭　卵二ツ　村役場ヨリ池田税務及ビ
一、金二十銭　白米壱舛　縣税務課より一名宿泊雑
一、金八銭　蒲ぼこ壱本　費　金作分
一、金二十銭　天ぷら　八切　三橋店
一、金四銭　麩　一提
一、金九十銭　酒　壱舛
一、金十銭　竹把　發電所
一、金拾円四十六銭
右金昭和六年區域割小川内區割当金（金作替シ
一、金弐円也
右金昭和七年二月二十九日高良神社エ村中参詣ノ折御神酒代金及肴代金（金作替シ）

13ウ

一、金参円六拾銭　酒　四舛　三橋店
一、金五拾銭　菓子
一、金壱円〇五銭　白魚　参舛　金作替シ
一、金十五銭　醤油　五合
計金五円参十銭
右昭和七年三月二十二日大野道作リ落成祝雑費。

昭和七年三月二十六日集会ノ折夕食雑費
一、金壱円六拾銭　白米　八舛代
一、同金参拾銭　醤油　壱舛代　金作替シ）
一、同参拾五銭　白魚　壱舛代
一、同四拾銭　白米　弐舛代）己之助替シ）
計金弐円六十五銭

13ウ

昭和七年三月二十八日。二十九日。村役場池田税務。縣税務課ヨリ壱名税税金徴収宿泊雑費
一、金拾五銭　山芋　壱斤
一、同金八銭　卵　弐ケ
一、同金弐拾銭　白米　壱舛　金作替シ
一、同金八銭　蒲ボコ　壱本
一、金弐拾銭　茶菓子
一、金弐拾銭　天布羅　八切　三橋店
一、同金四銭　麩　壱サゲ
一、金九拾銭　清酒　壱舛
一、同金拾銭　竹把　四本　發電所

11ウ

一、金九銭　混若　六切
一、金八十銭　清酒　壱舛
〆金弐円八拾六銭
一、金弐円参拾五銭　にわとり　四斤七合
一、金十銭　はさび　五本　虎吉分
一、金壱円九十壱銭　発電所
十二月二日　舩津巡査署長出張費用
一、金壱円六拾弐銭　金作替シ㊞
北部校長出張雑費　惣合計
十一月卅日　金高九円参拾二銭也
一、金壱円八七拾銭　酒弐舛
一、金四十銭　鑵詰弐個　三橋店
巡査及ビ署長出張雑費
十二月弐日
一、金九八拾五銭　酒弐壱舛　仝㊞
一、金弐十銭　鑵詰一ツ
十二月四日　西村君平癒祈願
一、金九八拾五銭　酒壱舛
〆金四円弐十銭也　仝
昭和六年十二月三日　神埼署長舩津巡査出張進藤宅
一、金壱円五十銭　鰤　壱尾
一、金十二銭　かまぼこ　壱本
一、金参拾銭
右昭和六年度總会等紙代

12オ

一、金参拾銭　合計金五拾弐銭也
右昭和六年度總会等紙代　金作替シ
一、金拾七銭　諸菜品評會ニ付品代　仝
合計金〆弐十弐銭也
十二月二日　署長出張ニ付雑費　㊞
一、金拾六銭　玉子四ツ
一、金参十二銭　白米弐舛　岡市替シ
惣合計金四円九拾三銭也
㊞
大師講雑費
一豆腐　一ハタ半　代金壱円八銭
其外雑費　三十八銭
〆金壱円四拾六銭　寅吉替シ
四月廿七日　宮ノ屋根替ノ為
一縄　八斤半　但シ斤ニ付六銭宛　倉吉出シ
代金弐五拾弐銭
一金壱円也　前川端ノ桑ノ葉弐ヶ年分代
倉吉不足

12ウ

一、金拾円四十六銭
右金昭和六年度区域割小川内区割当金
金作替シ
一、金二円也
右金昭和七年二月二十九日高良神社村中参リ御神酒代金
及肴代金

10ウ

一、金十二銭　タマゴ三ツ　岩吉
合計　金八円四十一銭

昭和六年七月二十二日　舩津巡査。川久保同部長。松隈助役。出張宿泊雑費
一、金二円七十銭　清酒　三舛
一、金二十五五十銭　あげまき　二缶
一、金二十銭　ふ　四袋　三橋店

一、金三十銭　黒砂糖　二斤　發電所
一、金六十銭　タラ　四百匁　芳太郎
一、金二円二十五銭　にわとり　五斤　虎吉

一、金五十銭　白米　三舛
一、金　十銭　卵　三ツ
一、金三十銭　山芋　三百目
一、金　六銭　玉葱　二斤
一、金二十銭　醤油　五合　金作
合計金壱円拾六銭
惣合計七円五拾六銭也

昭和六年八月二十日　村農会長外三名技手当区巡視雑費
一、金十五銭　黒砂糖　壱斤
一、金三円七四十銭　清酒　三舛七合五勺
一、金十六銭　卵　四ツ

11オ

一、金四十四銭　タラ　二百二十匁
一、金壱円　かんづめ　五缶
一、金八銭　ふ　二さげ
一、金十五銭　醤油　五合
一、金五銭　黒砂糖代　発電所賄分
一、金二十二銭　米　壱舛五合
一、金二円二十銭　にわとり　四斤
一、金四十銭　かんづめ　二ツ（三橋店ヨリ取寄セル）
一、合計金壱円八七十銭　酒　二舛　三橋店。
合計金八円九拾五銭也

昭和六年八月二十九日　消防非常召集慰勞酒代
一、金二円四三十銭　ショウ酎　二舛　發電所。
一、金五円也
右金九月五日築山氏御霊前トシテ　金作替金
一、金十八銭
右金十月十九日区用罫紙代金作替金　壱帖代
一、金弐円九十七銭
右金十月十二日小川内五ヶ山聯合運働（ママ）会雑費。金作立替

昭和六年十壱月三十日　本郡北部校長四名小川内校視察雑費
一、金四拾八銭　山芋　三斤
一、金六拾四銭　白米　四舛
一、金参十銭　醤油　壱舛
一、金二十銭　生鯖　弐尾　金作分
一、金三十五銭　竹把五本かまぼこ弐本

9オ

昭和六年四月二十七日　山祇神社屋根棟修理
藁取立人名壱戸ニ付壱把宛

完納者

宗雲鉄之助
大石宅摩
宗雲倉吉
杉谷與市
築地乙吉
武廣亀吉
大石　茂
武廣外次郎
大石保衛
原口稲作
大石嘉作
武廣虎吉
西村友吉
西村喜三
宗雲大造
三橋元松
進藤岡市
宗雲民弥
權藤郡作
杉谷兵太郎

未納者

武廣金作
宗雲己之助
井上喜太郎
宗雲政吉
杉谷儀市
大石源太郎
田中伊セ吉
宗雲才吉
杉谷嘉六
大石岩吉

9ウ

昭和六年五月十四日掃除檢査
舩津巡査筒井氏出張

10オ

一、金五十錢　茶菓子代　三橋店
一、金九十五錢　酒　壱舛　發電所
一、金十六錢　卵　三ツ
一、金二十五錢　あげまき　壱缶
一、金六錢　竹把　二本　金作
一、金十錢　山芋　百目
一、金十六錢　白米　壱舛
一、金八錢　豆腐　二切
一、金四錢　混若　二切
〆金八拾五錢
合計金弐円参十錢也
昭和六年五月十七日。十八日製茶講講習会。松隈助役井上技手進藤電技手田中講師出張雑費。
一、金　壱円十錢　清酒。正。壱　三橋店
一、金　二十五錢　あげまき　壱缶
一、金　十五錢　かまぼこ　三本　發電所
一、金　二十錢　茶菓子
一、金　十七錢　竹把　七本
一、金　十六錢　タマゴ　四ツ
一、金　十六錢　豆腐　四切　金作
一、金　八十五錢　白米　五舛
一、金　十錢　山芋　百目
〆金壱円六十四錢　合計金弐円九十四錢
五月十八日
一、金五円三十五錢　発電所賄分　発電所

7ウ

異動地調査雑費　香月氏及ビ北村氏ノ二人
一金四圓九拾弐錢　三橋店及び発電所ノ諸費
一同四十弐錢　金作ノ替金　〃
一同壱圓四十四錢　米七舛弐合代　金作替シ〃
一同壱円　内敷五回分　武廣チヨ　〃
一同三円拾錢　区役三日半ノ給料　金作分〃
一同壱円七拾五錢ノ諸費　宗雲鉄之助分〃
一同弐十五錢　白米 香月氏北村氏二人分 鉄之助替シ〃
右合計金拾弐圓八拾八錢
内拾圓香月、北村、ヨリ謝禮
五円六拾九錢　金作取前
一円　外　次郎

8オ

昭和五年十二月二十六日
定期總会雑費
一、金壱円弐拾錢　奥代
異動調査費用
一、金四円拾九錢　三橋店行
一、金弐円四拾錢　發電所
一、金壱円拾錢　区長宅雑費
一、金参円拾五錢　区役三日半
一、金　壱円　内夫
一、金壱円四拾四錢　米七舛弐合代
一、金弐円　宗雲宅行

8ウ

計金拾五円弐拾四錢
内拾円謝禮金
差引　五円弐拾四錢ノ不足
昭和六年一月七日
一、金九円九拾壱錢　金作替シ
右金昭和五年度本村区域割小川区割宛金
一、金弐円也
右金昭和六年一月二十九日筑前荷馬車挽エノ包金
金作替シ
昭和六年一月三十日
一、金壱円五十錢　發電所
右金里道修理ノ折飲酒肴代金
昭和六年三月二十二日
一、金十一錢
右金板屋田租替金（金作）村右金ヨリ入
昭和六年三月二十三日
一、金十八錢
右金區用卦紙代（金作替）
四月二十七日
一、金弐錢也
右金秡払下願書用證券印紙代（金作替）
一、金参錢　切手代（金作替シ）
一、金四錢　半紙壱帖　二月十四日（發電所）

7オ

一、金四拾銭
　右金朱肉代　　金作替シ
一金六拾三銭朱肉並ニ籍代合計金額
一、金四十八銭十二月二十四日区費計算ニ付木炭代金　金作出シ
十二月五日
一、金一円　酒　壱舛　佐賀縣視孝々務視察ノ為出張宿泊ヒ
十二月八日　上記ハ發電所
一、金壱円酒壱舛
　〃
一、金五十銭かし
　〃
一、金四十五銭アサヒ三ツ
　〃
一、金参十銭かし
一金九圓六拾銭　昭和四五年度　組合長年棒四人分
　壱人ニ付弐円四十銭宛
一金壱圓消防長年棒　築地音吉
一金五十銭副長年棒　宗雲乕夫
一金五十銭水官係棒給　杉谷一
一金五拾銭　仝　杉谷吉作

一金弐円四十銭　寺世話料　宗雲政吉
一金四円拾五銭区長給料一ヶ月ニ對スル分一日ニ對スル分
一金壱円八七十六銭五厘ニテ仝給料　十二日ニ對スル分
十三銭八厘五毛
一金四拾四円〇九銭　区長壱給料十ヶ月ト十八日分ノ料レ給
一金壱圓弐十五銭　仕夫給壱ヶ月分ニ對スル分　喜太郎分
　ニ割三十円ニ割一日ニ付四銭弐厘宛
一金五十銭四厘　仕夫給十二日ニ對スル分　喜太郎分
一金拾参圓弐拾五銭　昭和五年一月十三日ヨリ同年十二月三十一日迄ノ仕夫給料
一金四拾四円拾九銭　昭和五年二月十三日ヨリ同年十二月三十一日迄ノ区長給料
一金参円八拾参銭　百四十弐日ニ對スル人夫長ノ給料但シ
一ヶ月ニ付八十一銭七厘
一日ニ付ニ銭七厘　宗雲乕夫分
一金七圓八拾弐銭　百八十八日ニ對スル分ノ人夫長ノ給料
一日ニ付四五厘六毛
一ヶ月ニ付　一円二十五銭宛　宗雲幾市分

6オ

一、金四拾五錢也
　右金栗山賓四郎氏一行ノ宿泊謝禮トシテ大石岩吉氏進藤氏二名へ贈ル手拭四筋代。金作替シ）
昭和五年十月十五日
一、金五円拾四錢也
　右金昭和五年十月七日五ヶ山小川内聯合運動会来賓接待費用小川内区五人分ノ入費）金作替シ）
昭和五年十一月三日
一、金弐壱円拾五錢也（三橋店）
　右金明治節拜賀式御神酒トシテ清酒弐壱舛代三橋店ヨリ買フ。
昭和五年十一月三日
一、金壱円　五錢　發電所
　右金明治節拜賀式御神酒代發電所分）
昭和五年十一月二十五日　發　電　所
一、金弐円拾錢也
　右金同日宗雲忠臣君退營歡迎会酒弐舛代
昭和五年拾弐月八日
　小川内小学校視察ノ為縣視學出張雑費
　　来客氏名
　視学　　橋本五郎

6ウ

中副校長　江口次郎
助役　　杉隈乙松

一、鯉　弐斤　八十参百　参拾目
　代金　八拾弐錢　　武廣友七出品
一、鶏　弐斤七合　代金　壱円参拾五錢　武廣友七出品
一、豆腐　拾五キレ　仝　六拾錢　井上藤七出品
一、山芋　弐斤　仝　四拾錢　金作
一、玉子　八ツ　仝　参拾弐錢　仝
一、永昆若　五ツ　仝　参錢五厘　仝
一、醤油　五合　仝　弐拾五錢　仝
一、米　四参舛　仝　七拾弐錢　仝
一、麁　五本　仝　拾弐錢　仝
一、鯛　参弐尾　仝　七拾五錢　仝
一、竹把　拾本　仝　参拾錢　仝
一、ツト　弐本　仝　弐拾錢　仝
一、ふ　一袋　仝　四錢　仝
昭和五年十二月八日
　清酒壱舛　金八拾錢　　金作替シ
　〆金三円九十三錢
昭和五年拾弐月十七日
一、金六十六錢
　右金区用筆紙代　　金作替シ
昭和五年十二月二十日

5オ

一、金弐拾四銭　大口魚　百弐拾目
一、金弐拾五銭　あげまきかんづめ　壱缶
一、金弐拾銭　茶菓子　三人前
一、金壱円五拾銭　鶏　四百八十目
一、金五拾弐銭　白米　弐舛
一、金四銭　ふ　壱袋
（以上　金作替シ）計ニテ直ス
〆弐圓七十五銭　合計ニテ別紙ニ直ス
一、金弐拾五銭　ワサビ　拾本
一、金参拾五銭　卵　七箇
一、金六銭　天ぷら　二ツ
一、（以上　武廣虎吉）
〆金　六十六銭
一、金弐拾五銭　卵　五箇
右　（武廣芳太郎）
一、金参円拾五銭　清酒　参舛
一、金五拾四銭　あげまき　弐缶
（以上　三橋店）
昭和五年九月拾九日　小川内前川飛石掛ノ折慰勞酒及菓子代　三橋店
一、金参円六拾五銭　清酒　参舛五合代
一、金六拾銭　大口魚　三百二十目
一、金拾八銭　黒砂糖　壱斤
一、金弐拾銭　醤油　五合

5ウ

一、金六拾五銭　菓子代
一、金五拾四銭　あげまき缶詰　弐缶
計金五円八拾弐銭也
昭和五年拾月三日　里道修理ノ折リ臼杵酒造太郎氏清酒参舛小川内區エ下サル直チニ大石源太郎氏宅ニ於飲酒ス肴トシテ大石源太郎氏ヨリ賄下サル
一、金五拾銭ヲ肴代トシテ記帳ス
一、金五拾銭　大石源太郎
昭和五年十月十日　南畑村長河川養魚及學校委託ニ関スル談合ノ折リ晝食雑費
一、金壱円〇五銭　清酒　壱舛
一、金　弐拾八銭　大口魚　百四十目
一、金　四銭　卵　壱ツ
一、金　弐銭　天ぷ羅　一枚
一、金弐拾銭　山芋　百八十目
以上　金作替シ
〆壱円五十九銭　合計ニテ直ス
昭和五年十月九日
一、金五円也
右金栗山賚四郎氏宿代トシテ小川内区ヨリ謝禮金、金作替シ宗雲組合長會立ノ上封ジ西村喜三氏へ贈ル）
昭和五年十月十三日

3ウ

一、金七拾銭　壱間半杉看板　拾枚（壱枚七銭）
右　三橋元松出シ
昭和五年七月三十日　學校修理材料及代價）
一、金弐円参拾四銭杉背板参拾四枚代（壱坪枚ニ付七銭）
右　三橋元松出シ
一、金弐円〇四銭也　杉皮拾七坪代（壱坪ニ付拾弐銭）
右　西村友吉出シ
一、金拾五銭　三寸釘百目代
右　金作替シ
一、金五銭　大五寸釘　拾五本代
右　井上伊三郎出シ
一、金拾七円八拾銭也　人夫六人分賃金
合計金拾弐円四拾弐銭也
右　修理費本村々費ヨリ支出ス
昭和五年八月十六日
小川内消防點撿慰勞酒代
一、金弐円拾銭也　清酒　弐舛代

4オ

三橋店ヨリ（使虎彦）
昭和五年八月十六日　寺埼和尚へ御仏前
一、金参円也　御仏前（西村喜三氏立會ノ上封ス）
右　金　金作替シ
昭和五年八月二十日　区有林茅拂ノ折リ三橋店ニ於ノ飲食代
記
一、金八拾八銭弐厘　大口魚四百九拾匁
一、金弐円　菓子代
一、金拾八銭　黒砂糖代
一、金弐拾銭　醤油代
一、金参円　清酒　参舛代
合計金　六円　弐拾六銭　弐厘也
昭和五年八月二十五日　栗山代議士接待ノタメ内失煙草代帳落
二十五日　發電所ヨリ
一、金壱円弐拾銭　敷島　六　個

4ウ

昭和五年九月十九日
神埼署勤務警部補北村氏　巡査部長香田氏　舩津氏
三氏出張宿泊雑費

2ウ

弐十銭
四月二十五日
一、金壱円拾銭　清酒　壱舛
〆弐圓四拾銭
以上　發電所

四月二十一日
一、金壱円　拾銭　清酒　壱舛
金弐拾七銭　銭　あげ満記　壱ケ
三橋店

四月二十二日
一、金五銭　シカ　壱把
武廣寅吉

昭和五年五月六日　異動地調査香月北村氏出張
六日ノ夕食ヨリ七日ノ晝食迄ノ　雜　費
一、金壱円拾銭　清酒　壱舛
三橋店
〆金壱圓四拾弐銭

五月六日
一、金弐拾六銭　生鯨　壱斤
一、金八銭　竹輪　弐本
一、金八銭　卵　弐ツ
〆金四拾弐銭　以上　武廣金作出シ

3オ

昭和五年五月八日　秡拂下願書證券印紙代
一、金弐拾銭　金作立替
一、金拾銭　半紙　壱帖
金作立替

昭和五年五月二十一日
一、金拾銭　罫紙　壱帖
金作立替

昭和五年五月拾八日
大谷里道修理請負人晝食　四人分
金作賄

昭和五年六月拾弐日
秡拂下金納金ノタメ佐賀行旅費
一、金八拾五銭　汽車及自働車代
金作立替

昭和五年七月廿八日
海童神社及學校屋根修理ノ釘代
一、金拾七五銭　大五寸　百目
一、金　拾八五銭　大六寸　弐百目
右代金拾五銭　金作替シ
杉皮代
一、金壱円弐拾銭　拾坪代（坪拾弐銭）
右　西村友吉出シ

4-2

1オ

昭和五年二月十四日　消防初出式の祝酒旧正月十六日
三橋店
代弐壱円十一銭
清酒　壱舛
消防夫一同にて飲食す
あげまき　壱缶
代金二十七銭
昭和五年二月二十日　佐賀營林署より成富氏の宿泊雑費
拾五銭　御茶菓子
竹　輪　四　本
清　酒　五　合（以上發電所勇使）
山　芋　九拾目　金作出シ代金拾弐銭
鯉　斤ニシテ　七合　百十目　寅吉出シ代金弐十八銭
卵　弐　箇　寅吉出シ同八銭
昭和五年三月十日　山祇神社神殿修理ノ折リ御神酒及ビ材料
一、金壱円〇五銭　清酒　壱舛　三橋店
一、金三十銭　一丈　タル木　弐本　三橋元松
一、金八十銭　一丈　看板　八枚
一、金拾九銭　百参拾目大六寸釘）　杉谷儀市
一、金拾五銭宛　四寸釘　）　築地乙吉
一、金拾銭　カスガヒ二本）　築地乙吉

1ウ

昭和五年三月二十日　山祇神社屋根棟葺諸雑費及出品者人名
一、金弐拾四銭　ハナワ　四斤　大坪広吉
一、金　竹　一把　杉谷兵太郎
昭和五年三月二十日　区有林杉苗数量及ビ人名價格
一、金参円八十五銭　杉苗弐年生　五百五十本
築地音吉
一、金七円弐拾壱銭　杉苗二年生　一千〇参拾本
共有金ヨリ支払フ　宗雲己之助出シ
昭和五年四月二十一日　異動地調査出張香月氏外一名
二十一日夕食ヨリ二十七日晝食迄ノ雑費
一、金八銭　卵　二ツ
一、金参拾八銭　鯖　二尾　金作
一、金拾弐六銭　卵　四ツ
一、金弐拾銭　山芋　一斤
一、金弐拾八銭　竹把　天ぷら　こんにゃく）代
〆金壱圓拾銭
四月二十一日
一、金　壱円拾銭　清酒　壱舛
四月二十三日
一、金　参拾銭　茶菓子　十五

2オ

3オ

昭和六年度農林省交附金　金作預リ
一、金三円也　区有金預リ（秡下［払］下一口代金
支払残金）
一、金七円也
右昭和七年七月十四日大山神社枯木引直シノ折
リ青柳氏へ包金ノ残金区長預リ
包金参円宗雲鐵之助氏立會ノ上）
一、金弐円也
右金昭和七年七月三日成富羽山森林主事宿泊
謝禮金　區長　預リ
昭和八年二月十九日経済更生區民大会ノ遅刻料
一、金五銭　権藤利得
一、金五銭　宗雲徳夫
一、金五銭　西村　敏
計十五銭　区長預リ
昭和八年五月十二日引続キ祭武廣勇氏ヨリ受取ル
収入
一、金拾壱円九拾銭　但国有林野保護費
一、金弐円　右預リ
一、金弐円　實行組合ニ賞與金受ケ
一、金壱百〇五円弐拾八銭
右昭和八年度稲作為縣廳ヨリ交附金
区長預リ
九月
一、金壱円　大山神社樫木一本代杉谷儀一氏受取ル

5オ

昭和八年五月以降支出
一、金壱円五拾銭　但シ消防夜警ニ茶菓代渡ス
一、金弐拾四円三十四銭　村金ヨリ學校寄府ヲ費ス
一、金六円五拾銭　沙糖代ニ費ス
八月二十八日
一、金五円八拾五銭　井上喜太郎氏費ス
一、金拾弐円　秡税ニ費ス
九月三日
一、金壱円八拾銭　発電所支拂ニ費ス
十月
一、金八拾五銭　教員住宅タヽみ一枚表付替ケ代
ニ渡ス
昭和九年一月四日學校之為メ佐賀縣廳ニ並ニ
中島氏年式之為メ出張ス　一月四日ヨリ五日六日七日
西村喜三
進藤岡市
大石嘉作
大石泰三
三口

5ウ

6ウ

昭和九年一月四日　佐賀縣廳行
弐拾年本　西村喜三
壱円六十五銭　大石泰三替シ
記入済

4-1

1オ

昭和五年二月二十日　營林署成富氏宿泊
一泊、宿泊料金　壱円也預リ
右ハ宗雲巳之助氏立會ノ上開封ス
昭和五年四月十九日　山祇神社枯木（樫木）賣拂
代金五円也。賣渡人　武廣金作）
買受人　杉谷嘉六。
右代金五円預リ）
昭和五年五月七日　香月北村両氏異動地調査出張
宿泊料
一、金拾円也、武廣巳之助氏立會ノ上開封ス
右金預リ）
昭和五年五月拾五日　学校屋根棟修理麦藁代
金四拾銭也宗雲門吉分預リ）
昭和五年七月廿一日　昭和四年度納税成績優良ニ付キ
奨励トシテ壱等
一、金九円　五拾銭下附セラル
右金　区長預リ置ク
四円七十五銭
昭和五年九月拾九日
小川内区有林風害損木賣拂代金買受人
杉谷嘉六氏ヨリ受取
一、金参円也　金作預リ）
一、金五円也
右金昭和五年九月三十日
小川内区共有林風害損木東小川内山松木

1ウ

賣拂代金買受人宗雲倉吉氏ヨリ
受取金作預リ）
一、清酒五舛
右ハ昭和五年十月八日宗雲倉吉氏新築ノタメ
小川内区有林ヨリ五尺壱寸圍リ杉木壱本寄附ナス
其ノ御礼トシテ清酒五舛小川内区へ寄贈セラル
同日組合長合議ノ結果昭和五年度小川内区總会迫左ノ
人名ヲ以テ右清酒五舛ヲ壱舛宛預リ置ク
武廣金作
宗雲政吉
杉谷嘉六
宗雲巳之助
大石源太郎

2オ

一、金七円也　西村敏分
右金東小川内山風害損木賣却代金　金作預
預金―弐拾六円十五銭
合計金参拾六円拾五銭
〆四十円九拾銭
一金壱円当区ニ捧納アリ　青木敏美
一、金六円也
昭和六年十一月三十日校長小川内校視察当地宿泊謝禮金
右進藤氏立會の上金作預リ
一、金拾円也
昭和六年十二月十二日区長預金
一、金拾八円拾八銭

2ウ

5オ

一、金弐円四拾銭
右金昭和五年度寺世話給料
一、金拾壱円六拾五銭
右金昭和五年度参百参拾日ニ對スル人夫長給料
一、金壱円五拾五銭
右金昭和五年十月十日南畑村長及組合長打合せノ雑費
一、金壱円六十四銭
右金十二月二十四日大師講雑費
一、金参円拾銭
右金海童社例祭雑費
一、金拾円〇八拾銭
右金昭和五年度里道修理荷馬車四日ニ對スル賃金
一、金拾七円参拾五銭
右金昭和五年度特別普通區役及内夫日当
昭和五年度支出髙總計
一、金弐百〇六円八拾五四銭也
差引残髙面金百拾九円六拾参銭

5ウ

一、金弐拾壱円弐拾六銭
右金區費計算後特別收入及租割戸割銭位切上剰餘金区費收入金支差引結果繰越金トナス
一、金拾五円八拾四銭
右金總会雑費及帳落（ママ）支払總髙外
一、参円九拾銭　旧区長宅及總会雑費ノ帳落（ママ）總髙弐拾銭
金拾九円七拾四銭
右金剰余金ヨリ支払

6オ

残現金七拾八銭

2ウ

一、金弐円五拾九銭
右金昭和五年三月十日山祇神社神殿修理雑費
一、金五拾四銭
右金昭和五年三月二十日山祇神社屋根棟替雑費
一、金弐拾銭
右金昭和五年五月八日秣払下願書證券印紙代
一、金八拾五銭
右金昭和五年六月十二日秣払下納金佐賀行雑費
一、金五円六拾参銭
右金昭和五年七月二十八日海童神社學校屋根修理雑費
一、金弐円参拾銭也
右金昭和五年八月十六日小川内消防點檢慰勞酒肴代
一、金参円也
右金昭和五年八月十六日寺﨑龍好氏へ贈ル御仏前
一、金六円弐拾六銭二厘
右金昭和五年八月二十日共有林杉茅払慰勞酒代
一、金五円八拾弐銭
右金昭和五年九月十九日前川飛石掛慰勞酒及肴代
一、金四円六拾弐銭五厘

3オ

一、金七円拾銭
右金昭和五年九月十九日神埼署勤務警部補北村氏巡査部長香田氏舩津巡査巡回宿泊雑費
一、金五拾銭
右金十月三日里道修理ノ折臼杵酒造太郎氏寄附酒飲酒ノ折ノ肴代

3ウ

4オ

一、金五円也拾四銭
右金十月十五日五ケ山小川内聯合運動会来賓接待費用
一、金弐円拾銭也
右金十一月三日明治節拜賀式御神酒代
一、金弐円也
右金十一月二十五日宗雲忠臣君退營歡迎会酒代
一、金参七円九拾参八銭
右金十二月八日橋本縣視學、松隈助役、江口校長學事視察出張宿泊雑費
一、金壱円弐拾九銭
右金十二月二十五日總会計算筆紙代及朱肉及朱硯石代
一、金拾弐円〇参銭
右金八月二十五日栗山代議士招待人夫及宿禮
一、金五拾円也
右金昭和五年度區長給料
一、金九円六拾銭
右金昭和五年度組合長給料四人分
一、金拾五円也
右金昭和五年度支夫給料
一、金弐拾銭
右金昭和五年五月八日區用筆紙代
一、金参拾五銭
右金消防組提灯張替料但壱張代
一、金弐円五拾銭
右金消防長及役員捧給　壱ヶ年分

4ウ

12オ　12ウ　13オ

義捐金ニ関スル打合セノタメ組合長会議ヲナス壱戸拾銭
宛寄附スル事ニ決定ス直チニ募集ナス應募者参拾七名金
高参円七拾銭也
十二月六日　区長例会出席　前日集金ノ義捐金ヲ納附ス
十二月七日　男女青年尚武会中年會總会列席
十二月八日　本縣々視學橋本五郎氏東背振校長江口二郎氏
松隈助役學事視察ノタメ出張
十二月十六日　昭和五年度特別税追加縣税營業税取立小川
内出張
十二月十七日　前記納税ノタメ村役場行
昭和五年度小川内區参拾七戸現在
昭和五年度小川内區公役拾九回
昭和五年度小川内區納税金壱千七百七拾円〇四拾参銭也
昭和五年度小川内區集会七回。組合長会議九回
昭和五年度村役場行弐拾七回

3

1オ　1ウ　2オ

昭和五年度小川内區費決算報告

収入之部

一、金壱円　昭和五年二月二十日佐賀營林署成富氏宿泊
謝禮
一、金五円也　四月十九日山祇神社樫枯木杉谷嘉六氏へ賣
渡代金
一、金四拾銭　昭和五年五月十五日學校屋根棟修理ノ
麦藁代
一、金参円　昭和五年九八月二十九日小川内共有林風害
損木賣拂代金杉谷嘉六氏分
一、金五円　昭和五年八月卄十日小川内區共有林風害損
木賣払代金宗雲倉吉氏分
一、金七円　昭和五年八月二十日小川内區共有林賣払
代金西村友吉氏分
一、金四円七拾五銭　昭和五年七月度納税賞與金半額分
一、金五拾壱円七拾五銭　昭和五年度區公役出不足金總高
一、金四円六拾弐銭五厘
右金昭和五年七月三十日學校修理費村費支出金
區費計算後ノ收入金
收入總計八拾弐円五拾弐銭五厘
卄　支出之部
一、金壱円参拾銭
右金昭和五年二月十四日消防初出式祝酒肴料及雜費
一、金壱円九拾九銭
右金昭和五年二月二十日佐賀營林署成富氏宿泊雜費

10オ

スル打合せノタメ御出張ニナル早速小川内ニ於テ進藤議員及組合長集会ノ上協議ス　協議事項来賓招待ニ関スル件

昭和五年拾月二日　豆野大谷原間里道修理本年ハ洪水ノタメ道路ガ特別ニ損ジタル以テ土運荷馬車ヲ雇入ル杉谷儀市氏田中伊セ吉氏ニ土運荷馬車ヲ依頼ス　本日モ代理勇出役参拾弐名半出不足五名半。田吾作君ニ三木氏奉仕下サル

拾月三日　大谷竹之屋敷間里道修理。代理勇　杉谷儀市氏田中伊勢吉氏土運荷馬車雇入ル　同日別所臼杵酒造太郎氏小川内區エ清酒参舛御寄附下サル同日大石源太郎氏宅ニ於テ飲酒ナス出役参拾壱名出不足四名

十月五日　脊振縣道修理。午後ヨリ関係ノ作道修理ヲナス出役参拾参名出不足参名

十月八日　區共有林ハマグリ権藤植林杉ノ根払ヒ代理勇午前中宗雲倉吉氏新築ノタメ当区ヨリ杉ノ木壱本（約五尺壱寸圍リ）ヲ寄贈ス　寄贈杉木立會人進藤議員組合長四名杉谷権藤有志宗雲倉吉氏。出役弐拾六名出不足三名半同日宗雲倉吉氏ヨリ清酒五舛当區エ寄贈サル都合上定期總会迄右清酒ハ區長預リ置ク。

拾月十日　南畑村長中川養魚組合設置ニ関スル打合せノタメ当区出張集会ヲ開ク出席者西村喜三氏大石岩吉氏権藤郡作氏杉谷兵太郎氏宗雲巳之助氏五名

十月十一日　區長例会出席　同日昭和五年十月一日現在戸数届出参拾七戸　同日村社籾神社例祭代参

10ウ

11オ

十月拾八日　午後六時ヨリ小川内區集会協議事項中川養魚組合設置ニ関スル件

十月二十七日　昭和五年度後期縣税地租附加税村税地租附加税

縣税特別地税同村附加税縣税雑種税同村附加税日本赤十字社費取立ノタメ小川内出張

十月二十八日　前記納税取立ノタメ村役場行

十月三十日　教育勅語奉戴四週年記念式参列ス

昭和五年拾壱月三日　明治節拝賀式参列

十一月十一日　區長例会出席結城安三郎氏へ風害義捐金弐拾九円〇九八銭配附　代理トシテ請取ル

十一月十二日　風害義捐金ヲ結城氏へ渡ス

十一月二十二日　婦人会總会出席

十一月二十三日　本村々社籾神社新嘗祭参拝代参

十一月弐拾五日　宗雲忠臣君退營ノタメ区民一同歓迎ス直チニ大山祇神社ニテ同君ノ歓迎会ヲ開ク

十一月二十六日　昭和五年度第弐期縣税家宝屋税同村税附加税神社祭典費ノ取立小川内出張

十一月二十七日　前記納税ノタメ村役場行。

十一月二十八日　一般秋期清潔大掃除

十一月二十九日　男女青年主催一夜講習会列席

十一月三十日　講習会列席同日役場ヨリ伊豆地方震災義捐金募集方通達アリ

昭和五年拾弐月三日　大山神社例祭後伊豆地方震災

11ウ

8オ

八月二日　村農会ヨリ注文ノ夏秋蚕種到着ス直チニ飼育者
へ配附ナス
八月三日　村役場ヨリ蚕豆消毒及軍備品払下ニ関スル通達
アリ打合せノタメ小川内出張
八月拾壱日　昭和五年度家屋税調査取立ノタメ小川内出張
八月拾弐日　家屋税納税ノタメ村役場行
八月拾六日　寺崎和尚へ贈ル御仏前ニ関スル打合せヲナス
組合長協議ノ結果金参円也ヲ西村喜三氏立會ノ上ニテ封
ズ同日寺崎氏へ贈ル。
八月二十日　區共有杉植林手入茅拂出役二十八名出不足
弐名　同日區共有林風害損木賣渡ス東小川内春ノ山松木
宗雲倉吉氏へ五円。西村友吉氏へ七円。寺ノ上山杉松木
杉谷嘉六氏へ参円ニテ各々賣渡ス。約定書ハ別紙ニアリ。
八月二十一日　區長例会村役場行キ同日秩父宮殿下奉迎ノ
タメ目田［達］原國道ニテ奉迎ナス
八月二十二日　縣社會事業協會ヨリ暴風被害者結城安三郎
氏へ金拾弐円也下附サル不肖代理トシテ受取リ直チニ同
氏へ傳達ス
八月二十四日　栗山代議士明二十五日視察出張ノ由電報ニ
テ通知アリ宿泊所西村氏宅ニテ武廣早使ト共ニ歓迎打合
セヲナシ直チニ武廣早使及大石嘉作宅ノ政夫
ヲ諸品調達ノタメ午後ヨリ綾部迄使ス午後七時ヨリ前記
ノ件ニ関シ組合長集会ヲナス協議事項歓迎費ハ特別ノ場
合ヲ以テ特別會計ニ附スニ決定ナス
八月二十五日　午前十一時栗山代議士外四名到着小池村長

8ウ

9オ

及松隈助役ハ部落事情視察及風害御下賜金傳達ノタメ出
張　組合長外有志区民代俵表トシテ迎歓ナス
午後六時結城安三郎氏へ御下賜金傳達式栗山代議士ノ講
演会開会ス
八月二十六日　午前七時栗山代議士当地出發　組合長議員
外有志ト共ニ市之瀬迄送リナス
昭和五年九月十一日　區長例会アリ本職不在ノタメ勇代理
トシテ出席ナス。國勢調査ニ関スル一般の注意。
九月十二日　寺崎助手營林暑署ヨリ茅拂出張小川内宗雲人
夫長宅へ案内スル同夜栗山代議士歓迎会会費計算。進藤
議員組合長武廣早使出席。
九月二十十九日　小川内前川飛石掛村工役朝鮮田吾作君自
發的ニ出役ス勇代理。出役弐拾八名出不足七名　同日午
後神埼署勤務北村警部補香田巡査部長舩津巡査巡視ノタ
メ当区出張拙宅宿泊。
九月二十一日　昭和五年度秋期里道修理。勇代理。佐賀橋
豆野間ヲ修理ナス同日大野四名小川内ヨリ四名八名ニテ
一本杉旧道ノ水害破損ヶ所ヲ修理サス出役弐拾弐名出不
足参名
九月二十六日　午後七時ヨリ昭和五年度第壱期畑租及雑地
租取立ノタメ小川内出張
九月二十七日　前記納税ノタメ村役場行
九月二十九日　宗雲忠臣君入隊ニ付キ送別会ヲ関開催ス
九月三十日　当地出發ノタメ區民壱戸壱人宛佐賀橋迄歓送
ス同日五ヶ山山田區長小川内五ヶ山校聯合大運動会ニ関

9ウ

6オ

五月二十一日　區長例会出席　資力調書提出。
五月二十三日　大谷附近道路請負完成ノタメ引受ケニ行ク
除水不完成ノタメ明朝迄引延ス
五月二十四日　請負完成ノタメ引受ク直チニ請負金額ヲ相
渡ス
五月二十七日　昭和四年度第四期田租及村農会費軍人待遇
費納税取立小川内出張
五月二十八日　納税ノタメ村役場行
五月三十日　佐賀縣農務課長東脊振水利利用組合視察ノタ
メ松隈出張電氣ニ関スル打合せノタメ松隈行
昭和五年六月五日　村役場ヨリ小川内校寄附金ニ関スル通
達アリ
佐賀營林署ヨリ秡払下税金納附方通達アリ右二件ニ関ス
ル打合せノタメ小川内出張寄附金割附方ハ青木校長ニ依
頼ス集金ハ武廣早使ニ委任ス
六月七日　武廣早使ト共ニ小學校寄附金取立ノタメ小川内
行
六月二十一日　午前九時ヨリ区長例会出席
六月二十二日　午後壱時ヨリ集会免税申告書提出ニ関スル
件同日宗雲虎夫氏人夫長辞任ニ付改選ヲ行フ選挙ノ結果
宗雲幾市氏当選ス人夫長ノ給料壱ヶ年拾円ヲ五円増額ナ
シ拾五円トナス
六月二十六日　東脊振村農会ヨリ夏蚕種ヲ受取リテ直チニ
分配ス昭和五年度特別戸数割前半期分取立小川内出張
六月二十八日　特別戸数割納金ノタメ村役場行キ

6ウ

7オ

昭和五年七月一日　山祇神社境内掃除出役参拾壱名出不足
四名
七月六日　本村産業組合利子通知書配附方組合長ヨリ通達
直チニ本職ヨリ配附ナス
七月七日　村役場ヨリ済生デー設置ニ関スル通達アリ関係
者青木校長大坪氏へ配附ス
七月拾弐日　東脊振尋常高等小學校々舎改築ニ関スル集会
出席方村役場ヨリ通達アリ進藤議員ト共ニ出席ス
七月拾五日　組合長集会（進藤宅）本縣選出代議士栗山賚
四郎氏選挙區視察ノタメ小川内出張ノ由村役場
ヨリ通達アリ其のノ歡迎ニ関スル打合せ。
七月拾八日　暴風ノタメ当区ノ被害甚大午後ヨリ責任上神
社東光寺及小川内校外人家の被害ヲ視察ヲナス神社寺學
校海童社公共建築ハ幸ニシテ無事人家ハ竹之屋敷結城安
三郎氏家屋倒倒壊ナシ生活上困難ナリト認メ其ノ補助申
請ヲ村役場ヘナス事ニス
七月二十一日　區長例會暴風被害報告当区ヨリ結城安三郎
氏ヲ申出ヅ。
七月二十七日　午後六時ヨリ昭和五年度畜産組合費愛國婦
人費縣税營業税取立ノタメ小川内出張
七月二十八日　前記納金ノタメ村役場行キ同日壱本杉旧道
ノ道切リ出役七名。
七月三十日　海童神社及學校修理区役出役参拾五名出不足
弐名（この項付箋として添付）
昭和五年八月一日　神社境内掃除出役参拾参名出不足弐名

7ウ

宅地租

4オ

メ小川内エ出張ナス
三月二十八日　田租及地租附加税納税ノタメ村役場行
三月二十九日　小川内尋常小學校卒業證書授與式ヘ列席ス
昭和五年四月一日　東背振産業組合評定委員会出席同日四
月分區長例会。
昭和五年四月一日現在戸数届小川内區現在参拾七戸
四月六日　午後六時ヨリ區集会ヲ開ク協議事項掃除検査。
背振縣道掃除。家屋税調査委員總選挙ニ関スル件
英彦山神社奉幣殿御修築寄附金ニ関スル件。産業組合貯
金通帳ト台帳照合セニ関スル件同夜青木先生ヘ贈ル生徒
ノ香典ノ取立ヲナス
四月七日　当小學校入學式ヘ列席　同日家屋税調査委員選
挙入場券到着直チニ早使ヲシテ配附サス有權者参拾六名
四月八日　小川内區預金者代表トシテ通帳台帳照合セノタ
メ村役場行
四月十日　家屋税調査委員總選挙ノタメ村役場行
四月十八日　午後六時ヨリ組合長集会小川内出張ナス
四月十九日　背振縣道掃除午後ヨリ当区里道ノ修理ヲナス
出役弐拾九名ト半　出不足七名半　同日山祇神社樫枯木
壱本金五円ニテ杉谷嘉六氏ヘ賣却ス
四月二十二日　異動地調査ノタメ香月氏北村氏当地出張異
動地案内役トシテ出役ス
四月二十七日　昭和五年度前半期縣税地租附加税同村税附
加税特別
地税縣税雑種税取立小川内出張

4ウ

5オ

四月二十八日　清潔検査大掃除納税ノタメ村役場行　同日
昭和五年度國有原野秣払下願書ヲ佐賀營林署長宛送附提
出ス。四月二十九日　天長節拝賀式参列
昭和五年五月三日　村役場ヨリ林産物品評会出品方及昭和
五年度種痘ニ関スル通達アリ直チニ出品者大石嘉作氏杉
谷一氏エ五月五日迄当村役場迄出品木炭各弐俵宛送附ナ
ス様通知ス
五月六日　特別戸数割資力調査打合せノタメ村役場ヘ出席
同日異動地調査ニ関シ香月北村氏出張。
五月八日　小川内婦人会發會式列席
五月九日　産業組合評定委員会ノタメ村役場行
五月十三日　東光寺ニ於テ集会協議事項大谷里道修理請負
ニ関スル件左記ノ約定ヲ以テ左記ノ者ヘ受負ス事ニ決定ス
請負金百円。道路ノ長拾間石垣ノ高サ弐間半土芝
道巾九尺除水壱尺深サ壱尺落成期限植附前迄拾五ヶ年間
ノ保險ヲ附ス事請負金額ハ完成後相渡ス可キ事。
請負人森田官市　多良七太夫。
五月十五日　午後一時ヨリ集会ヲ開ク協議事項昭和五年度
資力調書提出ニ関スル件左記ノ標準ニテ提出ス
自作田参拾円小作田拾五円。畑自作拾円。畑小作五円貸
附田拾五円山林壱円養蚕壱角弐円。昭和五年度春期小川
内區里道修理日程ニ関スル件
五月十六日　資力調書控必要ト認メ控書ヲ製作ス
五月二十日　昭和五年度春期小川内區里道修理工［公］役
出役参拾弐名半　出不足二日［名］半。

5ウ

2

1オ　2オ　2ウ

昭和五年度
小川内區事務報告
小川内區長

昭和五年度小川内區事務報告本年二月以降
昭和五年二月拾参日　本村村長ヨリ小川内區長就任ノ辞令ヲ受ク直チニ新旧區長立會ノ上事務ノ引継ヲ了ス
昭和五年二月拾四日事務ノ引継ヲ了シタル事ヲ村長ヘ報告ナス
同日午後六時ヨリ區長就任第壱回小川内區集會ヲ開ク組合長補夫ヲ以テ宗雲巳之助氏ヲ満場一致指名ス左之事項ヲ附議ス
一、早使給料ニ関スル件。人夫長ニ関スル件。集會出席ニ関スル件。
昭和五年二月拾五日　區有原野整理上地圖ノ必要ヲ生シタルヲ以テ築地音吉氏ヲ使シテ土地台帳及地図ヲ村役場ヨリ借用ナス
昭和五年二月拾七日　衆議院議員總選挙入場券到着ス直チニ武度［廣］早使ヲシテ有權者ヘ配布セシム有權者五拾壱名
昭和五年二月二十日　衆議院議員總選挙。佐賀營林署ヨリ成富氏出張宿泊
二月二十一日　區長例會出席
二月二十二日　東脊振産業組合總會ノ案内状来ル直チニ早使ヲシテ組合員ヘ配布ナス
二月二十七日　神埼実業銀行預金者大会ノ通達アリ村役場ヨリ直チニ早使ヲ以テ預金者ヘ通知ス

3オ　3ウ

昭和五年三月一日　社會奉仕デー大野竹之屋敷間ノ里道ヲ修理ス出役参拾四名出不足参名
三月四日　區長例会出席
三月五日　午後六時ヨリ集会ヲ開ク協議事項佐賀縣山林会主催林産物品評会出品ニ関スル件。小川内校屋根棟替ニ関スル件区共有杉植林ニ関スル件
三月十日　大山祇神社神殿修理神殿裏ノ大木折レタルヲ以テ村工［公］役ニテ取除ケ神殿破損ノ修理ヲナス青木先生ノ祖父御病氣ニ付キ歸郷セラレルタメ工役人夫ヨリ杉谷五人武廣定君ヲ以テ中原駅迄送ラシム。出役参拾弐名。出不足五名
三月十五日　青木先生ノ祖父逝去ノ電報ニ接ス同夜組合長ト共ニ會葬ノ件ニ付打合セヲナス結果進藤氏不肖二名小川内区代表トシテ會葬スル事ニ決定ス」
三月十六日　進藤氏ト共ニ東松浦郡青木氏実宅ヘ會葬ノタメ中原駅ヨリ急行ス同日唐津壱泊。
三月二十日　工役區共有林ノ杉植及山祇神社ノ屋根棟替エヲナス杉苗壱千五百参拾本ヲ植ユ。出役弐拾六名。出不足四名
三月二十四日　小川内校舎屋根替エノ件ニ付キ日定［程］ノ打合セヲ青木氏ト協議ス
三月二十七日　茅床ノ火入レ工［公］役出役弐拾五名出不足弐名
同日午後六時ヨリ昭和四年度田租及地租附加税集金ノタ

二、苗代標準施肥量

肥料名	一坪當用量	三成分量 窒素（匁）	燐酸（匁）	加里（匁）
下肥	三升五合	七・〇匁	一・五匁	三・三匁
精過燐酸石灰	三十匁	……	五・九	……
籾殻灰	一斗	……	二・六	一・四
計		七・〇	一〇・〇	四・七

三、肥料成分一覧表（一〇〇貫匁中）

肥料名	効速遲	窒素	燐酸	加里	肥料名	効速遲	窒素	燐酸	加里
下肥	速	匁〇・五七〆	炭〇・一二	〇・二七	硫酸加里	速	—	—	四八・〇〇 四〇・〇〇
馬ノ廐肥	遲	〇・五八	〇・二八	〇・五三	硫酸アムモニア	速	二〇・〇〇	—	—
牛ノ廐肥	仝	〇・三九	〇・一八	〇・五三	石灰窒素	速	一七・〇〇	—	—
堆肥（中熟）	中	〇・五〇	〇・二六	〇・六三	精過燐酸石灰	速	—	一九・五〇	—
蚕渣（乾）	速	二・七〇	〇・二九	〇・一三	五号配合	速	五・〇〇	一一・〇〇	—
鰮粕	速	九・五〇	四・〇〇	〇・五〇	煙草中骨灰	速	—	—	二〇・〇〇一 三〇・〇〇
大豆粕	速	六・六八	一・四九	二・一二	藁灰	中	—	二・一〇	四・五〇
撒大豆粕	速	六・九九	一・四七	二・一六	木灰	中	—	一・九八	六・四三
棉實油粕	中	五・二〇	二・四二	—	野草（抄）	遲	〇・五四	〇・一五	〇・四六
印度菜種油粕	中	四・九七	二・四二		稲藁	遲	〇・六三	〇・一一	〇・八五
支那菜油粕	中	四・五一	二・四七	一・四〇	米糠	遲	二・〇八	三・七七	一・四〇

	肥料名稱	總量 貫	元肥 貫	追肥 貫	三要素成分量 窒素 貫	燐酸 貫	加里 貫
例壹第	土堆肥	三〇〇・〇	三〇〇・〇	—	〇・九〇〇	〇・三〇〇	〇・六〇〇
	大豆粕	一八・〇	一八・〇	—	一・二〇二	〇・二六一	〇・三八二
	鰮〆粕	五・〇	—	五・〇	〇・四〇〇	〇・二〇〇	〇・〇二五
	過燐酸石灰	七・五	七・五	—	—	一・四六三	—
	硫酸加里	二・五	二・五	—	—	—	一・二〇〇
	石灰	一五・〇	一五・〇	—	—	—	—
	計				二・五〇二	二・二三四	二・二〇七
例貳第			元肥	追肥	N	P	K
	土堆肥	四五〇・〇	四五〇・〇	—	〇・九〇〇	〇・四五〇	〇・九〇〇
	石灰窒素	六・〇	六・〇	—	一・〇八〇	—	—
	鰮〆粕	七・五	—	七・五	〇・七一三	〇・三〇〇	〇・〇三八
	過燐酸石灰	七・五	七・五	—	—	一・四六三	—
	硫酸加里	二・五	二・五	—	—	—	一・二〇〇
	計				二・六九三	二・二二三	一・三八

一、肥効を損する肥料配合

〰〰〰〰〰印は肥効を損する肥料配合線
（若し誤つて配合すれば次の如き損となる）
一、硫酸アムモニア中の窒素成分は空中に逸散する
二、一と全様に悪い
三、下肥中の窒素（炭酸アムモニア）は空中に逸散
四、過燐酸は他の石灰の為め効果が劣悪となる
五、三と全様に悪い
六、四と同様に悪い

1　大正十五年四月五日　東脊振村農會

農事實行組合長會提出事項

一、農事實行組合諸帳簿ニ関スル件

イ、農事實行組合員名簿兼出席簿

ロ、組合収支簿

ハ、大正十五年度組合事業計画書

（村農會経由郡農會ニ報告スベキモノトス）

二、大正十五年度稲種籾申込ノ件

左記種子申込ノ品種名　数量　氏名　記載

ノ上四月二十一日迄申込ノコト

記

中生神力、晩七号　神力二号

具味糯、神力糯

三、大正十五年度稲第一期肥料共同購入ノ件

イ、申込四月十三日迄、ロ、入札會四月廿日頃ノ予定

ロ［ハ］、受渡五月二十日前後

左記肥料名並ニ数量　氏名　記帳ノ上申込ムコト

記

◎共同購入肥料　名稱!!!

大豆粕、豊年豆粕、棉實粕、菜種油粕、

支那粕、印度油粕、鰮〆粕（五十斤）、硫酸加里（一叺ヲ四反分）（二、五〇〇）

精過燐酸石灰（反当七～一〇〆）、五号肥料、硫酸アムモニア、

石灰窒素（反当六〆　六貫入）、石灰（反当三叺位　五貫叺）

四、苗代標準施肥量

肥料名	一坪當用量	三要素成分 窒素（匁）	燐酸（匁）	加里（匁）
下肥	三升五合	七・〇匁	一・五	三・三
精過燐酸石灰	三〇匁	……	五・九	……
籾殻灰	一斗	……	二・六	一・四
計		七・〇	一〇・〇	四・七

肥料市況通報（三月廿一日調）

肥料名	受渡場所	單價	商況
大豆粕	門司貨車乗	二・四二円	持合
豊年粕	仝	三・九五	仝
棉實粕	仝	五・六〇	下向
支那粕	仝	四・九五	仝
印度油粕	仝	五・一〇	仝
鰮〆粕	西唐津貨車乗	一〇・五〇	持合
精過燐酸石灰	縣内各駅渡	一・九〇	仝
五号肥料	門司貨車乗	二・八八	下向
外国硫安	仝	六・二〇	仝
硫酸加里	仝	五・二五	持合
石灰窒素	縣内各駅渡	三・一〇	仝

2　翻刻資料

1　　大正十五年四月五日　東脊振村農会　　〔整理番号C-27〕

2　　昭和五年度小川内区事務報告　　〔整理番号A-62〕

3　　昭和五年度区費決算報告　　〔整理番号A-70〕

4-1　昭和五年二月以降収入及預リ金控帳　小川内区
〔整理番号A-53-2-2②〕

4-2　和六年度区当座帳　　〔整理番号A-53-2-2①〕

5　　小川内区現在戸数控　小川内区　昭和五年～昭和八年
〔整理番号A-20〕

6　　区長日誌　昭和六年一月一日～昭和十年　　〔整理番号B-58〕

7　　昭和七年度小川内区歳出歳入決算書　　〔整理番号A-53-2-14〕

8　　製炭農事実行組合規約　　〔整理番号B-29〕

9　　五ヶ山区規則

※　翻刻は原文に忠実に行ったが、次の措置をとった所がある。
・誤字又は当て字の所の一部は、その下に□で正字を示した。
・脱字は◇で補った所がある。
・上記にかかわらず、正字が推測できないか、確実性に欠ける場合は、当該字の右側に（ママ）と記した。

3　文書資料一覧

Tab. XI3-1　東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内　武廣邦敏家文書
P806～P829

Tab. XI3-2　東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内　進藤直文家文書
P829～P843

Tab. XI3-3　東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内　大石久一家文書
P844～P859

Tab. XI3-4　那珂川町網取　山田善寛家文書
P860～P865

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-1	覚	文書コピー		宝暦6年9月	鍋島隼人（花押）	神埼郡大庄屋　小宮久左衛門 石動上下村　大曲村	
A-2-1	感謝状	賞状	明治38年2月20日		佐賀縣知事正五位勲四等　香川輝	佐賀縣神埼郡東背振村惣代 西村貞七	
A-2-2	感謝状	賞状	明治39年2月20日		佐賀縣知事正五位勲四等　香川輝	佐賀縣神崎郡東背振村 杉谷関松	
A-2-3	感謝状	賞状	明治39年2月20日		佐賀縣知事正五位勲四等　香川輝	佐賀縣神埼郡東背振村　宗雲 クリ外七名代表者宗雲クリ	
A-3-1	扁額	その他					
A-3-2	扁額	その他					
A-3-3	扁額	その他					
A-4	あけぼの会俳句集 短冊（5点）	短冊	不明		黙鐘、杉童他3名		包紙、異質　あけぼの会俳句集短冊　呈□居士　黙鐘選
A-5		文書コピー		元文2年巳8月	岡宮内判	小宮善左衛門殿	
A-6	書簡	書簡			手塚	武広様	
A-7	揮毫				進藤世外（印より）		
A-8	揮毫				李時亮		
A-9-1	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-2	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-3	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-4	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-5	地券		明治20年9月30日		佐賀県　神崎郡長　田中馨治	松隈村	
A-9-6	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-7	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-8	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-9	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神崎郡長　関経仲	松隈村	
A-9-10	地券		明治20年9月30日		佐賀県　主事　神埼郡長　田中馨治	松隈村	
A-9-11	地券		明治13年1月30日		佐賀県　主事　神埼郡長　関経仲	松隈村	
A-9-12	地券		明治15年3月31日		長崎県　主事　神埼郡長　大坪利晋	松隈村	
A-9-13	地券		明治20年9月30日		主事　神埼郡長　田中馨治	松隈村	
A-9-14	地券		明治15年3月31日		長崎県　主事　大坪利晋	宗雲寿助	
A-9-15	地券		明治15年3月31日		長崎県　主事　神埼郡長　大坪利晋	築地惣八	
A-9-16	地券		明治13年1月30日		長崎県　神埼郡長　関経仲	石井玄納	
A-10-1	賞状		大正14年7月20日		大日本武徳會佐賀支部長正五位勲四等齋藤行三	大石峯三氏	
A-10-2	賞状		大正15年9月1日		大日本武徳會佐賀支部長齋藤行三・大日本武徳會長・本郷房太郎	東背振村松隈小川内區御中	
A-10-3	賞状		大正15年9月1日		大日本武徳會佐賀支部長□□□□、大日本武徳會長	東背振村小川内區御中	
A-10-4	賞状		明治38年3月10日		佐賀縣知事正五位勲四等香川輝（印）	佐賀縣神埼郡東背振村人民惣代西村貞七	
A-11-1	地券		明治15年3月31日		長崎縣　主事　神埼郡長　大坪利晋	持主　松隈村	
A-11-2	地券		明治15年3月31日		長崎縣　主事　神埼郡長　大坪利晋	持主　石井玄納	
A-11-3	地券		明治20年9月30日		佐賀縣　主事　神埼郡長　田中馨治	持主　松隈村	
A-11-4	地券		明治15年3月31日		長崎縣　主事　神埼郡長　大坪利晋	持主　松隈村	
A-11-5	地券		明治20年9月30日		佐賀縣　主事　神埼郡長　田中馨治	持主　松隈村	
A-12-1	地券		明治13年1月30日		長崎県　主事　神埼郡長　関経仲	松隈村	
A-12-2	地券		明治20年9月4日		佐賀県　主事　神崎郡長　田中馨治	松隈村	
A-13	条書	通達	文化5年辰4月		鍋　精記（花押）	鳥羽院山庄屋	
A-14	地租名寄帳						表紙、本紙と同質　明治参拾年弐月地租名寄帳　東背振村　小川内村
A-15	昭和二十二年年五月一日以降区役名簿　小川内区						
A-16	武徳太平記巻之三、四						武徳太平記巻之三、四　織田家由来、上総介信長遊猟、木下藤吉郎高吉
A-17	東背振村文化協会設立趣意書				昭和59年	東背振村文化協会設立準備会	
A-18	過去帳						
A-19	覚	備忘	昭和3年1月より12月26日まで		宗重鉄之助		
A-20	小川區現在戸数控　小川内區		昭和5年4月1日現在戸数届人名		小川区		
A-21	大正三年一月区費公役控簿 小川内区長		大正三年一月		小川区長		
A-22	第廿号字大谷原　現反別取調野帳	備忘			肥前国神崎郡松隈村小川内分		
A-23	第拾六号字大野　現反別取調野帳				第四十長大区四小区　肥前国神崎郡松隈村		
A-24	小川内處女会会計簿		大正七年九月		小川内		
A-25	會則						
A-26	佐賀縣市町村事業場等又ハ工場鉱山　防護団各班業務書	通達			「佐賀縣縣合防護団」表紙より	佐賀縣市町村又ハ工場鉱山事業場等	表紙及び作成と同じ
A-27	（ファイル綴）						
A-27-1	山祇神社春秋例会神饌物準備	備忘					
A-27-2	覚		文化元子年十月		筑前国下妻郡水田庄来迎寺禅雅（印）同所日代大嶋金吾（印）同所庄屋渕上宗市（印）同所権日渕上津右衛門（印）	肥前神埼郡小河内村東光寺惣御組中様	
A-27-3	覚		近代				
A-27-4	小河内孝校規約		明治24年旧12月改正		小川内村中		
A-27-5	和銃御検印願		明治23年5月24日		大石清市郎（印）	佐賀縣知事鎌田景弼殿	
A-27-6	書状		旧正月3日		篠山信輔	西山喜三様	
A-27-7		通達	明治30年6月1日		佐賀縣知事正五位勲五等武内維積	神埼郡東背振村大字松隈　武廣又六	
A-27-8	御届		明治20年4月7日		撰挙人惣代進藤平治	大曲村外三ケ村戸長三島佐五郎殿	
A-27-9	委任状		明治20年1月19日		那珂郡五ヶ山郵伊藤甚平（印）		
A-27-10	議按		明治37年4月13日		東脊振村長大石巳之助	東脊振村會議長大石巳之助 仝村會議員　宮島由莘　仝 小田清一郎　仝　初田清一郎	
A-27-11	覚						
A-27-12	覚						
A-27-13	覚		11月15日				
A-27-14	覚						

形　状	内　容	備　考	調査日
洋紙、その他、切継紙（10枚継）	「山入道筋被相定」	記載村名：高柳村、船石村、出来町村、堤村、屋形原村、鳥越村、大曲村、石動上下村	2003.12.9
洋紙、墨、無地（白）、竪紙	従軍者家族扶助の為　金拾四円九十銭寄附の賞	A－2（1～3）は同巻	2003.12.9
洋紙、墨、無地（白）、竪紙、虫損	［明治37・8年戦役ノ際毛布壱枚寄附］の賞状	A－2（1～3）は同巻	
洋紙、墨、無地（白）、竪紙、虫損	［明治37・8年戦役ノ際毛布壱枚寄附］の賞状	A－2（1～3）は同巻	2003.12.9
楮紙、墨、後欠	坊主と女性の絵に狂歌あり	A－3（1～3）までは同巻	2003.12.9
楮紙	雷と女性の絵に狂歌あり	Aの3番（1～3）まで同巻	2003.12.9
楮紙、同巻	稲と鎌持つ女性の絵に狂歌あろ	Aの3番（1～3）まで同巻	2003.12.9
色紙、墨、短冊	踏まれてもなお露草の咲きほこる　黙鐘 雲上の誉れの春や修学院　杉童　他	包紙の上にもう一度包んである	2003.12.9
洋紙、その他、6枚、接合外れ	「神埼郡瀬ノ尾ケ里配分田作用水」の裁定		2003.12.9
洋紙、ペン、万年筆、専用紙（手塚用箋）、切紙、2枚	背振のワサビ栽培、小川内の植物大要についてお知らせ下さい。	（月刊誌「新郷土」「佐賀の植物」）に掲載計画あり	2003.12.9
楮紙、墨、無地、揮毫	五言絶句、毛浩然詩「春眠不覚暁處々聞啼鳥夜来風雨聲花落知多少」		
楮紙、墨、無地（白）、虫損	「卓牽観群書　李　時亮印印」　全		2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神埼郡松隈村弐千百九拾八番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、破損	肥前国神埼郡松隈村弐千百六拾四番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千百四拾九番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千五拾弐番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千三百壱番ノ口字大谷原	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村千百五拾三番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神埼郡松隈村千九百五拾番字大野	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神埼郡松隈村千九百五拾番字大野	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神崎郡松隈村弐千九拾壱番字長谷	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神埼郡松隈村二千百五拾番ノ口字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破損	肥前国神崎郡松隈村弐千三百番字大谷原	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村二千百九拾八番字大谷原	A-9番1～16同巻	2003.12.9
活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千百壱番ノ口字長谷	A-9番1～16同巻	2003.12.9
活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千六拾九番字古小河内	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千百弐番字長谷	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、小破	肥前国神埼郡松隈村弐千百弐拾番字前田	A-9番1～16同巻	2003.12.9
洋紙、活字、印刷物（活版）	大日本武徳會佐賀支部神崎支所武道奨励委員を嘱託ス	A-10-1～4は同巻	
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、虫損	虫損にて判別不能	A-10-1～4は同巻	
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、虫損	金貳拾圓寄贈セラレタル付謝意を表す。	A-10-1～4は同巻	
洋紙、墨、専用紙（賞状）	日露戦争従軍者扶助ノ為メ金七圓寄附	A-10-1～4は同巻	
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、虫損	「肥前国神埼郡松隈村千九百三拾六番口字大野」の地券	A-11（1～5止）は同巻	
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、虫損	「肥前国神埼郡松隈村弐千百六拾五番口字前田」の地券	A-11（1～5止）は同巻	
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国）	「肥前国神埼郡松隈村弐千百三拾八番ノ口字前田」の地券	A-11（1～5止）は同巻	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、端に破損あり	「肥前国神埼郡松隈村弐千百六拾五番字前田」の地券	A-11（1～5止）は同巻	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）	「肥前国神埼郡松隈村弐千百九拾弐番ノ字大谷原」の地券	A-11（1～5）は同巻　朱で「藪」と書いてある	2003.12.9
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、その他	「肥前国神埼郡松隈村弐千九拾五番字長谷」の墓地六畝歩	A-12番同巻（1～2）あり	2003.12.9
洋紙、墨、活字、専用紙（大日本帝国政府）、その他	「肥前国神埼郡松隈村弐千百五拾番ノ口字前田」の畑	A-12番同巻（1～2）あり	2003.12.9
楮紙、活字、印刷物（木版）、続紙（5枚継）、一括点数1枚	鳥羽院山庄屋への御法度通達		2003.12.9
楮紙、無地、竪帳、二ツ綴、174丁（墨付159丁）	住所、面積、地価、地租の書上　武廣又六、武廣亀蔵、武廣貞蔵他の名有り	最後の頁に附箋（切紙）有	2003.12.9
洋紙、墨、鉛筆、無地、竪紙、二ツ綴、こより、23丁（墨付21丁）	昭和二十三区役名簿小川地区役名簿」「社地側料乃区役出趣」など		
楮紙、墨、竪帳、四ツ目綴、表紙共紙数36丁（墨付35丁）、虫損、裏表紙	武徳太平記巻之三、四（表紙）武徳太平記巻之四終	表題（補足）　武徳太平記巻之三、四　目録　織田家由来　信長家督智勇兼候事　上総介信長遊猟　藤吉郎高吉直訴之事　木下藤吉郎高吉　足軽より立身之事	2003.12.9
洋紙、ペン、専用紙（東背振村役場）、印刷物、竪帳、二ツ綴、ホッチキス、表紙共紙数7丁	挨拶（準備委員名簿　重闘茶場碑記）　東背振文化協会入会申込書・考え方・設立資料　東背振文化協会規約（案）		2003.12.9
楮紙、墨、無地、竪帳、四ツ目綴、表紙共紙数56丁（墨付29丁）	（最初3名分破損により判読不能）明和五年「勧山道喜信士□十二月藤次郎叟」より「天保十一年浄遷禅定尼子十二月卯年次母」まで305名分		2003.12.9
楮紙、墨、無地、綴、二ツ綴、こより	覚書村内個人別出張事項と旅費区費計算と除余金	苗代検査　役場行道路修理、測量　新年会尊の会費等区の会計　支出について全38枚	2003.12.9
洋紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、二ツ綴、こより、表紙共紙数15丁	昭和五年四月一日現在戸数届人名　人名以上参拾七戸　前年度より壱戸減　昭和拾年四月改正　参拾七名		
楮紙、墨、罫紙（黒）、竪帳、二ツ綴	金額、摘要、氏名による書き上げ		2003.12.9
楮紙、墨、竪帳、二ツ綴、こより	地番毎の求積24枚		
楮紙、墨、無地、竪帳、二ツ綴、こより	字名、田面積、所有者名による書き上げ、地所調査		2003.12.9
楮紙、墨、ペン、竪帳、二ツ綴、こより	金十四枚　収支記録		2003.12.9
罫紙（青）、竪帳、四ツ綴、表紙共紙数24丁（墨付16丁）	小川内青年會々則　昭和四年組別人員調、昭和五年、同、昭和六年、昭和七年、昭和八年綴		2003.12.9
洋紙、活字、冊子、表紙共紙数46丁（墨付45丁）	警護班業務書他八種の班業務書を綴じてある	表紙に赤で藤原と署名あり	2003.12.9
			2003.12.9
楮紙、墨、無地、切紙	「神酒壱升」「掛鯛壱對」など品物書上	A-27は合綴	
楮紙、墨、無地、切紙	来迎寺隠居壽正和尚、御村東光寺江住職改りの件、病気・死去等の節は何時も拙者共方江引受申すべき旨	A-27は合綴	
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	「鋳銅製經筒四基」の銘の書入れ	A-27は合綴	
楮紙、墨、罫紙（黒）、表紙共紙数4丁（墨付3丁）	「如何カレ制規アリト雖モ永久孝校ヲ廃止セザル事」など全8条	杉谷政六以下29名の名前銘記	
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	和銃壱挺の検印願		
楮紙、墨、無地、切紙	御鏡餅壱重御貫立、多年氏江御送下され度し。		
楮紙、墨、活字、罫紙（赤）、切紙	日清戦争時の軍用品献納の賞状		
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙	西邨喜内、大石嘉平次、宗雲源四郎、組長選挙の候補者名書上げ	A-27は合綴	
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	親族伊藤竹吉を代理人として五ヶ山邨内田地の借用証公布の申請		
楮紙、墨、コンニャク版、無地、切紙	明治三十六年七月四日議決、本村基本財産蓄積ニ関スル件ハ之ヲ廃止ス		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	「弥左衛門盛前」とあり、人名書上		
楮紙、墨、鉛筆、無地、横折、墨付2丁	人名書上		
楮紙、墨、鉛筆、横折、墨付1丁	金九円五拾七銭四厘の借用等の内訳け		
楮紙、墨、無地、横折	三拾三円三十銭の内訳		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-27-15	覚						
A-27-16	明治廿四年観音寺新築板引賃		(明治24年) 4月7日計算		平次郎（？）		
A-27-17	埋葬認許証綴		明治期				
A-27-18	脊振山霊仙寺上棟敬白文写		昭和45年10月16日				
A-27-19	覚				盛若		
A-27-20	覚						
A-27-21	覚						
A-27-22	覚						
A-27-23	覚						
A-27-24	題		7月21日	山石			
A-27-25	覚						
A-27-26	實語教（内題）						
A-28	種痘人名帳		大正7年3月9日		小川内区		表紙　大正七年三月九日種痘人名帳小川内区
A-29	単語帳				大石		
A-30	全国神社総代会大会		昭和44年10月6日		全国神社総代会		
A-31							
A-32	屋賃代		昭和23年1月20日		石橋孟、平勝美、百武恵美子	小川内区長　杉谷喜六殿	
A-33	緊急動議事項						
A-34		断簡					
A-35	覚書						
A-36		その他					
A-37		備忘		大正6年2月			
A-38	封筒		7月21日		東背振村□□　松隈乙松	小川内区長　杉谷弓太郎様 大至急	封筒　作成年月日、作成、充所と同じ
A-39	葉書		大正5年7月2日	5.7.5（消印）	松隈森區官舎	神埼郡東背振村字小川内杉谷兵太郎殿	
A-40	領収証綴			昭和12年11月13日・5月14日・12月21日	東脊振村収入役池田巳之助	区長殿	
A-41	方面委員令関係法規並通牒	その他		昭和12年1月15日	佐賀県社会課		
A-42							
A-43	第21回卒業証書授与式		昭和44年2月15日		佐賀県立神崎農業高等学校		
A-44	断簡						
A-45	昭和54年度佐賀県立博物館年表						
A-46	NBCの営業網						
A-47	パンフレット	その他	久留米観光温泉株式会社				
A-48	封書	書簡	6月3日		福岡市下高宮503　築地筆吉	武広勇殿	
A-49	ふるさと佐賀の歩み　明治16年～昭和58年　百年				佐賀県知事　香月熊雄		
A-50	東背振村長期総合開発計画（案）		昭和45年9月				
A-51	分村合併趣意書	その他					
A-52	紙面にみる朝日新聞95年				朝日新聞		
A-53-1-1	東背振村振興計画審議会日程	通達	昭和56年3月6日		東背振村役場		
A-53-1-2	昭和55年度標準小作料額（暫定）	通達	昭和56年3月		［東脊振村役場］　用紙から		
A-53-1-3	委員名簿		不明		不明	不明	
A-53-1-4	村民所得の分配	案文	不明		不明		
A-53-1-5	第6回村民文化祭の開催について（ご案内）		昭和57年10月20日		東背振村長　牟田優	村民各位	
A-53-1-6		案文					
A-53-1-7	小作料協議事項	通達、資料	昭和56年3月4日		東背振村農業委員会		
A-53-1-8	寄附願	上申	明治30年10月				
A-53-1-9	村政方針の案	案文					
A-53-1-10	表紙		昭和51年2月		武広杉童		
A-53-2-1	昭和十二年支出帳	備忘	區長		昭和12年以降		表紙　昭和十二年支出帳　區長　昭和十二年以降
A-53-2-2	昭和六年度區當座帳	備忘	昭和5年～昭和8年		小川内區帳		表紙、本紙と異質　表…昭和六年度區當座帳　小川内區長 裏…昭和五年二月以降収入及預り金控帳　小川内區
A-53-2-3	資料一時預り証	証文	昭和47年9月26日		佐賀県立博物館長古賀秀男　取扱責任者尾形善郎	東背振村小川内小学校　校長池田貞雄殿	
A-53-2-4	昭和六年度東背振村軍人待遇會歳入出豫算書	上申	昭和6年4月21日		東背振村軍人待遇會々長東背振村長　小池義治		
A-53-2-5	昭和五年度東背振村軍人待遇會歳入歳出決算書	上申	昭和6年4月21日		東背振村軍人待遇會々長東背振村長　小池義治		
A-53-2-6	小川内小学校講堂落成までの経緯						
A-53-2-7		備忘					
A-53-2-8	昭和貳拾貳年五月一日以降出動状況	備忘					
A-53-2-9	小川内誌目次		昭和59年6月吉日				
A-53-2-10	納金取立帳	その他	大正5年度				
A-53-2-11	学級日誌		昭和24年4月11日以降		中學第二學級		表紙　表題、作成月日、作成に同じ
A-53-2-12	昭和二十五年度集会出勤表	その他					
A-53-2-13	昭和拾年度歳入簿	備忘	昭和拾年度吉月以降		区長		表紙　本題に同じ
A-53-2-14	昭和七年度小川内區歳出歳入決算書	備忘					
A-53-2-15	区集会協議決定事項	備忘					

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、鉛筆、横折、墨付1丁	拾四円五十銭など金銭書上（用途は不明）		
楮紙、墨、無地、横折	計四円五拾四銭一厘の品代書上		
楮紙、洋紙、墨、ペン、活字、無地、罫紙（赤）、綴、一括点数13枚	「埋葬認許証」10点　その他の領収書等3点		
洋紙、ペン、コピー、無地、切紙	碑銘の案文か		
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙、	「大雪の晴た朝也青田かな」他9首の書上げ		
楮紙、墨、無地、切紙、	「鳥嶋ー神のちかひかや」などと記す		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	仮名の手習いか		
楮紙、墨、罫紙（黒）	「うたゝねの声にまじりて虫の声」など18首の俳句	欄外に「十六」とあり	
楮紙、墨、無地、切紙	「人声のたへる間もなし椿かな」外4首の俳句		
楮紙、墨、無地、切紙	「有明の月も薩さす椿かな」ほか15首		
楮紙、墨、無地、すかし有、一括点数2枚	「推参と思ひ暮してけふの日は松浦松浦さ代姫石に成とそ思ひ」ほか	すかし有（扇）	
楮紙、活字、無地、印刷物（木版）、書籍、墨付15丁		表紙なし	
楮紙、墨、竪帳、四ツ綴、表紙共紙数16丁（墨付16丁）	種痘人名帳		2003.12.9
ノート、ペン	単語7ページまで他は単語練習		2003.12.9
	総代会大会の袋の中　被表彰者名簿　神社広報　全国神社総代会大会誌	ミニソノシート、母は祈る、福岡観光ガイド	2003.12.9
洋紙、ペン、罫紙（作文用紙）、竪紙	原稿の下書きの一部　背振の寺と歴史上の出来事		2003.12.9
楮紙、墨、罫紙（茶）	屋賃代　一、金壱百六拾亦也　但し校長平・百武の十二月、一月、二ヶ月分家賃支拂済		2003.12.9
洋紙、切紙	一、議事録作製15件　二、部落有林管理ニ関シテハ計画実施スル事、豆野原野分割ノ件		2003.12.9
楮紙、墨、罫紙（黒）	宗雲繁夫等が書いてある		2003.12.9
洋紙、鉛筆、ペン、無地、竪帳、二ツ綴、こより	氏名、地名、数量の書上		2003.12.9
洋紙、専用紙、一括点数2枚	便箋用紙の表紙　東背振村役場用箋表紙		2003.12.9
楮紙、墨、横折、一括点数2枚	東光寺畳表替費用書上げ　畳表替費用寄附人名書上げ		2003.12.9
楮紙、無地（青）	封筒のみ		2003.12.9
洋紙、墨、無地、はがき	要用有、四日官舎に出頭相成度し。		
洋紙、鉛筆、ペン、その他、無地、切継紙、上部のりづけ、一括点数4枚	その他借用証の下書きなど		
洋紙、活字、冊子、針金、後欠、25頁	昭和12年1月15日施行の「方面委員令関係法規並通牒」法規集		2003.12.9
楮紙、竪紙、墨付6丁	衆議院解散並総選挙に関する事		2003.12.9
洋紙、活字	第21回卒業証書授与式のしおり		2003.12.9
楮紙、鉛筆、罫紙（赤）、切紙	・地所取調の一部　・井上次男部落葬雑費十一月十八日		2003.12.9
冊子、表紙共紙数56丁	管理の概要、事業の概況、資料の概況等記載	昭和54年7月19日百万人目の入館者への記念品贈呈の写真有	2003.12.9
洋紙、活字、表紙共紙数18丁	カタログ冊子　NBC放送の活動とサービス		2003.12.9
	久留米リバーサイドパレス（久留米市長門石町369-2　〒830　tel0942-39-2345）の観光パンフレット		2003.12.9
洋紙、ペン、罫紙（赤）	印鑑証明送付したことの通知		2003.12.9
	県政百年記念事業のパンフレット		2003.12.9
墨、印刷物、ホッチキスで止めてある、表紙共紙数28丁（墨付28丁）	東背振村長期綜合開発計画（表）綴		2003.12.9
洋紙、鉛筆、罫紙（黒、銘なし）、専用紙（便せん）、竪帳、こより	小川内地誌編纂らしきものの原稿、分村合併趣意書、1.小川内部落の位置、交通、経済、文教など項目あり		2003.12.9
	平又市先生の遺稿を慕いて　武広杉童　原稿2枚		2003.12.9
洋紙、活字、無地（白）、切紙	審議会の日程	紙の大きさ、B5	2003.12.16
洋紙、コピー、罫紙（白、東背振村役場）、切紙	神崎郡内町村別の標準小作料額の表	紙の大きさ、B5	2003.12.16
洋紙、活字、無地（白）、切紙	村議会他10団体の代表者名	紙の大きさ、B5　東背振村の各委員会の代表かと思われる	2003.12.16
洋紙、ペン、切紙	・昭和50年度から昭和53年度までの村民所得に関する表　・一人当り分配所得と成長率の目標	様態　方眼紙のコピー　紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、活字、切紙、ステイプラー1ヶ所、表紙共紙数2丁（墨付2丁）	村民文化祭の案内状　とき、ところ、日程表あり	日程表は2枚有り　1枚ははずれている	2003.12.16
洋紙、ペン、切紙	村の財政計画についての案の一部	様態…方眼紙のコピー　紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、無地（白）、罫線（黒、東背振村役場）、綴、ステイプラー2ヶ所、表紙共紙数10丁（墨付10丁）	小作料に関する協議会に関する日程と資料の綴	紙の大きさB4－3枚　B5－7枚	2003.12.16
洋紙、ペン、無地（白）、切紙	［小川内尋常小学校増築費の寄附願］の下書きの一部　一．金百九拾五円八拾四銭八厘　内訳12項目あり	紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、ペン	村の状況と今後の施策のうち観光、行政、財政に関する事	様態…方眼紙のコピー　紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、ペン、無地（白）、切紙	『昭和五十一年弐月起小川内小学校百年史追加資料　武廣杉童」と表にあり	紙の大きさB4の二つ折　裏面に「百年の学舎嬉し里の春　杉童」とある	2003.12.16
洋紙、鉛筆、ペン、冊子、表紙付、ノート、糸、表紙共紙数27丁（墨付16丁）	昭和12年度から昭和17年度までの支出、昭和21年4月佐賀橋竹ノ屋敷間道里修繕納富組請負人夫控へ	内容　昭和14年度決算報告	2003.12.16
洋紙、ペン、罫紙（青）、冊子、糸、ノート、表紙共紙数30丁（墨付25丁）	・昭和5年2月14日消防初出式　・昭和5年2月20日佐賀営林署より　・3月10日山祇神社神殿修理の折御神酒及材料　など區行事の際の支出記録他	白紙が一枚はさまれている	2003.12.16
洋紙、青写真、切紙	［修業證書　明治39年小川内尋常小学校第1学年大石亨］他9点の一時預り証	紙の大きさ－B5	2003.12.16
洋紙、コピー、切紙	昭和6年軍人待遇会予算書　歳入之部　376　歳出之部　合計376　等々	紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、コピー、切紙	昭和5年度　歳入369,890円　歳出207,330円等々	紙の大きさB4	2003.12.16
洋紙、ペン	改築のための寄付金百九拾五円八拾四銭八厘とその他区民の努力で落成　中堅者氏名		2003.12.16
洋紙、墨、鉛筆、活字、竪帳、ひねり綴、こより、25丁（墨付25丁）	名簿5人分、道造日当雑費明細、縁故者名簿、各種議員選挙資格申告書、大正五年苗代台帳字小川内区etc	12種の書類を一括綴	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青）、冊子、四ツ綴、こより	区民会出欠記録簿		2003.12.16
洋紙、活字、切紙	小川内誌の目次のみ　小川内のおいたち他4項	紙の大きさB5	2003.12.16
楮紙、墨、鉛筆、専用紙（小学校ノート）、印刷物（活版）、その他（A5ノート）	大正5年、株願、町歩などの代金書上帳		2003.12.16
洋紙、墨、鉛筆、無地（白）、冊子、二ツ綴、こより	学級週番が記入した学級日誌5月28日～6月6日まで記入	5月28日以前の分は引き破られている	2003.12.16
楮紙、墨、ペン、罫紙（青）、竪帳、二ツ綴、糸、一括点数19枚	「昭和二十五年度～二十七年度集会」「昭和二十六年～二十七年公役出夫」「大石泰三外28名分」出勤簿	「区長例会議題（昭和二十六年三月十四日）」貼付	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、二ッ綴、表紙共紙数9丁	「昭和九年度決算当時余餘金」その他金額・項目の書上	東背振村農会の用紙に畝高・人名の書上が挟み込みあり	2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、一ッ綴、こより、表紙共紙数6丁	昭和七年度歳入歳出高内訳書上「前年度歳入歳出對照」		2004.1.13
洋紙、ペン、ノート、表紙共紙数24枚（墨付3枚）	「昭和6年3月4日」「昭和7年12月26日」「昭和八年三月十八日」区集会協決定事項の書上　外に「目達原辨天社由緒調」もある途中迄		2004.1.13

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-53-2-16	揮毫						
A-53-2-17-0	封筒						
A-53-2-17-1	公明選挙推進の協力依頼書		昭和40年1月17日		東背振村選挙管理委員会 （朱文方印）		
A-53-2-17-2	請求書		40年1月25日		神埼郡東背振村役場前小池衣男	武広様	
A-53-2-17-3	請求書		40年1月25日		神埼郡東背振村役場前小池衣男	武広様	
A-53-2-17-4	領収証		昭和40年1月16日		誠文堂印刷所（朱文円印）	武広殿	
A-53-2-17-5	領収証		昭和40年1月25日		誠文堂印刷所（朱文円印）	武広殿	
A-53-2-17-6	領収証		昭和40年1月16日		北島広山堂［印］	武広勇殿	
A-53-2-17-7	領収書		40年1月15日		佐賀市片田江西山造花［印］		
A-53-2-17-8	挨拶状				武広勇	多良惣八様、千々岩時次郎様、 中島儀三様	
A-53-2-17-9	公明選挙推進の協力依頼書		昭和40年1月17日		東背振村選挙管理委員会 （朱文方印）		封筒　候補者殿　東背振村役場
A-53-2-17-10	領収証		昭和40年1月25日		神埼郡東背振村役場前小池衣男（印）	武広様	
A-53-2-17-11	領収証		昭和40年1月16日		佐賀市北川副町　門田唯市（朱文方印）	武広様	
A-53-2-17-12	請求書		昭和40年1月25日		佐賀市寺町　誠文堂印刷所（印）	武広様	
A-53-2-17-13	領収證		昭和40年1月16日		司法書士　佐賀市上多布施町 中村功（朱文方印）	武広様	
A-53-2-17-14	領収書等徴し難い事情があった支出の明細書						
A-53-2-17-15	封筒						武広村長様　供託書在中　篠原
A-53-2-17-16止	名刺						
A-53-2-17-18止	委嘱状		昭和52年4月1日		東背振村教育委員会（朱文方印）	武廣勇殿	
A-53-3	昭和貳拾貳年度歳出歳入決算報告書	その他					
A-53-4	御案内	その他		4月10日	目達原氏子総代　香月正男	武広勇様	封筒、本紙と異質　表「武広勇殿」 裏「目達原氏子総代　香月正男」
A-53-5		書簡		（昭和）55年12月28日			封筒、本紙と異質　表「東背振村 小川内　武広勇様」裏「築地善光」
A-53-6	領収証	証文		大正5年5月	中野佐太郎（印）朱印	東背振村　小川内区長殿	
A-53-7	第二期第一回種痘済証	その他	大正12年5月18日		佐賀県神埼郡東背振村長 小池義治	佐賀県神埼郡東脊振村大字松隈二一九四　喜三長女　西村カメ　明治三十七年十月生	
A-53-8-1	山林会指令第四十四号	備忘	9.2.21朱印スタンプ印		神埼郡東背振村　朝村喜三		
A-53-8-2	記	備忘		拾六年度			
A-53-8-3	昭和4年度　東背振村　軍人待遇会費歳入出決算書	備忘	昭和5年4月21日		東背振村長　小池義治		
A-53-8-4	虎列刺予防注射	備忘					
A-53-8-5	出席日数控及日当割当	備忘		昭和5年2月			
A-53-8-6	十一月事務嘱託員例会提出事項	備忘		十一年二十日			
A-53-8-7	御案内	備忘	昭和8年10月吉日		横田消防組　組頭 竹下京三（角印あり）	小川内区長殿	
A-53-8-8	昭和四年度区域割	備忘					
A-53-8-9	實行組合貯金	備忘		自　昭和八年三月ヨリ 至　昭和九年七月迄			
A-53-8-10		備忘					
A-53-8-11	緊急動議提書の件	備忘	昭和24年12月下旬		宗雲増実・武広拝敏	小川内部落御一同様	
A-53-8-12	藁細工品評会出品報告	備忘					
A-53-8-13	領収書	証文	昭和25年12月29日		実行組合長　西村克比古（印）	部落長　杉谷嘉六殿	
A-53-8-14		備忘					
A-53-8-15	昭和十七年度出越日番	備忘	昭和17年度				
A-53-8-16	預證	証文	昭和22年7月16日		実行組合長　西村克比古（印）朱印	部落長　杉谷嘉六殿	
A-53-8-16	小作証	証文	昭和16年1月1日		小作人　築地乙吉（築地）朱印	代表地主　宗雲幾市殿	
A-53-8-17	領収証	証文	昭和21年4月22日		南畑村収入役　川添茂（角印）、 役所印あり	西小河内部落会長殿	
A-53-8-17	学校後援会費割当額	備忘					
A-53-8-18	領収証	証文	22年12月29日		小川内実行組合長　西村克比古 (印)	部落長　杉谷嘉六殿	
A-53-8-19	昭和弐拾弐年度歳出	備忘		昭和20年			
A-53-8-20	昭和二十三年度	備忘		昭和23年			
A-53-8-21	古小川内木炭倉庫材料	備忘					
A-53-8-22	小麦共同販売申込書	備忘					
A-53-8-23		備忘					
A-53-8-24	記	備忘		昭和12年12月25日	末安作市	大石琢磨殿	
A-53-8-25	地租免除申請	備忘		昭和5年6月	井上伊三郎	佐賀税務署長殿	
A-53-8-26	徴兵検査ニ付注意ノ件	通達	大正14年8月21日		東背振村長之印	杉谷雄同殿	
A-53-8-27		その他					
A-53-8-28	第四回勤倹奨励強調	通達		9月2日			
A-53-8-29	昭和五年度特別税戸数割資力調	通達					
A-53-8-30	買売証書	証文	昭和15年10月3日		買売人　原口稲作	小川内区代表者　宗雲幾市殿	
A-53-8-31	入社申込書案文	案文				日本赤十字社御中	
A-53-8-32	大正八年耕作反別調	その他		大正8年			
A-53-8-33	第一号山開札	備忘					
A-53-8-34	書簡	書簡	昭和11年12月16日		武廣政雄	小川内区長殿	
A-53-8-35	佐賀縣山林會設立趣旨書		大正11年11月12日				
A-53-8-36	書簡案文	案文	10月12日				
A-53-9	地図						
A-53-10		備忘					
A-53-11	杉山調査人夫賃	備忘					
A-53-12	昭和拾弐年五月弐拾六日区長事務引継キ当時ノ区有金控	備忘		昭和拾弐年五月弐六日	大石泰三	宗雲幾市	

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、無地、切紙	「薀藉供時輩」裏打あり		2004.1.13
洋紙、無地、一括点数1点	A-53-2-17（1～15）の資料が入っていた封筒		
楮紙、活字、無地、印刷物（活版）、切紙、一括点数1点	この度村長選挙に立候補されましたが村民の公正な意志を反映した公明選挙に協力下さい　委員会の人名書上あり		2004.1.13
洋紙、カーボン、印刷物、一括点数2枚	1月16から1月21日まで「ロープ・ハブラシ」その他文房具など品物・数量・金額の書上　「計3570」		2004.1.13
洋紙、カーボン、印刷物、一括点数1枚	「スピーカー賃貸」7日￥7000		2004.1.13
洋紙、カーボン、切紙、	ハガキ印刷代「四阡円也」の領収書　拾円の印紙貼付あり		2004.1.13
洋紙、カーボン、印刷物、切紙	「七阡円也」の領収書　拾円の印紙貼付あり		2004.1.13
洋紙、ペン、切紙	立看板2枚分「￥3200」の領収書　拾円の印紙貼付あり		2004.1.13
洋紙、ペン、印刷物、切紙、一括点数1枚	徽章1個の代200円の領収書		2004.1.13
洋紙、ペン、印刷物、ハガキ、一括点数3点	村長在職中御協力の御礼と村長改選に立候補の挨拶状		2004.1.13
洋紙、無地、印刷物（活版）	この度村長選挙に立候補されましたが村民の公正な意志を反映した公明選挙に協力下さい　委員会の人名公明選挙推進委員会員名書上あり		2004.1.13
洋紙、ペン、印刷物、切紙	「別紙納品書」による￥10570の領収書、拾円の印紙貼付あり		2004.1.13
洋紙、ペン、切紙	官製ハガキ1000枚の代金「五阡圓也」の領収証、拾円の印紙貼付あり		2004.1.13
洋紙、カーボン、印刷物、切紙	「推選者ハガキ刷込」「選挙ポスター」合計金7000の請求		2004.1.13
洋紙、ペン、印刷物、切紙	供託手続の報酬弐百円の領収書 「昭和40年1月24日執行東背振村長選挙」に関するもの　支出年月日・金		2004.1.13
洋紙、活字、切紙、一括点数1点	額・目的・事由等の欄があるが書込はなし		2004.1.13
洋紙、ペン、封筒	封筒のみ　供託書在中とあるが中身はない		2004.1.13
洋紙、印刷物	「佐賀県立神崎高等学校教諭貞包厳」の名刺　外に所在地現住所などあり		2004.1.13
洋紙、ペン、無地、印刷物、切紙、封筒入	あなたを東背振村文化財専門委員に委嘱します　任期昭和52年4月1日から昭和55年3月31日		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（青）、虫損	「歳入」「金八万四阡五百八拾四円参拾壱銭」の「内訳」		2003.12.16
楮紙、墨、切継紙（2枚継）	「目達宗氏神様辯天社十三周年大祭」案内	外に弁天社由来とプログラム添付有	2003.12.16
洋紙、ペン、無地、その他（便箋）、一括点数8枚	小川内誌目次（案）	「佐賀・仁比山」消印	2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（黒）	「一金弐円弐拾五銭　出張賄費」		2003.12.16
洋紙、墨、活字、専用紙、一ツ綴、こより、一括点数6枚、虫損	大正十二年五月種痘　不善感　右更ニ種痘ヲ受クヘキモノトス	白4点、赤3点	2003.12.16
洋紙、墨、竪紙、一ツ綴、表紙共紙数4丁（墨付4丁）	昭和八年樹苗交付願ノ件		2003.12.6
楮紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、こより、墨付6丁	①誓約書　宗雲徳夫外21名　印鑑　②委任状・案文　③拾六年度出越の部　④大石新　外15名　印鑑		2004.1.13
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、二ツ綴、こより、表紙共紙数2丁（墨付2丁）	昭和4年度東背振村軍人待遇会歳入歳出決算書		2004.1.13
洋紙、鉛筆、ペン、無地、切紙、二ツ綴、こより、表紙共紙数3丁（墨付3丁）	第1回免疫注射人名控　その他		2004.1.13
楮紙、洋紙、ペン、罫紙（黒）、専用紙（東背振村役場）、切紙、二ツ綴、こより、表紙共紙数3丁（墨付3丁）	昭和5年2月本村産業組合整理小川内区代表委員出席日数控及日当割当		2004.1.13
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙、一ツ綴、こより	事務嘱託員例会提出事項（庶務・衛生・勧業・土木・税務）		2004.1.13
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙、こより、虫損	案内状		2004.1.13
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙、虫損	昭和四年度区域割　小川内区（地租割・戸数割・平等割）	（朱印）高尾英輔	2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一括点数1枚	実行組合貯金調査表（壱～四組迄）　合計参百弐拾五円九拾九銭		2004.1.13
楮紙、無地	白紙		
洋紙、墨、無地、切紙、一括点数1枚	昭和二拾五年度以降左記家族人員へ移動なき限り、進藤岡市氏宅か、部落の区役集会並之に準ずる件一斉本人の自由…事項提案		2004.1.13
楮紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙	品名、数量、売価、出品人氏名の区分はあるが記入事項なし		2004.1.13
洋紙、ペン、無地、切紙	一、金八千百四拾八円三拾九銭　但し右は二十一年度供出米精算費トシテ領収候也		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（青、塀（千綿製））、切紙	十四年三月九日受取　十四円四拾銭とある	罫紙「佐賀市白山町塀(千綿製)」	2004.1.13
楮紙、洋紙、墨、無地、二ツ綴、表紙共紙数6丁（墨付6丁）	①昭和17年度出越日番の日付と名付　②昭和17年度区長出張の日付と用件　③金銭書上げと理由		2004.1.16
洋紙、ペン、罫紙（赤）、切紙	一、金八万六千二百拾六円七拾五銭　右ハ米精算費トシテ預リ申候也		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（青）、下欠、虫損	一、田七畝拾五歩　一、小作料玄米四斗壱ヶ年分		2004.1.13
楮紙、ペン、無地、専用紙（福岡県町村公用）、切紙	一、金弐百円也　但シ西小河内ヨリ県道改修ニ付寄附金右正ニ領収候也		2004.1.13
楮紙、ペン、カーボン、専用紙（東背振村役場）、切紙	一、金七千七百円也　内訳　氏名大石泰三外34名分		2004.1.13
楮紙、ペン、無地、切紙	一、金七百九拾円也　但し右ハ二十一年供米用口入ヲ農業会ヨリ運搬シタル運賃ト木炭一俵代ナリ		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、虫損	区長、役員手当、学校関係等金銭書上げ		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（青）、切紙	経常費、諸雑費の内訳書き上げメモ		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（コクヨ）、表紙共紙数2丁（墨付2丁）	倉庫材料の種目と寸法と数量と合計金額の書き上げ		2004.1.14
洋紙、ペン、無地、印刷物（謄写版）、切紙、一ツ綴、虫損	小麦共同販売申込書の裏に文字		2004.1.14
楮紙、ペン、専用紙（東背振村役場）、切紙、一ツ綴、一括点数3枚	家屋税、特別戸数割、軍人特送会、計　氏名井上喜太郎外16名書上げ	東背振村役場専用紙2枚の内に1枚のメモ	2004.1.14
洋紙、鉛筆、専用紙（便箋様）	一金五円八拾八銭也　但シ中鮒正味弐拾壱斤代　右金正ニ受取候也		2004.1.14
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	地租條例第十三条ノ二ニ依ル地租免除申請		2004.1.14
楮紙、印刷物（謄写版）	本月二十四日神埼町記念館ニテ徴兵検査ニ付、左ノ件特ニ御注意相成度…		2004.1.14
楮紙	裏に謄写印刷あり		2004.1.14
楮紙、カーボン、印刷物（謄写版）、切紙	倹約奨励（衣服を質素に、秋蘭代の中から貯金をする事等）を通告		2004.1.24
楮紙、カーボン、印刷物（謄写版）、切紙	所得の基本である田畑、山林等の所得額、所得者氏名		2004.1.24
楮紙、墨、専用紙	雑木山壱割、二百四十五円で買売する件について		
楮紙、カーボン、印刷物（謄写版）	赤十字社への入社案文		
楮紙、墨、罫紙（黒）	中稲苗代反別、中稲本田反別等の数量と耕作者氏名		
楮紙、墨、切紙	山開きの際の入札の控えと思われる。入札者とその金額		
洋紙、ペン、罫紙（緑、南満州鉄道）、一括点数2枚	小川内小学校改築寄附金（20円）あけぼの金（5円）への寄附の内容を示したもの		
洋紙、活字、印刷物（謄写版）、切紙	山林会設立趣旨書と発起人会定款を記したもの		
楮紙、その他、印刷物（謄写版）	歳出分追加5円が足りず豫算の中から念出する旨を通達する内容		
トレーシングペーパー、鉛筆、無地、切紙	白地図（地図の写し）		2003.12.16
洋紙、ペン、罫紙（ねずみ）、便箋	区支出金補助二万円加えての支出明細戸割30戸1戸八百二十円祖割賃貸価格一円に対し八円		2003.12.18
洋紙、鉛筆、罫紙（赤）	スギ植林費用、スギ苗植付費用		2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（黒）	「差引残金八百七拾円六拾八銭内百七拾円六拾八銭現在金大石泰三氏ヨリ宗雲幾市氏ニ譲ル」		2003.12.16

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-53-13	記	備忘		1月15日、3月20日			
A-53-14	第拾六号佐賀盲唖学校慈善演芸会寄附芳名簿				東背振村小河内区長		
A-53-15	九州産スギ適地選定表	備忘			西村喜三		
A-53-16	日本協同党久保山千里事務所よりの	ハガキ				神埼郡東背振村松隈 武廣勇殿	
A-53-17	雑記帳	その他					
A-53-18(1～2)	封筒				経済時代社社長長瀬謙	東背振村武広勇	
A-54	町村合併資料	その他 (絵図面)					
A-55-1	断簡						
A-55-2	学校先生荷物運搬日當		昭和14年12月		小川内區		表題、作成年月日、作成と同じ
A-55-3止	東背振村自治功労者表彰式		昭和44年11月3日		東背振村		表紙、本紙と同質　表題 作成年月日、作成と同じ
A-56	昭和参拾八年筆起観音経参拾参巻読誦家内安全祈願 旧正月三日御籤判断元帳				医王山東光寺		
A-57	ロードマップ				福岡市大字塩原（芸工大横）エッソ大橋サービスステーション		
A-58	区役出動表	備忘	4月14日以降				
A-59	取扱説明書						
A-60	紙片						
A-61	覚			大正14年、昭和5年等			表紙　はみがきしらべ　四年 武広正純
A-62	小川内区事務報告		昭和5年2月以降		小川内区長		
A-63	回覧板	通達					
A-64	戦没者慰霊金並葬祭費徴収の件	備忘					
A-65							
A-66							
A-67	所得税申告書納付書用紙代について	通達	昭和23年7月12日		東脊振区長　平又市	杉谷嘉六	
A-68	林業知識、佐賀林業代金納入についてお願		昭和44年2月22日		東背振村役場産業建設課長 柿本八郎	小川内　武広邦敏殿	
A-69	大野作道開墾精算帳		昭和7年12月		小川内区		
A-70	昭和5年小川内区区内決算報告		昭和5年2月20日 ～12月25日				
A-71	領収証書	証文		44年1月27日	東脊振村収入焼く寺崎秋吉秋好）		
A-72	パンフレット				大韓民国　国際観公社		
A-73		備忘					
A-74	紙片						
A-75	包紙				同郡西太村字花手原口乕七郎	神埼郡東背振村小川内　杉谷兵太郎様其也御中	
A-76	刀指、山内心遣への達、箱川．豆田引水　当水法	備忘					
A-77	佐賀県神埼郡東背振村明治37年度歳入出統計予算						
A-78	文化財研修視察について	書簡			815　福岡市若久団地32の402 百嶋由一郎	佐賀県神埼郡東背振村小川内 武広様	
A-79	昭和八年度納金取立表	備忘					
A-80	元禄村の旅						
A-81	元禄村の旅	その他 (広告)					
A-82		備忘					
A-83	明治維新百年関係資料				佐賀県神社庁佐賀県神社総代会		
A-84	自由民主党東背振村支部大会次第	その他	昭和44年10月18日		東背振中央公民館		
A-85	産業組合出資金拂込之証券	証券	明治44年2月		有限責任東背振信用購買販売組合	神埼郡東背振村大字松隈 武廣又六	
A-86		備忘					
A-87	集材、運材架線技師試験問題例題宗	その他			佐賀県木材協会		
A-88	国語（意味帳）	備忘			2D12号　大石裕子		
A-89	東背振村観光協会々則（案）	案文					
A-90	包紙	その他			佐賀県神埼郡東脊振村役場 （高尾）朱印押印	小川内区　杉谷区長殿　親展	
A-91	保護預り有価証券元帳（人名別）	備忘		昭和44年3月13日		佐賀県神崎郡東背振村小川内 武広勇殿	
A-92	土地賃價格調査の概要	通達		大正15年9月	熊本税務監督局長　篠崎昇		
A-93		書簡	(昭和) 46. 8. 24		百嶋由一郎拝記	武広様	
A-94	両筑平野用水事業概要	パンフレット	昭和52年9月		水資源開発公団、両筑平野用水管理事務所		
A-95	博物館　明治村の案内帳		明治48年3月18日		財団法人、博物館、明治村、名古屋鉄道株式会社		
A-96	明治大正昭和　名作美術展図録		昭和46年				
A-97	背振山、甘木	地図		甘木→昭和42年4月30日　背振→昭和44年4月30日	国土地理院		
A-98	小さな学校研究会、複式に於ける理科指導	その他	昭和49年11月1日		小川内小学校長　池田貞雄		
A-99	封筒	その他		10月2日			
A-100	東背振村肥育組合総会	議案書		昭和43年5月25日	東背振村肥育組合		

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、鉛筆、罫紙（朱、銘なし）、切紙	青年学校授業のための食料や費用宿泊などのメモ		2003.12.16
楮紙、竪帳、冊子、二ツ綴、表紙共紙数4丁（墨付1丁、一括点数4枚）	戸数参拾壱戸分を書く為の冊子、中は白紙		2003.12.16
洋紙、その他、印刷物（ガリ版）、竪紙	品種（メアサ、アセスギetc）種別（温度、湿度、海抜高etc）項目45㎝以下、山麓、中腹etc評点等の一覧表	欄外に「評点表は白沢保三博士の方法を用いた」とある	2003.12.16
洋紙	衆議院選挙に立候補した久保山千里に推薦状に名義記載を承諾する文面に住所氏名を書いてほしい		
楮紙、冊子、ホチキスで2ヶ所とめ	算数、歴史等の問題用紙を裏がえしにしてノートにしたもの		2003.12.16
洋紙、専用紙、印刷物（活版）	経済時代の印刷物を入れる封筒		2003.12.16
洋紙、その他、無地（青）	町村合併資料（青写真）	中原村・東背振村・仁比山村等	2003.12.9
楮紙、罫紙（橙、端切）、断簡	戸籍謄本の断片	A-55（1～3）は同折	2003.12.9
楮紙、無地（白）、横折	「学校先生荷物運搬日當簿」の表紙のみ	A-55（1～3）は同折	2003.12.9
洋紙、無地（白）、印刷物、冊子、5丁（墨付4丁）	東背振村自治功労者表彰式々次第　表彰者名簿	A-55（1～3）は同折	2003.12.9
洋紙、ペン、横折、一ツ綴、7丁	家族名、年齢、吉相の書き上げ		2003.12.9
洋紙、印刷物	ロードマップ　九州　福岡．宮崎．鹿児島．熊本．佐賀．長崎		2003.12.9
洋紙、鉛筆、印刷物	区内名簿と区役日の出勤状況表		2003.12.9
洋紙、活字、印刷物、冊子、表紙共紙数8丁	パロマガステーブル		
楮紙、上欠、下欠	記載なし		2003.12.9
洋紙、ペン、B5ノート	大正14年区総会決議事項、昭和5年区集会メモなどの写し		2003.12.9
楮紙、墨、無地、竪紙、二ツ綴、こより	昭和5年2月13日～昭和5年12月17日までの区事業書上		2003.12.9
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、一括点数1枚、後欠、虫損	『国家神道、神社神道に対する政府の保証支援保全監督並に弘布の廃止について』		2003.12.9
楮紙、竪帳	部落名、氏名、書上げ（1人に対し120円）		2003.12.9
楮紙、墨、罫紙（青）、竪紙	原稿の一部　（三）神道の慣例、教義、祭式儀式は…　（四）官公吏及び之に準ずべき雇員等は…		2003.12.9
封筒のみ	封筒のみ　中味なし		2003.12.9
楮紙、ペン、切紙	所得税納付申告書の用紙代について		2003.12.9
コピー紙、切紙	代金2月末日迄に納入下さい　代金300円		2003.12.9
楮紙、墨、罫紙、竪帳、一ツ綴、表紙共紙数6丁（墨付4丁）	大野里道開鑿設計並に工事費精算報告書　設計、工事費、人夫内訳、雑費の内訳書上げ		2003.12.9
楮紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、こより	営林署成富氏宿泊謝礼他学校修理費等5枚に書上げ		2003.12.9
洋紙、ペン、専用紙（証書）、切紙	部落28人分の国保、22戸分の簡易水道料金の領収証書		
洋紙、印刷物、パンフレット、表紙共紙数10丁	「静かな朝の国　韓国」という韓国の観光案内		2003.12.9
楮紙、ペン、切紙、一括点数1枚	二月二日・三日　小川内校指定寄付金に関する件に他行　西村氏、進藤氏		2003.12.9
新聞紙、活字、無地	（昭和初期か）の新聞紙の紙片		
楮紙、墨、無地			
洋紙、ペン、ノート、一括点数1枚	備忘録	佐嘉神崎両山内之儀…（文化五年）　其方儀龍作山心遣…（文化五年）　刀指士族編入請願…（明治29年）等 後のページ　九大野田教授（昭和28年2月28日）松隅教授地下資源　山崎助教授炭田　野田教授質問・応答	2003.12.9
楮紙、活字、罫紙（黒）、竪紙、二ツ綴、ホッチキス、表紙共紙数8丁	歳入　五千二百五拾円拾七銭四厘　歳出　五千二百五拾円拾七銭四厘 差引増減なしの内訳		2003.12.9
洋紙、墨	文化財研修のための資料、写真1枚同封してある		2003.12.9
洋紙、ノート、表紙共紙数80丁（墨付78丁）	名、金額の書上		2003.12.9
洋紙、活字	元禄村（性の博物館）について		2003.12.9
洋紙、A3広告	A-80と同内容		2003.12.9
楮紙、墨、無地、紙片×3、一括点数3枚	一.田壱畝五歩		2003.12.9
洋紙、活字、印刷物、冊子、表紙共紙数9丁（墨付8丁）	「明治天皇五箇条の御誓文について」「明治改元の詔について」「教育勅語」他etc	「山祇神社総代武廣」と船筆書有	2003.12.16
洋紙、無地	大会次第3枚	自由民主党東背振村支部規約（案）添付	2003.12.16
洋紙、活字、専用紙	第373号　証券額面一金拾圓也	壱円宛十四拂入出資皆済	2003.12.16
楮紙、墨、無地、一ツ綴、表紙共紙数35丁（墨付35丁）	宗雲鐵三郎分一金四十銭　四十一年一月一日新年宴会　他　西村喜三分 武藤平治分等　金高、品名、人名の書上		2003.12.16
洋紙、印刷物、竪帳、のり、表紙共紙数17丁	問題集、答案付	新聞切抜　乳牛飼育に関する記事　外一枚挿入	2003.12.16
洋紙、鉛筆、ペン、罫紙、表紙共紙数22枚（墨付8枚）	「安寿と厨子王」「台所の出入れ口」「雪中輸送」「昔の家」「形」「走れメロス」「短歌と俳句」等の語句の意味	コクヨA20NOTEBOOK「検印」スタンプ押印	2003.12.16
洋紙、印刷物、竪帳、二ツ綴、表紙共紙数2丁	第1条～第15条	表紙裏にメモ有（区長と評議員とする）	2003.12.16
洋紙、ペン、活字、無地		墨書で「義詞」「祠」「綴」が書付	2003.12.16
洋紙、その他、無地、切紙	①オープンNO21056　10口	青焼コピー、赤ゴム印押印	2003.12.16
洋紙、活字、無地、竪帳、小型、ホッチキス、表紙共紙数16丁	土地賃貸価格の調査に就ての大蔵省主税局案を説明している		2003.12.16
便箋、鉛筆、ペン、無地、ステイプラー×3、一括点数24枚	『懐良供養塔』「南北朝」「日足車」「黒木一族」等記述		2003.12.16
洋紙、活字、折紙	諸元及び管理施設の概要	裏面（両筑平野用水平面図）	
その他、活字、印刷物、三ッ目綴、ステープラ、表紙共紙数60丁	建築物の写真と保存建築の概要説明		2003.12.16
洋紙、印刷物、冊子、ステープラー×2	図録（カラー、白黒）「出品作家小伝」「明治・大正・昭和の美術」解説	11月15日（月）～28日（日）佐賀県立博物館 主宰文化庁・佐賀県教育委員会・佐賀県立博物館	2003.12.16
洋紙、印刷物、地図	背振山・甘木　5万分の1地図　鳥栖市槍田町の寺より九千部山頂まで赤線		2003.12.16
洋紙、印刷物、竪帳、二ッ綴、ステープラー	複式による理科指導の研究経過等の発表		
洋紙、ペン、活字、無地（茶）、封筒	表「〒842－01　佐賀県神埼郡東背振村小川内　文化財保護審査委員　武広　勇様」　裏「東京中央郵便局私書箱第三十八号毎日新聞社」		2003.12.16
洋紙、その他、無地、印刷物（ガリ版）、ステープラー、表紙共紙数9枚	総会議案書「収支議案書」「協議事項」その他		2003.12.16

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-101	今日のNHK	広報			NHK		
A-102	第一期・第二期種痘済證	説明書	明治45年5月19日		佐賀県神埼郡　東背振村長 小池義治	佐賀県神埼郡東背振村大字松隈154　卯次郎　男　武広正雄 明治44年12月生　外7点	
A-103	［表彰状］カ			明治37、38年		佐賀県神埼郡東背振村　三橋シマ他六名代表者　三橋　シマ	
B-1	金借用証		明治34年旧7月20日		筑前国早良郡脇山村大字松尾 真子結三郎	松隈村西小河内区惣代 宗雲政七殿	
B-2	大正参年里道潰地測量	測量図		大正3年	測量主任		
B-3	区費計算帳	備忘	大正4年12月	小河内区長			大正四年十二月区費計算帳 小河内区長
B-4	大正元年度前期分村農会費取立帳				小川内区		
B-5	領収証				筑紫郡大野村　岩崎清治		
B-6-1	八谷信用株券	備忘	大正7年4月				表紙　大正7年4月　八谷信用株券　小河内区
B-6-2	大正5年度前期分村農会計費取立帳	備忘	大正5年7月		小川内区東背振村農会経費取立帳 大正5年7月東背振村農会		（表紙）小川内区　大正5年度前期分村農会　大正5年7月東背振村農会
B-6-3	昭和18年度総会雑費帳	備忘	19年1月		小川内区		表紙　十九年一月昭和十八年度総会雑費帳　小川内区
B-7	覚	備忘					
B-8	諸備忘記録	備忘					
B-9	昭和十八年度領収證書綴 区長	証文	昭和18年度		区長		
B-10	領収書綴	領収書綴				小川内区長	
B-11	覚	備忘					
B-12	昭和四年三月改正　等級割次第順		昭和4年3月				
B-13	區費算用帳	備忘	大正12年12月		小川内區		
B-14		封筒のみ					封筒のみ
B-15	一般文書綴	備忘	昭和14年4月				
B-16	諸書類の一括とじ	備忘					
B-17-1	記		12月24日		三橋店	区長様	
B-17-2							
B-17-3	領収證書		大正8年10月		東背振村収入役　高尾英輔	進藤岡市、宗雲才吉	
B-17-4	記		明治14年9月18日		御菓子司　新開堂	上様	
B-18	大正六年村農会経費前期分取立帳	証文	大正6年		小川内区		
B-19	封筒				福岡商工局	近藤國市	
B-20-1	大正五年一月十九日松隈林区吉富不用在地調置雑費		大正5年1月19日				
B-20-2	督促状		7月27日		日本赤十字社分區委員	小川内區長　杉谷兵太郎	
B-21-1	名簿	記録					
B-21-2	包書	書簡					
B-22	名簿	備忘					
B-23	封筒	封筒					
B-24	小川内牛代	備忘					
B-25	昭和十八年度保衛分	その他	昭和18年				
B-26	議案書綴	その他					
B-27	1～5まで箇条書	備忘					
B-28	昭和六年度区費計算報告書			昭和6年			
B-29	製炭農事實行組合規約						
B-30	食糧問題ニ関スル件						
B-31	栗山春四郎氏招待費用総勘定	備忘	昭和5年8月25日				
B-32	小川内貯蓄報告				小川内貯蓄組合長　宗雲幾市	東脊振村長	
B-33	断片	備忘					
B-34		備忘					
B-35	昭和二十一年度領収証綴り		昭和21年度			小川内部落会長、小川内区長	
B-36	區費算用帳小川内区	備忘	大正13年12月				
B-37						小川内区長、杉谷様	
B-38	杉谷兵太郎氏宛のハガキ	はがき	大正6年1月24日		佐賀小林区署	神埼郡東脊振村大字松隈 杉谷兵太郎殿	
B-39		封筒のみ	10月22日		神埼郡阪本　平忠大夫	小川内　杉谷兵太郎殿　至急	小川内杉谷兵太郎殿　至急
B-40	軍事援護事業一覧		昭和13年9月		佐賀県軍事援護課		
B-41	領収證	証文	大正5年5月24日		肥前神埼町櫛田神社境内楠本旅館 電話三四番	上様	
B-42	本山布教志控		昭和11年12月9日				

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、活字、印刷物、表紙共紙数53丁	NHKの広報写真集	33頁に領収書　1．金弐万参千四百弐拾五円也 苗木代残金として領収しました　昭和四十年十月十三日　甘木市三奈木町久保島　古賀善勝　小川内区長殿	2003.12.16
洋紙、墨、活字、印判、専用紙（赤・薄青）、一ッ綴、こより	明治四十五年五月種痘（第一回）善感四顆右第一期種痘を完了シタコトヲ證ス	第一期　五部　第二期　二部	2003.12.16
楮紙、墨、活字、無地、切紙	日露戦争戦役軍需品（毛布）拠出表彰状　カ	紙片	2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（青）、竪紙	一金．六円七拾八銭九厘　月二分五厘と極め　明治参拾四年旧七月弐拾日　証人　真子利八		2003.12.16
洋紙、鉛筆、無地、冊子	求積図と時価評価額		2003.12.16
楮紙、墨、竪帳、二ツ綴、こより、表紙共紙数36丁（墨付33丁、一括点数36枚）	金銭、人名の書上げ		2003.12.6
楮紙、墨、無地、横折、一ッ綴、糸	農会費の取立、〆九円八十銭とある、東背振村農会長　小池氏の認めあり		2003.12.16
楮紙、墨、無地、切紙	一金　拾参円也　但し　杉苗六千本　弐拾銭　運賃　白木原より雑餉駅迄		2003.12.16
楮紙、墨、堅紙、表紙付（表紙に厚紙を使用している）、二ッ綴、表紙共紙数6丁（墨付4丁、一括点数6枚）	八谷信用株券人名簿併に載当り記入帳拾円株、壱株但し内半金は村金より出ス西村嘉三以下くじ当り人名あり		2003.12.6
楮紙、墨、横折、一ッ綴、こより、表紙共紙数4丁（墨付3丁、一括点数4枚）	金銭、人名の書上げ		2003.12.6
楮紙、墨、横帳、一ツ綴、こより、表紙共紙数5丁（墨付5丁、一括点数5枚）	金銭、人名の書上げ		2003.12.6
楮紙、墨、横帳、一ツ綴、こより	部落の公役に関する各個人への割あて。「大坪医師ノ公役」「十二月二十五日祭」などの項目がある。		2003.12.16
楮紙、墨、鉛筆、ペン、小横帳、下げ二ツ目綴、ひも	立木売却契約、国有林道修理人夫賃　雅子結婚祝儀控　嘉代子見舞芳名	七回忌仏前　銀次郎見舞　廣坂杉丸木売却代金内訳	
楮紙、墨、無地、切紙	表表紙のみ、裏領證書1枚貼付	領収證書　はろも弐口84番　一金四円九拾二銭 佐賀・東背振　12.4.28	2003.12.16
楮紙、洋紙、無地、罫紙（青）、印刷物、一ツ綴、こより	小川内区長宗雲幾一宛　諸領収書綴		2003.12.16
楮紙、墨、ペン、罫紙（黒）、一括点数1枚	金銭に関する書き付け、朱筆で末尾に「弐拾壱円九十七銭不足」と書いてある	欄外に「一、四十五銭　八月廿五日」と朱筆あり	2003.12.16
楮紙、墨、無地、横折、冊子、一ツ綴、こより	名前書き上げ　23枚綴	綴の中に1通領収証あり　一、玄米弐斗五升　但職員住宅借料拾二年度分　昭和拾弐年拾弐月廿七日 区長　宗雲幾市様	2003.12.16
楮紙、墨、ペン、竪帳、二ツ綴、こより	葬式、カヤ焼など、部落の公役に関する個人個人の支出。前区長　大石岩吉、区長権藤郡作をはじめとして30名の記載あり		2003.12.16
封筒、32枚	封筒のみ32枚、裏面に記す		2003.12.6
楮紙、墨、ペン、罫紙（黒）、印刷物、一ツ綴、こより	苗代個別、共同倉庫借地契約、生存者保険契約証書、衆議院選挙名簿		2003.12.16
ペン、罫紙、竪帳、一ツ綴、こより、表紙共紙数15丁（墨付15丁）	「学校寄附金人名簿　小川内尋常小學校」「小川内共有金係長大石嘉作殿昭和八年七月一日　小川内区長大石泰三　領収證」等々	四種の書類を一括とじ	2003.12.16
楮紙、墨、無地、横折、綴、ひねり綴、こより、表紙共紙数3丁	二月九日～六月二十五日合四円四十三銭八厘売掛明細	同綴に売掛明細　政吉、杉谷様	2003.12.16
楮紙、墨、無地、竪紙、横折、前欠	一金、壱百円也　但し大正五年十二月官有地慢用金納入ノ為預金ヨリ借入等		
活字、専用紙、切紙	領収證書二通①進藤岡市　計参拾壱円九拾弐銭　②宗雲才吉　計拾壱円七銭		2003.12.16
楮紙、活字、専用紙、切紙	一金、四拾五銭也　白砂糖弐斤　受取証		2003.12.16
楮紙、ペン、無地、横折、一ツ綴、こより	農会経費取立明細		2003.12.16
洋紙、ペン、活字	（表面）佐賀縣神埼郡東背振村小河内近藤國市（裏面）福岡市天神十七番地福岡商工局　電話自西五二三〇番至西五二三三番		2003.12.16
楮紙、墨、切紙、ひねり綴	「カマボコ3本、数子五合　代　政吉」など林区にかかわる雑費書上帳		
楮紙、墨、横帳、一ツ綴、こより	年醪金が未納である為の督促状	東背振村分區委員印あり	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（水色）、切紙	「男子ノ部小川内中学校出身中等学校以上卒業者」とあり杉谷光二以下12名ある	佐中卒　京城歯科監専卒業、横浜海員学校卒業など、戦前の卒業生の記録	2003.12.16
楮紙、墨	包書3枚	すべて至急の印がある 1.小川内宗雲鐵之助殿、佐賀縣神埼郡東脊振村農會 2.小川内杉谷區長殿、佐賀縣神崎郡東脊振村役場 3.佐賀県神埼郡東脊振坂本字小河内区長様急、福岡県早良郡入部村大字重面　高地與一郎	2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、虫損	名簿の下に捺印あり、大石泰三、武廣勇をはじめとする33名の名簿		2003.12.16
	小川内区長殿　至急印付2枚　未使用1枚	作成は「佐賀縣神埼郡東脊振村役場」	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青、脊振村役場）、切紙	「大石泰三　二七二円」他8名分「計二四三三円」人名、牛の金額の書上		2003.12.16
楮紙、ペン	支出分の書上げ　農会と縣税、仁比講代等		2003.12.16
洋紙、印刷物（謄写版）、ホッチキス	第七回九州地区敬神婦人連合大会関係の議案	ペンによるメモ書あり	2003.12.16
鉛筆、罫紙（青）、竪紙、一括点数1枚、後欠	1.手持現金回収毎月八、九、十の内三日内　2.国債貯金並国民貯金ハ毎月集金貯金ノコト　3.冠婚葬祭並ニ應召入営等の場合選別…etc		2003.12.16
鉛筆、罫紙（黒）、下げ四ツ目綴、ひねり綴		昭和六年区費収入と支出（経常費）と（臨時費）の書上げ	2003.12.16
楮紙、カーボン、活字、無地、竪帳、一ツ綴、こより、表紙共紙数2丁（墨付2丁）	第一章総則、第二章加入及脱退、第一条ヨリ第十二条まで第二条に「本組合ハ松隈製炭農事実行組合ト称ス」等記有	二枚目に「加入申込書」「出資〇口加入致度候条」「組合長理事宗雲巳之助」「産業組合組長川原和佐一殿」	2003.12.16
楮紙、ペン、無地、冊子、ホッチキス	食糧問題に関する件　一、米穀雑穀の在高調査　二、混食代用食　三、集荷　四、村内米麦の確保　五、貯蔵籾及新穀の促進　に関する件の事項について		2003.12.16
ペン、無地、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴	招待関係諸費の書上		2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（黒）、一括点数1枚	組合内容　35人第一回貯蓄四拾四円五拾銭　貯蓄総額千六百貳円等		2003.12.16
ペン、罫紙（黒）、竪紙、前欠	〆七円四拾八銭　差引六円四拾三銭と有		2003.12.6
楮紙、墨、竪帳、ひねり綴、表紙共紙数5丁（墨付5丁、一括点数5枚）	地租、畠面積、人名の書上げ		2003.12.6
一ツ綴、こより、表紙共紙数22丁	各所からの領収証22通の綴り		2003.12.16
楮紙、墨、朱書、無地、竪帳、二ツ綴、かぶせ綴、こより、表紙共紙数25丁（墨付23丁）	大正十三年度分一ツ七円八十三銭　実弾射撃費用」「一ツ拾円弐銭　区長検料三ヶ月分」他金額内容の記有	朱書、×印の抹消線有	2003.12.16
楮紙、墨、ペン、無地、切紙、冊子、ひねり綴、こより	領収証、受領証19通綴		
	字豆野、有原野貸地の件について、実印と六円携帯出頭されたし		2003.12.6
墨、封筒のみ、一括点数1枚			2003.12.16
楮紙、活字、無地、印刷物、折紙	その一、現役兵及応召軍人の家族　その二、召集解除者、除隊者　その三、傷痍軍人及戦傷者並家族　その四、戦死又ハ戦病死者ノ遺族　その五、軍事援護相談所について		2003.12.6
楮紙、墨、印刷物（凸版）、一括点数1枚	一．金四円五拾二銭の受取證		2003.12.16
楮紙、墨、無地、横折、冊子、一ツ綴、3丁、後欠	三枚綴のうち終わりの一枚は欠　志金額、氏名の書き上げ×八円二十五銭　29名		2003.12.16

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-43	覚	備忘					
B-44	領収書	証文	昭和13年6月19日		佐賀地方裁判所管内司法書士　朱印　司法書士　八谷賢一	大字松隈二二〇六　宗雲虎夫	
B-45	小川内区支出金額簿		昭和10年1月以降		区長		
B-46	冊子	備忘					
B-47	恩賜財団済生会しおりの表紙	表紙					
B-48	農事実行組合会提出諸議案書						
B-49	小川内地区部分林出席表	備忘	昭和38年8月、昭和34年1月				
B-50－1	生存保険加盟ニ付契約書案	契約書	大正4年5月				
B-50－2	覚	備忘					
B-50－3	包書	その他			松隅小林区官舎　角田互平	小川内　杉谷兵太郎殿	
B-51	学校小川内建築費計算簿　小川内区長	備忘					表紙　学校小川内建築費計算簿　小川内区長
B-52	区費算用帳		大正11年		小川内区		
B-53	潰地調査						
B-54	小川内小学校寄附台帳	その他			小川内区長		
B-55-1	領収証	証文	昭和8年3月28日		東背振村役場	小川内区長殿	
B-55-2	記（領収書）		2月22日		中島	武広様	
B-55-3	領収証		昭和6年7月12日		小川区長　武広金作	大石嘉作殿	
B-55-4	領収証		昭和7年3月22日		東背振村農会　中原技年	武広金作殿	
B-55-5	覚	その他				武広早使殿	
B-55-6	領収証		昭和7年7月21		東背振村　収入役　高尾□輔	小川内区長　武広金作	
B-55-7	覚	その他	7年8月末日		草場博　外1名	武広金作殿	
B-55-8	昭和六年度区割小川区	その他	昭和7年1月11日		十六区長代理書記池田巳之助		
B-55-9	拝受証	その他	昭和6年12月21日		学事係	小川内区長武広金作殿	
B-55-10	領収証書	その他	昭和7年6月7日		日本銀行佐賀代理店	武広金作	
B-55-11	領収証	その他	昭和7年6月21日		東背振村収入役高尾口助	小川内長　武広金作	
B-55-12	キ	その他	5月16日		井上店	武広様	
B-55-13	領収証		昭和6年12月21		東背振信用購買販売利用組合	小川内　武広金作殿	
B-55-14	送り状				東背振村農会	武広金作殿	
B-55-15	領収証		昭和7年4月21日		助役　松隈乙松	小川内区長　武広金作殿	
B-55-16	領収証	その他	昭和7年4月21日		助役　松隈乙松	小川内区長　武広金作殿	
B-55-17	領収書		昭和7年4月13日		東脊振村役場　大塚与三郎	小川内区長　武広金作	
B-55-18	領収証		昭和6年8月12日		東脊振村農会　中原技年	小川内区長　武広金作殿	
B-55-19	領収証		昭和6年5月11日		背振村役場　松隈	小川内区長殿	
B-55-20	領収証		昭和6年7月30日		神崎営業署長	小川内区殿	
B-55-21	領収証		昭和6年7月15日		東背振村役場　高尾芳輔	小川区長　武広金作	
B-55-22	記（領）				中副　中島シナ	武広様	
B-55-23	領収書		昭和7年10月26日		東背振村役場	小川内区長殿	
B-55-24	領収証		昭和7年10月25日		東背振村長　小池義治	小川内区長　武広金作	
B-55-25	領収書	その他					
B-55-26	領収書	その他	昭和6年10月19日		社司　春野一太郎	小川内区長　武広金作殿	
B-55-27	領収書		昭和8年7月6日		東背振村役場　高尾芳輔	小川内　大石泰三殿	
B-56	記	備忘					
B-57-1	昭和拾壱年度区費計算簿		昭和31年度		小川内区長		
B-57-2	学校改築決算報告						
B-57-3	契約書		昭和12年10月5日		請負主　森多貫一、多良安太郎	小川内区長　宗雲幾一殿	
B-58	区長日誌	備忘	昭和６年より昭和10年まで				
B-59	領収証	備忘		大正3年、4年			
B-60	東背振短歌会の開設について		昭和52年6月		東背振教育委員会教育長中島正幹　短歌会開設発起人一同	殿	
B-61	東脊振村窮民恤救規定議案書	案文					
B-62	八谷信用株券	備忘	大正7年4月		小河内区		表紙、大正七年四月八谷信用株券　小河内区
B-63	封筒				東背振村役場3、東背振村婦人会	区長　3、大石泰三殿	
B-64		書簡、依頼			村役場松隈乙松	杉谷兵太郎様、西村喜三様	
B-65	封筒				東背振村役場	小川内区長殿	
B-66	優良稲種子購入申込の件	書簡	大正13年12月26日		東背振農会	小川内区長殿	封筒
B-67							
B-68	部分林出夫帳		昭和37年度分				
B-69	記（領収証）	備忘	大正6年4月6日		九鐵雑餉隈駅前春日屋旅館	御客様	
B-70	種痘済證		大正5年5月28日		東背振村長　小池義治	11通の充所（大坪マサエ他10通）	
B-71-1	大師講出費書上げ						
B-71-2	金銭書上	備忘					
B-72-1	国有原野内株払下ケ願の件	書簡	大正5年6月26日		松隈力林区官舎　丸朱印「角田」	神埼郡東背振村大字松隈字小河内　杉谷兵太郎殿	
B-72-2	大正五年度租税督促状	書簡	大正6年2月5日		福岡税務署長副同税官　徳久並男　朱印あり	佐賀県神埼郡東背振村大字松隈　宗雲鉄之助殿　杉谷兵太郎殿	
B-72-3		封筒のみ					
C-1	第一期種痘済証十一枚　第二期種痘済証六枚		大正7年4月1日				
C-2		書簡	昭和21年4月4日		名古屋常治	大石衛三、進藤岡市、武広勇、宗雲虎吉、宗雲巳之助	封筒　福岡県筑紫郡南畑村西小川内　武藤勇様　裏　佐賀県東松浦郡名護屋村　名古屋常治
C-3		案文					
C-4							封筒　武廣勇殿　佐賀県神埼郡東背振村三津　東背振村教育委員会
C-5		上申	大正10年				
C-6	地図			昭和43年11月30日発行	国土地理院		
C-7	領収書		42年3月7日		古賀善勝	武広邦敏様	
C-8	貸金價格集計簿		昭和14年12月				

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、墨、切紙	種モミ量と作付地、耕作者の書上と概略の図面		2003.12.16
印刷物（凸版）、ひねり綴、表紙共紙数15丁（墨付15丁、一括点数15点）	所有権移転、申請書、委任状作成手数料12件 魚類仲買御料理仕出用神代商店　金額品名受取證　3件あり		2003.12.6
罫紙（黒）、冊子、二ツ綴、こより、墨付3丁、一括点数5枚	月日、金額、備考に書き上げ　合計四十二円九十九銭　昭和十年度経常費		2003.12.16
洋紙、活字、無地、印刷物、竪帳、二ツ綴、ステープラー、表紙共紙数8丁（墨付8丁）	恩賜財閥済生会の員章、創立由来、事業、会員の特典、寄附金申込書等、済生会会員配布の冊子か？	最初の頁に「勅語」下部に「明治四十四年二月十一日当時ノ内閣総理大臣桂侯爵ニ御下賜」と有	2003.12.16
	表紙と見出し		2003.12.16
洋紙、印刷物、ホッチキス	農事組合にかける議題　米共同販売成績		2003.12.16
楮紙、鉛筆、印刷物（謄写版）、切紙、二穴	部分林の公役に関する27名の出欠席表		2003.12.16
楮紙、墨、ペン、罫紙（黒、銘なし）	小川内部落から大正四年に西村克彦、宗雲忠臣、権藤利得、進藤文子が加入した。		2003.12.6
楮紙、ペン、罫線（朱）、切紙、2穴	権藤郡作をはじめ14名の米の実収、保有、供出割当を記したもの		2003.12.16
楮紙、墨		熊本大林區署用の印あり	
楮紙、墨、罫紙（黒）、二ツ綴、表紙共紙数25丁（墨付22丁、一括点数25枚）	学校建築の諸費用、月日、人名の書上げ		2003.12.6
楮紙、冊子、二ツ綴、こより、墨付21丁、一括点数21丁	16名ごとに区費算用		2003.12.16
	7戸の9面の地番、地目、潰地面積、金額の書き上げ		2003.12.16
ペン、罫紙（黒）、綴、二ツ綴、こより、虫損、表紙	寄附金額並ニ人名書上	59名	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青）	佐賀神社寄附金		2003.12.16
楮紙、便箋、ペン、罫紙（茶、銘なし）、切紙	罫紙代拾八銭		2003.12.16
ペン、無地、罫紙（黒）、切紙	小川内校指定寄付金壱百七拾円0銭		
楮紙、ペン、無地、罫紙（赤、神埼郡東背振村農會）	弐拾四円拾弐銭也栗苗代		2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（黒）	三橋元松通帳	不明に付調下され度し	
楮紙、ペン、罫紙（青、神埼郡東背振村）、切紙	拾五円也　寄附金の内	高尾の印あり	2003.12.16
楮紙、ペン、切紙	茶代残金七円四拾五銭	草場の印あり	
楮紙、ペン、無地、竪帳、切紙	区域割　拾円四拾六銭	池田の印あり	2003.12.16
洋紙、ペン、活字、無地、謄写版	参円六拾五銭　三十七戸分		2003.12.16
楮紙、ペン、無地、専用紙、印刷物（活版）	拾弐円也　松下代	日本銀行佐賀代理店受入済7.6.7の印あり	2003.12.16
洋紙、ペン、無地、罫紙（青、東背振村役場）	一金壱百拾五円也小川内校費	「東脊振村収入役之印」の印あり	2003.12.16
楮紙、墨、無地、切紙	七拾銭　米袋五ツ		2003.12.16
カーボン、活字、領収証、活版、切紙	四拾弐円六銭　物品代		2003.12.16
楮紙、墨、活字、送り状、活版、切紙	紫雲点送り状	神崎合同運送株式会社の荷札	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青、東脊振村役場）	参円五拾銭　満州、上海派遣寄附金	「松隈」の印あり	
楮紙、ペン、罫紙（青、東脊振村役場）	一金　弐拾四円六拾銭也　兵器献納資金		
洋紙、ペン、無地、印刷物（謄写版）、切紙	四円七拾五銭山王神社寄附金		2003.12.16
洋紙、ペン、無地、竪紙	弐拾壱円拾弐銭也　初蚕種一角に付	「中原」の印あり	
ペン、罫紙（青、東背振役場）	九円五銭也　背振神社寄付	「松隈」の印あり	
楮紙、ペン、活字、領収証、活版	弐拾九円武徳会寄付金		2003.12.16
ペン、罫紙（青、神埼郡東背振村役場）、切紙	一金　弐百五拾参円也　小川内小学校寄付		2003.12.16
便箋、ペン、罫紙（青、銘なし）、切紙	参拾八銭也罫紙等代		2003.12.16
ペン、罫紙（青、神埼郡東背振村役場）、切紙	一金　四円五拾六銭也　満蒙水害義捐金	「松隈」の印あり	2003.12.16
洋紙、ペン、謄写版	拾五円弐拾銭也　軍人家族救護金		2003.12.16
楮紙、鉛筆、罫紙（黒）、切紙	一金七円六拾六銭　西小河区分		2003.12.16
楮紙、墨、無地、竪紙、切紙	一金拾八円七拾銭也　背振神社寄付金	「春野」の印あり	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青、神埼郡東背振村役場）、切紙		「高尾」の印あり	2003.12.16
楮紙、ペン、罫紙（青、佐賀市白山町）、竪紙、帳はずれか（2穴あり）	昭和十年度総収集金高、支出一覧内訳等収集の内容、十年度分収集金五十三円四十四銭九年度繰越金七十四円七十四銭〆、収支差引五円七十七銭十年十二月現在金		2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、冊子、二ツ綴、こより、表紙共紙数35丁、（墨付34丁）	23名の金額、月日、内容の書き上げと額		
楮紙、墨、罫紙（黒）、竪紙	一金、千五百参拾弐円拾八銭五厘の内訳		2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（黒）、竪紙	小川内の里道、土橋等破損修繕工事請負の契約書		
楮紙、ペン、罫紙（青）、竪帳、三ツ目綴、木綿紐、表紙共紙数33丁（墨付33丁、一括点数33枚）	昭和6年以降の行事日誌		
楮紙、墨、鉛筆、ペン、専用紙、切紙、こより、ひねり綴	旅館の領収証、郵便物受領証等9枚		2003.12.16
洋紙、活字、印刷物、竪紙	日時、場所、出詠、投稿〆切日6月30日等	同折に「六月二十一日区長例会協議指示事項」の案内書有	2003.12.16
楮紙、活字、印刷物、一ツ綴、こより	窮民救恤規定議案		2003.12.16
楮紙、竪紙、表紙厚紙、二ツ綴、表紙共紙数8丁（墨付5丁、一括点数8枚）	拾円株、壱株但し内半金ハ村金出シ、株券、人名書上げ		2003.12.6
	4通の使い済封筒 　3通　発給東背振村役場、充所小川内区長殿 　1通　発給婦人会、充所大石泰三		2003.12.16
楮紙、墨、罫紙（黒、神埼郡東背振村役場）、竪紙	本日ワサビ根葉付の侭五十本程大至急送ってくれとの依頼があったので明四日区長例会ニ上等のモノ掘り取持参下さい代金は直に御送金致します。		2003.12.16
	封筒一通と東背振村杉谷兵太郎の紙片		2003.12.16
洋紙、印刷物（ガリ版）、封筒入	二号神力、中生神力、晩七号神力　中生神力モチ等の品種申込について		2003.12.16
楮紙、墨、横折、一括点数1枚	人名の書上げ、一年原口栄、武廣定その他人名書上げ		2003.12.6
楮紙、無地、印刷物（ガリ版）、竪紙	30名の8/5.6.7.8の出夫表		2003.12.16
洋紙、墨、活字、専用紙、切紙	一、金七拾銭　宿泊料御一人前他に2件　計金八拾三銭也　右之通請取候也		2003.12.16
洋紙、活字、専用紙、印刷物（印版）、切紙、ひねり綴	第一期種痘済証7通、第二期種痘済証4通	他に封筒東背振村役場　小川内区長殿	2003.12.16
楮紙、墨、無地、横折、ひねり綴	支出書上帳ひねり綴4個を1つにひねり綴じにしたもの		2003.12.16
楮紙、墨、横折、一ツ綴	区民会費分担の書上げ		2003.12.16
ハガキ、墨、一括点数1枚	国有林内の株払下ケ許可の通知		2003.12.6
ハガキ、墨、一括点数1枚	宅地税の督促状		2003.12.6
墨、封筒のみ、一括点数2枚	小川内区長杉谷兵太郎殿（表）佐賀県神埼郡東背振村役場（裏）　2通		2003.12.6
	各人別名前はメモ欄に記載	第一期　三橋ミトリ・大坪清・宗雲トメノ・杉谷雅義・宗雲實・三橋光夫・西村トミエ・杉谷トナコ・築地能吉・井上ツヤ・権藤悟以上11名　第二期　田中四郎・宗雲ヨシノ・権藤利得・宗雲徳夫・宗雲忠臣・武富末雄	2003.12.17
楮紙、切紙	立候補の挨拶状		2003.12.17
洋紙、冊子、ホッチキスの跡有、一括点数3枚	朝顔の栽培法、永延竹皮述	解説図付	2003.12.17
洋紙、ペン、無地（黄）、専用紙（東背振村教委）、一括点数1枚	封筒のみ		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（白）、一括点数1枚	大正十年度苗代耕作並ニ本田反別届之控		2003.12.17
洋紙、活字、その他	縮尺1/25000の佐賀県中原村の図面		2003.12.17
洋紙	苗木代内金89,150の領収証		2003.12.17
罫紙（黒）、二ツ綴、こより	田、畑、山林原野の個人別集計表		2003.12.17

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-9	式次第			昭和58年5月9日 10時	佐賀県		
C-10	佐賀の茶業		昭和54年				
C-11	式次第		昭和54年11月9日		日本産業中央会　佐賀県茶業組合 連合会		
C-12	貯金通帳	証文			有限責任　東背振信用購買販売生 産組合	武広又六殿	御即位記念据置貯金　組合員 武広又六殿
C-13	地図			昭和32年9月30日 発行	国土地理院		
C-14	四十年度第一期納税取立帳						
C-15	大正十五年度東背振村農会 技術員業務計画書		大正15年4月		東背振村農会	土山技手	
C-16	収支對照	案文		昭和6年			
C-17		証文	昭和31年9月9日		筑紫郡春日町大字下白水六九六 永田勝	神埼郡東背振村小川内　部落 長　武廣芳太郎	
C-18	白紙						
C-19	昭和八年度歳出歳入決算帳						
C-20	日本刀銘鑑						
C-21	第一期、第二期種痘済証	証文	大正2年5月18日、4年 5月23日、9年5月13日		佐賀県神埼郡東背振村長 小池義治	佐賀県神埼郡東背振村大字松 隈　武広イネ外二十名	
C-22	通達	通達	昭和6年12月3日		小川内區長武広金作	小川内區民一同殿	
C-23	（公）文綴（小川内區）	通達	昭和7年10月5日～ 昭和8年5月19日		東背振村長　東背振村農会	松隈・永山・坂本・小川内區 長殿　各農事實行組合長	表紙、本紙と異質、（公）文 綴（小川内區）
C-24		通達			神埼郡東背振村大字松隈163　神 崎保護区主任官船津正彦（印）	保護司武広勇殿	
C-25	封筒	封筒	4月27日		佐賀県神埼郡東背振村役場	小川内区長　杉本兵太郎殿	封筒　小川内区長／杉谷兵太 郎殿
C-26-0	領収證書綴　小川内區長		昭和拾壱□度				
C-26-1	領収證	証文	昭和10年12月28日		藤野駒太郎	小川内区長大石泰三殿	
C-26-2	領収證	証文	昭和10年12月29日		東光寺住　寺崎龍好	区長　大石泰三殿	
C-26-3	領収証	証文	昭和11年1月3日		三橋之松	區長　大石泰三様	
C-26-4	領収證	証文	昭和11年1月2日		西村敏（印）	小川内区長大石泰三殿	
C-26-5	領収証	証文	昭和11年1月2日		井上喜太郎	区長殿	
C-26-6	領収証	証文	昭和11年1月22日		筑地乙吉（印）	区長大石泰三殿	
C-26-7	領収證	証文	昭和11年1月11日		東背振村役場（村役場印）	小川内区長殿	
C-26-8	領収證	証文	昭和11年1月26日		東光寺住職　寺崎龍好	區長大石泰三殿	
C-26-9	領収證書第3150号昭和拾 壱年度	証文	昭和11年4月9日		神埼郡東背振 大石嘉作外30人納	熊本営林局	
C-26-10	領収証	証文	昭和11年4月25日		宗雲寺（印）三橋勳（印）、武広德二（印）	區長大石泰三殿	
C-26-11	領収証	証文	昭和11年4月30日		熊野神社氏子総代筑地四郎（印）	小川内区殿	
C-26-12	領収証	証文	昭和11年5月12日		東光寺世話人　宗雲政吉（印）	小川内区長　大石泰三殿	
C-26-13	領収証	証文	昭和11年5月12日		小川内消防組　組頭　武広勇（印）	小川内区長　大石泰三殿	
C-26-14	領収證	証文	昭和11年5月21日		東背振村収入役大隈作市（印）	大石泰三殿	
C-26-15	領収証	証文	昭和11年5月27日		進藤岡市（印）	区長大石泰三殿	
C-26-16	領収証	証文	昭和11年5月17日		西村喜三（印）	区長大石泰三殿	
C-26-17	領収證	証文	昭和11年6月13日		発電所　西村敏（印）	区長大石泰三殿	
C-26-18	領収証	証文	昭和11年8月23日		西村友吉	区長大石泰三殿	
C-26-19	記	証文	昭和11年6月24日		佐賀県神埼郡東背振村中副　御料 理仕出し松屋	上様	
C-26-20	領収書	証文	昭和11年6月25日		進藤岡市	区長大石泰三殿	
C-26-21	領収証	証文	昭和11年7月11日		大石宅摩	大石泰三殿	
C-26-22	領収証	証文	昭和11年7月12日		吉富商店	上様	
C-26-23	領収証	証文	昭和11年7月17日		西村店（印）三橋店（印）	小川内区長殿	
C-26-24	領収証書	証文	11.7.22		日本銀行佐賀代理店	大石泰三	
C-26-25	記	証文	8月5日		迎店	上様	
C-26-26	領収書	証文	昭和11年8月24日		西村商店（印）	区長大石泰三殿	
C-26-27	領収証	証文	昭和11年8月24日		三橋元松（印）	区長様	
C-26-28	領収証	証文	昭和11年8月29日		発電所　西村敏（印）	区長大石泰三殿	
C-26-29	領収証	証文	昭和11年8月29日		西村商店	区長大石泰三殿	
C-26-30	領収証	証文	昭和11年8月28日		西村商店	区長大石泰三殿	
C-26-31	領収証	証文	昭和11年9月1日		宗雲光成	区長大石泰三殿	
C-26-32	領収証	証文	昭和11年9月8日		石工　前田留平	大石泰三殿	
C-26-33	領収書	証文			大字松隈二一九〇 大石泰三外五名		
C-26-34	証	証文	昭和11年10月7日		御料理仕出し松屋	小川内様	
C-26-35	証	証文			御料理仕出し松屋	小川内区長	
C-26-36	証	証文	昭和11年10月6日		魚類仲買御料理仕出　飯町　神代商店	上様	
C-26-37	証	証文	昭和11年10月6日		魚類仲買御料理仕出　飯町　神代商店	上様	
C-26-38	領収証書	証文	昭和11年		筑紫郡南畑村収入役　川添茂		
C-26-39	領収証書	証文	昭和11年9月		筑紫郡南畑村収入役　川添茂		四
C-26-40	領収証	証文	9月28日		西村友吉、武広巳之助、宗雲大造、 杉谷兵太郎		
C-26-41	領収証	証文		9月7日、14日、19日	発電所　西村友吉	（大石区長）	
C-26-42	領収証	証文	昭和11年11月7日		三橋元松	（大石区長）	
C-26-43	領収証	証文	昭和11年10月15日		井上タメ	大石区長殿	
C-26-44	領収証	証文	昭和11年12月11日		深町又次郎	区長　大石泰三殿	
C-26-45	領収証	証文	昭和11年12月4日		武広末雄	区長　大石泰三様	
C-26-46	領収証	証文	昭和11年12月24日		宗雲虎彦、大石重利	区長　大石泰三殿	
C-26-47	区費	証文	昭和11年12月20日		板屋区長	宗雲鉄之助殿	
C-26-48	領収証	証文	昭和11年12月25日		宗雲光成	区長　大石泰三殿	
C-26-49	領収証	証文	昭和11年12月25日		西村喜三	区長　大石泰三殿	
C-26-50	領収証	証文	昭和11年12月24日		小川内製作所　西村敏	小川内区長　大石泰三殿	
C-26-51	領収証	証文			西村喜三外十三名（備考欄に）		

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、活字、印刷物（B5判）、一括点数2枚	佐賀県政百年記念式典のパンフレット		2003.12.17
	第33回全国お茶まつり広報誌最終頁に断簡挿入あり		2003.12.17
洋紙、活字、印刷物（B5判）、一括点数12枚	第33回全国お茶まつり全国茶業振興大会		
洋紙、印刷物、小横帳	大正四年八月四日より～大正九年八月五日迄の積金高記入　最終金高八円四十九銭		2003.12.17
洋紙、活字、その他、一括点数1枚	縮尺1/25000の背振山の図面	左上隅に落書きあり	2003.12.17
楮紙、墨、無地（白）、小横帳、16枚、二ツ綴、こより	郡村宅地租、山林及雑地租の書上　小川内区長	二十七家分の書上の他十四名の書上	2003.12.17
洋紙、印刷物（ガリ版）、横帳、一ツ綴	農村農事の諸問題の計画実行予定　稲作の改良、品種統一　肥料副業教育等の施設運営等		2003.12.17
洋紙、ペン、罫紙（灰）、一括点数1枚	昭和六年度収支對照		2003.12.17
洋紙、ペン、無地（白）、印刷物（B5判）、一括点数4枚	民間建設工事、請負契約書	注文者武広芳太郎　請負人永田勝　工事名小川内教員住宅新築工事　工期昭和三十一年十一月五日　請負代金三拾六萬五阡圓也	2003.12.17
洋紙	記入なし（B5判）		2003.12.17
罫紙（黒）、横帳、二ツ綴、表紙共紙数5枚	金銭出入記載一覧		2003.12.17
楮紙、墨、無地、竪帳、表紙付、二ツ綴、こより、一括点数17枚、後欠	行平他日本刀の特徴記入	新表紙にて合綴	2003.12.17
洋紙、墨、ペン、専用紙（神埼郡）、印刷物、綴、ひねり綴、こより、一括点数20枚	種痘完了証明証の綴	第一、二期の別…色分け（赤、青、白、緑）　住所、性別、戸主との関係、氏名、生年月日記載	2003.12.17
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙	燃ゆる愛国の花　満州国派遣軍に対する慰問武運長久祈願　初文　満州事変突発以来酷寒の満州野に国権擁護のため　末文　各種団体必ず御参詣なされたし。		2003.12.17
楮紙、洋紙、カーボン、その他、無地、罫紙（紺）、印刷物（謄写版）、竪帳、二ツ綴、こより、表紙にやぶれ少々端々	時局匡救炭竈構築補助ニ関スル件、麦作共進會審査施行ノ件　他33通	16通に公印の角印あり　罫紙銘「東背振産業組合」「神埼郡東脊振村役場」	2003.12.17
洋紙、印刷物（活版）、切紙	上記の者に対し保護観察上調査の必要がありますからこの呼出書を本人にお手渡しの上当日定刻迄に必ず出頭する様御連絡下さい。	呼出書で本人に切取線から上は手渡された後の残り	2003.12.17
楮紙、ペン、無地（灰）、専用紙（村役場）、印刷物	区長宛封筒一点		2003.12.17
洋紙、無地、竪帳、一ツ綴、下げ二ツ目綴、ひねり綴、こより	領収書を合綴した新表紙	C-26は合綴	2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、墨付1丁	一金四円也但シ杉皮三十二坪　右全員正ニ領収候也		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、墨付1丁	一金拾円也　昭和拾年度勤務料トシテ領収候也		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	一金四円六拾七銭　但共有林薪炭山入札雑費（清酒3升、砂ト1斤）		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	一．金弐円拾弐銭也　清酒1升九十銭醤油一升二十銭菓子一円　右正ニ領収候也		2003.12.17
洋紙、便箋、ペン、1枚	一金十八銭五厘　但シ大根十五斤　大石泰三　一金四拾銭　但シ豆腐十　井上喜太郎		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、墨付1丁	一金六円七拾五銭但玄米弐斗五升代　右ハ昭和十年度教員住宅敷地小作料		2003.12.17
洋紙、ペン、無地、半折	一金九円参拾六銭也　裏に内訳、地租額一三九、七○○　金壱円五拾参銭、戸数三十七戸…等		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、墨付1丁	一金四拾円也　但、比叡山開創法要基金末寺割当額東光寺ヨリ寄付トシテ右領収候事		2003.12.17
洋紙、ペン、印刷物（活版）、切紙、スタンプ	一金四円九拾弐銭　但、年期地所貸下料	日本銀行佐賀代理店11年4月9日受入済の赤いスタンプが押してある　枠外ニ但シ半金は大石源太郎支拂	2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	一金拾五円也（但シ青年訓練被服三名分）右正ニ領収候也		
甲紙、ペン、無地、印刷物（活版）、切紙	一金弐拾六円也　但熊野神社新築工事費トシテ御寄付金　右有難受領仕候也		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半切	一金拾円也　但寺崎龍好氏香典料		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折、半切	一金五円也　但、営林署長招待、消防組区補助金		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折、半切	一金六拾五円也　但昭和拾年度小川内校武広金作外三拾五名ヨリ指定寄付金		2003.12.17
楮紙、罫紙（黒）、半折	一金五百六拾八円参拾五銭也　内小学校敷地七畝五歩		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	一金弐百三拾四円也　内小学校敷地参畝拾四歩		2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	一金拾円五拾銭也　但シ熊本営林局ヨリ豆野不要地整理の為調査出張祭待雑費		
洋紙、ペン、便箋	一金壱百円也　右之金額製材賃として受領候也		
洋紙、ペン、専用紙（松屋）	計金拾二円五十銭也　酒代ほか		2003.12.17
楮紙、ペン、無地、切紙	一金壱円五拾銭　六月廿五日学校改築村会行き茶葉及自動車代		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）	一金拾円也　小学校敷地着手雑費		2004.1.13
洋紙、墨、罫紙（黒、便箋）	一金壱円八拾銭也（中食代）一金五拾銭（自動車代）　小学校改築ニ付、役場出張五名分		2004.1.13
洋紙、墨、無地（白）、半折	一金五円六拾銭也　学校敷地竣工雑費（酒肴菓子代）		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（領収）、切紙	金拾参円也　株払下代		2004.1.13
楮紙、墨、無地、切紙	金一円四十銭　寄付申込役場出頭雑費中食代		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	金四円参拾参銭也　川原村長外三名村民外三名　出張雑費	頭註、区費	2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	一金壱円八拾銭也　川原村長外三名出張雑費		2004.1.13
楮紙、墨、無地、罫紙（黒）、半折	一金壱円弐拾銭也　学校用材搬出の牛方山入		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	金壱円弐拾銭　但し学校敷地張場入り酒菓子代		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	一金参円弐拾銭也　但し学校用材公役酒菓子代		2004.1.13
楮紙、ペン、無地、罫紙（黒）、半折	一金六拾九円也　学校用材搬出代金		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	一金拾六円弐拾五銭　但し石工六日半　1日付弐円五十銭		2004.1.13
洋紙、カーボン、専用紙（領収書）、切紙、一括点数3枚	所有権移転申請書代領収4件料金40	第九五八号領収書相手方氏名進藤岡市　第九五七号領収書相手方氏名西村友吉　第九五六号領収書相手方氏名西村弁三	2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（松屋）、切紙	計五円也　食事、茶代		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（松屋）、切紙	計六円五十五銭也　酒代、宿料		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（神代商店）、切紙	計七十銭也　酒、うどん、刺身代		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（神代商店）、切紙	計金弐円七十銭也　酒、中食六人		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（南畑村）	県税地租附加税、村税附加税　八拾九銭		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（南畑村）、切紙	畑税、雑地税　四二銭		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	1金壱円廿銭　但し学校運動食費		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	惣計拾弐円四銭　宮浦材木出し学校建築材木取締作業、茶・菓子・酒代		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	学校建築材木取り等の作業、酒代、茶菓子代、計八円五十銭		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	1金弐円九拾銭　但し学校材木取り祝　豆腐、醤油、白魚代		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	1金五拾九円六拾八銭　但し三十七日三人一日壱円六十銭		2004.1.13
楮紙、ペン、無地、半折	1金弐拾七円　駄賃九日分		2004.1.13
	1金拾五円也　但し六日分（駄賃）1日弐円五拾銭		2004.1.13
楮紙、墨、無地、切紙	昭和11年度租掛の区長事務所への支払い要請　参拾五銭	「板屋区長之印」角印あり	2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	1金拾参円五拾銭　但し駄賃四日半分		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	1金六円七拾五銭　但し畑三坪代		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	1金弐百円也　小学校新築材木製材賃		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	西村喜三、金八円四拾銭ほか13名の領収金額、連名、計参拾四円四十一銭	連名　武広金作、宗雲虎夫、武広末雄、大石嘉作、武広竹市、宗雲光成、宗雲徳夫、大石泰三、三橋元治、西村敏、原口栄、原口栄、原口稲作	2004.1.13

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-26-52		備忘			西村喜三		
C-26-53		備忘					
C-26-54	領収書	証文	昭和8年9月20日		進藤末吉	小川内区長大石泰三殿	
C-26-55	領収書	証文	十月十日		西村	大野電気組合	
C-26-56	送	証文	9年10月1日		角佐次郎商店	進藤米吉	
C-26-57	内線材料使用	備忘					
C-26-58	電氣材料残品（1）	備忘					
C-26-59	領収証及び請求書	証文	昭和9年10月19日		大洋電気商会　小倉魚町三丁目九拾九番地	進藤末吉	
C-26-60	領収証		昭和9年10月25日		小倉魚町三丁目九拾九番地　大洋電気商会	進藤末吉様	
C-26-61		証文			進藤		
C-26-62	領収証及び内訳書	証文	昭和9年11月5日		神埼郡東背振村大字松隈　進藤末吉	小川内区長大石泰三殿	
C-26-63	領収書	証文	昭和9年10月22日		進藤末吉	東背振村小川内区長　大石泰三殿	
C-26-64	領収証及内訳	証文	昭和9年11月5日		進藤末吉	小川内区大石泰三殿	
C-26-65	領収證	証文	昭和9年10月9日		合名會社青木商店　代表社員青木幸平（印）	進藤末吉御中	
C-26-66	領収證	証文	昭和9年10月8日		角材木店　角佐次郎（印）	進藤末吉殿	
C-26-67	内訳明細書の代用						
C-26-68	領収書	書簡＋証文	昭和9年10月9日		合名會社　青木商店	進藤末吉御中	
C-26-69	領収書	書簡＋証文	昭和9年10月8日		角佐次郎商店	東背振　進藤末吉様	
C-27	大正十五年四月五日東背振村農会　農事実行組合長会提出事項	会議資料					
C-28	昭和拾四年拾弐月　作道改修潰地積及代金集計簿	帳簿		昭和14年12月			昭和拾四年拾弐月／作道改修潰地積及代金集計簿／永久保存小川内区
C-29							
C-30	調書			大正2年4月28日	神埼郡東背振村		
C-31	パンフレット		昭和46年9月		東京国立博物館		
C-32-0	領収書綴						
C-32-1	領収書			昭和22年4月2日	東脊振村収入役古川光雄	小川内部落会長	
C-32-2	領収書			昭和22年3月20日	東脊振村収入	小川内部落會長	
C-32-3	領収證		昭和22年4月2日		東脊振村収入役古川光雄	小川内部落会長殿	
C-32-4	達	通達	昭和22年2月18日		東脊振村長平又市	小川内部落會長　大石保衛殿	
C-32-5	領収書		昭和22年1月14日		東脊振村書記最所重八（印）	小川内部落会長殿	
C-32-6	覚						
C-32-7	覚						
C-32-8	覚						
C-32-9	衣類の配給に就いて	通達		昭和22年2月10日	東脊振村長（印）	各部落会長殿	
C-32-10	参議院議員選挙棄権者調	備忘					
C-32-11	記		昭和22年4月23日		東脊振村農業會長福光平吾（印）	各部落會長殿	
C-32-12	記						
C-32-13	衆議院議員候補者	通達					
C-32-14	記						
C-32-15	各選挙施行日程一覧				東脊振村		
C-32-16	知事及村長選挙棄権者調						
C-32-17	記						
C-32-18	書簡	上申	3月26日午後4時		坂井徳次郎		
C-32-19	昭和二十一年産米ノ生産供出実態申告書		3月18日				
C-32-20	御案内		昭和22年3月18日		主催東脊振村遺族会	大石保衛殿	
C-32-21	小川内区義捐金寄附者芳名		昭和22年2月23日		小川内部落長大石保衛	東脊振村長平又市殿	
C-32-22	記		昭和22年3月29日		東脊振村長平又市（印）	小川内部会会長殿	
C-32-23	各種選挙に伴う公民啓發運動について		昭和22年3月26日		東脊振村長平又市（印）	部落會長、婦人會長、男子青年團長、女子青年團長、選挙管理委員長、選挙長、開票管理者、投票管理者各位	
C-32-24	記						
C-32-25	記		昭和22年3月29日		東脊振村會議員選挙管理委員會	各部落會長殿	
C-32-26	記		昭和22年2月20日		東脊振村平又市（印）	部落会長殿	
C-32-27	記		昭和22年3月4日		東脊振村長平又市（印）	小川内部落会長殿	
C-32-28	記		昭和22年1月31日		東脊振村長平又市（印）	小川内部落会長殿	
C-32-29	記						
C-32-30	記						
C-32-31	記						
C-32-32	国家神道・神社神道に対する政府の保証・支援認金監督並びに弘布の廃止について						
C-32-33	生活の栞　特輯號						
C-32-34	ヂフテリア予防接種実施について				佐賀縣神埼郡東脊振村長平又市	小川内部会長殿	
C-32-35	冬期調査票		昭和十九年二月一日調査		農商省		
C-32-36	生活の栞　特輯號				佐賀縣通貨安定推進委員會、佐賀縣		
C-32-37	縣會議員候補者				東脊振村會議員選挙管理委員會委員長最所徳次郎（印）		
C-32-38	御案内		昭和22年4月30日		東脊振村長平又市東脊振中学校長手塚勘一		
C-32-39	案文		昭和22年4月30日				
C-32-40	通達		昭和22年3月25日		小川内國民学校長坂井徳次郎	大石保衛殿	
C-32-41	自轉車及リヤカー検査執行について				東脊振村長平又市（印）		
C-32-42	農地買収計画書従覧告示に関する伴依頼		昭和22年3月20日		筑紫郡南畑村農地委員会長	東脊振村農地委員会長殿	
C-32-43	昭和二十一年度東脊振村援護費						
C-32-44	通學者				大石泰雄、宗雲佑太、杉谷直、武廣義次、杉谷久千代	福岡縣筑紫郡南畑村大字埋金南畑國民學校	
C-32-45	記		昭和22年4月11日		小川内小學校長坂井徳次郎	大石保衛殿	
C-32-46	會員の募集について		昭和21年12月20日		佐賀縣社會教育協會長戸澤盛男		
C-32-47	山林立木調査箋				所在地住所　佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈二一六五ノ四壱	所有者　佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈二二〇七　大石保衛	
C-32-48	診療費請求書		昭和21年8月4日		小川内診療所	大石安衛殿	

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、ペン、便箋、切紙	八年十月卅日卅一日熊本行き雑費の書上		2004.1.13
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	大野拡張電気ノ件ニツキ佐賀行きノ雑費書上		2004.1.13
楮紙、ペン	1金弐拾五円四拾四銭、大野電灯延長測量並ニ消耗品代、内訳付き、測量費三人分弐拾四円		2004.1.13
洋紙、ペン、便箋、切紙	計六円五拾八銭（酒、醤油代）		2004.1.13
楮紙、専用紙（角商店）、切紙	マレニット注入腕木送り状		2004.1.13
洋紙、ペン、便箋、切紙、	宗雲巳之助ほか八名の金額、計四拾八円四銭の書上		2004.1.13
洋紙、ペン、便箋、切紙	電気材料、各種碍子等の単価価格表		2004.1.13
洋紙、ペン、カーボン、専用紙（大洋電気）、切紙、こより	電気器具代請求明細書及び六百五円四拾五銭の領収書		2004.1.13
洋紙、ペン、専用紙（大洋電気）、切紙	納品代金四円四拾銭也		2004.1.13
洋紙、ペン、罫紙（青）、半折	ポールト40本11米		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒、赤）、専用紙（東背振産業組合）、半折、こより、一括点数3枚	1金参円六拾八銭　電灯工事通信費内訳書	領収書…黒罫紙、内訳書…赤、産業組合罫紙	2004.1.13
墨、罫紙（黒）、半折	電灯工事工賃金六拾円也		2004.1.13
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	1金六円六拾参銭也　電灯工事雑材料買入代金内訳書		2004.1.13
洋紙、ペン、活字、専用紙（青木商）、切紙	〔納品代金拾八円七拾五銭也〕の領収証	3銭の収入印紙が貼ってある	2004.1.14
洋紙、ペン、活字、専用紙（角材木店）、切紙	〔ウデキ代金四拾弐圓四拾弐銭也〕の領収書	上2枚とはC-26-66とC-26-67	2004.1.14
洋紙、ペン、罫紙（青）、竪紙	上2枚の内訳明細書紛失ニ付ナシ　金42円42銭　碍子類代　金18円75銭　腕木代		2004.1.14
楮紙、ペン、活字、専用紙（青木商店）、竪紙、切紙	納品代金四拾貳圓四拾貳銭銭代引にて御送金に預り拝受仕候。別紙領収證相添申候間御査収被下度		2004.1.14
楮紙、罫紙（青）、専用紙（角佐次郎商店）、竪紙	二五×二五角　二十五本代　金拾八円七拾五銭也　本日落手仕り候		2004.1.14
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、竪帳、ステープラ、一括点数3枚	組合諸帳簿の件、稲種籾申込、稲肥料共同購入の件等	肥料市況通報、肥料成分一覧表等資料つき	2003.12.17
楮紙、墨、ペン、罫紙（黒、小川内尋常小学校）、竪帳、二ツ綴、こより、表紙共紙数7丁（墨付6丁）	地積、代金、坪単価、地主名及び略図	「潰地代金控」の付箋をとじ紐に結ぶ	2003.12.17
竪帳、一ツ綴、こより	昭和33年から昭和39年にかけて保護武広勇氏送付された佐賀保護観察所他関係官庁の書類及報告書類の綴り	保護観察成績報告書等72枚がひとまとめでこよりで綴られている	2003.12.17
カーボン、罫紙（白、神埼郡東背振村役場）、印刷物（B4判）、半折、二ツ綴、こより、表紙共紙数40枚	大正三・四年度工事工事設計及附属調書　神埼郡東背振村	冊子の中程に工事設計及之ニ附属スス諸調前書之通リ相違無之候也　大正弐年四月二十八日　神埼郡東背振村長小池義治	2003.12.17
	昭和46年日本古美術展のパンフレット	正誤表・佐賀県博「秋の催しもののお知らせ」挿入	
竪帳、一ツ綴、こより	新表紙		
洋紙、カーボン、活字、印刷物（活版）、切紙	昭和二十一年度援護費（壱百五拾四圓）の領収書		
洋紙、カーボン、活字、印刷物、切紙	仁比山登記所寄附金（百参拾八圓）の領収書		
ペン、カーボン、印刷物（活版）、切紙	消防團費及佛教会寄附金（八拾貳圓五拾銭）の領収書		
洋紙、墨、印刷物、切紙	部落會長例會、二月二十日午前九時より開催		
洋紙、ペン、罫紙（青、東脊振村役場）、半折	貳千八百圓の領収書		
洋紙、ペン、無地、切紙	大野、表谷、古小川内村内拾七町四畝二十九歩の内訳		
洋紙、ペン、無地、半折	（小川内村か）戸主・世帯人員の書上げ（計34名）		
洋紙、ペン、無地、半折	大石泰三他33名の人名書上		
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	引揚者用として衣類配給、協議の上遺漏なき様	裏面には「ゲートル」等の物品書上	
洋紙、ペン、印刷物（謄写版）、半折	計24名の人名書上		
洋紙、ペン、印刷物（謄写版）、切紙	佐賀縣復興宝籤営選奨金並景品の支拂に就て		
洋紙、鉛筆、罫紙（灰）、切紙	「五反三畝四歩・大石保衛」ほか10件の書上げ	人名に抹消線あり	
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	候補者17名の名簿		
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙	未復員者四名の書上		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	「告示日・立候補期間・投票日・開票日」の一覧		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、半折	無記入		
洋紙、鉛筆、ペン、罫紙（青、勝田礦業所）、切紙	大石泰三ほか36名の人名書上（捺印あり）		
洋紙、ペン、罫紙（茶）、切紙	学校ラヂオ購入についてお願い		
洋紙、ペン、印刷物（謄写版）、半折	数値のみ記入		
洋紙、ペン、その他、印刷物（謄写版）、切紙	戦死病没者追弔會の案内		
洋紙、ペン、罫紙（青、勝田礦業所）、切紙	33名の人名書上		
洋紙、ペン、その他、印刷物（謄写版）、切紙	家庭用酒配給、購入券送付		
楮紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	新憲法実施に際してのお願い		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	「投票所の設備の準備」など		
洋紙、墨、印刷物（謄写版）、切紙	資格審査の結果の公表閲覧について		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	狂犬病予防対策について		
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	届出を要する疾病追加の件		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	結核性諸疾患者調査及び妊産婦血液検査実施について		
楮紙、ペン、罫紙（赤）、切紙	「覚書該當者選挙管理委員」とあり		
洋紙、鉛筆、無地、半折	「千七百四十円　男十五女五日卯作」など書上げ	雇用賃金等の書上げか	
洋紙、ペン、罫紙、切紙	「口入　二百六十五口入　牛十三頭分」など品物書上		
洋紙、カーボン、切紙	上部に「回覧板」とあり		
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙	「健全な國民生活樹立のためには」とあり		
洋紙、ペン、無地、印刷物（謄写版）、切紙	二月十七日午後一時より三時迄	裏面は謄写版の受領證	
洋紙、ペン、専用紙（農商省）、切紙	「西石動石橋佐一」所有の耕地面積等調査票		
洋紙、活字、印刷物（活版）、一括点数2枚		杉谷スマ他署名捺印あり	
洋紙、墨、カーボン、無地	「片江儀六」ほか9名の候補者銘記		
	五月三日午前九時から日本国憲法施行記念式典并東脊振中学校開校式挙行の通知	裏面に「小川内大石保衛殿」とあり	
洋紙、カーボン、半折、一括点数2枚	「投票選挙立會人タルベキ者届」の雛型		
楮紙、ペン、カーボン、罫紙（赤）、切紙	「明三月二十六日午前十時より當校修了式を挙行」の通知		
洋紙、印刷物（謄写版）	昭和二十二年三月二十二日午前九時より午後五時迄東脊振村役場にて執行		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙、一括点数2枚	自作農創設特別措置法に基き三月十九日より二十九日迄南畑役場に於いて従覧に供す		
楮紙、カーボン、罫紙（赤、東脊振村役場）、半折	「一金壱百五拾四圓」の内訳（計34名）		
楮紙、罫紙（青）、切紙	「通勤者ハアリマセン」とあり		
楮紙、ペン、カーボン、罫紙（赤）、切紙	「四月十四日午前十時より昭和二十二年度入學式を挙行致す」旨		
洋紙、ペン、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	本縣社會教育協會会員の募集		
洋紙、ペン、活字、無地、印刷物、切紙	左記所在地の調査書	一枚は白紙	
洋紙、ペン、無地、切紙	金六拾五円の請求書		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-32-49	記						
C-32-50	記						
C-32-51	村有金支出控						
C-32-52	通知		昭和22年4月4日		縣知事選挙東脊振村第四投票区投票管理者宗雲幾市（印）	大石保衛殿	
C-32-53	通知	通達	昭和22年4月24日		衆議院議員選挙東脊振村第四投票区投票管理者宗雲幾市（印）	大石保衛殿	
C-32-54	縣知事東脊振村第四投票所棄権者人名						
C-32-55	号外		昭和22年4月16日		仁比山郵便局長（印）	小川内部落会長大石保得殿	
C-32-56	妊婦届				小川内部落会長大石保衛	東脊振村長平又市殿	
C-32-57	通知		昭和22年4月18日		全國選出参議院議員選挙東脊振村第四投票区投票管理者宗雲幾市（印）	大石保衛殿	
C-32-58	記						
C-32-59	個人供出成績表		（昭和）22.3（月）.7（日）				
C-33	區費計算帳		明治43年12月		小河内		
C-34	村控　地所変換ニ付地價上申　松隈邸宅小川内分		19年9月		石願主惣代杉谷政六　石戸長吉田貞愉	佐賀県知事鎌田京弼殿	
C-35	雑費控帳			大正元年12月	小川内区		
C-36	小川内小學校寄附金収支決算綴			昭和13年12月26日	小川内区長		表紙、本紙と異質　小川内小學校寄附金収支決算綴　小川内区長
C-37	契約書		大正4年5月		西村克彦　宗雲忠臣　権藤利得　進藤文子	日本徴兵生存保險株式会社	
C-38	大正二年度稲品種分布調査控	備忘					
C-39	有権者名簿	名簿	昭和8年1月		小川内區		昭和八年壱月調　有権者名簿小川内區　朱角印左上にあり
C-40	區費算長帳	備忘	大正15年12月				
C-41	昭和五年度　区費計算表小川内区	帳簿					表紙、本紙と同質　昭和五年度　区費計算帳　小川内区
C-42	昭和廿六年度　原野整理簿			昭和25年度、26年度			
C-43	申告書			昭和10年3月		佐賀税務所長殿	
C-44	日達原辫天社調書	備忘	昭和52年巳4月				
C-45	登記簿		昭和23年3月10日		福岡地方裁判所所属司法書士藤野憲介		
C-46	保証書	証文	昭和23年3月10日		司法書士　藤野憲介		
C-47	土地分筆申請書	その他					
C-48	登記申請書	申請書	昭和23年3月10日		福岡地方裁判所所属　司法書士藤野憲介		
C-49	登記申請書	その他	昭和23年3月10日		進藤岡市（申請人）	福岡司法事務局	
C-50	物件表示						
C-51	申請書		昭和23年3月10日		佐賀県神埼郡東背振村松隈弐千弐百弐拾番地　杉谷兵太郎	福岡司法事務局老司出張所御中	
C-52-1	昭和十三年度共有金医師原野払下綴	帳簿					表紙、本紙と同質　昭和十三年度共有金医師原野払下綴　小川内区長
C-52-2	昭和拾参年度三月　原野整理雑費帳	帳簿					表紙、本紙と同質　昭和拾参年三月　原野整理雑費帳　小川内区
C-53	明治四十三年度分　特別金出納簿　小川内区長		43年旧11月24日				
C-54	大正五年度學校寄附人名	備忘		大正6年7月3日			表紙、本紙と同質、大正五年度學校寄附人名
C-55							
C-56	計算書			昭和2年12月25日改訂		小川内區長	
C-57-1	明治廿年五月誤謬訂正野取						
C-57-2-1							
C-57-2-2							
C-58			明治廿3年第7月調整				
C-59			19年9月		惣代杉谷政六　戸長吉田貞愉	佐賀縣知事　鎌田景弼殿	
C-60	畦畔廃除ニ付野取帳	帳簿	明治19年9月		願主惣代　松谷政六、戸長　吉田貞儀	佐賀県知事　鎌田景弼	畦畔廃除ニ付野取帳　神埼郡松隈邨　字小川内分
C-61	明治以降戸籍簿小川内区			天保13年、嘉永2年、明治6年等			
C-62	記	その他					
C-63	書上帳	備忘					
C-64	災害復旧工事一般費控	備忘		12月14日	表紙、本紙と同質　小川内区長大石泰三		昭和八年九月災害復旧工事一般費控　小川内区長　大石泰三
C-65	第7回総代会議案		昭和45年5月9日		那珂川町森林組合		
C-66-1	収入支出決算帳		昭和10年12月26日		小川内區長	審査員西村喜三　大石嘉作　築地乙吉　武廣勇	
C-66-2	会議録			昭和43年3月21日			
C-66-3	規約						

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、カーボン、罫紙（黒）、切紙	「一七八　権藤利得」他四名の人名書上		
楮紙、墨、鉛筆、罫紙（赤）、切紙、一括点数3枚	「二三三五　杉谷正義病気」他27名		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	「弐百七拾円也　供出来関係来客用」ほか「和罫紙」など品物書上		
楮紙、カーボン、罫紙（赤）、切紙	昭和22年4月5日執行縣知事選挙東脊振村第四投票区の立會人に選任する		
楮紙、カーボン、罫紙（赤）、切紙	昭和二十二年四月二十五日執行衆議院議員選挙東脊振村第四投票所の立会人に選任する		
楮紙、墨、罫紙（赤）	宗雲政吉他8名の人名書上		
楮紙、カーボン、罫紙（赤）、切紙、一括点数2枚	貯金援助の願書		
楮紙、ペン、罫紙（赤）、切紙	「大石泰三次男妻大石貞子」の妊婦届		
	昭和二十二年四月二十日執行全国選出参議院議員選挙東脊振村第四投票区投票所の投票立會人に選任する		
洋紙、ペン、罫紙（赤）、切紙	「實収高、保有量、供出割當、供出高、氏名」等の書上げ（計12名）		
洋紙、鉛筆、ペン、無地、切紙、一括点数2枚	権藤郡作以下23名の耕作面積、実収予想高、籾摺高、保有量などを記す		
楮紙、墨、罫紙（黒）、折紙、二ツ綴、こより、一括点数37枚	明治四拾参年拾弐月區費計算帳　小河内	37枚の内1枚はこよりで綴じられてない。表紙の部落名の下に茶色の角印（3.5cm×3.5cm）有り。小川區印と判読	2003.12.17
楮紙、横帳、二ツ綴、こより、一括点数12枚（外に6枚ハサミ込み分）	土地測量図　はさみ込みの図面5枚有	6枚目と7枚目の間に一枚　大石嘉平治　8枚目と9枚目の間に二枚　西村嘉内分二千百九十六番　大石嘉平治分弐千九拾番　9枚目と10枚目の間に二枚　筑地惣八　貳千貳百拾壱番　略図のみ此ニ除三拾五坪九合　10枚目と11枚目の間に一枚　杉谷夘七分	2003.12.17
楮紙、墨、無地（白）、折紙、下げ二ツ目綴、こより、一括点数18枚	大正元年十二月　大正三年度諸雑費控帳　小川内区		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、竪帳、一ツ綴、こより、虫損、表紙端々やぶれ	収入ノ部　金五百七拾六円、支出ノ部　金参百参拾参円四拾銭　夫々の内訳あり		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、二ツ綴、こより、表紙共4枚	大正四年生存保險加盟ニ付契約書	被保險者四名に各代理人と連記　他に小川内部落代理人の五人名前を連記　表紙に朱色の印鑑（タテ5cm×ヨコ2cm）の印判2ヶ所有り　小川内共有□□□□□と判読	2003.12.17
楮紙、罫紙（黒）、横帳、一ツ綴、こより、一括点数3枚	梗､糯の品種　作付面積耕作者名書上　桑園の調査書上		2003.12.17
楮紙、墨、ペン、カーボン、罫紙（黒・紺）、竪帳、一ツ綴、虫損、表紙端々やぶれ少々	・小川内區選挙資格者人名　武廣金作他列記　・選挙資格者　小川内　魯判金他56名列記　・各部落別有権者数　計771	罫紙紺色　銘「神埼郡東脊振村役場」	2003.12.17
楮紙、罫紙（青）	金銭出納書上		2003.12.17
楮紙、罫紙（黒、銘なし）、竪帳、二ツ綴、こより、表紙共紙数35丁（墨付30丁）	人別区費支出計算書綴	武広金作ほか37名分	2003.12.17
楮紙、表紙は厚紙、ペン、罫紙（青、銘なし）、竪紙、二ツ綴、こより	昭和二十五年度原野整理収支表、整理原野地積及地代金計算表		2003.12.17
楮紙、ペン、無地（白）、罫紙（黒）、二ツ綴、こより、表紙共30枚	原野土地分筆図　竹之屋敷、大谷原、古小川内、大野、長谷	地形図相続及申告候也　氏名連記　佐賀税務所長殿合計8部　表紙は別の紙を貼付けていて□□区とある所は破損している	2003.12.17
楮紙、墨、無地、竪帳、二ツ綴、こより	目達原の弁天社にまつわる由来を記している		2003.12.17
ペン、罫紙（黒、司法書誌藤野憲介）、切紙	南畑・五ヶ山・浦山（千三百八拾四番地ノ弐）山林壱町八反八畝の登記簿	登記済等の印あり	2003.12.17
楮紙、ペン、罫紙（青、銘なし）、切紙	五ヶ山字浦山の山林売買により所有権移転が生じた際の保証書		2003.12.17
楮紙、ペン、カーボン、切紙、一ツ綴	大野2014-1（7町2反5畝14歩）を分筆した際の申請書。所有権者27名。		
楮紙、ペン、罫紙（黒、司法書士藤野憲介）、印刷物（活版）、ひねり綴	南畑村五ヶ山字浦山1384-2の山林の登記申請書。申請者は西村喜三		2003.12.18
楮紙、カーボン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴	松隈170番地を2191番地へと変更をするもの（登記申請人は進藤岡市）		2003.12.17
専用紙（司法書士）	筑紫郡南畑村五ヶ山字浦山千参百八拾四番地ノ貳　山林壱町八反八畝歩未印福岡司法事務局老司出張所の印有り　昭和二十三年三月十日第二二二号	福岡地方裁判所所属　司法書士　藤野憲介の専用罫紙　事件簿番号二三二号（註）表の朱印内の番号と相違アリ　書記料金三円三十九銭	2003.12.17
洋紙、カーボン、専用紙（登記申請書）、一括点数1枚	所有者名義人表示変更　登記申請書	申請人　杉谷兵太郎の下に朱印の丸印（φ1.2cm）と割印が有る　外に出張所印の割印有り	2003.12.17
楮紙、墨、ペン、無地、罫紙（黒）、綴、一ツ綴、表紙共紙数2丁（墨付1.5丁）	小川内医師諸雑費壱百参拾弐円四拾四銭。原野払下げ諸雑費五百六拾七円弐拾七銭の書上		2003.12.17
楮紙、墨、ペン、無地、罫紙（黒）、竪帳、表紙共紙数5丁（墨付4丁）	大石泰三分原野整理雑費計算書及び権藤郡作ほか八名の金高と日数の書上		2003.12.17
楮紙、墨、無地（白）、罫紙（黒）、一ツ綴、こより、一括点数3枚	特別金出納年月日、金額、摘要の書上十七件と算用済	無地の表紙一枚に黒罫紙二枚計三枚がこよりで綴じられている	2003.12.17
楮紙、墨、カーボン、罫紙（黒、緑）、竪帳、一ツ綴	大正五年度小川内小学校寄附金割当額計算書金六拾円也　内訳　小川内区負擔分参拾九円	罫紙黒　田中製　罫紙緑　小川内尋常小学校	2003.12.17
罫紙（青）、一括点数2枚	白紙一枚に落書有り	一ツ綴と思われる穴が二ツ有り	
楮紙、墨、無地（白）、半折、四ツ綴、糸、一括点数9枚	昭和武年十二月廿五日改訂　小川内地租計算　小川内区長　地租金と名前29名と外3名有り	地租金の改訂に別の紙に書いて糊付してあてるのが6ヶ所有り	2003.12.17
ひねり綴、一括点数16枚（外ニ一枚ハサミ紙有り、表紙と一枚目の間に有り	宮ノ瀬字大の武広亀蔵千九百三十二番外地積書上外11名分		
楮紙、一ツ綴、こより、一括点数19枚、外に4枚ハサミ紙有り	大石嘉平治、字豆の田中ノ原ノ上、地積の積算書、外ニ18名のものが有る	ハサミ紙3枚　6枚目と7枚目の間に一枚　六ノ綱ニ於テ実開…とあり　7枚目と8枚目の間に一枚　九十二坪の地積算出表　10枚目と11枚目の間に一枚　罫紙に学校後援会費割当額昭和二十二年五月二十三日の記入あり　12枚目と13枚目の間に一枚　西村嘉内分の地積算出表	2003.12.17
ひねり綴、一括点数11枚、ハサミ紙1枚あり	杉谷政六　交正二千二百廿番　地積算出表　外に10名分有り	（2-1）と（2-1）はひねりこよりで結ばれて居る　2枚目と3枚目に一枚　杉谷喜吉分　字前田地積算出表　二千二百十二番	2003.12.17
竪帳、二ツ綴、こより、前欠	墓地調整記録六十四区分の書上げ（表紙欠）	第1号～21号まで黒罫紙の別に第1号～第25号まで黒第26～42号まで赤罫紙別に第1号赤罫紙が綴じられている。	2003.12.17
一括点数161枚	脱落地編入願　神崎郡松隈村字小川内分	名前と面積と図面を貼付	2003.12.17
楮紙、墨、無地、竪帳、二ツ綴	武広亀蔵外九名の野取帳	挿し紙大小14枚　表紙「地価上申」を朱筆抹消　「野取帳」と朱記「○村□」	2003.12.17
楮紙、墨、竪帳、二ツ綴、ひも	1丁～4丁目は明治以前か「細田十右衛門殿壱地小原ヶ里」「百右衛門」「良蔵」等の名前がある。5丁目以降は活版による戸籍簿。		2003.12.17
印刷物、竪帳、ホチキスで1ヶ所とめ	東部工業団地買収計画、圃場整備関畑工業等にかかわる支出の書上帳		2003.12.17
楮紙、墨、半折	日下部磯吉はじめ20名の金銭書き上げ		2003.12.17
洋紙、墨、ペン、無地、竪帳、一ツ綴	復旧工事収支計算報告　収入壱百五円九十二銭也　支出　五十一円四十二銭也　十二月十四日計算当時現金五十三円六十銭也	「黒罫紙銘東脊振村役場」の裏面に記入	2003.12.17
洋紙、活字、竪帳	昭和44年度総代会議案書		2003.12.17
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、四ツ綴、こより、表紙共4枚	昭和拾年度區費収入支出決算帳　小川内區長		
洋紙、活字、印刷物（A3判）、半折、一括点数2枚	参議院予算委員会会議録第三号		2003.12.17
洋紙、カーボン、無地（白）、折紙、断簡、一括点数21枚	小川内戦時貯蓄組合規約並ニ組合員名簿	組合員名簿は無し	2003.12.17

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-66-4		書簡					
C-66-5	領収書		昭和29年8月29日		東背振村農業会	小川内区長殿	
C-66-6	状		明治39年2月20日		佐賀県知事正五位勲四等香川輝		
C-66-7	拂込帖			昭和16年改正ス	字小川内区		
C-67	金銭書上						
C-68	日記帳	備忘	昭和48年1月～12月				表紙、本紙と異質 WeekDiary／shell.1973／西日本商事株式会社
C-69-0	書類綴						
C-69-1	委嘱状		昭和38年8月7日		東脊振村教育委員会		武廣勇殿
C-69-2	東背振村青少年問題協議会設置条例		昭和35年6月16日		東背振村長		
C-69-3	昭和38・39年度公民館運営審議会規則						
C-69-4	社会教育委員の職務等について						
C-69-5	昭和38年産麦類被害推定減収量調		昭和38.6.18		東背振村		
C-69-6	土木委員会		38.6.7				
C-69-7	工事明細書				佐賀県土地改良事業団体連合会		
C-69-8	土木委員会		39.1.13		東背振村役場		
C-69-9	38年度農林災害復旧工事				東背振村役場		
C-69-10	防犯協会総会次第		昭和38年7月20日		東背振村長　武広勇		
C-69-11	土木委員会議		38.10.5		東背振村役場		
C-69-12	佐賀県立鳥栖工業高等学校生徒急増対策に伴う地元負担明細				佐賀県		
C-69-13	昭和三十七年度分地帯区分		昭和38年				
C-69-14	昭和39年度緑の募金割当表（東脊振村）						
C-69-15	農業所得標準及経費控除について（概要）		S39.2.20				
C-69-16	昭和39年土地評価資料						
C-69-17	村道一覧表						
C-69-18	土木委員会		S39.2.17				
C-69-19	小学校改築工事概算表		39.2.24				
C-69-20	県民体育大会出場費についてのお願い			38年度			
C-69-21	記						
C-69-22	村議会全体協議会議		S38.2.27				
C-69-23	昭和37年1月～12月分保険者別審査						
C-69-24	駅伝大会費用						
C-69-25	総務委員会議題		昭39.2.18				
C-69-26	小学校改築要望県取図（案）						
C-69-27	昭和38年度事業計画案並予算案			自38.4.1至39.3.31	神埼郡体育協会		
C-69-28	特別職の給料及び報酬について						
C-69-29	給与改訂所要額						
C-69-30	佐賀県立神崎高等学校地区別卒業生数			昭和38年度調査			
C-69-31	三養基高校校舎建築						
C-69-32	昭和38年度高等学校別地元負担金調べ		(38.12.13)				
C-69-33	地方自治法の一部改正について						
C-69-34	保護観察成績報告書		昭和40年6月24日				
C-69-35	環境調査調整追報告書提出方について照会		昭和40年8月16日		佐賀保護観察所長野田道夫	保護司武広勇殿	
C-69-36	7月分保護観察成績報告書提出について		昭和40年8月31日		佐賀保護観察所長	保護司武広勇殿	
C-70	委嘱状		昭和34年10月28日		神崎警察署警視中野一次	武広勇殿	
C-71	大正八年勤倹貯蓄ニ関スル資料　佐賀縣						
C-72	昭和十七年四月　組合員名簿　小川内電氣組合						
C-73	書上帳	照会	12月25日		柿田酒店	上様	
C-74-1	委任状				権藤		
C-74-2	背振山録				杉童		
C-75	小川内區　組合貯金領収通帳	その他	明治42年11月				
C-76	貧困階級者ノ生活調査	その他	昭和11年4月23日		佐賀縣		表紙　小川内方面委員
C-77	記				佐賀県神埼郡東脊振村役場		封筒、本紙と異質　（表）小川内区長殿（裏）佐賀縣神崎郡東脊振村役場

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、一括点数1枚	学校改築敷地移転の完成の御祝詞愛郷の会に応分の寄附をさして頂く度～		2003.12.17
洋紙、罫紙（黒）、専用紙（東背振村農業会）、竪紙、一括点数1枚	領収證　一金参千弐百六円六十五銭也　但還元未代金十六俵三斗九升代	東背振村農業会の下部に朱色の角印（2.5cm角）有り東背振農業会之印と判読　角印の下部に卵形の朱印（タテ0.8cm×ヨコ0.5cm）あり手塚と判読	2003.12.17
洋紙、活字、断簡	壱枚寄附候段案特ニ候事	県知事の下部に角印（3cm角）の朱印有り	2003.12.17
楮紙、罫紙（黒）、六ツ綴、こより、一括点数14枚	（出資拂込ヲ終ルマデ保存スベシ）産業組合出資拂込帖字小川内区		2003.12.17
専用紙（國千綿製）、竪帳、一ツ綴、こより、一括点数39枚	大正八年～大正十五年　収入・支出金	罫紙39枚綴り	2003.12.17
洋紙、ペン、印刷物（B5判）、冊子、紙ケース	日録及び句稿の控え		2003.12.17
一ツ綴、こより	村会関係の綴（委嘱状、回覧等）	一括状況	2004.1.13
洋紙、墨、コピー、切紙	東脊振村公民館運営審議委員並びに社会教育委員に委嘱		2004.1.13
洋紙、鉛筆、竪帳、一括点数3枚	青少年問題協議会設置条例及び施行規則書上　教育委員主事その他人名の書込あり	ホッチキスで一括	2004.1.14
洋紙、一括点数4枚	公民館運営審議会規則十一条及び審議委員名簿　公民館運営審議会次第	4枚は一括のものと思われるが順序不同	2004.1.14
洋紙、その他、竪帳、一括点数4枚	教育基本法、社会教育の定義、社会教育委員設置の趣旨、その他社会教育に関する條目書上	4枚ホッチキスで一括	2004.1.14
洋紙、その他、竪紙、一括点数3枚	種類・作付面積・基礎反収・被害率・その他数量書上　全体協議会協議事項と一括されている		2004.1.14
洋紙	「土木行政の問題点と対策について」その他「村道一覧表」もある　エンピツの書込あり		2004.1.14
洋紙、ペン、その他、B4	「夕ヶ里～山古賀線道路改良」の明細		2004.1.14
洋紙、その他、専用紙（東背振村役場）、切紙、一括点数6枚	「県道改良工事について」「39年度土木予算について」外　39年度予算案その他あり		2004.1.14
その他、専用紙（東背振村役場）、B4	番号・位置・事業費・国庫補助金額その他地元負担金の計算法もあり		2004.1.14
洋紙、その他、切紙、一括点数3枚	「昭和37年度防犯協会収支出決算書」「昭和38年度防犯協会収支出予算書」など		2004.1.14
洋紙、専用紙、切紙、一括点数2枚	「災害復旧工事入札期日及び業者の指名について」外3項目　外に「東背振村全図」あり		2004.1.14
専用紙（佐賀県）、切紙、一括点数3枚	土地、建物、綜合計画、その他		2004.1.14
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙	横田他数ヶ所の地価の備忘		
洋紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	部落名、世帯数、要保護世帯数、差引世帯数、羽根割当数、募金金額の一覧		
洋紙、謄写版、切紙	東脊振村を3世帯に分け、反当の所得などを記す		
洋紙、その他、無地、謄写版、切紙	字毎に記す		
洋紙、無地、印刷物（謄写版）、切紙	村道15道の一覧		
洋紙、無地、印刷物（謄写版）	「1．村道改良工事について」の項目		
洋紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	「構造別、坪数、単品、金額、備考」に記す	「第一案」「第二案」図を付す	
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙			
洋紙、その他、コピー、切紙	「幼稚園唐津大会巡遣諸費」「中学校電話料」などの金額、名称などを記す		
洋紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	「1．特別職の報酬について」他5項目		
洋紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	佐賀市をはじめ県内の自治体を月毎に記す		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	合宿人員、期間、費用等を記す		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙、一括点数2枚	「1．給与改訂について」とある		
その他、印刷物（謄写版）、切紙			
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	「町村負担金」の一覧		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	三役（村長、助役、収入役）以下の報酬を記す		
その他、印刷物（謄写版）、切紙	東脊振村		
無地、印刷物（謄写版）、切紙	31～40年度の神崎以下10市町村を記す		
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、切紙	地区毎の負担寄付金を記す		
その他、無地、コピー、切紙	神崎高校ほか4校の事業内容を記す		
洋紙、その他、印刷物、半折、竪帳、一括点数18枚	「第1表歳入歳出予算」を付す		
洋紙、カーボン、専用紙、半折、一括点数2枚			
洋紙、カーボン、無地、専用紙、切紙、一括点数3枚			
洋紙、カーボン、その他、無地、専用紙、切紙、一括点数2枚			
洋紙、墨、印刷物（賞状）、切紙	東脊振村少年身上相談所委員の委嘱		
洋紙、活字、印刷物（活版）、冊子、ステープラ、17枚（墨付17枚）		全二四頁	
楮紙、墨、ペン、小横帳、一ツ綴、こより、表紙共紙数13丁（墨付3丁）	「廣坂杉丸太代金」「杉立木代金」などの金銭書上		
楮紙、墨、切紙、虫損	白砂糖参拾銭　蓮根弐本弐十四銭等買い物の際の書上帳	受取員と柿内店の印あり	
楮紙、墨、罫紙（黒）	豆野と長谷国有林、原野等の一切の手続きを委任している		2004.1.14
楮紙、墨、切紙、二ツ綴の穴だけあいてる	表紙一枚のみ、他はなし		2004.1.14
楮紙、墨、専用紙、切紙、二ツ綴	明治四十二年十一月二十九日～四十三年までの預り通帳		2004.1.14
洋紙、活字、無地（白）、印刷物、冊子	貧困階級者調査に関する調査報告書		
楮紙、活字、印刷物（活版、二色ずり）	大正五年十一月十五日特別大演習観兵式陪観（福岡城にて）の案内、陪観者位置要図、注意事項、小為替領収証	史料群とは別に搬入	

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書（追加）

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
追加　1	「五ヶ山ダム」計画についての公開質問状	その他	1996年7月日		文化財保存佐賀県協議会石戸敏治他二名	福岡県知事　麻生渡様	
追加　2-0	封筒						
追加　2-1	發電所内平面図						
追加　2-2	書簡		昭和4年4月27日		熊本県下通町二丁目八番地（電話九の七番）　照明社　樋口浩三	西村喜三殿　外三十二名殿	封筒、本紙と異質　佐賀縣神埼郡東脊振村松隈　西村喜三様　／　熊本市下通町二丁目八番地　電気とラジオ　照明社　電話九の七
追加　2-3	断面圖						
追加　2-4	水路及供給區域一覧圖						
追加　2-5	配電板側面圖　縮尺八分ノ一						
追加　2-6	貯水槽發電機据付並水壓鐵管　縮尺五十分ノ一						
追加　2-7	放水路　縮尺五十分ノ一						
追加　2-8	石造開渠断面圖						
追加　2-9	在来堰堤断面圖						
追加　2-10	木造暗渠断面圖						
追加　2-11	電柱装柱圖　縮尺十分ノ一						
追加　2-12	水圧鉄管□布設圖　縮尺五十分ノ一						
追加　2-13	取入口平面圖　縮尺1／25						
追加　2-14	水路横断面圖　縮尺百分ノ一						
追加　2-15	木造開渠断面圖						
追加　2-16	取入口制水門						
追加　2-17	神埼則候所雨量観測表						
追加　2-18	沈澱池　縮尺五十分ノ一						
追加　2-19	水路及供給區域一覧圖						
追加　2-20	發電所内縦断圖						
追加　2-21	配電板正面圖　縮尺八分ノ一						
追加　2-22	發電所内横断圖　縮尺十六分ノ一						
追加　2-23	紙片						
追加　2-24	見積書		昭和7年12月日		福岡市博多御供所町　瀬崎鐵工所	小川内發電組合殿	
追加　2-25	給水槽沈澱槽　平面圖						
追加　3	電氣工作物竣工明細書						
追加　4	共同自家用施設ノ使用區域図記載方注意						
追加　5	發電用水利使用認可並ニ工事實施可申請書		大正年月日		佐賀縣神埼郡東背振村字松隈字小川内二千二百二十番地　杉谷兵太郎他19名		
追加　6	發電用水利使用許可申請書	その他	大正11年6月7日		佐賀縣神埼郡東背振村大字松隈字小川内　杉谷兵太郎他5名	佐賀縣知事　富永鴻殿	發電用水利使用許可申請書
追加　7-1	連帯借用證書	証文	大正11年2月16日		西村喜三、杉谷兵太郎	東脊振信用組合長　小池義治殿	
追加　7-2	連帯借用證書	証文	大正11年9月11日		杉谷兵太郎、宗雲鉄之助	東脊振信用組合長　小池義治殿	
追加　7-3	連帯借用證書		大正11年12月15日		西村喜三、西村友吉、進藤岡市	東脊振信用組合長　小池義治殿	
追加　7-4	委任状	その他	大正11年4月25日		杉谷門松、大石宅磨他15名		
追加　8	自家用電氣工作物施設変更認可申請書	その他					
追加　9		その他					
追加　10-1	通告書		大正11年12月2日		東脊振産業組合長　小池義治	西村喜三他一名殿	
追加　10-2	通告書	その他	大正11年12月2日		東脊振産業組合長　小池義治	杉谷兵太郎他一名殿	
追加　10-3	大正十二年九月廿三日協力電氣業脇儀事項	その他					
追加　11	發電所番人契約證	その他	大正13年2月21日		佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈字小川内發電所組合　代表世話人西村喜三他	受負人　築地武雄、受負保證人　伊藤喜作	
追加　12	自家用電氣用タービン水車貸借契約證	証文	大正13年1月2日		小川内自家用電燈組合員惣代　貸付人宗雲鉄之助他三名	貸受人西村喜作他1名	
追加　13	金借用證		大正11年7月18日		小川内電燈組合代表者　借主宗雲鉄之助他三名	西村喜三殿	
追加　14	書簡	書簡	3月30日		大坪三好	西村喜三殿	
追加　15	委任状	その他	大正13年月日		杉谷平太郎他四名		
追加　16	大正十四年九月五日發電所ニ関スル限手順						
追加　17-1	電気工作物施設調量表	その他	大正14年現在	大正15年			
追加　17-2	大正十五年提出電氣工作物施役調査表（其一）	その他		大正15年			
追加　17-3	通牒		大正15年7月2日		熊本通信局	電気事業者自家用電氣工作物施設者　殿	
追加　17-4	軍需調査表ニ依ル工場事業者調査表	その他	大正15年8月18日				
追加　17-5	通牒	その他	大正15年8月5日		熊本通信局	西村喜三殿	
追加　17-5	電第一四二四號通牒回答	その他	大正15年8月18日		代表者西村喜三	熊本通信局電氣課御中	
追加　17-6	通牒		昭和2年5月3日		熊本通信局	西山喜三	
追加　17-7	自家用電気工作物現状調ニ関スル件	その他	昭和2年5月25日		代表者西村喜三	熊本通信局御中	
追加　17-8	通牒	その他	昭和2年6月29日		熊本通信局	自家用電氣工作物施設者殿	
追加　17-9	用途別電力調査表	その他					
追加　17-10	通牒	通達	昭和3年12月17日				
追加　17-11	通牒	通達	昭和4年4月19日		熊本通信局	西村喜三殿	
追加　17-12	調書記載上ノ注意事項	その他		昭和3年			
追加　17-13	通牒	その他	昭和5年8月9日		熊本通信局		
追加　17-14	通牒		昭和8年5月11日		熊本通信局		
追加　18	自家用電気工作物施設変更認可申請書		昭和8年9月2日		代表者西村喜三　他三拾名	通信大臣　南弘殿	
追加　19-1-1		照会	昭和9年1月11日		熊本通信局	西村喜三殿	
追加　19-1-2		回答、案文	昭和9年2月27日		西村喜三	熊本通信局長殿	

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、活字、印刷物（活版）、B2用紙	文化財保存佐賀県協議会・佐賀の自然と文化をまもる会・森と海を結ぶ会の会長3名が五ヶ山ダム計画について質問を提出している。		
	近代の茶封筒（無記入）		
セロハン紙、墨、畳物	「縮尺十六分ノ一」と墨書		2005.9.15
洋紙、ペン、活字、印刷物（活版）、切紙	自家用電氣工作物に対する電氣施設設置に水利使用の許可期間延長の通達	封筒裏面にペンにて追記あり　施設認可大正十二年十月廿日　使用認可大正十二年十一月七日　第一条有効期間ハ認可ノ日ヨリ五ヶ年トス但シ期間満了ノヨリ六ヶ月前に期間ノ伸長を申請スルトキハ之ヲ認可スルコトアルベシ	2005.9.15
楮紙、墨、無地、畳物	「堰堤断面圖　縮尺四十分ノ一」「水路断面圖　縮尺四十分ノ一」「放水路断面圖　縮尺四十分ノ一」「水量測定場所断面圖　縮尺百二十分ノ一」「水路縦断面圖　縮尺　横六百分ノ一　縦二百分ノ一」「發電所附近断面圖　縮尺二百分ノ一」		2005.9.15
楮紙、墨、畳物	縮尺二千分ノ一　「福岡縣筑紫郡南畑村大字五ヶ山」「佐賀県神埼郡東脊振村字松隈」と墨書		2005.9.15
セロハン紙、墨、無地、畳物			2005.9.15
楮紙、墨、畳物	断面図など計4図		2005.9.15
楮紙、墨、無地、畳物	断面図など4図		2005.9.15
楮紙、墨、切紙	「長三十二間　S＝1／50」と墨書	鉛筆にて「(6)」とある	2005.9.15
楮紙、墨、切紙	「長五間五分　S＝1／50」	鉛筆「(1)」とある	2005.9.15
楮紙、墨、無地、切紙	「長四間五分　S＝1／50」と墨書	鉛筆にて「(4)」とあり	2005.9.15
楮紙、墨、無地、切紙			2005.9.15
楮紙、墨、切紙		鉛筆にて「(8)」とあり	2005.9.15
楮紙、墨、切紙		鉛筆にて「(2)」とあり	2005.9.15
楮紙、墨、無地、畳物		鉛筆にて「(10)」とあり	2005.9.15
楮紙、墨、無地、切紙	「長拾七間五分　S＝1／50」と墨書	鉛筆にて「(5)」とあり	2005.9.15
楮紙、墨、無地、切紙	「縮尺1／25」と墨書	鉛筆にて「(3)」とあり	2005.9.15
楮紙、鉛筆、罫紙（黒）、半折	大正7年～同十一年の月毎の雨量を記す		2005.9.15
楮紙、墨、無地、畳物			2005.9.15
楮紙、ペン、彩色、畳物	「縮尺二千分ノ一」と墨書		2005.9.15
セロハン紙？、墨、畳物	「縮尺十六分ノ一」と墨書		2005.9.15
セロハン紙？、墨、畳物			2005.9.15
セロハン紙？、墨、無地、畳物			2005.9.15
洋紙、無地、切紙	無記入、製図用紙か		2005.9.15
洋紙、ペン、専用紙（住所入り）、一括点数2枚	「一、瀬崎式横軸露出型タービン水車八馬力型壹台」他附属品を含めて参百五拾円。	電気のはなし　11年300円（計800円）の連帯借金13年に番委員を決めている	
洋紙、ペン、無地（白）、畳物	長さ50尺程の用水路の見取図と沈澱・給水槽の断面図		
洋紙、ペン、罫紙（青、銘なし）、綴、一ツ綴、こより、一括点数3枚	発電所の発電工事、電気工事にかかわる事柄の明細。		
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙	電気の利用区域の境界線を定めること	電気使用区域地図あり	
洋紙、ペン、罫紙（青、銘なし）、切紙、綴、二ツ綴、こより	申請書と共に別紙関係図書も一緒に綴られている。おそらく写しか下書き	水ぬれによるにじみあり	
洋紙、墨、ペン、罫紙（青、銘なし）、切紙、ホチキス2ヶ所、一括点数7枚	許可申請書の他に起業調書（23名が起業者）がある	別紙委任状も一緒にとじられている	
楮紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙	参百円を利息月二分、返済期限は大正拾壱年十二月十五日		
楮紙、墨、活字、専用紙、印刷物（活版）	参百円を月利息九厘で翌年12月迄に返済する		
楮紙、墨、活字、印刷物（活版）	八百円を月利息九厘で大正12年12月15日が期限		
洋紙、墨、罫紙（黒、銘なし）、切紙、二ツ綴、ひもなし、後欠	自家用電燈設置に要スル水利使用出願に関スル一切の件を部代理人（宗雲鉄之助他4名）に委任する		
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、二ツ綴、ホチキス、一括点数5枚	申請書の案文	追4に同じ地図あり	
楮紙、鉛筆、無地（白）、切紙	「三キロ　九百回□　四百四十円」他メモ書き		
洋紙、ペン、印刷物（活字）、活版、切紙	大正11年下半期利息拾参円五拾銭の支払いを求める		
墨、ペン、活字、印刷物（活版）、切紙	大正十一年下半期分の貸付利息拾円八拾銭の支払いを求める		
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙	外道工事ノ件、組長宅ニ五十燭一燈十二燭ト交換之件、發電所番人雇入ノ件、街燈増加之件、など箇条書11コ		
墨、罫紙（黒）、一ツ綴、一括点数2枚	・月に20円（番人給金）　・番の時間（点燈～消燈迄）　・業務内容　・契約は10年間		
墨、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、一括点数2枚	水車使用時間は昼間迄、貸借期間は満拾ヶ年、水車使用料は月3円など		
洋紙、墨、罫紙（黒）	参百円（利子1月1？）、大正11年8月末日迄		
墨、罫紙（黒、日本電機鐵工株式會社）	主任技術者派遣依頼への返信　月給拾弐円その他の条件がかいてある		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	「發電用水利使用發電開始中ノ處今回起業目的変更スルニ付該出願ニ関スル一切ノ件」を西村喜三（部代理人）に委任する	印、月日、なし。案文か？	
楮紙、墨、無地（白）、切紙	「一、水路修繕，一、主任技術者撰定，一、補欠選挙，一、下山発電所加入ニ関スル件」など、件名のみが7つ箇条書になっている		
洋紙、墨、罫紙（青）、切紙、綴、一ツ綴、一括点数2枚	調量表（施設者名、認可月日、使用目的等）と調査表其二（電線路、電燈数、出力等）が表になっている	はし書きに「大正十五年通信局提出」とあり、二ページ分墨でバツがある	
洋紙、鉛筆、切紙、一括点数1枚	施設者名、使用目的などを表にしている	17-1の下書きか	
洋紙、カーボン、無地（白）、一括点数1枚	電需調査ニ依ル工業事業場従事者数調査之件		
楮紙、鉛筆、ペン、無地（白）、切紙、一括点数1枚		17-3［通牒］の回答表だが未完。下書か。	
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、一括点数1枚	追17-3への回答記入もれ分を至急報告する旨		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙、一括点数1枚	追17-3通牒への回答		
洋紙、カーボン、切紙、一括点数1枚	自家用電氣工作物現状調ニ関スル件		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙、一括点数1枚	電第七四○號照會（工事費、組合費）		
洋紙、カーボン、無地（白）、切紙、一括点数1枚	用途別電力調査ニ関スル件		
洋紙、ペン	「大正十五年度電気工作物用途別調査」とある	下書きか	
洋紙、カーボン、一括点数1枚	軍需調査令ニ依ル工場事業場従事者数調査ノ件		
洋紙、カーボン、無地（白）、一括点数1枚	電気施設調査ニ関スル件		
洋紙、カーボン、無地（白）、切紙、一括点数1枚	「一、［備考］ニ昭和三年末現在ヲ記入スル様指示セルモ会計年度ガ暦年度ト一致セサル場合ニハ便宜スルコト」など	昭和三年中ノ決算期末ニヨルモノヲ記入	
カーボン、切紙、一括点数1枚	昭和四年中用途別電力調査ニ関スル件	ペンで「大正五年度ノ調査表ニヨリ提出ス」とある	
洋紙、カーボン、無地（白）、切紙、一括点数1枚	用途別電力調査ノ件		
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、こより、一括点数7枚	他に「自家用電氣工作物施設規則第十二條ニ依ル変更計畫書」「自家用電気工作物施設規則第十二條ニヨル計畫書」が後ろに入っている		
洋紙、活字、印刷物（活版）、一ツ綴、こより	九月廿日附申請使用區域変更之件		
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、一括点数6枚	19-1-2照会への回答の控　別紙に工事設計明細書及関係図面あり	控への別紙あり	

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：武廣邦敏家文書（追加）

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
追加　19-1-3	自家用電気工作物施設認可申請書	申請書	昭和8年9月20日		西村喜三	通信大臣　南弘殿	
追加　19-2	自家用電氣工作物施設変更認可申請書	案文	昭和8年9月2日		佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈字小川内　代表者　西村喜三	通信大臣　南弘殿	
追加　19-3-1	委任状（謄本）		昭和8年9月2日		武広金作他		
追加　19-3-2	工事落成届		昭和9年10月15日		西山喜三	通信大臣　床次竹二郎殿	
追加　19-3-3	通牒		昭和9年9月17日		熊本通信局	西山喜三殿	
追加　19-3-4	通牒		昭和9年9月15日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三他四十名	
追加　19-3-5	通牒		昭和9年11月14日		熊本通信局	西山喜三殿	
追加　19-3-6	通牒		昭和9年11月7日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三殿	
追加　19-3-7	自家電氣工作物施設認可請求書	案文	昭和9年7月17日		通信大臣　床次竹二郎殿	西村喜三	
追加　19-3-8	自家用発電氣組合規約						
追加　19-3-9	自家用電気工作物施設認可有効期間伸長願		昭和8年4月26日		西村喜三	通信大臣　南弘殿	
追加　19-3-10	自家用電気工作物施設認可有効期間伸長願ニ関スル月日訂正願		昭和8年4月30日		西村喜三	通信大臣　南弘殿	
追加　19-3-11	通牒	通達	昭和9年8月17日		熊本通信局	西山喜三殿	
追加　19-3-12	通牒		昭和9年8月10日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三外三十名	
追加　19-3-13	請書（案文）	案文					
追加　19-3-14	通牒	通達	昭和9年8月24日		熊本通信局	西村喜三殿	
追加　19-3-15	認可書		昭和9年8月10日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三外三十名	
追加　19-3-16	命令書		昭和9年8月10日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三外三十名	
追加　19-3-17	命令書	その他	昭和9年8月10日		通信大臣　床次竹二郎	西村喜三外三十名	
追加　20-1	代表者變更届（ママ）		昭和13年5月22日		西村喜三ほか39名	通信大臣　永井柳太郎殿	
追加　20-2	料金變更届		昭和13年5月23日		佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈字小川内　代表者　進藤岡市	通信大臣　永井柳太郎殿	
追加　20-3	縣統計材料ニ関スル件など		昭和9年6月11日		佐賀縣など	東脊振村小川内発電所御中など	
追加　20-4	縣統計材料ノ件		昭和14年4月5日		佐賀縣	東脊振村小川内電気組合御中	
追加　20-5	［貸借對照表］など		昭和14年4月21日		代表者進藤岡市	通信大臣　田邉治通殿	
追加　20-6	通達		昭和14年4月6日		熊本通信局		
追加　20-7			昭和15年5月3日		佐賀縣知事眞崎長平	小川内電気組合御中	
追加　21	那珂川条小川内発電用水利使用譲渡願	その他	昭和18年5月日		譲渡人　西村喜三外	佐賀縣知事　田中省吾殿	
追加　22	紙袋						

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、ペン、一ツ綴、一括点数7枚	電気の使用区域変更申請書、別紙書類として ・新規加入者並ニ組合脱退者の性名番地 ・自家用電気工作物施設規則第十二條ニヨル変更計画書 ・施設資金総額及出資方法ニ関スル説明書 ・工事概算書 ・変更設画に基づく電灯設置地図 が一緒につづられている	「此ノ控ヘ委任状綴リ己ミアリタル月日並取口取替費用記入スロ下ト筑前小川内ニ性名ノ不明ノ分アリタル為メ記入ス□□」というメモが一枚目にはられている	
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、一括点数15枚	添付書類7点と地図あり	添付書類 ①自家用電氣工作物施設規則第十二條ニヨル計画書 ②工事設計明細書 ③工事落成期限書 ④施設資金総額及其出資方法ニ関スル説明書 ⑥工事概算書 ⑥事業並収支概算書 ⑦新規加入者の姓名及地番 ⑧（第一、三、四、五号図（二は欠）→帳外れ ⑨西山喜三ヲ部代理人ト定メ左ノ権限ヲ代理セシム	2005.10.24
洋紙、ペン、罫紙（青）、切紙、帳外れ			2005.10.24
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、はずれ、一括点数1枚	電気工作物施設落成届		2005.10.24
活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、一ツ綴、帳外れ	自家用電氣工作物施設変更ノ件		2005.10.24
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、一ツ綴	電気工作物施設の変更許可		2005.10.24
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙	「別紙ノ通リ認可相成候條指令及交付候」		2005.10.24
洋紙、活字、印刷物（活版）、帳はずれ	昭和九年十月十五日附申請電氣工作物使用ノ件認可ス		2005.10.24
洋紙、墨、帳はずれ	認可請求書の案文		2005.10.24
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、帳はずれ、一括点数2枚	組合長一名、理事四名などを定めた一～十三条までの規約		2005.10.24
洋紙、墨	五ヶ年延長を申請		2005.10.24
洋紙、ペン、罫紙（青）、切紙、帳はずれ			2005.10.24
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ	自家用電気工作物施設認可有効期間伸長ノ件		2005.10.24
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ	「電気工作物左記に設営スルモノハ三ヶ月以内二改修シ落成ノ都度所管通信局長経由届出ツベシ」		2005.10.24
洋紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、一ツ綴、帳はずれ、一括点数3枚	昭和九年八月十、二十日の通牒や落成届の案文		2005.10.24
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ	「自家用発電工作物施設認可有効期間伸長ノ件、右別紙ノ通認可相成候條指令及交付候」		2005.10.24
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ、一括点数1枚	「有効期限伸長ノ件認可ス」		2005.10.24
洋紙、活字、印刷物（活版）、一括点数2枚	「施設認可有効期間伸長ノ件認可ス」		2005.10.24
洋紙、活字、専用紙、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ、一括点数1枚	「第一八七〇号認可状ニヨリ命令書ヲ下付ス」		2005.10.24
楮紙、カーボン、罫紙（黒）、半折、一ツ綴、こより、一括点数4枚	代表者を進藤岡市氏に変更する届、料金変更届も貼付	20-1～2は一括	2005.10.24
楮紙、カーボン、罫紙（黒）、半折、一ツ綴、こより、一括点数2枚	小川内電氣組合電燈料変更届	20-1～2は一括	2005.10.24
楮紙、洋紙、罫紙（佐賀県）、半折、切紙、一括点数13点	小川内発電所電力関連綴	昭和八年十二月末日現在電力・電燈量（罹型とカーボン記載2点）、昭和九年六月十三日付熊本通信局より通牒（表紙、罫紙3点、別紙2点）、昭和九年十二月四日付熊本通信局より照會（表紙、貸借對照表1点、利益金處分書1点）、昭和十年一月二十九日付熊本通信局より西村喜三殿あて通牒（施設状況報告書等に関スル件5点）、昭和十年五月六日付佐賀縣より東脊振村小川内電氣組合御中あて通達（縣統計材料に関スル件、表紙、罫紙2点）、昭和十年六月十九日付熊本通信局より西村喜三殿通牒（表紙、罫紙3点）、昭和十年十二月十三日付熊本通信局より照會（小水力発電所概要調査ニ関スル件3点）、昭和十一年五月六日佐賀縣より東脊振村小河内電氣組合宛通達（表紙十罫紙2点）、昭和十二年二月二日付熊本通信局より通牒（報告書2点、罫紙3点）、昭和十二年六月八日付佐賀縣より東脊振村小川内電氣組合御中（縣統計材料ニ関スル件、表紙罫紙2点）、昭和十一年二月五日付熊本通信局より通牒（表紙、罫紙3点、報告書2点）、昭和十三年二月一日付熊本通信局より報告書（表紙、罫紙3点、報告書1点）、昭和十三年四月十二日付佐賀縣より東脊振村小川内電気組合（縣統計材料提出ノ件、罫紙2点）	2005.10.24
楮紙、洋紙、カーボン、印刷物（謄写版）、一ツ綴、こより、一括点数3枚	電力・電燈の統計		
楮紙、カーボン、罫紙（黒）、半折、一ツ綴、こより、一括点数3枚	貸借對照表、利益金處分者		
楮紙、洋紙、カーボン、専用紙（報告書）、半折、一ツ綴、こより、一括点数6枚	自家用発電設計状況の報告書	表紙、罫紙3点、報告書2点	2005.10.24
楮紙、洋紙、ペン、カーボン、半折、切紙、一ツ綴、こより、一括点数3枚	電力・電燈の統計（昭和十四年十二月末日現在）		2005.10.24
洋紙、ペン、専用紙、一ツ綴、一括点数9枚	小川内川の水利権に関する譲渡願		2005.10.24
	紙袋（追加文書が入っていたもの）		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-1-1	東脊振村明治卅一年歳度出更正議□	案文	明治31年7月9日提出		右議決ス　村長野中豊九郎　村会議員大石己之助　同福田清一郎		
A-1-2	議桉	通達	明治37年4月6日提出	東背振村長　大石己之助　朱印アリ	右議決ス　東背振村會議長大石己之助　同村会議員宮島由章他二名 明治三十七年四月十三日		
A-2	大正六年略本暦	その他	大正5年頒行		神宮神部署		
A-3	材木作日記金渡控長	備忘	明治23年		進藤平治		
A-4	揮毫	その他	大正2年8月				
A-5		通達	明治31年6月15日		校長代理　宮島由章		
A-6							
A-7		その他		明治十四年七月寛保壬戌之冬	進藤昌一他		
A-8	賣却決定通知書	通達	昭和2年1月25日		福岡税務署長司税官　高原亥熊	西村喜三殿、進藤岡市殿	
A-9	明治三十七年度前期縣税戸数割額等級査定案		明治37年4月6日提出		東脊振村長大石巳之助		
A-10	神埼郡東背振村歳入出追加議□		明治37年4月13日		村會議員宮島由章、小田清一郎	東背振村村長　大石巳之助	
A-11	勅語（明治二十三年十月教育に関スル）進藤朱印アリ		明治23年11月25日印刷	同年同月21日6版	東京都日本橋區本町三丁目十七番地　原光三郎		
A-12	大正八年略本暦	その他	大正7年		神宮神部署		
A-13	長崎高等商業学校奨学財団設立寄附金募集趣意書	通達			設立期成会会長　田中保平		
A-14	神宮　大正七年略本暦		大正6年頒行		神宮神部署		
A-15	家庭園満經	備忘					
A-16	包紙						
A-17							
A-18	和歌	その他			藤渡舟		
A-19	雅児祝の歌	その他（和歌）	明治不迷の秋				
A-20	昭和天皇御真影			昭和二年三月五日	大阪毎日新聞		
A-21							
A-22	包紙	その他					
A-23	和歌	その他					封筒　本紙と異質　御製　謹呈　佐賀縣知事　鍋島直紹
A-24	揮毫				□山		
A-25	揮毫	その他					
A-26-1	竹図						
A-26-2	揮毫						
A-26-3	揮毫断簡						
A-27	神武天皇御尊像（写真版）						
A-28	暦	冊子	大正12年頒行		神宮神部署		
A-29	教育勅語				乃木希典謹書		開書　本紙と異質　教育勅語　乃木希典謹書
A-30	天皇陛下御馬上の図						
A-31	大福金帳	備忘	明治41年報		進藤		
A-32	澄宮崇仁親王殿下						
A-33	金米貸附簿						
A-34		書簡			長崎市本興善町九瓊林会内　長崎高等商業学校奨学財団設立期成会		封筒　本紙と異質　佐賀県神埼郡東背振村小川内　進藤久人殿　35　長崎市本興善町九瓊林会内　長崎高等商業学校奨学財団設立期成会
A-35		備忘					
A-36	揮毫						
A-37	覚						
A-38	花樹図						
A-39	揮毫						
A-40	写真	その他（写真）	昭和17年12月18日印刷		産業組合中央会		
A-41	農事簿　大正四年壱月起	備忘					
A-42	農事雇人出納帳	備忘	大正3年11月		進藤岡一　進藤朱印		
A-43					日本赤十字社		封筒
A-44	カバン						
A-45		色紙			御歌所長　子爵　入江爲守謹書		
A-46	厚紙（白紙一枚）						
A-47	明治天皇御影	その他（写真）					
A-48	皇后の写真（明治）色紙						
A-49	明治天皇御尊影				尚美堂謹製		
A-50		その他（封筒）	昭和9年10月5日		竹内久一作　中村不折謹書		封筒　神武天皇御尊影像　九州日報社発行
A-51	奉唱　四国八十八ヶ所						
A-52	揮毫						
A-53	大正九年略本暦		大正9年				
A-54	揮毫				雲譚		
A-55	揮毫						
A-56	水彩画						
A-57	先師孔子行教像						
A-58-0	木箱						
A-58-1	地所永代賣渡証		明治32年2月15日		肥前國神埼郡東背振村大字松隈百七拾番地　賣渡人近藤平治（印）	筑前國早良郡脇山村大字板屋四百拾七番地真子清右	木箱
A-58-2	地所賣渡証		明治32年5月23日		神埼郡東背振村大字松隈百六拾八番地	仝郡仝村大字仝百七拾番地進藤平治殿	
A-58-3	山林賣渡証		明治25歳1月1日		神埼郡東背振村賣主杉谷又六、証人宗雲忠八、區長大石清市郎	進藤平治殿	
A-58-4	地所永代賣渡証		明治20年1月19日		賣渡人築地順次、証人築地卯太吉	進藤平治殿	
A-58-5	地所永代賣渡証		明治31年3月23日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山千五百九番地	進藤岡市殿	
A-58-6	永代手形		明治8年旧亥2月		本人武右衛門、受人宇兵衛、同人政六	進藤要次郎殿	
A-58-7	地所賣渡証		明治20年1月19日		那珂郡五ヶ山村賣渡人築地卯太吉、同郡五ヶ山邨証人田中勝次	肥前国神埼郡松隈邨進藤平治	
A-58-8	証		明治34年旧正月27日		西依栄太郎代理同村五助（印）	進藤平治殿	
A-58-9	金受取証		（明治）27年旧12月21日		杉谷政六（印）	進藤平治殿	

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、無地、、印刷物（蒟蒻版）、竪帳、一ツ綴、こより、墨付2丁、下欠		東背振村明治卅一年度歳出更正議（_書か）進藤と墨書有　右角破れ	2003.11.13
楮紙、無地、印刷物（蒟蒻版）、切紙、下欠		右下破れ	2003.11.13
洋紙、活字、印刷物（活版）、冊子、二ツ綴、麻紐		紙こよりさげ紐付　裏表紙に進藤と墨書あり	2003.11.13
墨、横帳			2003.11.13
墨、無地、その他、一括点数１枚	漢詩「精神一到何事不成、陽気発処金石亦透」		2003.11.13
楮紙、印刷物（蒟蒻版）、竪紙	高等小学校組合会議員満期退任に付后任者を選挙するもの	一部破損	2003.11.15
楮紙、墨、罫紙（グレー）、半折？、前後欠、上欠、下欠、虫損	漢文の一部		2003.11.13
楮紙、墨、無地、罫紙（グレー）、半折、一ツ綴、こより、前欠、虫損	南部服元、中村正直などの序文の写し		2003.11.13
洋紙、ペン、罫紙（紫）、専用紙（税務署）	財産国税滞納により		2003.11.15
楮紙、印刷物（蒟蒻版）、半折、一ツ綴、こより、下欠	査定案の最後に明治三十七年四月十四日議決東脊振村會議長大石巳之□他議員２名列記		2003.11.13
楮紙、無地、印刷物（蒟蒻版）、半折			2003.11.15
洋紙、印刷物（3版）、冊子	一枚目表紙勅語 二頁勅語、朕惟フニ我皇祖…明治廿三年十月三十日御名御璽 三頁訓示、謹テ惟フニ我カ…明治廿三年十月三十一日文部大臣芳川顯正	表紙に黒印の菊の紋章がある　二頁は金の枠の中に勅語が書かれ金の菊紋章定價金弐銭	2003.11.13
楮紙、活字、無地、印刷物、冊子、二ツ綴、麻紐	こよりの下げひもあり		2003.11.13
洋紙、活字、印刷物（活版）、その他			2003.11.15
楮紙、活字、印刷物（活版）、冊子、二ツ綴、麻紐		こよりの下げ紐あり	2003.11.13
洋紙、その他、印刷物（謄写版）、小横帳、二ツ綴、こより、表紙共紙数6丁		終に「佐賀縣聯合婦人會歌」あり	2003.11.15
楮紙、無地、切紙		五言律詩か、最初と最後に朱の落款あり	2003.11.13
楮紙、無地、切継紙（3枚継）、下欠	［揮毫］墨書		2003.11.13
楮紙、墨、無地、切紙	ガイコツがすもうをとる絵入りの和歌		2003.11.13
洋紙、墨			2003.11.15
洋紙、印刷物、その他（肖像画	第壹萬五千七百参拾號附録		2003.11.13
楮紙、無地、条幅	［揮毫］□□青雲志		2003.11.13
楮紙、無地			2003.11.13
色紙	御製和歌		2003.11.13
楮紙、無地、上欠	麟鳳		2003.11.13
楮紙、墨	世外一峰居士		2003.11.15
楮紙			2003.11.13
楮紙	何處秋風至肅々送鳳群朝来入庭樹孤客最先歌		2003.11.13
	□其実不居其華	頭部断簡	
	昭和九年十月五日　九州日報附録		
楮紙、活字、印刷物、横帳、二ツ綴、こより、ひも、一括点数15枚	大正十三年略本暦		
洋紙、印刷物、横帳	朕惟フニ……御名御璽と有り	開キ封筒は紅色地に雲欄模様に菊の紋章の入った模様	2003.11.13
洋紙			2003.11.13
下げ二ツ目綴、糸、表紙共紙数62枚	真子為吉　一金四円六十銭三厘より各人々の備忘を記帳		2003.11.13
印刷物（写真版）	写真印刷		2003.11.13
罫紙（青）、二ツ目綴	金銭、米俵書上	明治三十年十二月改調進藤誠	2003.11.13
洋紙、無地、印刷物、横帳	振替用紙		2003.11.13
楮紙、墨、無地、横折、綴、糸、ひも	村山間助　大正十年亥年之住傭…より始まる備忘	4冊の通帳を1つにまとめて後ろの方は外れているのもある	2003.11.13
楮紙、断簡	上部が欠けて居る		2003.11.13
楮紙	小供の疳の虫封じ、安産、縁遠き人の男に縁ある神符、１０ヶ条の神符	咒	2003.11.13
楮紙			2003.11.13
楮紙			2003.11.13
洋紙、その他	大東亜戦軍神之像　加藤建夫少将外九名		2003.11.13
小横帳、下げ綴、麻紐	書上		2003.11.13
下げ二ツ目綴、こより	金銭書上げ		2003.11.13
洋紙、活字	御歌　日本赤十字社の封筒で菊の木と蝶の絵		2003.11.13
	革カバンのフタの一部を紐でくくる		
その他、専用紙（色紙）、印刷物	皇后宮御歌　四方の國……の御歌	色紙の印刷の柄は雲と鳳凰の図	
			2003.11.13
	勅語　明治三十八年十月十六日発布　朕か敬愛する帝国陸海軍人に告く露國講話に関する	A-48に明治皇后の写真がある	2003.11.13
	神凡の伊勢能　うちとの言柱　ゆるぎなき世を猶以能るかな	別に明治天皇の同型色紙有り　A-47	2003.11.13
	明治天皇御尊影	写真の上にパラフィン紙のカバー有り	2003.11.13
洋紙、活字、無地（黄土）、印刷物	神武天皇御尊像に就て説明文有り	封筒のみ	2003.11.13
楮紙、小横帳、一ツ綴	御詠歌の書上		2003.11.13
楮紙、無地、切紙	『鉄石』とあり	A-55が上部か　上下欠	
楮紙、小横帳	神武天皇即位紀元二千五百八十年の略歴	神宮の丸朱印あり	2003.11.13
楮紙、墨、無地	忠孝吾家之田	タテ約120cmヨコ約90cmの紙　朱色の1.5cmの角印が名前の下に有　朱色の卵形ヨコ0.8cmタテ2cmの印有り	2003.11.13
楮紙	上下が欠になって居る	A-52鉄石が下に続くか？	2003.11.13
洋紙	チューリップの水彩画	裏面には下書有	
楮紙	特伴天地道冠古今　剛述六経　垂憲萬世　の文字有り	孔子拓本	2003.11.13
	一括状況票参照		
楮紙、墨、罫紙（青）、竪帳、箱入、二ツ綴、墨付2丁		小字アリ	
楮紙、無地、罫紙（黒）、竪帳、箱入、一ツ綴			
楮紙、罫紙（青）、半折	大字前田二千百六十五番ノ九十一の山林賣渡証	小字アリ	
楮紙、罫紙（青）、竪帳、箱入、墨付2丁			
楮紙、罫紙（青）、半折		小字アリ	
楮紙、墨、専用紙（佐賀県管下）、半折、箱入			
楮紙、罫紙（青）、竪帳、二ツ綴、墨付3丁			
楮紙、墨、無地、切紙、箱入	楠木拾本の受取証		
楮紙、墨、無地、切紙、箱入	一金弐拾四円五拾厘、円の受取証		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-58-10	地所永代賣渡証		明治17年4月		那珂郡五ヶ山村賣渡人築地次助（印）同郡同村証人鬼塚重三（印）	進藤平治殿	
A-58-11	米金預り証書		明治16年3月15日		福岡県早良郡板屋村預り主真子久七郎	神埼郡西小河内村杉谷	
A-58-12	記		明治19年6月15日		佐賀郡川久保橋本栄八代り高柳善六（印）		
A-58-13	預り証		明治16年旧正月10日		早良郡板屋村本人　真字甚一郎（印）	西小河内村板屋村此講御連中	
A-58-14	杉木賣渡シ証		（明治）27年旧11月24日		杉谷政六（印）	進藤平治殿	
A-58-15	預り証		明治16年旧4月10日		板屋村預り本人真子甚一郎	此講御連中	
A-58-16	年賦受取証書		明治19年旧9月13日		石動村井上番右衛門（印）	小川内村西郵喜内殿	
A-58-17	地所永代賣渡証		明治33年7月18日		築地辰次（印）	進藤岡市殿	
A-58-18	金借用証		明治23年5月9日		筑前国早良郡脇山村大字板屋四百拾五番地真子岡市（印）	神崎郡松隈村大字西小河内進藤平次殿	
A-58-19	山林地所賣渡証		明治8年亥2月15日		神崎郡西小川内村賣主大石平七、同郡同村證人宗雲忠八（印）	神崎郡西小川内村進藤平次殿	神崎郡西小川内村字前田南山の土木地所、拾円にて永代売買
A-58-20	賣渡証		明治29年旧4月2日		早良郡脇山村大字相原鷲田杢之介、同村同字鷲田信太郎	進藤平治殿	板百五拾七坪三合六勺代金百三拾七圓九拾銭三厘の証文
A-58-21	地處賣渡之証		明治17年2月27日		賣渡人宗雲次吉、保証人大石平七	進藤平作殿	
A-58-22	地所賣渡証		明治12年9月13日		本人大石半七、受人宗雲次吉	進藤平治殿	
A-58-23	土地所建物永代賣渡証		明治33年2月5日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山千五百四拾七番地賣主築地太八	神埼郡東背振村大字松隈進藤岡市殿	
A-58-24	永代賣渡記書		明治8年亥3月4日		賣人嘉市（印）受人忠左衛門（印）同徳右衛門所役嘉平次	買主啓三郎殿	
A-58-25	永代賣渡し手形		明治8年旧亥2月		賣主当所武右衛門、受人同宇兵衛、同政六	当村進藤要次郎様	
A-58-26	未登記ノ土地所有権ニ付登記申請書		明治33年2月6日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山千五百四拾七番地所有者築地太八	福岡区裁判所老司出張所御中	
A-58-27	未登記ノ土地所有権ニ付登記申請		明治33年7月18日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山千五百九番地願主築地辰次当代人櫛橋定	福岡区裁判所老司出張所御中	
A-58-28	永代賣渡証		明治24年9月29日		筑前国那珂郡南畑村大字五ヶ山持主築地辰次（印）	筑前国那珂郡南畑村字五ヶ山賣渡人築地辰次　同国仝郡村証人筑地藤二郎　同国仝郡村証人築地廣吉	
A-58-29	地所永代賣渡		明治18年5月18日		築地諸一郎、筑地安吉	肥前国神崎郡西小河内村進藤平次殿	
A-58-30	地所永代売渡シ証		明治18年2月20日		本人大石平七、保証人宗雲忠八	進藤平治殿	
A-58-31	地所永代賣渡証		明治16年11月12日		那珂郡五ヶ山村賣渡人伊藤新蔵同郡同村証人伊藤朝吉	肥前国神嵜郡西小河内村進藤平次殿	
A-58-32	地所永代賣渡證		明治23年5月9日		筑前国早良郡脇山村大字板屋四百拾四番地売渡人真子善市	肥前国神崎郡東背振村大字松隈近藤平次殿	
A-58-33	地所永代賣渡証		明治31年12月23日		築地伊平	進藤岡市殿	
A-58-34	地所永代賣渡証		明治20年1月19日		那珂郡五ヶ山郵売渡人築地諸三郎、同郡同村証人築地卯太吉	肥前国神埼郡松隈郵　進藤平治殿	
A-59	大正八年四民の寶	その他（暦）	大正8年				
A-60	寄附申込書	照会					
A-61-1							
A-61-2	書籍						
A-62		その他（広告）	1932年1月				
A-63-1	佐賀毎日新聞　大正六年一月十四日日曜日の日附						
A-63-2	絹布						
A-64	西日本新聞						
A-65	感謝状		昭和21年11月3日		東背振村村長平又市	進藤岡市殿	
A-66	写真						
B-1							
B-2-1		証文					
B-2-2		証文			佐賀県神崎郡小川内村百七十四番進藤平治	神崎郡大曲村外三ヶ村　戸長三島佐幾平殿	
B-2-3	記	証文				肥前国神埼郡松隈村１	
B-2-4		書簡					
B-2-5		証文	23年旧4月15日		預り主宗雲久兵衛　証人仝嘉市	進藤平治殿	
B-2-6		備忘	18年以下破損之為不明		慶　仝上		
B-2-7		備忘					
B-2-8			5月3日		熊七	要左衛門	
B-2-9		目録	明治22年2月19日		進次	板谷政六殿	
B-2-10	寄留届	上申		明治21年2月	佐賀縣神埼郡小川内村百七十三番大石嘉藤治　福岡縣那珂郡五ヶ山村　末吉	那珂郡五ヶ山村外五ヶ村　戸長　八尋幾平殿	
B-2-11		備忘					
B-2-12		通達	19年5月16日		那珂郡不入道村分五ヶ村　戸長役場	成竹村　前田千太郎	
B-2-13		書簡十証文	明治20年1月		借主　築地　弁償人　築地亀吉	肥前国神崎郡松隈村　進藤平治殿	
B-2-14		備忘					
B-2-15		案文					
B-2-16		その他（図面）					
B-2-17		備忘		明治19年正月□□			
B-2-18	記		子3月15日				
B-2-19		上申	明治19年2月		九百七十三番地大石嘉平次　九百七十四番地進藤平治　九百八十二番地橋谷政六	神埼警察署御中	
B-3		書簡	9月3日		高尾源作・志げ	進藤岡一様	封筒　佐賀県神埼郡東背振村小川内　進藤岡一様
B-4-1	覚						
B-4-2		通達	17年6月30日		大曲村外三ヶ村　戸長役場（印）	小川内議員進藤平治	
B-4-3	記						

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、こより、墨付2丁	林三町の受渡証	「戸長　冨田直次郎」の承届あり	
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙			
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	壱円四拾五銭の納税証		
楮紙、墨、無地、切紙	金壱円拾四銭の預り証		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	杉木壱本（代金弐拾八円五拾銭）の売渡し証		
楮紙、墨、無地、切紙	西小河内村平兵衛殿仕立置講不足に付預り		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	「二千七百廿四番地の田」の年賦金の受取書		
楮紙、墨、無地、罫紙（青）、半折	山林九反五畝歩の売渡し	「字　浦山」の名あり	
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	金壱円の借用証		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折			
楮紙、墨、罫紙（青）、半折			
楮紙、墨、罫紙（赤）、綴、一ツ綴、墨付2丁	字豆野・弐反弐畝廿五歩を七拾円にて売渡し	欄外に「改十四号第三号」とあり	
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、一ツ綴、こより、墨付2丁	字前田弐千百弐拾七番の田七畝八歩の売渡証	「戸長執行十三郎」「筆主高尾佐七」の名、欄外に「賣丁第六号」とあり	
楮紙、墨、活字、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、こより	金七円にての永代売渡証（3ヶ所）		
楮紙、墨、無地、切紙	鹿猪谷并籠笹原山三角拾弐圃にて永代ニ賣渡		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	字豆野田地の永代売渡		
楮紙、墨、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁	字竹屋敷の土地を登記申請書		
楮紙、墨、罫紙（青）、横帳、一ツ綴、墨付2丁	字浦山の登記簿	裁判所印あり	
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	字亀ノ尾千三百五拾弐番地の永代売渡し		
墨	筑前国那珂郡五ヶ山村弐百八十壱番地を金六拾円にて売渡し		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁		奥書に「右戸長柴田泰重、右不在ニ付代理筆生築山信輔」とあり	
楮紙、墨、罫紙（青）、横帳、一ツ綴、墨付2丁		欄外に「第九拾弐号」とあり	
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	早良郡脇山村大字板屋字後川の地所賣渡	欄外に朱書にて「板金地所第参拾号」とあり	
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	「字下亀ノ尾」の山林五反拾五歩の売渡証		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、墨付2丁	同郷字坂シノの田弐畝拾弐歩の永代売渡し	「明治廿年一月廿二日八尋成平」に提出	
小横帳	紀元二千五百七十九年暦		2003.11.13
	長崎高等商業学校奨学財団資金の寄附申込書と財団設立期成会々則	申込書と設立期成会々則との2枚あり	2003.11.13
洋紙、活字	薬の広告紙で薬品名はカルヂチンと有る	広告文の大部が破損して小部が残っている	2003.11.13
洋紙、活字、竪帳	手紙の書き方等の例題文		2003.11.13
洋紙、印刷物、厚紙	クラブ美身クリーム、クラブ白粉の広告で女優の写真と宣伝文有り		
	佐賀新聞に包まれて居る絹布		
	昭和30年1月28日日付		2003.11.13
甲紙	村治に対し功績を謝す		2003.11.13
専用紙（印画紙）	老女の写真	周囲に虫喰有り	2003.11.13
	農林省茶色罫紙断簡		2003.11.13
楮紙、墨、無地	一．米六斗八升　明治廿年一月二日借入金廿三年十二月迄……借用証一札如件		2003.11.13
楮紙、墨、罫紙（青）、一括点数1枚	寄留届　福岡県那珂郡五ヶ山村千九十九番　築地爲吉	進藤平治の下に朱丸印（φ1.2cm）有り	2003.11.13
楮紙、墨、罫紙（青）、一括点数1枚	筑前国那珂郡五ヶ山村千三百五十九番ノ四字亀屋　一山林弐町弐反拾五歩　地價金拾三銭壱銭（誤記？）	五ヶ山字亀野の山林弐町弐反拾五歩の地租金三拾三銭一銭（誤記？）の書上	
楮紙、墨、罫紙（青）、一括点数1枚	昨日ハ大風雨之中ニ御見舞被降無之……		2003.11.13
楮紙、墨、罫紙（黒）	金預り証　一金六円八拾壱銭也	罫紙の柱に黒丸φ1cm有り　預り主と証人の名前の下に黒色（φ1.2cm）の印判有り	2003.11.13
楮紙、墨、横折、一括点数2枚	ゼンマイ控	四分の一程切れている	2003.11.13
楮紙、無地、横折、一括点数1枚	品物等の名前と人名を書き証す		2003.11.13
楮紙、墨、無地、切紙、下欠	証　三円七十二銭八厘　左之通正請取申候也	熊七の名の下に朱印φ1cm有り　金額のところにも有	2003.11.13
楮紙、墨、無地、罫紙（朱、銘なし）、切紙、一括点数1枚	御樽一ツ進上　右届四一歳喜祝云々	裏面に□小樽受　一米弐斗より9種と逆上に2種有り	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（青）、一括点数1枚	大石嘉藤治方へ農業奉公の為明治二十一年二月より寄留の届		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（青）、一括点数1枚	筑前国那珂郡五ヶ山村千三百五十九番地ノ四字亀尾 ー山林の面積　地価　地税を記入		
楮紙、墨、罫紙（朱）、専用紙（役場用紙）、一括点数1枚	現役満期ニ付豫備役編×の通達	戸長役場の下に角印3.5ｃｍ×3.5cmの朱印あり 五ヶ山村外五ヶ村戸長役場印とある	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（朱）、一括点数1枚	字小川内　一宅地　貳畝九歩　地價　金貳圓貳拾八銭貳厘		2003.12.5
楮紙、無地、切紙	儀右衛門　壱円七拾銭　〆　四拾五銭受取　残り壱円廿五銭　とのみ有り		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（青）、断簡、一括点数1枚、破れ穴あり	雪解て垣にまたたく水仙華　さち　外8句	罫紙の欄外に2句あって1句は横に書いてある	2003.12.5
楮紙、墨、切紙、一括点数2枚	神室之図　外室　三間ニ四間　内室　壱間二三間	神室の平面図2枚	2003.12.5
楮紙、墨、無地、横折、前欠	明治十九年正月□□　一高壱割半　金八円七十七銭也増金外4件		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（朱）、一括点数1枚、上部破れ穴	一金弐円　受取　四円右太夫三月廿日借用		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（朱）、一括点数1枚	地券紛失届	大石嘉平次の下に朱色の丸印（φ1.4cm）有り　進藤平治の下に朱色の丸印（φ1.2cm）有り　橋谷政六の下に朱色の丸印（φ1cm）有り	
	御尊母様逝去の御悔み　軽少ながら御香典御送付します。		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	名前と数量の書上、金印、○印と書いてあるが品名は不明		
楮紙、墨、無地（紫）、専用紙（戸長役場）、切紙	「村会議員解任」の通達	地名あり　大曲村外三ヶ村戸長役場専用紙	
楮紙、墨、無地、切紙	七嶋、畳糸、白砂糖外品名と銭高の書上　喜三太殿へ引合せ済		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-4-4	包紙		戊12月25日				
B-4-5	覚						
B-4-6	包紙	その他	子ノ8月吉日				
B-4-7	記	備忘					
B-4-8	記				平治	貞吉殿	
B-4-9	譜図	その他（絵図）					
B-4-10		備忘					
B-4-11		備忘					
B-4-12		その他（包紙）					包紙
B-4-13	廿四年旧正月廿九日座	備忘					
B-4-14	覚	備忘					
B-4-15	記	備忘					
B-4-16	記	備忘	2月25日				
B-4-17	覚		明治11年弟5月		右同村　進藤平治		
B-4-18	覚	備忘					
B-5-1	議方一八号						
B-5-2	意見書		昭和2年6月25日		東背振村村長小池義治外2名		
B-5-3	背振村家屋税算定方法		昭和2年6月25日		虫食いにて不詳		
B-6	揮毫		大正5年丙辰孟春日				
B-7	揮毫						
B-8	長崎高等商業学校規則						
B-9	絵図						
B-10	揮毫						
B-11-1	電報	その他	昭和9年8月29日		セキセ	モリドウオカイチ	
B-11-2	電報	その他			ツキヂ	モンドウカイチ	
B-12	御香典	その他			安永文基		
B-13			8月30日		中嶋萬治	進藤岡市様	封筒、本紙と異質　神崎郡小川内進藤岡市様仕史　八月卅日　中島萬治
B-14-1-1	御線香代　築地				築地		封筒　御線香代築地
B-14-1-2	電報送達紙				ニシムラ	ヒガシセフリムラオカハチ」シンドウオカイチ　着信番号43	
B-14-1-3	郵便はがき		9月10日		八幡市枝光日之出町四　杉谷ひさお	佐賀県神埼郡東背振小河内進藤岡市様	
B-15	覚	備忘					封筒　小川内　シンドウオカイチ
B-16	封筒						
B-17							
B-18（1～3）		揮毫					
B-19		その他（無地）					
B-20-1	記	証文	20年旧正月6日		内雇　利八	西小河内切　要太郎殿	
B-20-2	覚	備忘					
B-20-3	借用証	証文	明治23年旧4月19日		借用主　田中筆吉（印）　弁償人　築地卯太吉（印）		
B-20-4	図面	備忘					
B-20-5	地所書入証	証文	明治14年4月7日		神埼郡石動村井上長兵衛（印）受人　井上重右衛門（印）	近（進）藤平治殿	
B-20-6	覚	備忘					
B-20-7	絵図	絵図					
B-21		その他（画）					
B-22	特別税戸数割賦課に関スル件	その他（件案提出）	昭和2年6月14日		東背振村長　小池義治		
B-23	寄留届（下書）	案文		明治20年2月	福岡縣那珂郡五ヶ山村　末吉	神埼郡大曲村外三ヶ村　戸長三島佐五郎殿	
B-24	覚	備忘（金銭配分記）					
B-25	月賦金借用証	案文		明治20年旧9月15日			
B-26-1	料理講習の栞						
B-26-2	嬉野製茶製法						
B-26-3	あけぼの			昭和6年6月1日	編輯者如音　発行所あけぼの社		
B-26-4	饅頭の素ヒッピー　應用製菓配合秘傳公開						
B-26-5	家庭用料味噌醤油酢水飴羊羹甘酒類製造秘術寶典全			大正7年5月10（以下欠）	一講習會、一廣吉（一部分は欠）		
B-26-6	使用説明書				發賣元　森永配給株式會社		
B-27-1	記	備忘					
B-27-2		通達	19年5月16日		那珂郡不動入村外五ヶ村　戸長役場	成竹村　前田千太郎	
B-27-3		備忘		明治23年2月15日			
B-27-4	明治廿二年旧九月学校新築出方簿	備忘	明治22年				
B-27-5	覚	備忘	3月11日				
B-27-6		書簡	旧2月15日		福田清一郎	進藤平治様、大石甚作様	
B-27-7	記	備忘					
B-27-8		備忘		24年旧正月29日			
B-27-9	記	備忘		旧4月朔日	伍平	上様	
B-27-10	覚	備忘	旧4月朔日		山田ヤ　吉助	上様	
B-27-11	木挽喰用送巡簿	備忘		明治22年学校建築ニ付　旧10月29日ヨリ			
B-28	覚	備忘		明治22年閏12月			
B-29		その他			東背振村　小川進		
B-30	昭和四年度佐賀縣神埼郡東背振村歳入歳出豫算書		昭和4年3月15日提出		佐賀縣神埼郡東背振村長小池義治		

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、無地、切紙	「進藤平次様杉谷政六様金在中」反対側に「□弐拾五銭二厘」「利三郎掛前に勘七殿へ相渡」と書いてある		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	「寒水出タルキ一．□八百八十七尺」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	「拾両入・□□屋取」外は破損でよめず		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙、後欠	「但シ九寸位　一こい魚三斤　中原村」		2003.12.4
楮紙、墨、無地（赤）、切紙	金銭明細書上「一．米七俵代拾壱円四拾九銭四月分十二月迄」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	三味線のコード表又は楽譜か		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙、前欠、一括点数1枚	種子代書上（断片）「一．種子四斗六升ニ付代價金壱円五拾七銭壱升ニ付金三銭四厘三才　浅吉」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	掛米量目書上（断簡）		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	「八円八拾銭　杉山代金入」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、横折	座金高書上　「高金三拾九円」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、罫紙（赤）	「地券四枚地價金一．弐拾三円八十四銭五厘此地租五十九銭六厘六毛」裏に「金預り証書」の書かけあり		2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（青）	「亀蔵」「買内用．久留米撰賃．奉納板」等金銭書上		2003.12.4
墨、横折、虫損	一．壱寸五分板　三尺四寸　外4件書上げ	裏は縄ハケ当村寿助	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（黒）、一括点数1枚	惣代公撰投票　松隈村之内小川内村杉谷作平	右　大山祇官惣代人撰挙候也に落書き	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（青）、横折、一括点数1枚、虫損	世四吟　○嘉平次　代十七銭　ほか書上げ		2003.12.4
	議一八号より二四号まで大正十五年九月三十日議決ス。東背振村村長小池義治	ガリ版	2003.11.13
	上峯村、自動を本村、東背振村尋常高等小学校の教育受託内意見書		2003.11.13
印刷物（ガリ版）	標準賦課率算定方法を記ス		2003.11.13
楮紙、墨、無地、135×70cm、一括点数1枚	「春江潮水水連海平海上明月共」……文稿、破損甚大		2003.12.4
一括点数1枚	趙氏連城壁由来天下傳迷君還旧府明月滿前川進藤世外	5㎝×25㎝の白紙断片あり	2003.11.13
洋紙、活字、小横帳、一ツ綴、ホッチギス、一括点数1枚	校則第十章第六十四条まで記載		2003.11.13
上欠、下欠	辛末桂月　秋江寫（印）		2003.11.13
楮紙、一括点数1枚	慈意妙大□樹甘露法雨□□煩悩煙権僧正玄□花押		
洋紙、ペン、無地、罫紙（緑）、専用紙（電報送達紙）	大連フシミより発信「イマブジニツイタ」		2003.11.13
洋紙、ペン、無地、罫紙（緑）、専用紙（電報送達紙）	大連フシミより発信「イマブジツイタ」		2003.11.13
洋紙、墨		御香典封筒のみ	2003.11.15
楮紙、無地、切紙、一括点数1枚	老母様逝去のお悔み		2003.11.13
楮紙、無地（白）、白封筒	御線香代築地と墨書あり　その中に小さな巾袋が入っていて御香典田中		2003.11.13
楮紙、専用紙（電報送達紙）	ハハウエノゴセイキョヲイタム　ニシハラ	発信局ヒゴカガミ　番号一四　受付コ5時56分　受信コ6時23分	
楮紙、無地（黄）、専用紙（はがき）	謹みて御悔み申し上げます。……先は略儀ながら御悔みまで	壱銭五厘　1　1／2と印刷されている	2003.11.13
印刷物（謄写版）	議第二一号区長辞職認定□　議第二二号推薦案	内容記載外は破損	2003.11.15
洋紙、無地	電報の封筒		2003.11.13
洋紙、印刷物、その他、上欠、下欠、虫損	銘菓舗　柳町明商店街　鱒松月　電話西（二）五〇六五番	絵入り包装紙	2003.11.13
楮紙、墨、無地、続紙、一括点数3枚、その他	「講易見天心　清国教読　呉　會川」「□世澤莫如為善」「松風水月比清華　清国教讀　呉會川」	掛幅。落款あり。	2003.12.4
楮紙、無地、切紙、一括点数1枚	無地	料紙のみ	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、一括点数1枚	一．大麦九斗　代金壱円八拾九銭也　正ニ請取申候也	利八（印）あり	2003.12.4
楮紙、墨、その他、罫紙（赤）、半折、一括点数1枚	弐千三百七拾壱番字豆野　進藤平治	朱筆にて　一．田反別　五畝拾七歩　外記入あり	
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、一括点数1枚	一．金拾円也　但利子一ヶ月ニ付壱歩半	印紙壱銭一枚　田中筆吉　朱印　築地卯太吉　黒印あり	2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	「字豆野弐千三百七拾壱番　五畝拾四分」の土地図　一から五まで番号附し坪数書込あり　「進藤平治」朱筆で訂正・書込あり	地名あり字豆野土地図	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、一括点数2枚	「金四拾五円」借用のための土地書入。戸長、筆生の奥書あり、朱筆で横抹消線と「明治十九年十二月廿四日」と書込あり	地名あり　印紙4枚貼布	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	番地、字、名前の書上　朱筆で「元田反別五畝廿弐分」宗雲藤七	「不明」と欄外に書込あり	2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	線と点の図　線上に黒点のものと線の間に黒点のあるものもある　礎石の図か		2003.12.4
洋紙、印刷物、虫損	「元寇襲来吾軍奮戦ノ図」	磯田長秋書伯「九州日報夏季附録」	2003.12.4
洋紙、竪紙、一括点数1枚	賦課金額明示　右即日議決（後記）	東背振村長の方印有り	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（青、銘なし）、半折、一括点数1枚、その他	「農業奉公ノ為メ明治二十年二月ヨリ寄留仕候間」の下書		2003.12.4
楮紙、無地、折紙、一括点数1枚	配分全員の余りを更に個人に配分指示	甚九郎、繁吉、名有り　白紙7枚	2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折、一括点数1枚、その他	「明治弐拾年旧九月十五日借入」「月賦金借用証」案文		2003.12.4
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	「いも羹製法」「キンピラ牛蒡」など	「小川内處女會長之印」あり	
洋紙、鉛筆、便箋、切紙	「第一回は生葉三貫を六つに分け百八十度の熱度で煮り上げる」…云々		
洋紙、印刷物（謄写版）、竪帳、一ツ綴、こより、墨付4丁	「銘茶嬉野茶製法」など		
洋紙、印刷物（謄写版）、切紙	「さらし餡のねり方」「文化饅頭」「そば饅頭」の製法の解説		
洋紙、活字、印刷物（活版）、折本		破損あり、裏面に肖像画あり	
洋紙、活字、印刷物（活版）、折本状	「森永フクラシ粉・家庭用製菓、製パンの素」の説明書		
楮紙、罫紙（赤）、半折	「記」「銭」「餞」等の雑記		2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（茶、役場用紙）、半折、一括点数1枚	「本日廿五日ヨリ豫備後備役點呼同時ニ召集相成ル趣」		2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（赤）、一括点数1枚	「一金弐拾円」「同弐拾円」「同拾五円　但役場補助金」等記載		2003.12.4
楮紙、墨、鉛筆、横折、一括点数1枚	板、木、竹等建築材料書上げ		2003.12.4
楮紙、墨、横折、一括点数1枚	政六、嘉吉、又六外27人書上げ		2003.12.4
楮紙、罫紙（赤）、一括点数1枚	「下拙交換地」の件で「別紙ノ印紙に印判被下」川原大石太平宅迄送付事		2003.12.4
楮紙、墨、無地（赤）、切継紙、後欠、虫損	一．金一円二十五銭　利五銭　平亀の外書上げ	B-27-8の前か？	2003.12.4
楮紙、無地（赤）、切継紙（1枚）、一括点数1枚	金銭氏名書上「一仝一円弐五銭　利五銭　倉谷善七」「甚作講不足人」	B-27-7と関連か？	2003.12.4
楮紙、墨、無地（赤）、切紙、一括点数1枚	材料書上げ「一．四十八歩大板六口」		2003.12.4
楮紙、切継紙（2枚継）、一括点数2枚、前欠	〆弐円三拾六銭九厘　右之通り正ニ受取申候也	入院費用の書上げに朱印で（引合）あり	2003.12.4
楮紙、無地、下げ四ツ目綴、こより、12×16cm、表紙共紙数6丁（墨付き6丁）	月日、度数、人名書上		2003.12.4
楮紙、無地、折紙、横帳から欠落したか、一括点数1枚	金銭、人名書上　政六外　29名	穴跡有り	2003.12.4
一括点数1枚、上欠	上欠の封筒のみ	郵便局封筒上欠	2003.12.4
竪帳、一括点数1枚	昭和四年二月二十七日議決	13枚、昭和四年度佐賀縣神崎郡東背振村基本財産歳入歳出豫算書3枚、昭和四年佐賀縣神崎郡東背振村小学校基本財産歳入出豫算書3枚	2003.12.4

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-31	覚	その他（俳句書付）					
B-32	昭和四年度東背振村歳入歳	書簡	昭和5年6月30日		東背振村収入役高尾英輔	東背振村長小池義治殿	
B-33-1	詩箋		明治40壬子		霜済松稿		
B-33-2	墨画						
B-34	神名	案文					
B-35	算盤早算用法		明治31年3月		進藤正与		
B-36	勅題池邊鶴	その他（絵画）			九州日報		
B-37-1	覚	その他	7月20日				
B-37-2		俳句帖					
B-37-3	覚	俳句書付			霜済果人		
B-37-4	揮毫	その他			霜済米		
B-37-5	揮毫	その他					
B-38-1-1	揮毫	その他（揮毫）					
B-38-1-2	揮毫				進藤世外（印より）朱印進藤世外		
B-38-2	揮毫				進藤世外朱印による朱印進藤世外		
B-38-3	揮毫						
B-38-4	揮毫						
B-38-5-1	揮毫						
B-38-5-2	揮毫						
B-38-5-3	揮毫				朱印あり　世外		
B-38-5-4	揮毫				朱印あり　進藤世外		
B-38-5-5	揮毫				進藤世外書　朱印あり進藤世外		
B-38-6	揮毫						
B-38-7	揮毫						
B-38-8	揮毫						
B-39-1	封筒宛名書	書簡					封筒
B-39-2	俳句						
B-39-3	俳句						
B-40	俳句の作句集	その他（俳句）			暉良		
B-41	死亡届	その他（届）	昭和20年6月29日		内外医師上邦		
B-42	句題と俳句	その他（俳句進作文）					
B-43	篠栗八十八ヶ所霊場案内と書簡	書簡（案内図）	昭和18年12月		国策債券情報社	各位	
B-44	竹（水墨画）	その他（水墨画）					
B-45		案文					
B-46-1	証	証文			小川内村久米蔵		
B-46-2	記						
B-46-3	のし紙				林鶴吉		包紙
B-46-4	照第一号	照会	昭和24年3月9日		東脊振村役場	小川内区長大石清一郎殿	
B-46-5	山神社御願成就	その他（断簡）	明治11年寅8月		西小河内村		
B-46-6							
B-46-7	亡父の十年祭への案内	書簡	2月16日		従兄候　小野充吉	小河内　近藤要左衛門様	
B-46-8							
B-46-9	記	備忘	3月17日		有岡店	進藤様	
B-46-10							
B-46-11	記	備忘					
B-46-12		備忘					
B-46-13	軍用銃御検印願		明治20年5月24日		種藤喜三太（印）	佐賀県知事謙田景弼殿	
B-46-14	証				伊七		
B-46-15	記	備忘	旧12月27日		上野栄内	西小河内進藤平次殿	
B-46-16	記		6月17日		有岡岳	進藤様	
B-46-17	記						
B-46-18	記	備忘	8月30日		仁吉		
B-46-19							
B-46-20	氷ヒヤッコ賣場控長（ママ）						
B-46-21	覚	証文		6月25日			
B-46-22	覚	備忘		6月27日			
B-46-23	覚	備忘					
B-46-24	覚	備忘					
B-46-25	記		10月14日		学校	権康文吉殿	
B-46-26	記	備忘			学校	大石米作	
B-46-27	記	備忘	10月14日		学校	武廣常吉殿	
B-46-28		書簡					
B-46-29	記	備忘		4月15日			
B-46-30	覚	備忘		3月21日			
B-46-31	入級試験変更の件	照会	19年11月2日		吉田小学校庶務係	小川内分校御中	
B-46-32		委任状					
B-46-33	覚	備忘		2月29日			
B-46-34	覚	備忘					
B-46-35	和銃御検印願	上申	明治20年5月24日		神埼郡松隈村百六十四番地　宗雲鉄之助	佐賀縣知事　鎌田景弼殿	
B-46-36	記	備忘	寅2月29日		有岡店	進藤平治様	
B-46-37	軍用銃検印願	上申	明治20年5月24		進藤平治	佐賀縣知事　鎌田景弼殿	
B-46-38		書簡					
B-46-39	金貸附書（連記）	備忘	23年旧2月16日				
B-47-1	大石氏所有村中區役出席扣帳	備忘	明治23年寅ノ一月				
B-47-2	埋葬願	上申				戸長	
B-47-3	案文	書簡					

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、無地、切紙、断簡、一括点数1枚、前後欠	俳句を何点か記したもの		2003.12.4
楮紙、墨、印刷物（凸版）、竪帳、こより、一括点数1枚	昭和四年度東背振村歳入歳出決算並ニ同村基本財産等の証書綴		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	五言律詩　霜済松稿併書	「古道招顔印」の陰刻の朱印と20字の陽刻の朱印有	2003.12.4
楮紙、墨、無地、34cm×135cm	網を引いているらしい三人の男性が筆で描いてある		2003.12.4
楮紙、墨、竪紙、一括点数1枚、虫損	大山祇大神	条幅一枚に神名記入のみ	2003.12.5
楮紙、墨、無地、冊子、二ツ綴、こより、表紙共紙数30丁（墨付30丁）		左側の虫喰がひどい	2003.12.4
楮紙、墨	勅題池邊鶴のカラー印刷		
楮紙、墨、切紙、一ツ綴、こより	俳句二十一首を椿、虫など題ごとに記したもの		2003.12.4
楮紙	俳句を記した雑記帳		2003.12.4
楮紙、墨、切紙	俳句を記した書付		2003.12.4
楮紙、墨、切紙	“仁寿”と揮毫		2003.12.4
楮紙、墨、切紙	担徳と揮毫		2003.12.4
楮紙、墨、竪紙	五言絶句　馬嘶白日雲、□唱秋気来、我心渺無限、河郷空繊絅		2003.12.4
料紙、墨	七言絶句　月落鳥啼霜満天、江楓漁火対然眠、姑蘇城到寒山寺、夜半強声到客舩		2003.12.4
楮紙、墨、竪帳、一括点数5枚	七言絶句　一月人哭幾国、相値且術盃眼看、春色如流水令日、残□昨北関	その外断簡五枚あり（下書か）	2003.12.4
楮紙、墨、無地、34cm×135cm、一括点数1枚、破損甚大	七言律詩	陽刻の朱印あるが破損甚大の為判読不能	2003.12.4
楮紙、墨、無地、34cm×135cm、一括点数1枚、前欠	五言絶句　猿君属秋夜　敷歩咏凉天　山空松木落　幽人應未眠		2003.12.4
一括点数1枚	酒泉太守能剣舞高堂直溢夜撃鼓胡笳曲断人腸		2003.12.4
楮紙、墨、切継紙（3枚綴）、一括点数2枚	帳殿鬱峯嵬、仙遊實壮哉、□雲連幕掩夜火雑星向谷晴千旗出、山唱萬乗来、扈遊良可賦終乏極天才	もう一部は下書	2003.12.4
料紙、墨、切継紙（3枚継）、一括点数1枚	今霄難慎酒妄罷爲君別銜觴惜未傾瓦敷如涙雨		2003.12.4
楮紙、墨、切継紙（3枚継）、一括点数1枚	荘支黄葉落姜望自然臺海上碧空ノ断単干秋色来故兵沙塞合漢便玉濠同□客無帰日空然蕙芊摧		2003.12.4
楮紙、墨、一括点数1枚、前欠	（前欠で）乱飛鴉極目蕭條三両家（前欠）去盡山春来還発舊□□		2003.12.4
楮紙、墨、無地、34cm×135cm、一括点数1枚	五言絶句「落日互潮遊　煙波処々□　浮沈千古事　径與罔東流」		2003.12.4
楮紙、墨、無地、34cm×74cm、一括点数1枚	千字文	手習いか？	2003.12.4
一括点数1枚、左右欠	黄色城辺馬欲□□飛唖々枝□啼桟中□啼春川女碧沙如煙	左右欠の為読めるヶ所を記す	2003.12.4
楮紙、墨、無地	封筒部　小川内御連書　永南と書き　堂与さ久の書くずし練習	内容文　俳句練習の書きくずし	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数1枚	俳句　あさひさす霧とわかれて青田かな　外2句		2003.12.5
楮紙、無地、切紙、一括点数1枚	俳句　連越流れ内も青田かな		2003.12.5
楮紙、墨、無地、罫紙（青）、切継紙（2枚継）、一括点数2枚	発句を修正、抹消をも入っている俳句原稿	裏面に暉良の署名、罫紙の切紙1枚と無地の切紙と2枚入っている	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（赤）、一括点数1枚、下欠	肥前神崎郡松隈村平民杉谷吉蔵六月廿九日中風に死亡　内外医師上邦氏の届文	左下切損失	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切継紙、一括点数1枚	椿、青田、虫、水仙花、走り書き等の句題と俳句習作11句		2003.12.5
洋紙、活字、一括点数2枚	篠栗八十八ヶ所霊場案内と廃刊通知（国策情報社）		2003.12.5
楮紙、墨、一括点数1枚、上欠、下欠、虫損	竹の水墨画	右辺及全体的に虫損	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数1枚	俳句三句書上げ		2003.12.5
楮紙、墨、無地、横折	飲食代書上げ　メン1円43銭		2003.12.5
楮紙、墨、無地、竪紙	代金員数の書き上げ		2003.12.4
洋紙	のし紙一枚		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒）	農務通信三月報道に関する件の照会について		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（青）	明治十一年寅八月日山神社御願成就奉納発句集・西小河内村	用紙半分なし	2003.12.4
楮紙、墨、無地、竪紙	書の習い		2003.12.4
楮紙、罫紙（赤）			2003.12.5
料紙、無地、竪紙	白紙		
楮紙、墨、切継紙（2枚継）	金銭品名書上げ		2003.12.4
楮紙、墨、無地、横折、横帳、一ツ綴、こより、表紙共紙数2丁	氏名、石高、金高の書き上げ　拾七日受領		2003.12.4
楮紙、墨、無地、横折、切紙	一金弐拾四銭釘代他餅米代等品名代金名前の書上		2003.12.4
楮紙、罫紙（黒）	酒、筍、蝋燭、素麺、鰯、福油、椎竹等の書上げ		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（青）	軍用銃壱挺の御検印願	その他1枚の切り紙に龍重七と書いている	2003.12.4
楮紙、墨、竪紙	支出書き上げと残金額		2003.12.5
楮紙、罫紙（青）、竪紙	一金拾銭　右者難有受納仕小也		2003.12.4
楮紙、墨、切継紙（3枚継）	木材数量金銭の書上げ		2003.12.4
楮紙、墨、無地、横折	魚名、数量の書き上げ		
楮紙、墨、竪紙、切紙	記、俳句習作、金銭支出書上		2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）、竪紙	書練習		2003.12.4
楮紙、墨、切紙	氷ヒヤッコ賣場控長（ママ）		2003.12.4
楮紙、無地、折紙、前欠	商品販売控	ヒヤッコ　九厘　相手方名刺　店売の記載有り　B-46-22と同一種のもの	2003.12.5
楮紙、無地、折紙、前欠	氷等の売掛控	彦三　吉三郎　名前有り　B-46-21の文書と同一種のものと思慮される	2003.12.5
楮紙、無地、折紙、後欠	氷、ポンス等売掛控	彦三郎等の名前有り、B-46-21,22,23同一類	2003.12.5
楮紙、無地、切紙、前欠	葛葉等売掛控B-46-21～23同一類		2003.12.5
楮紙、無地、切紙	金七銭上納指示		2003.12.5
楮紙、無地、切紙	全員上納指示		2003.12.5
楮紙、無地、切紙	全員上納指示		2003.12.5
楮紙、無地、竪紙	月俸受取の件、中生徒不席等不都合有り早々帰村乞う		2003.12.5
楮紙、無地、折紙	金額、期間、人名書上	貞兵衛、辰次　名前有り	2003.12.5
楮紙、罫紙（朱）	三月廿一日の各人の出席確認カ	35人の名前	2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）	改正年級変更表		2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）	拙者伊藤竹吉を代理人とし左の権限を致させる事	落書があり正規のものではなし、下書カ	2003.12.5
楮紙、無地、折紙	二月廿九日出方長　人名連記　確認の印有り	25人	2003.12.5
楮紙、無地、折紙	人名書上	30人　大二人小八人	2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）	御届なく打過中のところ、今更御検印願出	届人の実印有り　玉目壱匁九分の共に	2003.12.5
楮紙、無地（朱）、切紙	学校用品扣	蝋燭等	2003.12.5
楮紙、罫紙（青）	軍用銃の検印無のところ、今度検印を願出たもの	進藤氏の印有り	2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）	佛事の連絡	父喜三太死去	2003.12.5
	金拾円　本人宗雲貞兵衛　受人武廣清七外二件	墨横線で抹消している　金貸付3件　2件目金六円大野岸吉　3件目金四円　森川内築地辰次	2003.12.5
料紙、墨、折紙、横帳、綴のひもが外れている	旧正月廿七日～旧三月廿十五日までのクチ焼き、カヤ切り、野焼き、学村解体、新築までの予定日にどの村役が出るか記し、修善にかかる費用の計算をしている。		
楮紙、墨、罫紙（ピンク、銘なし）、専用紙（原稿用紙）	松隈村杉谷政二妻トウが病死したため私地所への埋葬許可を求めている		2003.12.4
楮紙、罫紙（ピンク、銘なし）、専用紙（原稿用紙）	九月廿七日父喜三郎が病死し、その後の四十九日の事柄について連絡するもの		2003.12.4

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-47-4	覚	備忘	17年8月17日		近藤平次	野中豊九郎	
B-47-5	記	その他(品物書上帳)		3月25日、3月29日、4月日	有岡岳	進藤要左エ門	
B-47-6	覚	その他					
B-48	発句三首	俳句					
B-49-1	漢詩						
B-49-2	積水不可極	その他(漢詩)					
B-49-3	漢詩				世外		
B-49-4	漢詩	その他(詩文)					
B-49-5	漢詩		大正5年		孟春		
B-49-6	漢詩						その他
B-50-1	揮毫				八十八老母佐賀		
B-50-2	揮毫		昭和12年元旦		古号朴也		
B-50-3	揮毫	その他	庚子夏日保成				
B-50-1-4	揮毫						
B-51	漢詩帳						
B-52-1							
B-52-2							
B-52-3							
B-52-4	記						
B-52-5	記		10月20日		有岡店	上	
B-52-6	記						
B-53-1							
B-53-2							
B-53-3	キ						
B-53-4							
B-54	揮毫	その他(揮毫)					
B-55			大正2丑				
B-56	揮毫						
B-57							
B-58	漢詩						
B-59			昭和4年2月15日		東背振村長　小池義治	本村会	
B-60							
B-61	東背振小学校予算書		昭和5年2月8日		佐賀県神埼郡東背振村長　小池義治		
B-62-1	書簡	書簡	昭和9年9月10日	昭和9年9月11日（消印）	（筑前宇美町大石）英二	進藤岡一様	封筒、本紙と異質　表）佐賀縣神埼郡東背振村小川内進藤岡一様　裏）筑前宇美町大石英二
B-62-2	書簡		8月29日		中地十郎輔	進藤岡一様	封筒、本紙と異質　表）神埼郡東背振村小川内進藤岡一殿　裏）佐賀市下今宿六七　中地十郎輔(印)
B-62-3	書簡	書簡	9月3日	9年9月4日（消印）	（西村）隆爾	進藤叔父上様	封筒、本紙と異質　表）佐賀縣神埼郡東背振村字小川内　進藤岡市様御一同　裏）眞田水道工務所鞍山出張所　西村隆爾
B-62-4	書簡	書簡	8月29日		村正敏子、田中重松	進藤岡一様	封筒、本紙と異質　表）佐賀縣神埼郡東背振村小川内　裏）福岡市土手町田中重松　八月二十九日
B-62-5	書簡	書簡	8月28日		西村林吉	進藤岡一様	表）佐賀縣神埼郡東背振村小川内　進藤岡一様　裏）大日本人造肥料株式會社鏡工場　西村林吉
B-62-6	書簡	書簡	9月4日		京城府孝子洞一五二　杉谷光二、敏子	進藤岡市様	封筒、本紙と異質　佐賀県神崎郡東背振村小川内　進藤岡市殿　書留
B-62-7	書簡	書簡	9月5日		南茂安村　小野昌樹	神崎郡東背振村字小河内　進藤岡一殿	神崎郡東背振村字小河内　進藤岡一殿
B-62-8		書簡	8月30日		川副秀一	進藤岡一殿	神崎郡東背振村小川内　進藤岡一殿　佐賀市上田布布施　川副秀一　八月二十一日
B-62-9		回答					
B-62-10	議案		昭和2年7月15日		東背振村長　小池義治		
B-63	議第七號		昭和8年2月25日		東背振村長　小池義治		
B-64	絵画						
B-65	揮毫				進藤世外		
B-66	揮毫				世外		
B-67	絵画		大正6年1月1日				
B-68							
B-69-1	東庶方四三七号		昭和2年11月10日		東背振村村長　小池義治　印	村会議員　進藤岡市殿	
B-69-2	入学願書						
B-70		その他(俳句)					
C-1-0		その他(箱)					
C-1-1-1	案文	書簡	8月6日			松永宗敏	
C-1-1-2	時計賣渡書	証文	明治29年3月11日		青木賛二	進藤平次	
C-1-1-3	新木売渡証	証文	明治21年旧11月3日		築地徳三郎	進藤平次	
C-1-2	諸薬書記	備忘					
C-1-3	仮領収証	証文	明治28年6月28日		玉岡誓恩	東光寺檀徒御中	
C-1-3-1	假領収証	証文	明治31年11月13日		東光寺兼務方　角玄恕	東光寺檀家總代御中	
C-1-3-2	受領証	証文	明治29年7月19日		東光寺兼務　角玄恕	東光寺檀家總代御中	
C-1-4-1	明治廿九年度本山納領収証	証文	明治29年11月26日		東光寺寺務担任　角玄恕　印	東光寺担（ママ）家総代御中	
C-1-4-2	証	証文	明治31年11月6日		東光寺兼務　角玄恕　印	東光寺檀家総代御中	
C-1-4-3	明治三十年度前半季分	証文	明治30年8月1日		東光寺兼務地蔵院住職　角玄恕	東光寺檀家総代御中	
C-1-5		封筒		24年8月		宮崎由章	
C-1-6	口論約束仕スル証	証文	明治29年2月1日		武廣又七、武廣清七		
C-1-7		証文	明治22年10月31日		南畑村収入役内野恒吉	（進藤平次）	
C-1-8		証文	明治24年9月8日		南畑村収入役内野恒吉	（進藤平次）	
C-1-9-1	地價修正費		11月27日		鬼塚重三	進藤平次殿	
C-1-9-2	証	証文	11月28日		田中屋茂吉	上	
C-1-10	就学証	証文			佐賀県神崎郡弐番学区尋常中副小学校（校印）		

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、罫紙（ピンク、銘なし）、専用紙（原稿用紙）	2枚　大工仕事内容とその費用、山葵や柿など根菜物のメモ		2003.12.4
楮紙、墨、切紙、とじひもがない	三月廿五日、三月廿九日、四月の品物書上		2003.12.4
料紙、墨、折紙	三通、委任状、備忘など。		2003.12.4
楮紙、無地、墨、罫紙（青）			
	鉄馬横行～		2003.12.5
楮紙、墨、無地、竪紙、虫損	積水不可極～		2003.12.5
楮紙、墨、無地、竪紙、虫損	酒泉太守能剣舞高～		2003.12.5
楮紙、墨、無地、前欠、虫損	的園東望露～		2003.12.5
楮紙、墨、竪紙、前後欠、上欠	巴見寒梅……		2003.12.5
楮紙、墨、無地、竪紙、虫損	黄鶴西楼……		2003.12.12
楮紙、無地	尽孝守貞操		2003.12.4
	江湖詩議漫紛〻遮莫青雪与白雲出處由来心自会新生不作解嘲文		2003.12.4
楮紙		黄日不多才不親人情反覆替煩累□立心如水猶宣最前学依偏	2003.12.4
楮紙		梅可香能寃洩る夜半や霞む月梅さくや軒端に近し蕉ひ鳥	2003.12.4
楮紙、無地、竪帳、55枚、一ツ綴、木綿紐、前欠、後欠	漢詩	進藤角印有り	2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	金銭書上	半折をひろげて縦に三つ折にしている	2003.12.5
楮紙、墨、無地、竪紙	坪数書上	半折をひろげて二枚重ね	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	金銭書上	半折をひろげて三つ折にしている	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	金銭書上	半折２枚重ね下は白紙	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	品代書上	後部のりはづれ	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	金銭書上	半折	2003.12.5
楮紙	運筆の練習反故紙28枚		2003.12.5
楮紙、墨、無地、	漢詩3枚		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切継紙（1枚）	新もす他品物金銭書上	のりはずれ有り	2003.12.5
楮紙、墨、無地	碑文下書？進藤平治		2003.12.5
楮紙、墨、無地	条幅半切四枚14字上下二行七言律詩		2003.12.5
楮紙、墨、無地	漢詩13枚、反故紙1枚		2003.12.5
楮紙、墨、無地	十四字栄洲書	虫損あり	2003.12.5
楮紙、墨、無地	漢詩、五言絶句？下部破損無？		2003.12.5
楮紙、墨、切紙	漢詩		2003.12.5
罫紙（黒）、冊子、19枚、二ツ綴	昭和二年度佐賀県神崎郡東背振村歳入出決算		2003.12.5
楮紙、墨、切継紙、一括点数1枚	色紙に使用されたものか？進藤の文字が見られる。		2003.12.5
洋紙、活字、横帳、二ツ綴、こより	歳入歳出予算書		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）	御母上様御逝去の趣あけぼの誌上にて相承う。		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	御尊母様御逝去驚入る、生前御健勝の折、御見舞、日頃の念願、意を得ず申し訳なし。	下部欠	2003.12.4
洋紙、ペン、無地	御母上様御臨床の由承り居候、御落胆なさることなき様。		
楮紙、墨、無地、半折、2枚	御母上様御逝去遊ばれ驚き入り申候。何分遠き上、御葬式失礼仕り候	封筒に「書留」印あり	
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）	昨廿七日午後五時電報に接し母上様御逝去御愁傷の至り、失禮乍ら書面を以て御弔詞申候。		
楮紙、無地	御母堂様御逝去に伴う悔状		
楮紙、無地、切継紙（3枚継）	御母堂様死去に伴う悔状　御香料同封添（為替券）	書留	2003.12.5
楮紙、切継紙（2枚継）、一括点数1枚	御香料送付の連絡並におくやみの書簡		2003.12.5
洋紙、ペン、無地、切紙、一括点数1枚、虫損、φ0.5㎝2ヶ所	基本金積立金産業組合預入調　一金壱万九千五拾九圓四拾八銭九厘内記……	預入月日は大正十五年四月一日利率ハ年七分	2003.12.5
洋紙	議第二五號～第二八號の議案書		2003.12.5
洋紙、活字、冊子、4枚、一ツ綴	議案書第七号～第十号まで		2003.12.5
	慈田観音画像	主婦之友新年號附録	2003.12.5
楮紙、墨、無地	条幅半切39文字　前文が別紙に有り？　五言律詩？		2003.12.5
楮紙、墨、無地、上欠、下欠	詩の断簡？　高且断蓬のみ判読出来る	朱色の角印（1.7㎝角）2ヶ有り、1ヶは進藤の印　他の1ヶは世外の印	2003.12.5
洋紙	軍人4人絵画　佐賀毎日新聞附録　東城鉦太郎画		2003.12.5
	絵画　梅花		2003.12.5
	村会召集及会議、事件、告知ノ件		2003.12.5
洋紙、活字、無地	身体検査證及び成績證明書、人物考査表各1通有り　無記載の洋紙3枚		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、一括点数1枚	俳句2句　隠居家に燈火ほそく虫の声　さち　おたやかに露一面に青田かないし		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒、銘なし）、半折		黒紙箱（深フタの箱）一部破損	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒）、専用紙（原稿用紙）	息子を亡くした松永へのお悔状		2004.12.4
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	時計を五円五十銭にて売り渡した		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	五ヶ山村大野の築地が所有の新木を2円30銭で進藤に売渡した		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折、一ツ綴、こより、	打・切疵、しらくも等の民間療法の記		2003.12.5
表紙共紙数3丁（墨付3丁、一括点数3枚）	「一金五拾銭廿八年度前半期課金」正ニ領収付也　「一金七拾銭本山大僧日正御死去ニ付」		2003.12.5
楮紙、罫紙（赤）、半折	「一．金壱円也　宗費之内請取候也」	右端に一ツ目綴の跡の穴有	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	計金壱円五銭也　正に領収候也	一前半期分義納　一宗内諸費割　一相輪建築費	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	本護半季本山義納宗内諸責割天台大師千五百忌香料ほか、計壱円五拾六銭		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（赤、銘なし）、半折	本山義納、宗責割託費の内金三円受取		
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙	半年季義納、宗内諸費、両大会香料等計弐円三拾壱銭受取		
楮紙、墨、その他、前後欠	封筒のみ、中身なし		2003.12.4
楮紙、墨、罫紙（墨）、半折、一ツ綴、こより	明治29年8月に松隈村内で山井の境論が再びおこり、これ以上の騒動を回避するため、組合は進藤平次と杉谷政之を調停者に選び、彼らを通して調停することを誓っている		2003.12.5
楮紙、墨、専用紙（村役場）、切紙	明治廿二年度村税地租割金廿一銭六厘領収書		2003.12.5
楮紙、墨、専用紙（村役場（色青））、切紙	廿四年后半期地方税地租割、村税地価割四十六銭七厘領収書		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「〆四拾七銭弐厘」「旧十二月限り」「右十二月廿4日受取」	「田中」朱印有	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「一．三味一丁」外「正ニ受取候也」書上げ	「金受取」の朱印有	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	近藤サダ女就学証（第138号）	校印あり（地名　中副　神崎）、割印あり	2003.12.5

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-1-11	彦山参詣	備忘					
C-1-12	領収證	証文	明治29年1月22日		徳川権七	進藤平次	
C-1-13	就学証				佐賀県神崎郡弐番学区尋常中		
C-1-14	売渡証	証文	明治28年旧5月5日		小川内村売渡主　杉谷嘉吉（印）	進藤平次様	
C-1-15	覚	備忘		明治21年9月			
C-1-16	明治十七年後半期村費地方税　収入通	通達	明治17年11月		戸長役場	進藤平次殿	
C-1-17		図面の端切を再利用して包紙としたもの		22年			
C-1-18-1	証	証文	17年7月30日		旧戸長　□田眞次郎	五ヶ山村　進藤平次殿	
C-1-18-2	記	証文	明治17年12月1日		那珂郡不入道村外五ヶ村戸長役場	進藤平次殿	
C-1-18-3	記	証文	明治18年5月19日		那珂郡不入道村外五ヶ村戸長役場	進藤平次殿	
C-1-19	地方税村税、田租領収書	証文	明治22年12月2日、23年3月20日		南畑村収入役内野恒吉	（進藤平次）	
C-1-20	領収証	証文	明治23年1月15日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-21-1	田租　領収証	証文	明治22年4月10日		不入道村外五ヶ戸長　池田知三郎	進藤平次	
C-1-21-2	雑地租領収証	証文	明治23年10月20日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-21-3	地方税領収証	証文	明治24年3月4日		南畑収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-22	仮領収書	証文	明治31年旧6月7日		東光寺兼務　角玄恕	東光寺担（ママ）家総代御中	
C-1-23	明治十七年地租金上納通	証文	明治17年8月日	明治17年9月3日	（五ヶ山村外五ヶ村）戸長役場 進藤平次		
C-1-24	鑑札写シ	案文		明治22年1月16日	基肄郡養父三根郡役所	田中佑八	
C-1-25	領収証	証文	明治31年旧11月5日		宗務取締　玉岡誓恩	東光寺	
C-1-26	証	証文					
C-1-27			明治28年1月		英彦山神社宮司兼保存会長　正五位男爵　高千穂宣磨	神埼郡東背振村　進藤平治殿	
C-1-28		備忘					
C-1-29		証文	明治27年3月18日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次納	
C-1-30	領収証二枚				南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-31	領収書	証文	明治27年9月6日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-32	受取証	証文	明治21年1月22日		伊藤馬吉	進藤平次殿	
C-1-33	記	備忘	25年12月		平治	築地伊七殿	
C-1-34	証（種痘済）		明治27年4月21日		横尾練八	進藤外レ	
C-1-35	領収三通				南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-36	領収書	証文	明治27年3月18日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-37			明治27年1月8日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-38-1	領収書	証文	明治26年5月18日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-38-2	領収書		明治26年11月17日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-1-38-3	領収書		明治26年5月18日		南畑村収入役内野恒吉	進藤平次	
C-2-0	有價證券入　進藤	その他（証券入の封筒）					封筒　有價証券入　進藤
C-2-1	第二回大日本帝國政府支那事變割引國庫債券　拾圓	債券		發行日昭和14年8月21日	大蔵大臣　大蔵大臣印朱印刷		
C-2-2	第七拾壱回割増金付勸業債券金拾圓年四分利付	証文	大正8年1月		総裁志村源太郎　第七拾壱回第弐参〇弐〇番八ノ組　監査役と朱書		
C-2-3	第七拾壱回割増金附勸業債券　金拾圓	その他（債券）		大正8年1月	株式會社日本勸業銀行總裁　志村源太郎（總裁之印）		
C-2-4	第六號出資券	その他（出資券）	大正11年3月10日		小川内木炭組合　小川内木炭組合之印　角朱印	出資主　進藤岡市	
C-2-5	小川内木炭組合　金五圓	その他	大正15年2月1日		小川内木炭組合の上に同組合の角朱印がある	株券　株主　進藤岡市	
C-2-6	第参拾七號　信用株證券	その他（證券）		大正13年12月1日	佐賀市神野町　野中徹夫	進藤岡市殿	
C-2-7	割増金付第拾壱回復興貯蓄債権金拾圓	証文	昭和3年11月		株式会社日本勸業銀行総裁　馬場□一		
C-2-8	第六回据置　第0588貳壹番壹ノ組　割増金附第六回復興貯蓄債権　金五圓	その他（債券）		大正15年2月	株式會社日本勸業銀行總裁　梶原仲治		
C-2-9	債券賣渡計算票	その他	14年5月30日	14.5.30（消印）	九州債券現物團員　福岡市下鰯町八番地　第一貯蓄證券社	佐賀縣神埼郡東脊振村小川内進藤岡一	（表）佐賀縣神埼郡東脊振村小川内　進藤岡一様　（裏）福岡市下鰯町八　九州債券現物團員第一貯蓄證券社
C-2-10	郵便はがき	書簡	昭和8年10月26日		東京市麹町區内内山下町　日本勸業銀行　債券課番号登録係	佐賀県神埼郡東脊振村小川内進藤岡市殿	
C-2-11	出資證券一金拾圓也	証文	大正12年4月13日		有限責任　東背振信用購買販売利用組合　組合長理事　小池義治	組合員　進藤岡市殿	
C-2-12	第九回割増金付　割引勸業債券　金弐拾圓	証文	昭和10年4月		株式会社日本勸業銀行総裁　馬場鍈一		
C-2-13	第九回第〇八六六七八番第九回割増金附割引勸業債券　金貳拾圓	その他（債券）		昭和10年4月	株式會社日本勸業銀行總裁　馬場□一		
C-2-14	特はろも00070号　大東亞戦争特別措置貯金證書一，金拾圓也	証文	昭和18年8月6日		貯金局長	進藤岡市殿	
C-2-15	第三六七号　産業組合出資金拂込之証券　一金拾圓也		明治44年2月		有限責任　東背振信用購買組合朱の角印アリ	神埼郡東背振村大字松隈　持主組合員　進藤岡市	
C-2-16	第五五三〇号生存保険証券一、保険金額弐百圓也	証文	大正4年6月12日		東京市日本橋区元大工町十番地日本徴兵生存保険株式会社取締役社長門野幾之進	保険契約者　進藤岡市　被保険者進藤文　保険金受取人進藤岡市	
C-3	地券	証文	明治13年1月30日		長崎県主事神埼郡長　関経仲	肥前国神埼郡松隈村弐千弐百三拾壱番　進藤平次	
C-4	雑記帳	その他（ノート）					
C-5	覚						
C-6	契約之證		大正14年12月2日		日本國債株式会社	進藤岡市	
C-7	預金通帳	その他		大正15年10月8日	御即位記念南畑貯金組合長　添田朴也	進藤岡市	

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、無地、横折	英彦山参詣餞別書上		2003.12.5
楮紙、墨、切紙	3円50銭の借用証		2003.12.4
楮紙、墨、無地、切紙	進藤泰三就学証（第277号）	校印あり（地名　神崎　中副）、割印	2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	材木売渡証文（替板、丸木等23品、代金7円）	確認印アリ、小川内村、壱円印紙ツキ	2003.12.5
楮紙、墨、横折	明治廿一年の糯籾他の石数や各字の稲の面積を記録	小字地名記載あり（藤原、南之上、あみだ屋敷など）	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「一．三拾弐銭地方税村費上納の証印」	枠外に五十号の朱筆あり、上部に割印あり、□戸長役場印の朱印あり	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「廿二年不入道役場領収証入」（表）「仏間」等の部屋割略図（裏）	建築、部屋略図	2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「合計拾弐銭壱厘右正ニ受取候也」	（富田）の朱印と割印あり	2003.12.5
楮紙、墨、無地、印刷物（木版か）、切紙	「十七年度第三期」「前半期」「六銭八厘」「拾壱銭壱厘」「正ニ請取候也」	「櫛橋」「収入済」の朱印あり　「五ヶ山村外五ヶ山村戸長役場印」朱印あり	2003.12.5
楮紙、墨、無地、印刷物（木版か）、切紙	「一．金拾九銭五厘」「右正ニ請取候也」	第□五拾三号　「収入済」「櫛橋」朱印あり	2003.12.5
楮紙、墨、専用紙（村役場（赤色））、切紙	田租（廿二年、廿三年度）、地方・村税　地租割（廿三年度）領収書三通	明治廿二年田租四拾七銭九厘（第三期分）四拾七銭八厘（第５期分）　明治廿三年前半期地方・村税地租六拾弐銭五厘	2003.12.5
楮紙、墨、無地（ピンク）、罫紙（黒）	田租47銭8厘の領収証		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（黒）、専用紙	明治21年分第6期田租47銭8厘の領収証		2003.12.5
楮紙、墨	明治23年分の雑地租50銭5厘の領収証		2003.12.5
楮紙、墨、罫紙（墨）、専用紙	明治24年度分地方税31銭3厘の領収証		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	「明治31年前半季分中弐円五拾銭」仮領収書		2003.12.5
楮紙、墨、専用紙（戸長役場）、切紙	畑及各種地租壱円壱銭壱厘（４期分納）上納通（但し五拾銭六厘の第1期収入証印あり）	右肩に「第五十号」の朱書あり	2003.12.5
楮紙、墨、半折	櫨実仲買や材木・金物・米穀・茶・着物の小売の鑑札		2003.12.5
楮紙、切紙	天寇１個の代金１円12銭2厘の領収証		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切紙	金銭書上。（厳三郎外五名、〆）（四円弐十七銭八厘）		2003.12.5
洋紙、活字、専用紙（神社洋紙）、切紙、一括点数1枚	領収證、一金参拾銭　永遠保存金の寄附	高千穂宣磨の下に朱色の角印（2.1㎝×2.1㎝）有り。高千穂宣磨之印とある	2003.12.5
楮紙	廿二年分東背振役場領収証入	二つ折裏金銭書上	2003.12.5
楮紙、墨、無地、一括点数1枚	明治廿七年度地方税　一金四十五銭	朱色の角印（1.6㎝×1.6㎝）2ヶ所あり　割印2ヶ所有り	2003.12.5
楮紙、墨、無地、一括点数2枚	明治廿七年四月十八日拾五銭　明治廿七年五月廿八日四拾五銭　の二枚あり		2003.12.5
楮紙、活字、印刷物、切紙	地方税地租割弐拾銭四厘　三郡費以下村税地価割拾五銭九厘	収入役の□印有り	2003.12.5
楮紙、活字、罫紙、専用紙（役場用）、切紙	一金壱円也　懸金正ニ受取申候也		2003.12.5
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）、穴あり	辰二月　一米弐俵　辰より未迄　弐年八升…外二件		2003.12.5
楮紙、切継紙（1枚継）	佐賀県神埼郡東背振村大字松隈村百七十番地　平民平治三女	外同種（証）4枚有り　外レ明治廿五年廿七年分三男泰三長女ヤス次女サダ明治廿1年分	2003.12.5
楮紙、墨、無地	①明治廿六年三月七日金弐拾七銭九厘②明治廿六年四月四日金拾九銭九厘③明治廿六年九月十九日金五拾銭五厘①地方税地租②村税地価割③雑地租	3通同封	2003.12.5
楮紙、活字、無地（朱）、印刷物	明治廿六年度田租廿六年第五期分　一金四拾四銭九厘		2003.12.5
楮紙、洋紙、活字、専用紙（役場用）、切紙、一括点数1枚	明治廿六年田租三期分一金四拾四銭也	内野恒吉の下と金額の下に朱色の角印（1.6㎝×1.6㎝）と割印が2ヶ所有り	2003.12.5
楮紙、墨、印刷物、切紙	明治廿五年度田租廿五年度第六期分　四拾五銭九厘		2003.12.5
楮紙、無地（朱）	五十銭六厘		2003.12.5
楮紙、墨、無地、印刷物	四拾五銭九厘		2003.12.5
洋紙、無地			2003.12.5
洋紙、活字、印刷物、その他（債券）	発行價格七圓　償還期日　昭和二十四年十月八日	藤原鎌足と談山神社の絵入	2003.12.5
洋紙、無地、印刷物（2版）、その他（債券）	金拾圓の債券2枚　第七拾壱回と六拾七回　年四分利付　裏面に細く定款アリ	七拾壱回は四拾銭券17枚残　六拾七回は四拾銭券が16枚残	2003.12.5
洋紙、活字、印刷物、その他（債券）	金拾圓　年四分利附	四拾銭券17枚の残券付	2003.12.5
洋紙、印刷物	小川内木炭組合　金九拾圓	「當組合株數ノ内拾八口ノ持主タル權利ヲ有スルコトヲ證スル」	2003.12.5
洋紙、印刷物（1版）、その他（株券）	第四十八号株券　右記名者ハ當組合ノ定款ノ各條項ニ據リ当組合株數ノ内　株ノ持主タル権利ヲ有スルコトヲ証スル為本券ヲ交付	右上に朱の組合の割印あり	2003.12.5
洋紙、印刷物	一金拾圓　右金額領ノ上裏面記載ノ通リ堅ク履行可致候也	参銭の収入印紙貼付　右上角に割印	2003.12.5
洋紙、無地（肌）、印刷物、債券	御大礼記念　第拾壱回据置　第074447番　監査役　角の朱印	裏面に定款と10組分の割増金表が記載されている	2003.12.5
洋紙、印刷物	「本債券ノ發行ニ依ル収入金ハ震災地ノ復興及地方産業ノ振興ノ為必要ナル用途ニ之ヲ融通スルモノトス」他		2003.12.5
洋紙、専用紙	「種類　金額　割引9四2直組　2400」他　朱印（飯尾）（片見）	封筒宛名の横に代金引換の朱印あり　赤ペン手書きにて「代金引換金拾四圓弐拾七銭也　福岡七三五七番口座払込」と封筒表左側にあり　封筒裏とじの個所に（片見）の朱印4個あり（上に2ヶ所下に2ヶ所）	2003.12.5
無地、専用紙（はがき）	番号登録手続済通知書　登録原簿番号サ28143	債券種類番号個数等記載アリ　○の中に東京中央局切手別納郵便	2003.12.5
洋紙、無地（肌）、印刷物（1版）、その他（証券）	出資壱口分、右出資拂込済ニ付本證券ヲ交付スルモノ也	中央上部に飾り枠の中に写真があり日本帝国産業組合の父子爵品川弥二郎君とある　上部に割印アリ　證券の両脇に右産業組合は中産以下の人民の為に金融の便をと主旨が書かれ子爵品川弥二郎　左に産業組合ハ精神上ノ共同団結ト物資上ノ共同幇助ヲ以テ…伯爵平田東助とある	2003.12.5
洋紙、無地（肌）、印刷物（1版）、その他（債券）	此の債券ハ金拾圓にて売出シ償還の際金弐拾圓ヲ支拂フモノナリ　売出價格金拾圓		2003.12.5
洋紙、印刷物	賣出價格金拾圓　此ノ債券ハ金拾圓ニテ賣出シ償還ノ際金貳拾圓を支拂フモノナリ　朱印刷にて086678		2003.12.5
洋紙、無地（肌）、印刷物（１版）、その他（証書）	一金拾圓也　措置期間五ヶ年満了期間昭和二十三年八月五日		
洋紙、無地、印刷物（１版）、その他（証券）	一金拾圓也　但シ出資一口分囲数拂込金額、拂込期限領収年月日印が十回分が表になっていて十回分が領収されていない。残配当金ヲ…タルニ依リ出資皆済		2003.12.5
洋紙、無地（ウグイス）、印刷物（1版）、その他（生存保険証券）	右ハ大正四年五月十九日附申込書に対シ保険期間ノ終期15年ノ終期二至リ、被保険者ガ生存シタル時ニ於テ支拂フモノトス	保険契約者の父が被保険者長女に掛。上部に割印、角印で社印と取締役の朱印アリ	2003.12.5
洋紙、活字、専用紙（大日本帝国政府）、印刷物	地券（田三畝廿四歩、地価弐円六拾六銭）	地券表題の上に「明治九年改正」の朱書　同年月日の地券の破損断片の添え付あり	2003.12.5
洋紙、冊子	金銭出納に関するメモ		2003.12.5
楮紙、鉛筆、印刷物、半折	戦歿者遺族に対する扶助、墓、靖国合祀等の連絡事項		2003.12.5
洋紙、墨、印刷物、冊子	公債百円の引換券		2003.12.5
洋紙、ペン、罫紙（黒）、冊子	大正十五年十月～昭和二年までの貯金記録		2003.12.5

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：進藤直文家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-8	契約証	証文	大正14年12月2日		日本国債株式会社　取締役社長　竹村欽次郎	進藤岡市	表紙、本紙と異質　進藤岡市殿／契約之証／東京市京橋区元数寄屋町二丁目　日本国債株式会社
C-9	貯金通帳	証文	大正10年4月30日		御即位記念　南畑貯金組合長　添田朴也	進藤岡市殿	
C-10	随時　貯金通帳	貯金通帳		昭和2年1月14日	御即位記念　南畑貯金組合長　添田朴也	進藤岡市	
C-11	貯金通帳	証文	昭和3年10月22日		東背振信用購買販売利用組合	進藤岡市殿	表紙　組合員進藤岡市殿／当座貯金通帳／有限責任東背振信用購買販売利用組合
C-12	帝國政府公債引換券	証文	大正15年12月24日		日本國債株式会社社長　竹村欽次郎	進藤よね殿	
C-13	日本赤十字社令、定款、記章規定、社員条例、心得書	証文					封筒、本紙と同質　進藤久人殿／締盟状
C-14-0	封筒						貯金通帳入
C-14-1	保険料領収帳	その他（通帳類）		16年～18年、3年	通信省		簡易保険証書入（もともとは“松隈岡市殿”という宛名書きあり）
C-14-2	保険料領収帳	その他（通帳）		12年7月13日、18年12月等	通信局		封筒、本紙と同質　小川内進藤岡市殿
C-14-3-1	貯金通帳	その他（通帳）		昭和16年、昭和20年等	東脊振信用購買販賣利用組合	進藤宗人、進藤岡市	封筒、本紙と異質　東脊振産業組合貯金通帳
C-14-3-2	国債貯金通帳	その他（通帳）	昭和18年9月2日		東脊振信用購買販賣利用組合	進藤岡市	
C-14-3-3	領収證			昭和16年2月20日、昭和16年3月31日	小川内共有金係	進藤岡市、進藤宗人	
C-14-3-4	精算書	その他	昭和17年3月28日		東脊振信用購買販賣利用組合	進藤宗人	楮紙、カーボン、罫紙（朱）
C-14-4-4-0	封筒	封筒			佐賀縣仁比山郵便局	小川内進藤ヨネ	
C-14-4-4-1	埋葬認許證	その他（認許証）	昭和9年8月18日		佐賀県神埼郡東脊振村長　内川儀作	進藤岡市	
C-14-4-4-2	封筒	書簡			福岡縣岩戸郵便局		封筒　小川内進藤岡市
C-14-4-4-3	賣買契約書	その他（契約書）	昭和19年8月26日				
C-14-4-4-4	金預り証	証文	昭和11年1月30日		築地民吉	進藤岡市	
C-14-4-4-5	連帯信用金證書						
C-14-4-4-6	領収証	証文		昭和11年	板屋区長	進藤岡一	
C-14-4-4-7	領収證		大正12年7月2日		有限責任　東脊振村信用購買販賣組合	組合員　進藤岡市	
C-14-4-4-8	領収証	証文	昭和7年4月19日		取締役　松隈乙松	進藤岡市	
C-14-5	証券	その他	昭和23年8月15日		東脊振村農業協同組合　組合長理事　福光平吉	進藤岡市	
C-14-6	貯金通帳		昭和3年3月19日	昭和3年、昭和14年他	東脊振信用購買販売利用組合	共同浴場管理者　進藤岡市	
C-14-7	葉書	通達	昭和18年11月1日		東京市京橋區京橋三丁目第一生命保險相互會社	佐賀縣神崎郡東背振村大字松隈　進藤岡市殿	
C-14-8	主要食糧ノ配給ヲ受ケザル者ノ世帯名簿		昭和21年2月		東脊振村長（印）	小川内進藤岡市（印）	
C-14-9	保険料収帳	その他（通帳）	13年8月9日	13年8月9日他	保険院	宗雲宗人	封筒、本紙と異質　簡易保険保険料領収帳
C-14-10	日歩貯金通帳	その他（通帳）	昭和18年4月1日		株式会社安田貯蓄銀行	進藤久人	
C-14-11	肥料通帳証書	証文	昭和24年2月19日		東脊振村農業協同組合　組合長福光平吉	小川内進藤岡市	
D-1	測量図	その他					
D-2	白紙						
D-3	測量図						
D-4	測量図	その他					
D-5	測量図						
D-6	測量図	その他					
D-7	測量図						
D-8	測量図						
D-9	測量図						
D-10	測量図						
D-11	測量図						
E-1	掛幅						
E-2	掛幅				喜翁追風		
E-3	掛幅						
E-4	掛軸						
E-5	掛図						
E-6	掛幅						
E-7	掛幅				翰小川内村　藤六		
E-8	掛幅				南海鱸采運謹書　御届明治十五年十一月七日		
E-9	掛幅						
E-10	掛幅						
E-11	掛幅						
E-12	掛幅						
E-13-1	三味線の部品						
E-13-2	三味線の部品						
E-13-3	三味線の部品（胴片）２ヶ						
E-13-4	三味線の部品						
E-13-5	三味線の部品						
E-13-6	三味線の部品						
E-14	拍子木						
E-15	はがき３枚						
E-16	雑品						
F-1	掛軸						
F-2	掛軸				又学道人　趙義聞		
F-3	掛幅				胡桃　朱印あり		
F-4	掛幅						
F-5	墓碑設計図他						
F-6	掛図				朱印あり		
F-7	掛幅						
F-8	掛幅				盛平題　松蔭朱印あり		
F-9	掛軸						
F-10	紙片						

形　状	内　容	備　考	調査日
洋紙、専用紙（日本国債株式会社）、印刷物、冊子	帝国政府公債引換券、契約額面壱百円。割賦販売領収印紙。	表紙、裏表紙をつけ洋装本の体裁をとっている	2003.12.5
洋紙、ペン、専用紙、冊子	残る　大正二年十一月二十八日迄拾八円五拾参銭四厘　大正二年十一月二十八日利子四拾四銭也		2003.12.5
洋紙、ペン、専用紙、冊子	昭和弐年一月十四日預り金高金百七拾円也より同四月六日九百円也まで同十一月廿八日拂出	各頁の端に「ちりもつもりて山となる」など格言あり　裏表紙に貯金の勸め歌・勤勉の歌印刷してある	2003.12.5
洋紙、ペン、専用紙、印刷物	当座預金（昭和三年十月～昭和十四年七月）		2003.12.5
洋紙、墨、活字、印刷物、その他（契約證）、一括点数2枚	證券番号一二八八〇二号	「證券満期ノ際買戻シ致可事證明候也」の証明書あり	2003.12.5
洋紙、活字、印刷物、封筒入、その他	日本赤十字社定款等各種締盟		2003.12.5
	第一生命保険の封筒を再利用したもの。宛名“佐賀県神埼郡東背振村大字松隈二一九一　進藤宗人殿”となっている		2003.12.9
楮紙、ペン、印刷物	封筒に進藤岡市、宗人、久人、ヨネの保険料領収帳8通あり	“仁比山局集金員秋山”の印あり	2003.12.9
楮紙、ペン、専用紙（通帳）	進藤文、文子の12年7／13～18年12月までの保険領収帳が2点	“仁比山局集金員秋山”の印あり	2003.12.9
楮紙、ペン、専用紙（通帳）	昭和十六年度～二〇年までの貯金通帳と昭和十八年からの国債貯金通帳3点。		2003.12.9
楮紙、ペン、専用紙（通帳）	昭和十八年九月二日以降の国債通帳		2003.12.9
	払い込み金の領収証		2003.12.9
	樫、ナラ、木炭などの精算書（8,355円）		2003.12.9
		書留の印あり	2003.12.9
楮紙、ペン	岡市母のヨトが85歳で死去した際の埋葬認許証		2003.12.9
楮紙、墨、活字		書留の印あり	2003.12.9
料紙、ペン	進藤岡市が松隈字前田楠谷の杉立木593本を1200円で、東脊振村森林組合へ売り渡している		2003.12.9
墨、無地、半折	五ヶ山字大野の築地民吉が40円を進藤岡市から預り受けている		2003.12.9
楮紙、墨、活字、印刷物	“大字松隈弐千百九拾壱番地借主進藤岡市”のみ墨書で記入		2003.12.9
楮紙、墨、無地、切紙	昭和11年分租費1円の領収証	板屋区長の判あり	2003.12.9
楮紙、墨、活字、切紙		組合出資金11円の領収証	2003.12.9
楮紙、ペン、罫紙（青、東脊振村役場）	牟田講親掛一口文10円の領収証		2003.12.9
楮紙、活字、専用紙（証券）	農協への昭和23年～26年までの出資証券		2003.12.9
		昭和3年～14年までの共同浴場の積立通帳か	
洋紙、ペン、活字、印刷物、はがき	保険料領収証書、十月廿二日に御送付、御落掌被下候事		
洋紙、ペン、専用紙、切紙	進藤岡市以下世帯2名の名簿	裏面は「預貯金支拂記載欄」とある	
楮紙、ペン、専用紙（通帳）	13年8月9日～16年8月13日までの領収帳	“仁比山局集金人”“松本”の判子あり	
楮紙、ペン、専用紙（通帳）	安田貯蓄銀行の通帳		2003.12.9
洋紙、ペン、活字、無地、専用紙、印刷物（活版）、切紙	1反分の貯金証書壱千円分		2003.12.9
楮紙	佐第七四號　神埼郡東背振村大字松隈字大野2014番ー一　実測面積七町弐反五畝拾四歩	縮尺千弐百分之壱	2003.12.5
			2003.12.5
	字番地2307～2357番まで記入有り		2003.12.5
楮紙、無地	字大野千九百三十六番ノ二分筆図曲尺壱分ヲ以テ壱間トス		2003.12.5
	小川内字豆野全図		2003.12.5
		五番字、九瀬、二一六五	2003.12.5
	字番地1933番～1972番まで記入有り		2003.12.5
	字番2165～2269が記入有り	明治廿壱年十二月調整	2003.12.5
		豆野権藤利博二一六五ー一〇　山林　藤原　杉谷與市二一六五の九　山林	2003.12.5
		字名　長原　屋敷　山林二三六一　二三八五　原野　官有	2003.12.5
		字番地　拾壱番～五拾貳番まで	2003.12.5
活字、印刷物	天照皇大神、八幡大神、春日大神　三大神の絵あり		2003.12.9
墨	「水急不流月」	二ヶ所に陰刻の朱印有	2003.12.9
墨	「南無阿彌陀佛」	陽刻と陰刻の朱印有	2003.12.9
墨、軸破損	水墨画、百舌声…		2003.12.9
印刷物	四国八拾八ヶ所霊場本尊御影　一番より八十八番の佛像図		2003.12.9
	語餘時挙一杯酒、坐久方聞四處砧　朱印あり		2003.12.9
墨	七言絶句　「四圃山色□村園…可欽是被此別乾坤」	陰刻と陽刻の朱印有	2003.12.9
墨	帝今上天皇御名睦仁　降誕嘉永五壬子年九月廿二日即位元戊辰年八月廿七日、外に帝威あり		2003.12.9
	難有百術不及一清、録□良基朝臣之語紀元二千五百四十三年第十一月□少癸□岡吉胤朱印あり		
墨、虫損、裏側	五言律詩　夜深人静獨…　呼稽朱印あり		2003.12.9
墨、印刷物、上部破損	聖寿無彊彰仁親王題　明治天皇、皇后、大正天皇の家族の肖像画あり		2003.12.9
墨、虫損、虫損4ヶ所	天照皇大神宮、豊受大神宮、皇大神宮禰宜天見通命高前木田神主謹書朱印		2003.12.9
	胴の皮五枚		2003.12.9
	胴の内側に「田中屋宇吉」署名あり　木製で側面		2003.12.9
	１裏戊十一月とあり　２四角の穴あり		2003.12.9
	棹の部分で9個（木製）		2003.12.9
	バチ象牙4本　木製1本　破損部品4ヶ		2003.12.9
	糸の調整部品四点あり		2003.12.9
	木製で2ヶ麻紐で結んである		2003.12.9
	・進藤ヨネ様宛　陵部温泉進藤　・進藤岡市様宛　中島萬作　・進藤岡市様宛　百日元太郎		2003.12.9
	箱の破損、その他色々		2003.12.9
虫損	婦人図　着物を着る婦人図	裏折紙に細取村貞助の備忘書あり	2003.12.9
	五言絶句　□落石門静春深山鳥啼、逢僧問帰路寺在断呼西		2003.12.9
	武運長久「虎の水墨画」あり		2003.12.9
墨	梅図	陽刻、陰刻の印有　裏に「岡吉胤」の名有	2003.12.9
	筑紫郡岩戸村道善三浦乙次郎　四枚の墓碑と営農計画一枚		2003.12.9
	水墨図		
墨、破損甚大	「道得道不得三十棒」まん中にたて長に１とあり、最後に「石南」	二ヶ所に陰刻有	2003.12.9
	七言絶句　五月雪細多足繁空もの竹葉昼暮ノ…　下に水墨画あり		2003.12.9
	「昇」の一字	上の軸なし　左右の張紙はずれ	2003.12.9
虫損			2003.12.9

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-1	雑	備忘		明治廿7、廿8、廿9年			
A-2	手習兒家段　再版嘗原傳授四段目	その他			□□船町□□屋清助板		
A-3-1	立毛（立木）補償契約書	契約書	昭和48年1月17日		神埼土木事務所長　菖浦法明	大石安衛	
A-3-2	土地売買契約書	契約書	昭和48年		神埼土木事務所長　矢川義明	大石安衛	
A-3-3	立毛（立木）補償契約書		昭和48年		矢川義明	大石安衛	
A-3-4	土地売買契約書		昭和48年1月17日		菖浦法明	大石安衛	
A-4	土地所有権移轉登記嘱託書		昭和11年11月21日		熊本營林局長　中金鎬三	佐賀区裁判所仁比山出張所	
A-5-1	立毛（立木）補償契約書	その他	昭和44年		土井未年	大石安衛	
A-5-2	土地売買契約書	その他			土井未年	大石安衛	
A-6-1	境界確定のための立会通知書	その他	昭和36年11月21日		熊本営林局長　細太郎	大石甚作	
A-6-2	境界確定のための立会通知書	その他	昭和36年11月23日		熊本営林局長　細太郎	大石安衛	
A-7	不要存置国有林野売拂願	その他	昭和2年10月1日		大石タツ	熊本林営局	
A-8	名刺	その他					
A-9	賣渡通知書	その他	昭和25年12月5日			大石安衛	
A-10	團七敵討	その他			安田和男		
A-11	褒状	その他	明治29年11月15日		東背振村農会長　野中豊九郎	大石清一郎	
A-12	土地所有権移転登記嘱託書		昭和3年5月15日		熊本営林局長　貴島圭三	佐賀区裁判所仁比山出張所	
A-13	雑						
A-14	雑	その他			水嶋ト也之成		
A-15	師範学校編輯　小学読本	その他	明治7年8月		文部省刊		
A-16	修身教授掛圖教授解巻之下	その他	明治19年5月		甫守謹吾、山崎登		
A-17	石川縣第一女子師範学校纂輯　くりやのこ詠元	その他	明治13年3月		発行書肆；金沢区安江町近田太平		
A-18	新選珠算精法	その他	明治12年4月		駒野政和		
A-19	小学中等科読本巻ノ三	その他	明治18年2月17日		原亮三、金港堂		
A-20	高等小学読本巻之二	その他	明治20年12月1日		辻敬之、普及舎		
A-21	寶文館編輯　新訂實業青年国語漢文読本	その他	大正元年8月		寶文館		
A-22	和漢西洋書籍寶捌屋	その他	明治8年		文明堂田原新助		
A-23	改正六論衍義大意全	その他	明治14年7月		長崎縣師範学校蔵版		
A-24	小学記事作文五千題	その他	明治12年		山中市兵衛　甘泉堂		異質
A-25	雑	備忘					
A-26	普通裁縫教授書		明治13年5月		渡邊辰五郎、前川善兵衛、石川商店		異質
A-27	読本	その他					異質
A-28	師範学校編纂　地理初歩	その他	明治7年		文部省刊行、和泉屋市兵衛		表紙、異質
A-29	女礼式三、四						
A-30		その他					
A-31	小學修身訓（内題）		明治33年12月26日訂正再版發行	學海指針社編			
A-32	廣島縣学務課編纂　小學女子習字帖	その他	明治14年5月		巻菱潭		同質
A-33	小學讀本（見返し）巻五		明治15年6月　出版發兌		文部省		
A-34	小學女子書簡文梯（見返し）		明治15年10月新彫		中郵秋香編述小中郵清矩校閲		
A-35	長嵜縣師範學校編輯　消息往來讀本	その他	明治14年3月		丸家善七		
A-36	読本		（江戸）				
A-37	増補中等作文五百題（巻之上）		明治18年編者識		福井淳光生編（見返し）		
A-38	読本	その他					
A-39	小學中等科讀本巻ノ二（内題）		明治18年3月24年三版		内田嘉一編		
A-40	小學諸禮式全		明治15年4月出版		近藤瓶城編纂		
A-41	女礼式九、十						
A-42	世話千字文		文化10年酉12月吉日訳之		大石嘉平治		
A-43	元三判断本	その他	文化6年巳己孟春		菱屋		
A-44	諸儒註解古文眞寶前集目録巻之上	その他					
A-45	小學讀本巻三		明治7年8月改正		師範學校編纂（田中義廉編輯、那珂通高校正）		
A-46	和漢朗詠集巻下		弘化5年戊申正月發行		山中佐太郎校、江戸書林日本橋北十軒店播磨屋勝五郎		
A-47	小學女子書簡文梯（見返し）		明治15年10月新彫		中郵秋香編、小中郵清矩校		
A-48	大福帳	その他	大正10年2月至大正11年度		大石氏		
A-49	書翰	書簡	（昭和）16年3月25日（消印）		玄	叔母上様	福岡縣糟屋郡宇美町原田柳原社宅　大石あや子様／佐賀県東川副村諸富陣内方　築山玄子
A-50	書簡	書簡	1月27日		築山信胤外家族一同	大石保衛殿外御家中御一同様	大石保衛殿　（表）福岡縣糟屋郡宇美町柳原社宅六ノ二　（裏）新京関東軍司令部け八七　築山信胤
A-51	書翰	書簡	昭和12年7月1日		築山信胤	郷里の皆様へ	福岡縣糟屋郡宇美町原田　大石勇殿親展／關東軍經理部東寧派出所　築山信胤
A-52	手習	その他					
A-53	書簡	書簡	2月4日		田中信	大石保衛	東京市馬込町天沼弐番地西村商會大石保衛様／（裏）佐賀神埼　田中信
A-54	書翰	書簡			大石多津子（封筒）	大石保エ様（封筒）	東京市外馬込町天沼二番□西村錠前製作所ニテ　大石保エ様／神埼郡東脊振村字小川内ヨリ　大石多津子
B-1	写真		大正4年12月小旬撮影（裏墨書）		久留米市新町樋口		
B-2	写真						
B-3	写真						
B-4	写真						
B-5	写真						
B-6	写真						
B-7	写真	その他	大正12年				
B-8	写真				奉天山本		
B-9	写真5点						
B-10	写真				肥前國佐賀市八幡小路招魂社前　藪内寫		
B-11	写真						
B-12	写真						

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、墨、小横帳	明治廿七～廿九年までの金銭出納帳、「一、金五銭柿密柾代」「一、金二銭ヒゲソリ代」など		
楮紙、活字、書籍、二ツ綴、こより、前欠	詩吟か何かの教本	裏表紙に「山印、石丸氏　叶印」の書付あり	
洋紙、カーボン、活字、活版、切紙	県道工事の為、桧ノ木24本を処分した際の補償書		
洋紙、カーボン、活字、活版	県道工事に必要な土地についての売買契約状（字前田の山林）		
ペン、活字、活版、切紙	県道工事の為前田の杉16本を処分する際の契約書		
洋紙、カーボン、活字、活版	県道工事に伴い、字前田の山林を売却した際の契約書		
カーボン、活字、活版、切紙	字豆野の原野（大石タツ所有）について		
	早良～中原線施設関連工事の為字松隈の立木の補償		
	早良～中原線施設関連工事の為の土地の売却（山林）		
ペン、活字、専用紙、活版、切紙	字松隈九瀬谷の国有林野と個人林の境界確定	印鑑及び図面証拠類携帯するように、とある	
ペン、活字、専用紙、活版、切紙	字松隈九瀬谷の国有林野と個人林の境界確定の立会		
洋紙、ペン、活字、専用紙、活版、切紙	字豆野の原野3畝14歩の買得を申請したが林道敷設該当地であったため、却下された	箋付あり。売却見合せの旨が記されている。	
洋紙、活字、活版、切紙	医学博士林敢為の名刺	ペンで「大石タツ殿を御紹介申上げます（中略）六月三十一日」とある	
洋紙、カーボン、活字、活版	字豆野の原野（採草地、宗雲幾市外26名所有）を大石氏へ売渡した		
楮紙、墨、書籍、二ツ綴、こより	奥州仙臺敵討の変		
楮紙、墨、切紙	稲作立毛共進会の際の褒状		
洋紙、ペン、活字、活版	原野（字大谷原）の登記移転		
楮紙、墨、版木、二ツ綴、ひも	百人一首（絵付）等入っている。教本カ		
楮紙、墨、冊子、二ツ綴、こより	萬祝ひの次第、縫物の次第、等家伝の心得をまとめたもの。教本カ	A-18女礼式三、四と同類。A-18の目次によれば、A-14は女礼式五、六	
楮紙、活字、版木、冊子、書籍、三ツ目綴、こより	教科書		
楮紙、活字、版木、書籍、四ツ目綴、こより	修身のテキスト		
楮紙、活字、版木、冊子、書籍、四ツ目綴、こより	料理のテキスト	「佐賀郡修理田部小学校」朱印アリ	
楮紙、活字、版木、冊子、書籍、四ツ綴、こより	珠算の教本		
楮紙、活字、版木、冊子、書籍、四ツ目綴、こより	「第一課秀吉朝鮮ヲ伐ツ」etc，中等科の読本		
楮紙、活字、印刷物（木版）、四ツ目綴、こより	著者池永厚、西村正三郎、読本（徳川時代、林子平、高山正之等の話）	表紙に「中口小学校中村六太夫」とある	
洋紙、活字、印刷物（活版）、冊子、書籍、ひも	読本	子供の字で「ひさいち」の落書あり	
楮紙、活字、印刷物（版木）、冊子、書籍、四ツ目綴、ひも	日用文注解、時候案文、などの教本		
洋紙、活字、版木、冊子、書籍、四ツ目綴、ひも		裏表紙に墨書で“高尾校”とある	
楮紙、活字、版木、書籍、四ツ目綴、ひも	作文の題例や時候のあいさつなど		
楮紙、墨、冊子、二ツ綴、こより	薬草のせんじ方が書いてある		
楮紙、活字、冊子、四ツ目綴、ひも	裁縫の教本		
活字、その他、木版、ひも	・太刀折紙式調根　・字海節用大林綱目　・名乗字　等　何らかの教本と思われる		
楮紙、印刷物（版木）、冊子、四ツ目綴、ひも	地理の教本	表紙に「大石清一」と墨書あり	
楮紙、活字、書籍	三、萬躾の次第　四、五節句の次第		
楮紙、墨、書籍	装束の次第、化粧の次第	A-29と同類。A-29の目次によればA-30は女礼式七、八となる	
楮紙、無地、木版、書籍、四ツ目綴、糸			
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、糸	習字の教本		
楮紙、その他、無地、木版、書籍、四ツ目綴、糸		“四国霊場七十番本山寺勧進處」の証書挿入（一丁目）	
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、糸			
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、糸		奥付に明治十六年一月廿八日宗雲松吉、裏表紙に宗雲半吉と墨筆あり	
その他、木版、書籍、四ツ目綴、ひも	「当世艶物誘い」「駿河婢女」などの表題あり		
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴	「四季書牘」「日用尺牘」などの篇名あり		
楮紙、墨、書籍、五ツ目綴、糸	小児の育児書。病気の際の薬草調合法もある。		
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、ひも	「日光足ラザレバ血色青シ」「財ヲ聚ムルニ道アリ」など	前表紙見返しに「奥賀村田中俊八」とあり	
楮紙、その他、木版、書籍、三ツ目綴、ひも	「起居ノ部」「取扱ノ部」とあり		
楮紙、墨、書籍、四ツ目綴、糸	産所の次第九、書文の次第十	詳目はA-29にあり	
楮紙、墨、無地、横帳、一ツ綴、こより	「家内資人入嫌仕様」「水火なりの仕様」など		
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、糸、虫損	読本	表紙、裏表紙に「東光寺」と墨筆あり	
楮紙、その他、木版、書籍、四ツ目綴、こより、虫損	教本		
楮紙、活字、無地、木版、書籍、四ツ目綴、糸			
楮紙、活字、無地、木版、書籍、四ツ目綴			
楮紙、活字、無地、木版、書籍、四ツ目綴、ひも			
楮紙、墨、横帳、下げ二ツ目綴、ひも	「七日一、金八円〇一銭五分　旧正月之買物」「八日一、金五円也　大石志作ニ貸付」		
楮紙、ペン、罫紙（黒）、切紙、同折、封筒入	二月七日に女子を無事出産など近況報告		
洋紙	新年の挨拶、五人の子供たちの近況報告		
楮紙、その他、無地、謄写版、切紙、封筒入	「五月廿日附、露満國境ニコリスクと相対する地点に転勤」等近況報告		
楮紙、墨、切紙	新年、目出度、御祝事などが記されている		
	快気報告		
洋紙、鉛筆、ペン、専用紙（西村式復興錠製作所）、封筒入	近況報告及び拾壱円弐銭七厘の領収書など	同封の領収書に「六年二月六日」とあり、肖像写真1点入	
	男子軍服二名		
	計11名家族写真（書斎）		
	「榮信公司」前にて家族含め計23名の集合写真（従業員か）		
	榮信公司（度量衡を扱う店）の前にて23名の記念写真、上海にて撮影カ	裏に「菊川（カ）」の刻印あり	
	「榮信公司」前にて家族含め計24名の集合写真		
	「榮信公司」前にて家族含め計19名の集合写真		
	台紙裏に「大正十二年六月十三日撮影、長野縣南安曇郡梓村鎮座村社大宮熱田神社参拝記念」とある。50名以上の男性の集合写真		
	男性4名（うち2名軍服）		
	老婆、老夫、学生（2名）計3点　集合写真1点　母子写真1点		
	家族写真（計5名）		
	男性2、女性2名の記念写真		
	男性2名の写真	「T. TAMAGAWA　SHANGHAI　川玉」の刻印あり	

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-13	写真						
B-14	写真				玉川寫眞館		
B-15	写真				玉川寫眞館		
B-16	写真	その他			昭和17年		
B-17	写真				大牟田役場脇　伊藤寫眞館		
B-18	写真	その他					
B-19	写真						
B-20	賣渡證		昭和26年7月5日		佐賀縣神埼郡東脊振村松隈　賣渡人西村克比古（印）	大石進殿	封筒、異質　向山書類
B-21	書簡		3月29日		大石嘉作	大石保衛	
B-22	葉書		昭和27年				神埼郡脊振山小川内　大石阿や子様／佐賀市赤松町一九九宇部宮庫クニ
B-23	書翰		昭和31年9月11日（消印）		横田　築山信昭（封筒）	保衛様	封筒、異質　東背振村小川内大石保衛様
B-24	書簡	書簡	昭和12年3月1日		信胤	伯母上	福岡縣糟屋郡宇美町字原田大塚様方　大石綾子様／（裏）関東軍経理部綏芬河出張所
B-25	手翰	書簡	昭和12年1月1日		於露満国境ポクラコチャイ　信胤	叔母上様	佐賀縣神埼郡東脊振村字小川内　大石綾子殿親展／満州国浜江省東寧縣綏芬河關東軍経理部出張所　築山信胤
B-26	書簡	書簡	1月1日		築山信胤、同玄子外一同	大石御家中様	福岡縣糟屋郡宇美町柳原社宅大石綾子殿／（裏）関東軍経理部綏芬河駐在員詰所　築山信胤
B-27	書簡	その他			大石母	大石保衛、同多津子	東京市馬込町寺郷二九七五西村浜夫方　大石タツ子様／（裏）東背振村小川内　大石アヤ子
B-28	書翰	書簡	昭和4年2月17日		保ヱ、タツ	御母上様	佐賀縣神埼郡東背振村松隈小川内　大石あや殿／市外馬込町天沼二　大石保ヱ　弐月十七日
B-29	書簡	書簡	昭和5年12月6日		たつ	御主人様	東京外馬込町天沼弐番地□哲夫様方　大石保衛様（裏）東背振村小河内　大石たつ
B-30	書翰		16日		たつ	御主人様	東京都外馬込町天沼二西村様宅ニテ　大石保衛様／福岡市上屋町森下病院　大石たつ
B-31	書翰		11月5日		大石嘉作	大石保衛様	東京市外馬込町天沼□番地西村哲夫様方　大石保衛殿親展／十一月五日　佐賀縣神埼郡東セ振村大字松隈小川内　大石嘉作
B-32	書簡	書簡			たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼二番地西村様宅ニテ　大石保衛様／（裏）神埼郡東背振村字小川内　大石タツ
B-33	書簡	書簡	昭和6年2月6日		たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼弐番西村錠前製作所ニテ大石保衛様／（裏）神埼郡東脊振村小川内ヨリ　大石たつ子
B-34-0	封筒						
B-34-1	書翰		12月26日		兄（嘉作）より	大石保衛殿	封筒　34-0
B-34-2	書翰		（昭和5年）12月25日		西村吉郎？	大石保衛君	34-0
B-34-3	書翰		12月25日		たつ	御主人様	34-0
B-35-1	保存登記書類入	備忘					（受取人）佐賀縣神埼郡東脊振村小川内　大石アヤ様／（差出人）東京市外馬込町天沼弐番地　大石保衛
B-35-2	土地売渡証書		明治33年5月24日		宗雲慶太	大石雄一郎	
B-35-3	賣渡証書	証文	大正14年5月15日		西村友吉	大石保衛	
B-35-4	賣渡証書	証文	大正14年5月19日		宗雲大造	大石保衛	
B-35-5	土地所有權移轉登記申請書	申請書	大正14年5月20日		大石タツ、大石保衛	佐賀區裁判所仁比山出張所	
B-35-6	土地所有權保存登記申請書		大正14年5月20日		大石タツ、大石保衛	佐賀區裁判所仁比山出張所	
B-35-7	雑						
B-35-8	地目変換届	その他	昭和24年4月		大石保衛	鳥栖税務署長	
B-36-0	包紙		（昭和）18年12月29日（消印）		熊本營林局	福岡縣粕屋郡宇美町柳原社宅内	
B-36-1	境界査定立會通知書		昭和18年12月18日		熊本營林局長營林局技師　大田勇治郎（公印）	大石タツ殿、大石保衛殿、大石清一郎右相続人大石保衛殿	B-36-0
B-36-2	建物更新共済証券		昭和32年3月31日		東背振村農業共済組合長　古川鷹一（公印）	東脊振村大石進殿	B-36-0
B-36-3	境界確定のための立会通知書		昭和36年11月29日		熊本営林局長　細太郎（公印）	大石保衛殿	B-36-0
B-37	土地保存登記類		明治44年5月30日		神埼郡東脊振村大字松隈東脊振村長　小池義治（公印）	同村大字松隈武千百八拾五番地　大石保衛殿	土地保存登記書類入
B-38	書簡	書簡	7月18日		築山信胤他一同	大石保衛殿他御家中一同様	封筒、異質　福岡縣粕屋郡宇美町勝田砿業所柳原社宅六ノ二　大石保衛様／（裏）新京関東軍司令部築山信胤
B-39	書簡	書簡	1月29日		大石保衛殿外御家中様	築山信胤	福岡縣糟屋郡宇美町柳原社宅六ノ二　大石保衛殿親展／（裏）新京関東軍司令部けい七　築山信胤
B-40	書翰		紀元2601年元旦		上海組田中家一同	宇美組大石御老母様大石保衛殿外御一統様侍史	封筒、異質　福岡縣糟屋郡宇美町三菱柳原社宅六ノ二　大石保衛殿／上海密勤社七十三号　田中信
B-41	書簡	書簡	9月18日		築山	大石保衛様	東京市外馬込町天沼二番地六親商會内大石保衛様／（裏）佐賀縣神埼郡東背振村横田　築山信輔
B-42	書翰		昭和14年9月7日		□清より	大石様一同	
B-43	通知	通達	5月12日		小川内青年会長青木敏美（公印）小川内處女会長青木敏美（公印）	大石保衛殿	
B-44	書翰		1月28日		内科医田中達馬	大石安衛殿	封筒、異質　福岡縣粕屋郡宇美町柳原社宅大石安衛殿／福岡縣田川郡川崎町日之出町田中達馬　一月二十九日

形　状	内　容	備考	調査日
	家族（父、母、息子2人）写真		
	婚礼写真		
	結婚写真	墨書にて「田中信隆結婚新婦記念撮影」とあり	
	結婚式の写真2枚　①新郎新婦2人　②家族も含めて11名　台紙表に「TAMAGAWA　STUDIO」とある	台紙裏に「昭和十七年二月十日上海神社ニ於テ神前結婚　田中家嗣子信隆」	
	男性肖像（1名）	別人の肖像1点挿入	
	束帯姿の青年一名		
	家族写真カ（男性1、子供3名）台紙に「T. TOTSUKA戸塚写真館黄海沙里院」とある		
楮紙、ペン、カーボン、専用紙、竪帳、封筒入、一ツ綴、こより、墨付2丁	南畑村五ヶ山亀ノ屋の山林等弐萬弐千圓にて売渡し		
洋紙、ペン、切紙	近況報告のこの他に二月二十四日付の短い通信文と手紙の下書きあり		
洋紙、墨、葉書	近況報告	スタンプに「2. 10. 27」とある	
楮紙、ペン、罫紙（便箋）、封筒入	近況報告	作成者の写真同封	
洋紙、ペン、専用紙（便箋）	近況報告		
洋紙、墨、便箋、封筒入	年賀及び近況報告		
	新年挨拶と近況報告		
洋紙、墨、	近況報告		
洋紙、ペン、専用紙（六親商会）、切紙、封筒入	御餅其の他御送付の御礼、馬込での家族生活等近況報告	集会（学校寄附金の件）の連絡票同折	
洋紙、ペン、西村式復興錠製作所六親會の銘入り便箋、上欠	東京にいる夫保衛宛の妻タツからの近況報告		
洋紙、ペン、無地、罫紙、便箋3枚、封筒入	本日四日におさちさん此の病院に入院、つきそいは二週間でよいと言事、私も廿日頃には帰らるる事		
洋紙、ペン、無地、切紙、2枚	拾月十八日より稲収穫、麦まき本日五日に終了、勸銀借入金問題の件		
洋紙、ペン、便箋、西村式復興錠製作所の便箋	東京にいる夫保衛に妻タツが帰郷をうながしている		
洋紙、鉛筆、西村式復興錠製作所の便箋	大石家の養子に関する相談他近況報告		
洋紙	「御主人様」とあり		
洋紙、無地、便箋4枚	近況報告及び旅費入用の有無		
洋紙、ペン、無地、便箋3枚	大石進君を養子とし武廣甫吉氏ノ娘と結婚致させ度旨		
洋紙、ペン、専用紙（六親商會）、便箋2枚	近況報告、子供養子の件		
洋紙、墨、現金書留封筒	7点の登記書類を入れた封筒、元々は現金書留の封筒。		
洋紙、墨、罫紙（灰）、一ツ綴、こより	豆野の田3畝14歩（15円）を売り渡している		
洋紙、墨、罫紙（黒）	古小川内の田1反8畝余、畑1畝余、畑2畝を売り渡している（850円）		
洋紙、墨、罫紙（黒）、一ツ綴、こより	豆野の田8畝余を330円で売り渡している		
洋紙、墨、罫紙（黒）、一ツ綴、こより	字豆野の田3畝14歩の所有権移転		
洋紙、墨、罫紙（黒）、一ツ綴	亡父清一郎からの家督相続による前田の田畑、宅地、大谷原の畑、豆野の田畑、山林しめて14筆（4反5畝9歩、宅地109坪）の登記		
洋紙、墨、鉛筆、罫紙（青）、専用紙（原稿用紙）	菜、蚕、麦等にかかる経費のメモ		
洋紙、ペン、切紙	豆野と古小川内の山林を畑へ変換している	3ヶ所の実測図あり	
洋紙、無地			
洋紙、専用紙、3枚	神埼郡東脊振村大字松隈字九瀬谷の国有林境界査定施行（3点とも同文）		
洋紙、専用紙			
洋紙、専用紙、一括点数2枚	東脊振村大字松隈字松隈九瀬谷の境界確定の通知		
一括点数5枚	山林（七ヶ所）の無償贈与	「十四年小作米」と「昭和拾八年度上半」に関する書上げ2点あり	
ペン、専用紙（便箋）	近況報告		
洋紙、ペン、便箋、封筒入	新年のあいさつと近況報告		
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）、封筒入	新年挨拶、宮地嶽宮の石垣寄進祭奉仕の為愚妻を遣し度侯		
ペン、罫紙（紫、高級平和箋）	近況報告		
洋紙、ペン、罫紙（赤）、便箋	茶送付、到着いたさぬ場合御通知下さる様…		
洋紙、カーボン、無地	明十三日午后一時より小学校に於いて青年会並處女会定期総集会開催		
洋紙、罫紙、便箋	当方南京備士官学校入学を命ぜらる、他近況報告		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-45	書簡	書簡	6月1日		たつ	保衛様	東京市外馬込町天沼二番地西村哲夫様方　大石保衛様／（裏）神埼郡東脊振村小川内大石タツ
B-46	書翰		（昭和）4年4月17日（消印）		玉代	大石たつ子様	東京市外馬込町天沼貳番地西村哲夫様方大石たつ子様御許へ／四月十五日　神埼郡東背振村小川内　大石たまよ
B-47	書簡	書簡	2月21日		田中	大石保衛様、同多津子様	東京市外馬込町天沼弐番地六親商會内　大石保衛様
B-48	書翰				西村ゑい子	大石たつ子	
B-49	書状		1月12日		信輔拝	父上様	
B-50	葉書		（昭和）8年4月4日（消印より）		新京関東軍司令部けい七　築山信胤	福岡縣糟屋郡宇美町柳原社宅六ノ二　大石保衛殿外御一同様	封筒、異質　福岡縣糟屋郡宇美町柳原社宅六ノ二　大石保衛殿
B-51-1	通達	通達	4月30日		小川内尚武會長　青木敏美（公印）	大石保衛殿	
B-51-2	通達	通達	5月12日		小川内青年會長青木敏美（公印） 小川内處女會長青木敏美（公印）	大石タツ殿	
B-52	書翰		（昭和）5年7月24日（消印）		たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼貳番地西村哲夫様方　大石保衛殿／小川内七月廿三日　たつ
B-53	書翰		（昭和）5年8月24日		たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼二西村哲夫様方　大石保衛様／佐賀縣神埼郡東背振村小河内　八月廿三日　大石たつ
B-54	書翰		1月26日（封筒）		たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼二西村哲夫様方　大石保衛様／佐賀縣神埼郡東背振村大字松隈　大石たつ
B-55	書簡		4月15日				封筒　東京市外馬込町天沼二西村様方ニテ　大石保衛様（裏）神埼郡東脊振村字小川内　大石タツ
B-56	書簡	書簡	7月14日		母より	保衛さま	封筒、異質　東京市外馬込町天沼二番地西村哲夫様方　大石保衛様／（裏）佐賀県神埼郡東背振村字小河内　大石あや　七月十四日
B-57	書簡	書簡	11月24日		よね	小母様	佐賀縣神埼郡東背振村字小川内大石タツ様　（裏）長崎縣諫早市小舟越町庶民住宅　諫早よね
B-58	書簡	書簡			たつ	御主人様	東京市外馬込町天沼二番地大石保衛様　（裏）神埼郡東背振村小川内　大石たつ
B-59	書簡	書簡	3月19日	26年度27年度	ゐの坂	大石區長殿	
B-60	型紙						
B-61	書籍						
B-62	大学章句						
B-63	新聞紙						
B-64	備忘						
B-65	書冊						
B-66	書籍						
B-67	書状手習鑑		天保12丑年初春再刻		江戸日本橋通壱丁目　須原屋茂兵衛他六名		
B-68	書籍						
B-69	和歌						
B-70	封筒		32年度5月12日、2年5月8日				東背振村小河内尋常小學校御中　（裏）神埼郡教育会
B-71	約定証書		明治34年旧5月21日		神埼郡東脊振村大字松隈百七拾九番地　受負人大石甚太郎　仝郡仝村仝字　保証人西村貞七　仝武廣又六　仝仝虎吉　仝宗雲鉄之助	大石甚作殿	
B-72	記						
B-73	月賦金借用証				借主築地卯蔵　弁償人大石甚作		
B-74	刷り物	その他			廣重画、芝丸甚、寅二		
B-75	書簡	書簡					
B-76	賞状		4月2日校		築地拝	田中五郎助殿	
B-77	封筒		4月2日校		佐世保鎮守府海兵團第一兵舎第壱番分隊　築地七之助	佐賀縣神埼郡東脊振村字小川内　田中五郎助殿　平信	
B-78-1	借用証		明治27年旧2月16日		本人真子芳平（印）弁償人立石喜三（印）三橋甚助（印）	大石甚作殿	
B-78-2	借用証書		明治18年11月23日		借主伊藤新蔵、右代理伊藤浅吉	大石甚作殿	
B-79	證		明治14年7月14日		吉野清左衛門	田中五郎助	
B-80	領収證綴	証文	明治34年1月11日		小川内尋常小学校訓導田中五郎助	東背振村長大石正三郎殿	
B-81	証	証文	明治17年9月15日		廉岡會社	田中タカ	
B-82	書簡案文						
B-83	書簡				錠より	浮船様	
B-84	登記変更届		昭和3年12月19日		神埼郡東脊振村大字松隈　大石タツ／神埼郡仁比山村大字的右代理人　八谷賢一（印）		
B-85-1	記		明治12年10月7日		佐賀郡役所（公印）	佐賀郡與賀村田中五郎助	
B-85-2	記		明治9年12月15日		長崎縣（公印より）	第四十大區一小區佐賀郡與賀馬場　田中五郎助	
B-86	金銭借用証	証文			築地源八	大石甚作	
B-87	賣渡証		明治30年旧5月25日				
B-88	講金借用証	証文	明治11年寅旧12月	明治29年旧3月15日	大石甚作他十一名	講御連御中	
B-89	金預り証		明治27年旧8月15日		山田　達右喜三郎（印）	西小河内　大石甚作殿	
B-90	記	証文	16年4月30日		神代実	田中五郎助	
B-91	書簡案文	書簡					
B-92	田地書上						
B-93	金預り証書	証文	明治24年旧正月10日		福岡県那珂郡五ヶ山村　築地卯左吉、築地廉吉	進藤	
B-94	記		明治28年4月3日		村長三島宗雅（公印）		
B-95	記						
B-96	建物書入質證		明治17年11月19日		借主受人　田中五郎助（印）	丹羽宗一郎殿	

形　状	内　容	備　考	調査日
洋紙、鉛筆、無地、一括点数4枚	近況報告、青木敏美先生夫婦の子供に御出下さったなど		
鉛筆、専用紙	近況報告	（裏）佐賀縣神埼郡東脊振村横田　田中信	
洋紙、ペン、専用紙（六親商会）、切紙、一括点数3枚	近況報告		
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）	新年挨拶、病気も漸々快気、はま・信太郎に金員御恵与課謝、御依頼の仕立物、衣類四品等差上候、代金は計算書の通り、本日二十日区長集会に付、西村貞七に御事附、御送金願う。		
洋紙、墨、活字、無地、はがき、一括点数3枚（封筒含）	任官の恩命に浴す（昭和十六年二月二十八日付の印字はがき同封）、及び近況報告（自筆はがき）		
洋紙、ペン、カーボン、無地、切紙、	来る五月十二日午前九時より小學校に於て春季総集会開催	B-51-1～2は同折	
洋紙、ペン、カーボン、無地、切紙	明十三日午后一時より青年會並ニ處女會定期総集会開催	B-51-1～2は同折	
洋紙、鉛筆、専用紙（六親商会）、切紙、一括点数3枚	十八日の大暴風雨の損害報告、及び近況報告		
洋紙、鉛筆、専用紙（六親商会）、切紙、一括点数3枚	「横田のおば」死去他近況報告		
洋紙、鉛筆、専用紙（六親商会）、一括点数3枚	近況報告		
洋紙、ペン、便箋	近況報告	「コンペラ山」という山あり	
楮紙、墨、切紙	近況報告、別の書簡（作成年月日不明、宛名：兄上様　近況報告）が一通あり	・「事業の発展が何よりの楽しみにて亦高階宮殿下の宮殿に出入りまでゆるされし由…」とある ・「牛原（河内山）の官山炭焼山」とある	
洋紙、鉛筆、罫紙（朱、長崎縣）	出産手伝いのおねがい	①名刺「宇都宮三千雄、佐賀市赤松町二三二」あり ②この他手紙の下書あり ③名刺「福岡渉外労務管理事務所築山信胤　勤務地福岡縣西別館四階、現住所佐賀縣神埼郡東脊振村横田」	
洋紙、罫紙（青、六親商会）	近況報告		
楮紙、墨、切紙、前欠	地方税（26、27年度納入）の催促		
新聞紙、切紙、一括点数4枚	洋服型紙（福岡日々新聞）		
楮紙、活字、木版、書籍、四ツ綴、糸	法令集の一種か	虫損大、表紙なし	
楮紙、墨、無地、竪帳、一ツ綴、こより	「大学章句」の写し	第1丁に墨書にて「大石時之助」とあり	
新聞紙、活字	昭和九年三月二日付福岡日々新聞	下部欠	
楮紙、墨、無地、冊子、一ツ綴	疾病等の対処法（医学書の写しか）	虫損大、表紙なし	
楮紙、無地、木版、四ツ綴	読本類か	虫損甚大、表紙なし	
楮紙、木版、書籍、一ツ綴、糸、後欠	浪曲の教本か		
楮紙、無地、木版、書籍、四ツ綴			
楮紙、墨、前後欠、虫損	漢字、ひらがなそれぞれの詩		
楮紙、巻子	「高きやね登りて見れば煙たつ民のかまとはにきわいにけり」他13首	水引き紙を継いで巻子状にしたもの、後欠	
楮紙、墨			
楮紙、墨、罫紙（青、中原町役場）、半折	同郡同村字古小川内二千四拾六番の田畦畔撥除に付受負		
楮紙、墨、無地、横折	「一、酒三升国作代四拾八銭」ほか物品書上		
楮紙、罫紙（赤）、半折	那珂郡五ヶ山村の耕地を抵当に金壱円の借用証文		
楮紙、印刷物（木版）、切紙、虫損	浮世絵	「本都名所年中行事四月日本橋初かつお」とある	
楮紙、墨、切紙、	中原まで来てほしいという依頼		
	御地出発、遅滞なく仝日午后八時ニ入團致し、三月廿四日陸戦隊に編整サレ、…等近況報告		
洋紙、墨、無地、封筒		B-76の封筒か	
楮紙、墨、罫紙、半折	金三圓の借用証	B-78は同折	
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	米四斗の借用証書	B-78は同折	
洋紙、墨、専用紙（證券界紙）、切紙	金五円の借用証		
楮紙、墨、切紙、ひねり綴	綴三枚。それぞれ金九円、弐円、四十四銭。		
墨、活字、切紙、こより	株入金五拾銭の受領証		
楮紙、墨、罫紙（黒）、二ツ綴	書簡文章の用例集		
楮紙、墨、切紙	近況報告		
楮紙、墨、ペン、専用紙、切紙、登記申請用紙	脊振村大字松隈の畑に関する登記変更		
楮紙、墨、専用紙、切紙	「四等餅饅頭屋」とあり		
斐紙、墨、専用紙、切紙	「貳等餅饅頭屋税金貳拾銭」とあり		
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙	金五円の借用証		
楮紙、墨、罫紙（黒）、	杉立木拾七本（代金七百弐拾円）の内金四百円受取、残金ハ本年旧七月限り払込	案文か	
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、一ツ綴	金九拾円の借用証		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	金五円の金銭預り証		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	離縁につき結納金差し返し証文		
楮紙、墨、切紙	近況報告		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折、一括点数3枚	仝郡仝村字永枝、松原の田地書上げ		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	金三円五十四銭の預り証		
楮紙、墨、専用紙（神埼郡東脊振村役場）	廿八年度村税土木費寄付金の証書		
楮紙、活字、無地、切紙	「被撰擧人」（50名）の書上げ		
楮紙、罫紙（黒）、竪帳、ひねり綴、こより	建物壱ヶ所（持主田中五郎助）の質入証文	「戸長江崎一蔵」の書入あり、建物の平面図あり	

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-97	証	証文	明治26年6月4日		田中五郎助	大石清一郎	
B-98	絵図面						
B-99	記						
B-100	記						
B-101	書簡	書簡	2月16日		築山政一	大石清次	
B-102	證		23年4月22日		宮崎喜次（印）	田中五郎助殿	
B-103	各兵科下士候補生願	その他	明治36年3月日		築山信義	福岡聯隊區司令官平塚知正	
B-104	委任状		明治16年6月16日		千布竹一郎（印）	田中五郎介殿　古川五平	
B-105	記		（明治期）		（田中五郎助）		
B-106	履歴書		明治33年8月		田中五郎助	佐賀縣神埼郡長　島内藹	
B-107	記事論説文例	備忘	明治16年2月23日				
B-108	欠席届		（明治）30年12月6日		築地傳吉	田中先生様	包紙、同質　西小川内ニテ田中先生様二月六日平信／東小河内　築地傳吉拝
B-109	小學修身訓		明治33年12月26日訂正再版		學海指針社編		
B-110	明治三拾四年度利息取立		（明治）28年旧11月～同35年旧12月		大石		
B-111	日課念佛勸導記	その他					
B-112	新聞紙		大正3年2月				
B-113	記		（明治期）				
B-114	大和本草巻三	その他					
B-115	謡曲讀本						
B-116	明治四拾参年一月改正月賦金取立帳		明治43年1月改正		（大石）		
B-117	鑑札	その他	明治9年12月15日				
B-118	明治参拾参歳壱月ヨリ拾貳月迄職員出勤簿		（明治）34年1月中		小川内尋常小學校		
B-119	記						
B-120	小學校設備取調標準	その他					
B-121	記	その他					
B-122	記	備忘					
B-123	教本						
B-124	高等小學讀本　第一	その他			教育書專賣所普及舍		
B-125	新編女子習字帖		明治34年12月14日		小野鋼之助編		
B-126	文通大全		文化13丙子年正月再版		永田舞鳳堂筆、浪花書肆玉榮堂、文金堂、定榮堂		
B-127	増補塵功記						
B-128	書キ方				尋四　築山冕清		
B-129	教本	その他					
B-130	書冊						
B-131	小學字彙大全　日本略史上下巻				上羽勝衛纂		
B-132	四聲字林	その他	文化12年乙亥冬		江府書林、摂府書林		
B-133	高等小學讀本　第一				教育書專賣所普及舍		
B-134	高等小學實踐修身書巻二	その他			金港堂書籍會社		
B-135	教本	その他					
B-136	草書韻會去聲	その他					
B-137-1	書簡	書簡	旧9月21日		築山信輔　築山はま	大石家りき　大石家あや様	
B-137-2	書簡						
B-137-3	書簡	書簡	7月18日		助役□嶋		
B-137-4	書簡	書簡	明治28年1月1日		大石清一郎殿、同峰作、宗雲民雄、築地七之助殿		
B-137-5	請取証	書簡	旧12月10日		進藤平次	田中	
B-137-6	旧学齢児童不就学者之事故理由			廿七年四月廿四日			
B-137-7	書簡		8月21日		福嶋	大石いさ子様	
B-137-8	書簡	書簡	2月26日		ゐの坂	大石區長殿	
B-137-9	書簡	書簡					
B-137-10	書簡	書簡		本月十五日			
B-137-11	書簡	書簡					
B-138	大學章句						
B-139	まつくふみ（「末句文」か）				池田助右衛門		
B-140	明治参拾七年利子取立		（明治）31年～37年		大石峯三		
B-141	落丁その他						
B-142	落丁その他						
B-143	小學中等科讀本巻ノ一		明治15年5月20日版権免許		編者　内田嘉一		
B-144	高等小學讀本						
B-145	女禮式				水嶋トや之成		
B-146	唐孝之道之事						
B-147-1	書状		12月6日		福島達　記（印）	大石区長殿	
B-147-2	雛形						
B-148-1	女庭訓						
B-148-2	歌道たしなみ草						
B-149	戦記物写						
B-150	節用集中						
B-151	書状		3月28日				
B-152	新聞紙		大正15年5月22日／8月8日		福岡日日新聞		
B-153-1	書簡	書簡	明治28年12月20日		東脊振村役場	小川内尋常小學校	封筒　字松隈ニテ小川内尋常小學校御中　村役場
B-153-2	書簡	書簡	10月9日		七之助	田中先生殿	到佐賀縣神埼郡東脊振村字小川内尋常小學校　田中五郎助殿
B-153-3	書簡	書簡	明治31年3月31日		文吉	田中五郎助様	佐賀縣神埼郡東背振村大字松隈字小川内村ニテ　田中五郎助様
B-153-4	書簡	書簡	3月28日		□市新一郎	田中五郎助	封筒　小川内田中五郎助様

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、墨、罫紙（朱）、切紙	給料、筆紙、墨料代金五円弐拾五銭の受取証		
楮紙、鉛筆、無地、切紙、一括点数2枚	神殿もしくは神棚の絵図面		
楮紙、墨、無地、横折、切紙	「郡作」以下18名の人名書上、冒頭に「三日供養」とあり		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	「弐円八拾八銭貳厘　嘉平」ほか21件の書上げ		
楮紙、墨、切紙	祝いの品の進呈		
楮紙、墨、無地、切紙、	金五拾弐円の請取証		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	下士官志願。第一希望は近衛騎兵、第二は歩兵第十二師団等		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	本年本月卅日古川五平企講の節、金四円七拾八銭、森永弥八ヨリ拙者へ差入ルベキ金ヲ貴殿お取り下さる様	全面に抹消線あり	
楮紙、墨、罫紙（黒、蔦屋合資會社製）、半折	小川内尋常小學校の沿革、授業内容、設置町村の戸数など		
洋紙、墨、切紙、一ツ綴、こより	学校の訓導、代用教員としての履歴書		
楮紙、墨、切継紙（3枚）	新年ヲ賀スル啓、新年慶賀ノ文など行事内容や書簡用例など	文末に「石井氏」とある	
楮紙、墨、無地、切紙	祖父病気ニテ出校仕難し		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、四ツ目綴、糸			
楮紙、墨、無地、横帳、一ツ綴、こより	約20名の金銭書上		
楮紙、印刷物（木版）、冊子、二ツ綴、こより、後欠、虫損	念仏の教本	表題上部に墨で「文政新板」とある	
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、上欠、下欠	新聞紙2枚		
楮紙、墨、無地、冊子	医療関係の備忘（薬草の処方箋など）	虫損甚大	
楮紙、印刷物（木版）、書籍、二ツ綴、こより、前欠、後欠、虫損	役立つ石や油などの解説書		
楮紙、無地、印刷物（木版）、書籍、一ツ綴、こより		虫損甚大	
楮紙、墨、無地、竪帳、二ツ綴、こより	明治四拾三年一月より同四拾五年五月まで		
活字、専用紙、印刷物（活版）	「第一五九　小店　第四十大區一小區佐賀郡與賀馬場　田中五郎助」とある小店の許可証カ		
楮紙、墨、無地、竪帳、二ツ綴、こより	「田中五郎助」の出勤簿		
楮紙、墨、無地、半折、一括点数2枚	「起縮の生する原因」「空頭蠶の生ずる原因」など養蚕に関する備忘		
楮紙、イモ版、切紙	聖影奉置所のきまりや教室規模のきまりなど		
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙、虫損	手紙案文、青年會基本備品取扱規定など		
洋紙、ペン、冊子	男物五枚重各種寸法表、女物五枚重ねなど和裁のメモ		
楮紙、木版、書籍、二ツ綴、前後欠	教本が一枚抜けおちたもの		
洋紙、その他、罫紙（黒）、木版、書籍、前後欠	冊子の綴じがほどけている状態。教本。	裏表紙に「古賀ひろ子」とあり	
楮紙、無地、印刷物（木版）、書籍、二ツ綴、糸			
楮紙、印刷物（木版）、書籍、四ツ綴、糸	文例集		
楮紙、無地（白）、印刷物（木版）、書籍、二ツ綴、ひも	珠算、町見立木積之事など		
楮紙、墨、無地、綴、一ツ綴	手習い（半紙）の綴		
無地（白）、印刷物（木版）、冊子、二ツ綴、前後欠	女児の為の教本		
楮紙、印刷物（木版）、書籍	「日本地誌畧」と「高等小學讀本」の張はずれを一括、襖の下張り用に集めたものか		
楮紙、罫紙（黒）、印刷物（木版）、書籍、四ツ目綴、ひも、前欠	歴代天皇のリスト	奥付に「田中虎太郎誌」と墨筆あり	
楮紙、罫紙（黒）、印刷物（木版）、こより、前後欠	増續字林集韻大全巻之下	ヒモで本をくくってあった	
楮紙、印刷物（木版）、切紙、とじがはずれている	理科、歴史等のテキスト		
楮紙、切紙、綴じがはずれている、前後欠	修身のテキスト		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、二ツ綴、前後欠、虫損	「一日一字学ベバ三百六十五字ナリ」「勇者必有危、其蟲如入火」などの教訓		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、一ツ綴、こより、前後欠	くずし字の辞典		
楮紙、墨、切紙	近況報告		
楮紙、墨、無地、切紙、後欠、中欠	改年の儀の挨拶		
楮紙、ペン、無地、切紙	官有地の件で廿一日午前九時に役場へ来るよう記されている		
鉛筆、切紙、下欠	新年の賀状		
楮紙、墨、切紙、虫損	精米1斗5升（代金壱円五拾銭）の請取証		
楮紙、墨、切紙	学齢児童不就学者のリスト		
楮紙、墨、切紙、前欠	挨拶文		
楮紙、墨、切紙、後欠	納入する様に催促する書簡		
楮紙、墨、切紙、前後欠	“嵩院”普進の為に村方から莫大な材木を寄進してもらった礼状		
楮紙、墨、前後欠	軍隊からの近況報告。清国に出発する前に出している		
楮紙、墨、切紙、後欠	福岡県下の官幣小社、太宰府保存の為の金募集の件		
楮紙、無地、印刷物（木版）、書籍、虫損	朱子の大学章句	虫損甚大	
墨、無地、竪帳、一ツ綴、こより	和歌の末句を書き出したもの		
楮紙、墨、無地、横帳	約50名の金銭書上	1丁挿入	
楮紙、無地、印刷物（木版）、半折、切紙、一括点数4枚	『小學中等科讀本』の帳はずれ（2点）、包紙（無地）2点		
楮紙、墨、印刷物（木版）、切紙、一括点数2枚	『高等小學讀本』の帳はずれ（1点）と医学書の写（1点）	医学書は「B-64」の帳はずれ	
楮紙、無地、印刷物（木版）、糸		前欠	
楮紙、無地、印刷物（木版）、半折、一括点数6枚		帳はずれ	
楮紙、墨、無地、冊子、四ツ目綴、糸	「通ひの次第」「酌の次第」など計十篇	内題には「女礼式一二」とあり	
楮紙、無地、印刷物（木版）、書籍、四ツ目綴、こより	かな書きの「孝経」	前表紙見返しに「神埼郡小川内村おやこう丶丶の事大石九十郎」とあり	
楮紙、墨、無地、切紙	別紙雛形に準じ御取調、大至急御送付相成度、今又督促に及ぶ	後欠、B-147は同折	
楮紙、無地、一括点数4枚	祝事（正月など）などの飾り絵の雛形		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、虫損		帳はずれ、B-148は同折	
楮紙、墨、無地、かぶせ綴、こより	「初歌會式之條」など	1丁目右上と最終丁に「南里家印」の朱印あり	
楮紙、墨、無地、冊子、二ツ綴、こより、前後欠、虫損	「豊太閤記」の一部か		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、四ツ目綴、前後欠、虫損			
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）、前後欠、虫損	博覧会出品についての詳細、現地までの旅程などを記す		
洋紙、活字、専用紙（新聞紙）、印刷物（活版）、前後欠	五月廿二日、八月八日付がそれぞれ一枚づつ		
洋紙、墨、専用紙（便箋）、切紙	日清講和談判場写真（計十枚六円五拾銭）購入予約の広告		
楮紙、墨、切紙、	軍隊における多忙な日々の近況報告	（裏）従佐海兵団第一兵舎第壱番分隊第一号　七之助拝（築地の判あり）	
	軍中からの挨拶文	（裏）久留米歩兵第四拾八聯隊第一大隊第一中隊第五休養班　權藤文吉拝	
楮紙、墨、切紙、	勤務多忙の為、外泊できない旨を記している	「御賀申上度之處比節銭道余線路外之外泊六ヶ敷許可無之…」とある	

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-153-5	封筒	その他	6月1日				封筒　佐賀縣神埼郡東脊振村小川内田中五郎助殿　佐賀縣唐津警察署西村伊三吉
B-153-6	書簡		5月15日		進藤泰三	田中五郎助殿	小川内校先生ニテ田中五郎助様　東脊振村大字下三津東分進藤泰三
B-153-7	生徒出次第	その他					
B-154	雛形						
B-155-1	書冊断簡						
B-156	通達		明治29年2月1日		佐賀縣知事正四位勲四等田邊輝實（公印）	神埼郡東脊振村士族　大石清一郎	
B-157	書簡						
B-158	書状				廣本拝	大石君	
B-159	書簡		5月6日		文吉	田中五郎助様	佐賀縣神埼郡東脊振村大字松隈村字小川内　田中五郎助／（裏）歩兵第四十八聯隊第一大隊第一中隊第五給養班權藤文吉
B-160	書状						
B-161	奉賀　高宮渡邊閣下之臨校		明治20有9年7月1有5日		田中五郎助		（朱書）廿九年七月十一日渡辺
B-162	日本地誌畧巻之一				文部省		
B-163	書簡		5月15日発ス（封筒）		武廣巳之助拝	田中五郎助殿	（表）小川内校先生ニテ田中五郎助様　平信　（裏）東脊振村大字三津夕ヶ里ヨリ　武廣巳之助拝
B-164	書簡		旧正月15日		令葉院住職　神原玄啓	宗雲寿助様　西村嘉左衛門様　權藤要左衛門様　人々御中	
B-165	書状		8月3日		円城寺タマ	清一様	
B-166	書簡			旧本月十七、八日頃			
B-167	女庭訓						
B-168-1	通達	通達	明治32年5月8日	客年二月	神埼郡役所	小川内尋常小學校訓導田中五郎助殿	
B-168-2	書簡				高橋兼盛	組合御一同様	
B-168-3	米借用証	証文	明治35年旧3月3日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山　鬼塚百太郎	神埼郡東背振村　大石峯作殿	
B-168-4	包紙						
B-168-5	大學章句	その他					
B-168-6	記	備忘					
B-168-7	四声辞典						
B-168-8	書簡	書簡	11月6日		築地	田中五郎助	
B-168-9	通達		明治30年6月1日		佐賀縣知事正五位勲五等	大石清一郎	
B-169	童子教						
B-170-1	賞状		明治44年3月31日		小川内尋常小學校	大石八千代	
B-170-2	修業證書	その他	明治44年3月31日		小川内尋常小學校	大石八千代	
B-170-3	修業證書	その他	明治43年3月30日		小川内尋常小學校	大石八千代	
B-170-4	卒業證書		大正4年3月25日		小川内尋常小學校長　實松乙吉	大石八千代	
B-170-5	賞状		大正4年3月27日		小川内尋常小學校	大石八千代	
B-171-1	修業證書		大正3年3月25日		小川内尋常小學校	大石サチ	
B-171-2	賞状		大正4年3月25日		小川内尋常小學校	大石サチ	
B-171-3	賞状		大正5年3月25日		小川内尋常小学校	大石サチ	
B-171-4	賞状	その他	大正6年3月24日		小川内尋常小学校	大石サチ	
B-171-5	卒業證書		大正7年3月25日		小川内尋常小学校長　松尾展英	大石サチ	
B-172-1	修業證書		明治37年3月31日		佐賀縣神埼郡三津高等小學校	大石嘉作	
B-172-2	卒業證書		明治35年3月29日		小川内尋常小學校長　西村道規	平民峰三長男　大石嘉作	
B-172-3	修業證書		明治38年3月27日		福岡縣筑紫郡南畑村立南畑實業補習學校	平民大石嘉作	
B-172-4	卒業證書		明治39年3月□□日		南畑實業補習学校長　入江米次郎	大石嘉作	
B-173	賞		明治33年12月5日		佐賀縣知事正五位勲四等關清英	大石甚作	
B-174-1	表彰状	その他	昭和15年2月11日		三菱鑛業株式會社　勝田礦業所	坑内日役　大石進	
B-174-2	表彰状		昭和15年2月11日			被保險者　大石進	
B-174-3	表彰状		昭和16年10月1日		福岡縣鑛山監督局長　中村幸八	大石進	
B-174-4	表彰状		昭和16年12月1日		中村幸八	大石進	
B-175-1	賞状		昭和34年10月1日		水田辰男、中野一次	大石優子	
B-175-2	賞状	その他	昭和34年12月24日		国島文彦、金子道雄	大石優子	
B-176-1	賞状		明治36年3月28日		小川内尋常小学校長　西村道規	大石保衛	
B-176-2	賞状		明治37年3月26日		西村道規	大石保衛	
B-176-3	修業證書		明治38年3月28日		小川内尋常小学校	大石保衛	
B-176-4	卒業証書		明治39年3月26日		西村道規	大石保衛	
B-176-5	修業證書		明治40年3月26日		南畑尋常高等小学校	平民　大石保衛	
B-176-6	卒業證書		明治41年3月25日		南畑尋常高等小學校長　入江米次郎	平民　大石保衛	
B-176-7	修業證書		明治42年3月24日		福岡縣筑紫郡南畑村立南畑實業補習学校	平民　大石保衛	
B-176-8	卒業證書		明治43年3月24日		南畑實業補習學校長　入江米次郎	平民　大石保衛	
B-176-9	賞状		大正4年8月23日		歩兵第四十八連隊第一隊長恵藤不二雄	陸軍歩兵一等卒　大石保衛	
B-176-10	賞状		大正4年10月18日		陸軍歩兵大尉川副俊八	歩兵一等卒　大石保衛	
B-176-11	大正三四年従軍記章之證		大正4年11月7日		賞勲局書記官正五位勲四等藤井善言	陸軍歩兵一等卒大石保衛	
B-176-12	善行證書		大正4年11月19日		奥野英太郎	佐賀縣平民　陸軍歩兵一等卒大石保衛	
B-176-13	證		大正13年3月26日		日本赤十字社長　平山成信	大石保衛	
B-176-14	賞状		大正13年4月13日		歩兵第四十八連隊長　杉浦全三	陸軍歩兵一等卒　大石保衛	
B-176-15	表彰状		昭和16年2月11日		三菱鑛業株式会社勝田礦業所	大石保衛	
B-176-16	表彰状		昭和18年4月29日		勝田礦業所	大石保衛	
B-176-17	表彰状		昭和18年4月29日		三菱鑛業健康保険組合勝田支部	大石保衛	
B-177	世紀に輝く南京入城式	その他	昭和12年2月19日		大阪朝日新聞		
C-0	襖本体						
C-1	日本地誌畧巻之二						
C-2	小學讀本						
C-3	和歌集		（明治期）				
C-4	理科讀本						
C-5	生徒出席簿		明治28年12月		小川内尋常小学校		
C-6	記						
C-7	高島暦						
C-8	賞						
C-9	証		明治27年4月22日		田中五郎助（印）	區長大石清一郎殿	
C-10	記						
C-11	記						
C-12	記		（明治）3月12日		村長三島宗雄（公印）		
C-13	端紙						
C-14	記						

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、墨、封筒			□
	在学中一方ならず御親切ニ御教育成之被下」とあり在学中の感謝を記している		
楮紙、墨、切紙	「尋常科卒杉谷ヒサ、西村ヨ子、杉谷千吉、大石クラ」等のメモ		
楮紙、墨、無地、一括点数2枚	飾り絵の雛形	脇に「まき」とあり、B-147-1と関連	
楮紙、印刷物（木版）、切紙、一括点数2枚	「高等小學実践修身書」他1点		
楮紙、墨、活字、専用紙（佐賀縣）、切紙、一括点数2枚	明治二十七八年戦役ニ付家族賑恤費トシテ金拾銭、金参拾五銭差出候		
後欠	滞在中の御馳走、御心配の御礼		
楮紙、墨、無地、切紙、前欠	旧六月十三日幣村例ノ夏祭ニ付、何ノ御構も申さず、麁酒一杯差上度、何卒御散遊御待候		
楮紙、墨、切紙	時候の挨拶と近況報告		
楮紙、墨、無地、切紙、後欠	先日試験に及第、松嶌艦に乗込む筈に相成も乗組期日申上げ難し		
楮紙、墨、無地、竪紙大	学校関連の訓戒の案文か		
洋紙、活字、印刷物（活版）、書籍、一ツ綴、綴じが外れている	冊子の綴じ外れ分6枚。日本全国の地理、地誌について	天竜川、大井川など	
楮紙、墨、切紙	小川内尋常小学校卒業の御礼		
楮紙、墨、切紙、前欠	前欠の為書面は「～之程偏ニ願上ゲ奉候」しかわからない		
楮紙、墨、無地、切紙、前欠	屏風等張損あれば御周旋頼み奉る		
楮紙、墨	「旧本月十七、八日頃ニ伺ヒ候…」とあり来訪の伺いを述べている		
楮紙、印刷物（木版）、切紙	「女庭訓」の一部（2枚）		
洋紙、印刷物（イモ版）、切紙	佐賀訓令によって調製した一覧表の副本を作り、十六日までに差し出す旨の通達	文頭に「神発一第八二八號」とある	
楮紙、墨、切紙	病気見舞金への御礼状		
楮紙、墨、切紙、虫損	米一俵を来年旧九月十五日迄に無利息で返却する旨を明記している		
楮紙、切紙	楮紙、切紙	四方を糸で縫っている	
楮紙、活字、印刷物（活版）、切紙	大学章句の序の一枚目。「大學章句序　大學之書古之大學所以…」		
楮紙、墨、罫紙（黒）	「一、壱円拾銭　杢次，一、壱拾壱銭□□八吉」等12名から総計拾七円二十五銭四厘を徴収している		
楮紙、印刷物（木版）、切紙、書籍、前後欠	漢詩作成の際利用する辞典		
楮紙、墨、切紙、前欠	「…仍テ此段御礼旁報告迄如斯ニ御座候」とあり。報告と礼文		
楮紙、墨、切紙	「明治二十七、八年戦役ノ際軍用品献納候段殊勝ニ候事」とある		
楮紙、印刷物（木版）、書籍	「小人愛福人（小人、福人を愛す）」など慣用句の列挙		
楮紙、墨、切紙	「學科勉励ニ付三等賞を授与ス」		
楮紙、墨	第二學年の修業ヲ證ス	大石八千代＝明治35年7月25日生	
楮紙、墨、切紙	第一学年の修業證書		
楮紙、墨	「尋常小學校ノ教科ヲ卒業センコトヲ證ス」		
楮紙、墨、切紙	「學科佳良、満出席ニ付一等賞ヲ授与ス」		
楮紙、墨、切紙	第二學年の修業證書	サチ＝明治38年5月14日生	
楮紙、墨、切紙	學科出席佳良ニ付二等賞を授与ス	第三学年	
楮紙、墨、切紙	出席佳良ニ付三等賞を授与ス		
楮紙、墨	操行優良ニ付三等賞ヲ授与ス		
楮紙、墨	尋常小學校ノ教科ヲ卒業センコトヲ證ス		
楮紙、墨	第二学年の修業証		
楮紙、墨、切紙			
楮紙、墨	第一学年修了セシコトを證ス		
楮紙、墨、切紙、虫損	修業年限二ヶ年ノ卒業證書		
楮紙、墨	「東背振尋常小學校増築費トシテ金一円寄附候段奇特ニ候事」		
楮紙、墨、切紙	昭和14年中精勤ニ付之ヲ表彰ス		
楮紙、墨、切紙	一年間無病息災であったため記念品ヲ以テ之ヲ表彰ス		
楮紙、墨、切紙	満勤の表彰状		
楮紙、墨、切紙	満勤の表彰状		
	秋季全国交通安全運動の募集により二等		
洋紙、墨	応募作品が優秀に付表彰される		
楮紙、墨	品行方正ニシテ成績抜群に付き		
楮紙	素行方正、学業抜群ニ付		
楮紙、墨、切紙	三年生の修了書		
楮紙、墨、切紙			
楮紙、墨	高等小學1年の修業証		
楮紙、墨、切紙			
楮紙、墨、切紙	第一学年の修了証		
楮紙、墨、切紙			
洋紙、墨、切紙	射撃において優等		
楮紙、墨、切紙	銃剣術競技会において成績優秀		
楮紙、墨、切紙			
楮紙、墨、活字、印刷物（活版）	現役中品行方正ニ付		
楮紙、墨	赤十字社の正社員證		
楮紙、墨、切紙	剣術競技会に於て優秀に付き		
洋紙、墨、切紙	三年以上勤続ニ付之を表彰ス		
洋紙、墨、切紙	五年以上勤続ニ付キ之を表彰ス		
洋紙、墨、切紙	「一年間無病息災ニシテ…之ヲ表彰ス」		
洋紙、活字、活版、切紙	南京入城式の写真ポスター、新聞の附録カ		
洋紙	下張り（C-1～54）を取り去った残りの部分を一括したもの、袋4点		
楮紙、印刷物（木版）、書籍、一括点数15枚			
一括点数58枚			
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙、一括点数34枚	和歌集を一括「竹はねて日の足消す春の雪」など		
楮紙、印刷物（木版）、切紙、一括点数6枚	「新撰理科讀本」とあり		
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数12枚、前後欠	明治二十八～九年の出席簿		
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数2枚	「算術」の問題と解答		
楮紙、活字、印刷物（活版）、切紙、一括点数約28点	「明治四十年」「明治三十七年」とあり		
楮紙、墨、無地、切紙	書簡の下書きか		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	金壱円の借用証文		
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数2枚	手習い等の端紙		
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙	朱書にて「達」とあり		
楮紙、墨、専用紙（神埼郡東脊振村役場）、切紙	皇后両陛下御結婚満廿五年ノ御祝儀トシテ酒饌料左記ノ者ヘ下賜		
楮紙、罫紙（黒）、切紙			
楮紙、墨、無地、横折	「大石清七」ほか人名品物書上		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-15	記						
C-16	証		明治21年8月17日		（田中）五郎助	原林□□	
C-17	歎願書		明治22年7月		田中五郎助外三名	佐賀郡長　武富時敏殿	
C-18	証		明治20年第1月12日		田中五郎助（印）	原林三殿	
C-19	証		明治27年5月17日		田中五郎助（印）	區長　大石清一郎殿	
C-20	證		（明治）27年5月24日		田中五郎助（印）	區長　大石清一郎殿	
C-21	記		明治18年1月27日		田中五郎助		
C-22	端紙						
C-23	記		（明治）6月12日		大石太平	大石清一郎様	
C-24	証		明治27年4月22日		田中五郎助	區長　大石清一郎殿	
C-25	領収証		明治27年7月31日		田中五郎助	區長　大石清一郎	
C-26	通達	備忘	明治27年4月27日	明日□八日ヨリ廿九日マデ	東脊振村役場	區長　大石清一郎殿	
C-27	通達		明治23年7月18日		東脊振村　村長三島宗雅		
C-28	雑	その他					
C-29	通達	通達	明治26年12月4日	来ル八日	東脊振村役場	區長	
C-30	雑				田中	□□清一郎殿	
C-31	雑						
C-32	通達	通達	明治26年8月18日		村長三島宗雅	区長　大石清一郎殿	
C-33	通達		明治27年5月12日		東脊振村役場	区長　大石清一郎殿	
C-34	通達		26年3月10日		東背振村役場（公印）	区長　大石清一郎殿	
C-35	通達		明治27年10月29日		東脊振村役場	区長　大石清一郎殿	
C-36	証	証文	明治25年8月18日		田中五郎助	大石清一郎殿	
C-37	通達	通達	明治□□□9月6日		日本赤十字社佐賀縣委員長　相葉□□	東脊振村大字松隈字小川内人民総代　大石清一郎	
C-38	通達	通達	24年1月13日		助役宮島由章		
C-39	通達	通達	1月24日		行司	大石清一郎殿	
C-40	証	証文					
C-41	証		明治26年4月10日		田中五郎助	大石清一郎	
C-42	証	証文			田中五郎助	□石清一郎殿	
C-43	通達		明治23年9月3日		東脊振村役場		
C-44	書簡	書簡				大石あや様	
C-45	通達		明治28年3月6日		村長三島宗雅	宗雲門吉	
C-46	記						
C-47	通達		明治28年1月19日		村長三島宗雅	区長　大石清一郎殿、宗雲門吉	
C-48	通達		26年3月27日		東脊振村役場	区長　大石清一郎	
C-49	記			明治27年9月吉日			
C-50	明治三十三年一月ヨリ十二月小川内小学校教員勤務表				田中五郎助		
C-51	証	証文	明治27年1月1日		田中五郎助	大石清一郎	
C-52	証		明治27年3月25日		田中五郎助	大石清一郎	
C-53	紙片			明治25年3月			
C-54	紙片						

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書（追加）

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
1-1	文書複写						
1-2	行事録、小川内区			明治29年～昭和2年			
1-3	大正拾五歳三月下石動村社改修之寄附人名簿			大正15歳3月			
1-4	記			大正3年3月8日			
1-5	昭和四年三月廿四日等級割議事録　小川内区集会定右ハ昭和七年三月向三ヶ年間ニハ改正スル						
1-6	記			昭和4年3月24日			
1-7	昭和五年一月三十日集会協定事項						
1-8	決議案			昭和6年12月26日			
1-9	決議案			昭和8年12月26日			
1-10	保倹證		昭和5年5月23日		請負主　多良七太夫　仝　森田官一	小川内区長　武広金作殿	
1-11	記						
1-12	領収証		昭和5年5月24日		多良七太夫　森田完一	進藤岡市殿	
1-13	記			昭和9年1月ヨリ仝11年4月25日			
1-14	記			9年12月30日			
1-15	辞表届		昭和11年3月20日		小川内私設消防組頭大石保衛（朱印）	小川内区長　大石泰三殿	
1-16	記			昭和11年7月5日			
1-17	記			昭和11年12月26日			

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、墨、無地、切紙、一括点数3枚	書道の手習いか		
楮紙、墨、無地、切紙	金三円の借用証		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、一括点数2枚、下欠	明治廿一年七月ヨリ九月ニ至ル月俸、一向渡方無く、何卒御憐察ヲ以テ至急埒明御取斗願う		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	金壱円（返済期限本月中）の借用証		
楮紙、墨、無地、切紙	金銭受取証		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	金一円の借用証		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	約定書の案文		
楮紙、罫紙（黒）、切紙			
楮紙、墨、無地、切紙、前欠	寄附金御相談の件御厚配下さり有難し		
楮紙、墨、切紙、虫損、下が若干切れている	金三円四拾銭の受取証		
楮紙、墨	学校寄附金の領収書（金貳圓也）		
楮紙、墨、罫紙（黒、東脊振村役場）、下欠	本村山神前の堤防の修築、石引の件や郡役所土木係の実地検査について		
洋紙、墨、罫紙（黒）、下欠、右欠	赤痢病患者が村内から出た為、その家を消毒するよう命じている		
楮紙、墨、切紙	「算術科大石多津、佐賀市赤松町水ヶ江ニテ」など筆の練習		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	緊急ノ事件に付き、来ル八日に出頭相成度とある		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙、前欠、上欠、虫損	証文類カ		
楮紙、墨、切紙	「大石清一郎」と墨筆		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	区長集会を明后廿日から廿一日九時へと変更		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	先般相達置候大掃除消毒之儀を皆ニ促スベキ候也		
楮紙、墨、切紙、やぶれ	（明治）廿五年中協議費賦課額調至急詳細明記シ来ル廿日携帯致サルベシ		
洋紙、印刷物（イモ版）、切紙	来月四日区長例会を今月三十日に引揚げ		
楮紙、墨、切紙	金四円の受取証		
楮紙、印刷物（ガリ版）	「草履280足（荷物弐個）正ニ請取速ニ下ノ関貨物廠へ送達可致…」	「日本赤十字社佐賀縣委員長之印」アリ	
洋紙、墨、切紙、虫損	役場出頭の通告		
左欠	内国勧業博覧会の本村勧業委員送別会ヲ催シ度候		
楮紙、墨、切紙、後欠	金一円四拾銭領収証		
楮紙、墨、切紙、前欠	金一円の受取証		
楮紙、墨、切紙、前欠、上欠	金額は前・上部欠により不明		
洋紙、墨	五日午后一時に集まるように通達		
楮紙、墨、前欠	前欠により内容不明		
洋紙、墨、罫紙（黒）、切紙	左之者（共）論達ノ次第有之候条来ル九日午前九時当役場へ出頭致ス様取リ斗ベシ		
楮紙、墨、折紙、後欠	「桑野小阿内又次郎、上繭壱斗壱升八合、五繭三升」など繭の取高の書上		
洋紙、墨、罫紙（黒）	左記之者本年徴兵適齢ニ付…各自届ヲ差出ス様懇切示達方取計フベシ		
楮紙、墨、罫紙（黒）、後欠	行商鑑札書換の知らせ		
楮紙、墨、切紙	「九月廿7日一、白紙□枚」等の書上		
洋紙、ペン、切紙	訓導一名の勤務表		
洋紙、墨、切紙	金壱円六拾銭の領収証		
	金九拾三銭の受取証		
楮紙、墨、切紙、虫損、破損	永田、大塚などかいてある		
楮紙、切紙	「合セ紙入用乃　御祝儀」とある。もとは袋状をしていた模様		

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、横折、切紙	「昭和十五年度定期総會決定事項」「昭和四十三年度總会協議事項」など議事録の複写	表紙と「1-2」の間に挟む	2006.2.15
楮紙、墨、カーボン、無地、罫紙（青、黒）、その他（もと竪帳）、二ツ綴、表紙共紙数73丁（墨付72丁）	・明治廿九年十一月改正　村持場米取立簿 ・明治三十年旧十一月廿四日區長其他之給料記 ・明治四十一年七月九日区協議事項 ・明治四十一年二月廿五日区集会決議 ・明治四十一年六月廿二日區集會協議議決 ・明治四拾弐年三月廿三日區集会議決 ・卅九年旧十一月区集会決議録 ・明治卅九年十壱月廿七日区役費改選人名 ・明治四十三年一月七日区役費改選人名 ・四十年旧十一月区集会議案 ・枚木投票落札人名 ・明治四十三年一月七日決議事項 ・明治四拾参年一月六日区集會決議 ・明治四拾弐年七月七日区集會議決事項 ・大塚宅糞及小便代金投票 ・明治四十三年二月廿六日区集會協議確定事項 ・明治四十三年四月六日組頭集会ヲ開キ詔議事項及決議事項左ノ如シ ・四十四年三月廿六日集会決議事項 ・大正元年十弐月廿四日区集会 ・大正元年十二月廿六日決議 ・大正四年十二月廿五日役員改選 ・大正五年度小川内里道改修工事部落直営事業ニ付協定事項 ・大正五年九月十八日区會協議事項 ・大正八年拾弐月廿六日区聰集会決議 ・大正拾五年三月等級割議事録　他	こよりにて合綴	2006.2.15
楮紙、墨、罫紙（黒）、表紙共紙数5丁	「昭和弐年拾月拾日現在戸数届」も合綴		2006.2.15
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、切紙	大正三年三月八日区集会決議		
楮紙、墨、罫紙（黒）、竪帳、表紙共紙数3丁	昭和四年四月一日現在届人名（計36戸）		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折、表紙共紙数8丁	国有林に関する決議、委員名簿、規約書など		
洋紙、ペン、罫紙（黒）、竪帳、墨付5丁			
洋紙、墨、カーボン、罫紙（黒）、半折、表紙共6丁	昭和六年十二月廿六日總集會の決議、契約書など		
楮紙、墨、ペン、罫紙（黒）、半折、表紙共紙数7丁	「昭和八年十二月廿六日總会決定事項」「昭和九年七月廿三日区例會」など		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	小川内理道大谷修繕工事に関する保険証		
楮紙、罫紙（黒）、半折	「一、青年基本殖林ニ関スル件」ほか2ヶ条		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	大谷原理道修繕工事費の領収書		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	「賃金整理ニ付キ左之通リ決議ス」とあり、12ヵ条付ス。		
楮紙、ペン、罫紙（黒）、半折	「区總會懸議案」（七ヵ条）の抄録		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	私設消防組頭の辞表届		
楮紙、ペン、罫紙（黒、小川内尋常小学校）、半折	区総会の抄録		
楮紙、ペン、無地、半折	（区長会？）協議決定事項のメモ		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書（追加）

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
1-18	区総会決定事項			昭和12年4月23日～昭和16年			
1-19	記			昭和20年12月26日			
1-20	記			昭和21年12月27日			
1-21	佐賀縣氏子會山神社分區役割			昭和21年12月27日			
1-22	記			昭和22年12月30日			
1-23	記			昭和24年1月9日			
1-24	記			昭和26年～昭和30年			
1-25	協議事項原案	案文					
1-26	記			昭和35年1月23日／昭和36年2月9日夜			
1-27	記						
1-28	記						
1-29	記	備忘					
1-30	両面罫紙	その他					
2	記			昭和19年10月、昭和20年8月			
3	昭和拾九年四月起　配給品計算簿	その他					
4	供出不振理由書			昭和21年度	大石保衛他21名		
5-1	字豆野、大谷原、竹ノ屋敷、大野、長谷、古小川内國有原野内借地々圖	備忘					
5-2	規約書	備忘		大正5年12月27日			
6	書簡	書簡	11月21日		柴口	大石清一郎殿	
7	記			10月27日			
8	記	備忘		1月、2月、3月、4月、5月			
9	書簡	書簡	8月1日		福遣玉記	大石区長殿	
10	案文	案文		3月22日	区長	大石清一郎様	
11	覚	上申					
12	通達	通達	明治27年1月16日		村長代り、助役宮島由章	区長　大石清一郎	
13	通達	書簡	旧3月1日			大石清	
14	領収證	証文	明治27年2月21		田中五郎助	區長　大石清一郎殿	
15	通達	通達	明治23年7月16日		東脊振村役場	西村喜□、三橋、宗雲	
16	書簡	書簡	6月21日		藤崎護	大石清一郎殿	
17	記	その他					
18	記						
19	記	その他					
20	記	その他					
21	記	その他					
22	記	その他					
23	記	その他					
24	記	その他					
25	記	その他					
26	記	その他					
27	記	その他					
28	記	その他					
29	記	その他					
30	記	その他					
31	記	その他					
32		その他					
33	記	その他					
34	記	備忘					
35	書状	書簡					
36	覚	書簡	天保6年未2月日		本人　門兵衛□　受人　卯之助	灸蔵	
37	記	備忘		大正8、7、昭和3年			
38	新選理科読本						
39	記						
40	記	その他					
41	書状	上申					
42	覚	上申				御代官御役所	
43	奉願口上覚	案文			庄屋	御代官所	
44	覚	上申	亥7月		安永市十郎、西村久之丞	庄屋灸蔵殿	
45	記	備忘					
46	覚	上申	子ノ月		別當	津方　御役所	
47	覚	証文	7月15日		築後　久留米通町七丁目　中嶋屋直八	大石条蔵様	
48	記	備忘					

形　状	内　容	備考	調査日
楮紙、ペン、罫紙（黒）、表紙共紙数10丁	区長選挙結果、区費配当など決定事項の抄録		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	組合長選挙ノ結果及協議決定事項		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	部落集会協議事項（決定）		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	人名簿		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、表紙共紙数2丁	「学校増築に関スル件」他五ヶ条の協議事項		
洋紙、ペン、無地、罫紙（赤）、半折、表紙共紙数3丁	昭和二十四年協議事項決定事項		
楮紙、墨、ペン、罫紙（青）、表紙共紙数20丁	総会協議事項綴	第1丁右部に「昭和二十五年度分」とあり	
楮紙、墨、鉛筆、切紙、二ツ綴、一括点数2枚	「軍人歓送迎ニ関スル件」「鬼豆モグラ打廃止ノ件」「区役員手當増額ノ件」などすべてで十一件		
ペン、罫紙（青）、専用紙（原稿用紙）、切紙、二ツ綴、ホチキス、一括点数8枚	「役員改選」「昭和三十四年度定期総会議事」「昭和三十五年一月二十三日定期総会」「昭和三十六年二月六日定期総会」等の議事録		
洋紙、ペン、罫紙（赤）、専用紙（原稿用紙）、切紙、二ツ綴、一括点数13枚	「昭和三十八年度総会」議事録「昭和三十九年度総会」議事録「昭和四十三年度総会協議事項」		
洋紙、ペン、罫紙（青）、二ツ綴、一括点数6枚	「昭和四十九年度総会協議事項」「昭和五〇年度総会協議事項」の議事録		
洋紙、ペン、罫紙（赤）、一ツ綴、一括点数15枚	昭和五十四～平成十二年度総会の議事録		
洋紙、罫紙（赤）、切紙、その他、一括点数50枚	原稿用紙		
洋紙、ペン、無地、罫紙（黒）、切紙、ホチキスで2ヶ所、丁数66、表紙共紙数68丁、虫損	昭和19～20年頃の小川内地区への配給の記録。 全区民に、何がどれだけ（量、個数）、何点で（点数制）、誰に配ったのかが細かく記される。塩、菓子、酒、鼻緒、下駄、ハギレ、タオル、マッチ、イワシ、クツ下、タビ下、モメン、シャツ、腰巻、さらし、足袋、砂糖、おしめ、おいろ、黒砂糖、衣料、鎌、チリ紙。 また、喫煙者（年令、生年月日）が調べあげられている。	ノートは「女子家計簿」と題名、佐賀縣農會編でノートの最後に「主婦の心掛五項目、栄養学上より見たる食品成分分析表」がある	2006.2.15
洋紙、ペン、無地、切紙、二ツ綴、こより、丁数38、表紙共紙数40丁、墨付24丁	内扉は「昭和二十一年度　配給品計覚　小川内実行給合」となっている。内容を見てもこちらは21年の配給簿と思われる。		2006.2.15
ペン、無地（白）、罫紙（赤、福岡納）、折紙	22名が1枚づつ「供出不振書」を同じ形式で書いている。		2006.2.15
楮紙、墨、鉛筆	これまで豆野～古小川内のうち、国有原野内において借地し、耕作してきた人とその場所、面積とその形のメモ	追5-2と合綴	
	小川内区に払い下げられた国有原野の中にはこれまで個人で借地して耕作してきた人もいるので、払い下げ後の原野利用方法を定めた。	追5-1と合綴	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、下欠、虫損	追願事件に関する内容だが下欠のため内容不明		
楮紙、墨、折紙、一括点数1枚、後欠	白紙壱枚、半紙二枚　次八　「一、半紙一枚　十一月日りう」など。		
洋紙、墨、罫紙（朱、蔦屋合資会社製）、折紙、一括点数1枚	1～5月までの男女の出欠席、とそれに関る何らかの数字		
楮紙、墨、無地（白）、罫紙（黒、東背振村役場）、半折、一括点数1枚	「田中嘉平儀御出申さず整理上大ニ争候…」とあり		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、上欠	集金にかかわる書状の写書き		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前欠、虫損	「…□□御物成□□□不相変相続仕候□□不計出火ニ而家□□□」とある		
洋紙、墨、無地（白）、罫紙（黒、神埼郡東背振役場）	「本年皇兵適齢ニ付来ル廿五日迄各自届差出癸様取計ハルベシ」		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚	大石鐵之助氏病死届に付き、至急回答を迄う		
	金弐円の領収証		
洋紙、墨、無地（白）、切紙	地方税に係る諸営業の免許証押捺に関するもの		
楮紙、墨、前欠、下欠、虫損	新年の挨拶と先般の清潔検査の件に関する礼状		
楮紙、墨、切紙	「玉薬持人黒鍬同心、御薬方同心二十人、川内文五郎、御薬箱奉行守能吉兵衛」など		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、虫損	「玉薬持人黒鍬同心　御玉薬箱奉行　玉薬持人黒鍬同心　御薬方同心二十人　川内文五郎　守能吉兵衛　御薬方同心十一人」など		
楮紙、墨	「奏者　秋元但馬守　六万石　騎馬三十騎　井伊掃部頭　騎馬四十騎、弓三十張、鉄砲百挺」	17,18,19は同一か	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、前欠、後欠、上欠、虫損	「肥前守　御持筒五十挺同心百人宛」	17,18,19,20は同一か	
楮紙、墨、切紙、前欠、後欠、上欠、下欠、虫損	「駄馬組頭野田□□、荒川権六、御使番十五人」	17～21は同一文書	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、前後欠、上欠、下欠、虫損	「與力五十騎、猩々緋皮、御鉄炮」	17～22は同一文書	
楮紙、墨、無地（白）、前後欠、下欠、虫損	「御側衆二千五□□□、」	17～23は同一文書	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、前後欠、一括点数1枚、虫損	「御先手一組百人宛伊賀組同心百人組頭船越五郎佐衛門、御先手一組百人宛」など	17～24は同一文書	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、前欠、後欠、上下、虫損	「指物旗馬印同御總騎五十騎、御書院番頭　指物旗馬印同總騎五十騎」	17～25は同一文書	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「四万石、本多豊前守、御奏者松平玄蕃頭、三万石、旗三本、鎗五十本、御奏者伊豆守摘松平左衛門佐己五十張、鉄鉋五十挺」	17～26同一	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前欠、後欠、虫損	（前欠）串金紋付ナメシ皮袋入持人黒鍬同心、□□□長持二棹　持人黒鍬同心　□□金御紋付ナメシ皮袋入　御奉行跡部奥市海野新左エ門	17～27は同一	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「二十五人御目傘二本、御建傘、御雨傘二本、二十五人」など	17～28は同一	
楮紙、墨、切紙、前後欠、上欠、下欠、虫損	御旗長持二棹、與力廿騎持人同心五十人　御旗竿十五本ナメシ皮袋入」	17～29は同一	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚	若黨衆總鉛總弓鉄炮、諸具奉行　同同同同　同同同同同　同　右同断」	17～30は同一	
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「御小人三十人□□御小人三十人馬栖杓三本水田子三荷」	17～31は同一	
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「御小姓騎馬三百五十騎、御納戸騎馬五十騎」	17～32は同一	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「金御紋組代　御挟箱二御弓建」	17～33は同一	
楮紙、墨、罫紙（黒、銘なし）、切紙、一括点数1枚、前後欠	「水鶏に鳥越醒す暁や／奈良の大仏鼻の大さや／名もなき山も花で賑ふ」など、句のメモ。		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、後欠、虫損	「右ニ付妙覚然役僧罷出ニ付、内々□役人江寸合ニいたさせ候得共、しかと分明不仕　半九□も比只に不快ニ而幾観も之無、卒願罷出候得共面会も之無（後欠）」		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、下欠、虫損	「右金壱両」「某持掛之山□毛のき」「利足之儀年□割　當暮□十内元利無滞御掛方可仕候」	鉛筆で⑬とある	
洋紙、ペン、専用紙（便箋）、切紙、一括点数1枚	4名の戒名と没年のメモ。「一玄徹心居士、大正八年十一月十九日寂」など		
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、帳はずれ、一括点数1枚	教本から外れた1枚。「第二章　礦物界　動物ト植物トハ飲食シ、及ビ…」		
楮紙、墨、一括点数1枚	「なつかしの去年の春の花見項」「名もなき山も花に賑ふ」	句を並べて記している	
楮紙、墨、切紙、後欠、虫損	「奉納官句集四季ハ題折句一子余吟之抜萃　七十五章段始之巻」		
楮紙、墨、無地（白）、一括点数1枚、前後欠	「御越之節も外ニハ御正宿ホ相成候、相應之家居迚も無之」「近年諸色別而高値ニ有之、大貢貨銀其外何分自力ニテ相整不申」「御家銀七百五拾目拾ヶ年賦返上ニシテ拝借被仰付被下度」		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、前欠、虫損	書状の充所「御代官　御役所」とだけある		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、虫損	筑前下座郡□原村百姓の三名（左平、女房つや）、百日滞在御免状		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、虫損	「一、底帳壱品　一、名口分帳弐品〆帳数三品受取申候、　御用相済候上、差返可申候」	鉛筆で⑦と記されている	
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠、下欠、虫損	「鵑の啼く杉のま晴て　野趣の旁　百口」など句が羅列する		
楮紙、墨、前欠、虫損	前欠か。「前書ノ通冬向ハ然中急□荷勝ニ之有船頭中も夫上ハ當ニ仕居候処、右様不弁理之義共御座候而共船頭共不及申…」	鉛筆で⑪と記されている	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚	「一札、五斗　右者恬ニ借用仕候　以上」	鉛筆で⑥とある	
洋紙、墨、無地（白）、罫紙（黒、銘なし）、切紙、一括点数1枚、前欠	句のメモ「幾てと□日者桜見の客」など		

東脊振村〔現吉野ヶ里町〕小川内：大石久一家文書（追加）

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
49	記	備忘					
50	記	その他					
51	書状	書簡	9月17日		高取次郎太郎	修學院壱家様	
52	記						
53	授業料受取證	証文	明治27年2月3日		田中五郎助	區長大石精一郎殿	
54	通達		明治27年8月22日		東背振村長　三島宗雄	區長大石清一郎	
55	記	その他					
56	記	その他					
57	記	その他					
58		その他					
59	記	その他					
60	記						
61	恐奉願口上差上候	上申		卯月	小川内村庄屋喜門		
62	覚			未9月	加賀市□□□		
63	覚	上申		己3月		村役忠蔵、庄屋久米蔵	
64	覚	上申		申12月	本人角兵衛　下人順蔵　□人源十 下人傳右衛門	村方　御衆中	
65	記	証文、備忘					
66	乍恐奉願上口上覚	上申					
67	覚	案文			庄屋		
68	覚	案文					
69	覚	上申					
70	書状						
71	覚	上申					
72	高祖弘法大師誓願御和讃	その他					
73	記	備忘					
74	記						
75	記						

形　状	内　容	備考	調査日
洋紙、墨、無地（白）、専用紙（便箋）、切紙、一括点数1枚	戒名と没年記録「一的貫中居士　宝永二年巳　知證圓学居士　文政十三年八月」など		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚	俳句四句　「待ち□はてつまに聞かれるほととぎす」他		
楮紙、墨、切紙、前欠、上欠	「何段萬悦　可奉下上候得共　先□□頓首敬白」		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、虫損	「本庄五郎右衛門、種島五郎左衛門、笹山平太夫　一通百人宛」		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚	「…合計金壱円五拾三銭　右ノ通リ二ヶ月之授業料受取申候也」		
楮紙、その他、無地（白）、印刷物（イモ版）	軍夫志願者の募集		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前欠、後欠、上欠、下欠、虫損	「御鉄鉋五十挺　偖々緋皮袋」		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、虫損	「松田善右衛門　虎革御拵鞘五本」「蔭山数馬虎革御拵鞘五本」御鎗同心百人		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前欠、後欠、虫損	「御小納戸衆二十七人　御小性衆五十七人」など		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「千人組頭　吉村庄五郎」他		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠	句集「□たほと人　相メハせぬ　のふの月　巻葉」など		
楮紙、墨、一括点数1枚	「明月や梢に遊ぶ子連れ猿」他、句集	59と同一	
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、後欠	「御定銀七百五拾目去ルノ年十ヶ年返上ニ而御相談被仰付候条去卯年大捐毛ニテ一ヶ年□□濛被成下都合七ヶ年候也」「残銀百五拾目ニ候処、当年を向十五年残リヲ御返上申上居奉願候」	鉛筆で⑫とある	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、下欠、虫損	「右　大石喜門當年五十五歳実子灸蔵儀當年拾七歳ニテ」		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、後欠	「當地竈数二十」「弐十軒出火同様之心得」「近年損毛相続」「何卒御拝借」とあるが下欠		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前欠、虫損	「（前欠）相成候上肖　御吟味　御兄外以ニ相□□□之申合無御座候」「此先荷基同届□　仕候節者　村方并一類相嗂連者上當所退不申、仍一筆如件」		
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙、一括点数1枚、前後欠、虫損	「雉子鳴くや　青む峠の　別れ道」など俳句18首		
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、後欠	「不相斗生位御肴之ため不宜ニ付三四里之山境と相□少々、心得候者相□漸々當能口方下候得共為仕候□者、埒明候事も無御座免ニ角（中略）大切の境目ニテ」「筑前御公領之旨モ祖承知被在差□リ唯今者上ニテモ筑前方ゟ文通ニテ四合ヶ間敷儀モ（後欠）」		
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、後欠、虫損	「石動川内小川内外　詰山之内ゟ伐取奉願候」	鉛筆で⑤とある	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数2枚、前欠	「米五石出切リ借レ拝被仰付被下候有難間敷候　其通被仰付被下候而者御拝借御助力御蔭を御開羽度深重奉願上候」	鉛筆で④とある	
楮紙、墨、無地（白）、切紙、一括点数1枚、後欠、虫損	「家兵衙不敬ノ所行ニ而」「小川内之儀深山陰ノ地ニ而」「小川内之儀　深山陰ノ地ニ而炭灰を御上納節ハ　男女弐百余人之者共」	鉛筆で③とある	
楮紙、墨、無地、切継紙（2枚継）	竈数二拾五軒之内焼失残弐拾も出火同様の被害にあい難渋。	鉛筆で②とある。前段欠	
楮紙、墨、切紙、一括点数1枚、前後欠	「御拝借被仰付被下度奉存（下欠）」「庄屋杢気出火焼失（下欠）」「銀七百五拾（下欠）」「住村ノ儀先年薩嶽□□心得ゟ殊更切成御境場ニ而（下欠）」「何卒格外之御（下欠）」	鉛筆で⑧とある	
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙、一括点数1枚、後欠	「帰命頂禮遍照尊　八葉開く蓮の池」など		
洋紙、ペン、専用紙（原稿用紙）、切紙、一括点数1枚、前欠	「元禄宝永正徳享保」など年号を用紙半分に渡ってしるしている。		
洋紙、墨、無地（白）、専用紙（便箋）、切紙、一括点数3枚	「明治二年己九月五日　喜楽常念居士　大石喜内了」など明治以前死亡の13名の姓名と戒名。		
洋紙、墨、鉛筆、切紙、一括点数2枚	「明治二年十月覚了誠心居士」など明治以前に死亡した9名の戒名と姓名のメモ。		

那珂川町網取：山田善寛家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
A-0	木箱						蓋部　田代當家古書付類入末家之事も有之　正冨
A-1	金借用証	証文	明治36年旧11月3日		南畑大字五ヶ山　借主山田善八 証人田中嘉平　証人田中勝次	真鍋勘次殿	
A-2	銭借用証						
A-3	受取証	証文	明治25年12月29日		南畑村大字市瀬	山田善八	
A-4	出資券		大正4年4月2日		無限責任南畑信用組合長理事　添田富吉（公印）	山田與三吉殿	
B-0	木箱	その他					フタ　安政六年未八月
B-1	御餞別		明治11年寅3月29日	寅3月28日			
B-2-0	こより紐						
B-2-1	借用證文之事		明治13年辰5月		借主香野左助(印)請人同嘉蔵(印)	山田善助殿	
B-2-2	永代賣渡證文之事		明治6年巳12月		受人茂三郎(印)右同藤次郎(印) 賣渡主弥吉(印)	善右衛門殿	
B-2-3	永代売渡之證文之事	証文	嘉永5年子ノ2月		売主佐次郎　證人佐助	善右門	
B-2-4	永代売渡證文之事	証文	安政2年卯6月		網取惣右門、証人同所左平	網取善右門	
B-2-5	永代売渡證書之事	証文	明治9年子旧11月		売渡香野佐八、證人田中源四郎、田中次吉		
B-2-6	永代證文之事		安政7年申8月		本人斉七(印)	善右衛門殿	
B-2-7	永代證文之事	証文	天保14年卯6月		売主五ヶ山村次七、證人同村利平		
B-2-8	永代賣渡證之事		明治8年亥7月		賣主網取中(印)　同所伍長田中源四郎(印)	山田善八殿	
B-2-9	賣渡證文之事	証文	明治5年3月		孫四郎、卯三郎	善右衛門　源四郎	
B-2-10-1	記		明治30年旧6月30日朝		福岡縣筑紫郡警固村大字今泉村 讃岐豊田郡常磐村大字出作寄留 坂田勇勤拝	山田善八殿	
B-2-10-2	記						
B-2-11	備忘	その他					
B-2-12	金借用証		明治14年旧第7月		借用主田中源蔵、證人田中勝次	山田善助	
B-2-13	約定証		［明治期か］ 3月12日		澤伊蔵	山田善八殿	
B-2-14	金借用証	証文	明治17年申4月		借用主　山田善八・田中勝次	山村市助	
B-2-15	受取証		明治24年4月24日		南畑村収入役内野恒夫(印)		
B-2-17	受取証		明治29年4月22日		田中浅吉(印)	田中勝次殿、山田善八殿	
B-2-18	借用仕證文之事	証文	慶應元年丑9月		借主善三郎　證人甚七	善右門（ママ）	
B-2-19	借用証		明治17年申旧5月		借用主鳥飼久平(印)、弁償人同新吉、同築地徳平(印)	山田善八殿	
B-2-20	借用証		明治17年旧申8月		借主鳥飼久平(印)、請人鳥飼新吉(印)、同築地徳平(印)	山田善八殿	
B-2-21	借用証	証文	明治15年午12月		借用主鳥飼久平　弁證人鳥飼	山田善助	
B-2-22	借用証		明治5年12月		借用主築地和平(印)弁償人鬼塚茂八(印)	山田善八殿	
B-2-23-1	受領証	証文	明治29年旧正月10日		田中勇吉	田中勝次　山田善八	
B-2-23-2止	受取証	証文	明治29年旧29年正月22日		田中勇吉	田中勝次　山田善八	
B-3	借用証	証文	明治32年旧12月29日		田中源蔵、田中勝次	山田善八	
B-4	賞状		明治24年5月1日		福岡縣知事従三位勲二等安場保和(公印)	那珂郡南畑村山田善八	
B-5	地所永代賣渡証	証文	明治17年8月27日		五ヶ山并外五ヶ村戸長代理第等生櫛橋定		
B-6	地所登記濟下付願		明治21年8月13日		同国同郡同村山田善八(印)	西隈登記所御中（公印）	
B-7	地所賣渡証		明治20年1月19日		那珂郡五ヶ山村賣渡人鳥飼久平(印)、同郡同村証人鳥飼新吉	山田善八殿　田中善次郎殿	
B-8	報告書		明治39年4月		筑前九郡茶業組合長　服部利明		
B-9	受取証		旧3月26日		田中喜代次	山田善八殿	
B-10	受取証		明治23年4月20日		築地鶴吉(印)	山田善八殿	
B-11	受取証		明治24年2月9日		田中勝次(印)	山田善八殿	
B-12	地所賣渡証		明治21年8月10日		那珂郡五ヶ山村賣渡人山田孫平(印)、同郡同村証人田中千松(印)、同郡同村証人香野惣平(印)	山田善八殿	
B-13-0	こより紐						
B-13-1	包紙	その他					
B-13-2	記				計次	善八様	
B-13-3	受合証書		明治13年12月		加入主築地和平(印)請合証人田中藤次郎	網取講組合御中	
B-13-4	達	証文		12月		那珂郡五ヶ山善右衛門	
B-13-5	達		江戸期			那珂郡五ヶ山村善右衛門	
B-13-6	達		［江戸期］午10月			那珂郡五ヶ山村善右衛門	
B-13-7	品物書上		子6月4日			佐助	
B-13-8	借用証		明治16年丙8月		借用主田中源蔵(印)受人田中勝次(印)	山田善八殿	
B-13-9	借用證奨之事		弘化3年午5月		借主太作(印)、受人左助(印)	善右衛門様	端裏　太作殿
B-13-10	記						
B-13-11	証	証文	己7月30日	明治14年	富田嘉四郎	山田善八	
B-13-12	借用證文之事		明治10年丑3月		借主　茂三郎(印)　受人喜市(印)	善助殿	端裏　茂三郎殿
B-13-13	借用証		明治15年9月		借主鳥飼新吉(印)　請人山田又四郎(印)	山田善八殿	
B-13-14	金借用証	証文	7月30日		田中又右衛門	山田善助	
B-13-15	上借證文之事		明治8年旧亥4月		借主茂三郎　受人嘉平	山田善助	
B-13-16	職業之儀ニ付		明治9年7月		助長　山田善八(印)	戸長　平岡直吉殿	包紙、本紙と異質　明治九年御免札　山田善八
B-13-17	覚		(江戸期) 7月		調取中		
B-14	記	備忘	明治29年旧12月16日		山田善八	築地忠次郎殿	
B-15	證據	備忘	未, 9月		庄屋助五平	善右衛門	
B-16	地所登記済下付願	上申	明治21年8月10日		山田善八	西隈登記所	

形　状	内　容	備　考	調査日
			2004.6.30
楮紙、墨、罫紙（青）	金壱百圓を明治三十六年旧十一月三日借入、同三十七年旧十二月限り返済、不都合を生じた節は字漆ヶ谷六百五十七番田弐反六畝拾四歩を引受	収入印紙を貼付（五銭分）	
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、前欠	銭借用証のひな型		2004.6.30
楮紙、墨、切紙	金百円の受取証		2004.6.30
洋紙、墨、活字、印刷物（活版）、切紙	「出資壹口金拾圓」の出資券		
26.4×12.5×10.5	フタに“安政六年未八月”とある		2004.6.30
楮紙、墨、切継紙、後欠	“大神富さんけい（伊勢神宮か？）の餞別の書上帳		2004.6.30
楮紙、無地			
楮紙、無地、切紙	金壱円五拾銭当辰の十二月限り返済、引当として私屋敷指出申すべく候	B-2全体の包紙	
	山神の下々田六畝八歩、高四斗四升三合、代金拾五両借用、間違いの儀には永代賣渡	同年巳十二月付で組頭印三郎（印）　庄屋吉次（印）の名で善右衛門殿へ提出	
楮紙、墨、切紙	字石橋の畠一ヶ所を代金三歩（ママ）三朱で売り渡した際の売渡證文		
楮紙、墨、切紙	ちしゃノ木ヶ谷の杉山一ヶ所を金弐分と米八升で売渡した証文		
楮紙、墨、専用紙（證券界紙）、切紙	字網取九百三十番の切畑三畝廿十八歩を代金拾弐円と代米壱俵で売り渡している。		
楮紙、無地、切紙	杁山壱ヶ所、代金三貫文にて永代請取		
	五ヶ山村の次七が同村利平へ中田五畝高六斗五升七合を代金弐両弐歩で売渡している	字ゆづり葉	
楮紙、罫紙（青）、切紙	九百三十二番字網取、五等畑拾弐歩（代金壱円六拾八銭五厘）の永代売渡し		
楮紙、墨、切紙	大野宗四郎が仕立てた米講を肥前札六十匁で売り渡している。証人は卯三郎、売主は源四郎		
楮紙、墨、無地	明治卅年旧六月廿三日ヨリ三十日朝迄大ニ御世話相成難有仕合に存じ奉り候		
楮紙、墨、無地	「福岡縣筑紫郡警固村大字今泉村坂田勇勤　香川縣讃岐国豊田郡常磐村大字出作庄司政蔵方寄留」とあり	B-2-10-1～2は同折	
楮紙、墨、切紙	半紙4枚が4つ折りで畳まれている。内容は梵字と地蔵。		
楮紙、墨、罫紙（青）	金貨四円を耕地を抵当として借り受け旧十二月までに返済する旨を記した借用証		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	貴殿所有の杉山二ヶ所四拾四円壱銭にて買取、内三円五拾銭払渡銭金旧三月十七日限り相渡		
楮紙、墨、罫紙（緋）、切紙	金拾円を米講一口（大野の鬼塚惣四郎が仕立てたもの）を抵当として借用した。金利は年2割。期限は申旧十二月。		
楮紙、墨、罫紙（赤、役場用紙）、切紙	金三拾銭（内金拾五銭田中源次郎殿、金拾五銭山田善八殿）の受取証		
楮紙、墨、無地、切紙	金四拾弐円七拾五銭、杁山代として受取		
楮紙、墨、切紙	金弐両を大野の次助が仕立てた講を抵当に借り受けている。		
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙	米壱俵ト金三円の借用、返済ハ来申ノ旧十二月限リニ元利共悉替（ママ）返済、抵当ハ「千二百番地字北川田弐畝拾六歩」		
楮紙、墨、罫紙（赤）、切紙	金弐円（婚（ママ）当古川田壱ヶ所）の借用返金の儀、来ル申十二月限リ元利相揃仕べく候		
楮紙、墨、罫紙（緋）、切紙	金拾円を字北川耕地（壱畝十四歩地券）を抵当に未十二月を期限に元利金を返済する旨を明記している。		
楮紙、罫紙（青）、半折	米弐俵（抵当：筑前国那珂郡五ヶ山村八百三十二番字長畑の耕地弐畝九歩）の借用返済の儀明治十六年第十月限り元利一同御返却。		
楮紙、墨、切紙	字ウツヲの杉仕立落札代金の内五円の受領証	B-23-1、B-23-2は同節	
楮紙、墨	字ウツヲの杉仕立代金の内参拾七円五十銭の受取証		
洋紙、墨、罫紙（青）	字内ノ奥の山林一ヶ所を抵当に入れて拾円を借り入れている		
洋紙、墨、無地、賞状	村役場新築費トシテ金壹圓寄附の段奇特ニ候事		
楮紙、墨、罫紙（緋）、一ツ綴	売渡人香野嘉蔵が網取の林九反四畝拾五歩を代価九円四拾五歩で売渡している	五ヶ山村外五ヶ村戸長役場の印あり	
楮紙、罫紙（青）、半折	那珂郡五ヶ山村八百九拾九番地ノ二字網取林弐拾七歩（地価拾壱銭七厘此百分二ヶ半金三厘）を田中源四郎ヨリ買受それに付登記済		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、ひねり綴、こより	筑前国那珂郡五ヶ山村千百廿番地字櫻谷の国、四畝廿九歩（地價六圓三拾八銭）及び筑前国那珂郡五ヶ山村千百十九番地字櫻谷畑拾九歩（地價弐拾七銭）を金四拾圓にて賣渡		
洋紙、活字、無地、切紙	糸島外八郡茶業組合明治三十九年度経費歳入出決算報告書	「山田善八」宛の組合経費賦課金領収書を同折	
楮紙、墨、無地、切紙	山林壱ヶ所代金五円の受取証		
楮紙、墨、罫紙（赤）、半折	金三円、山林代金として受取		
楮紙、墨、無地、切紙	金拾六円、鬼塚弥市所有字川口の山林の賣渡代金トシテ請取申候		
楮紙、墨、無地、罫紙（赤）、竪帳、ひねり綴、墨付2丁、一括点数3枚	同村八百八十六番地ノ三字赤坂の畑弐畝（地価三銭九厘）を金拾弐銭にて賣渡	欄外に「五ヶ山村地登第参拾弐号」とあり、当地の図を合綴	
楮紙、墨、切紙	“東小川内伊八郎講網取講中様”とある。		
楮紙、墨、切紙	“御賀物、藤の上分　善次殿、次吉殿、宇三郎殿”とある		
楮紙、墨、無地、切紙	餅米弐俵半（代三圓五拾五銭）などの受取証		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	築地伊八殿仕立講へ加入仕度候ニ付網取組合ニ御組込下さるべし。講入札等いたし候節は連中江御相談仕る。		
楮紙、墨、切紙	御救用の為銀六拾五匁を出銀するように記されている		
楮紙、墨、無地、切紙、後欠	窮民救筋志を相立奇特の至り、云々		
楮紙、墨、無地、切紙	社倉御取起ニ付金三歩寸志差出奇特の至御沙汰に及び候事		
楮紙、墨、無地（朱）、切紙、前欠	“付木十一手五厘、燻灼弐本壱銭”など		
楮紙、墨、無地、切紙	荒茶五石代金弐円拾銭にて借用、本月廿日限り返済		
楮紙、墨、無地、切紙	金弐歩弐朱の借用、来ル午七月限り元利相揃御返済		
楮紙、墨、折紙	“一、弐拾三銭、一、米三升代拾五銭”など		
楮紙、墨、専用紙（村役場洋紙）、切紙	明治十四年前半の額（弐拾銭）木挽職税の受取証		
楮紙、墨、専用紙（證券界紙）、切紙	米壱俵借用、来丑六月限り返済		
楮紙、墨、無地、切紙	金三円借用（妬（ママ）当一瀬村吉次郎殿仕立講）午十一月限り返済仕るべし		
楮紙、墨、罫紙（緋）	壱円五拾銭を八月廿日迄に返済する旨を記している		
楮紙、墨、罫紙（白、“無印紙證書用紙福岡縣管下”）	壱円（子ノ月五拾銭受取）を当亥十二月に返済する旨記されている。屋敷、畑が担保になっている。		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	大鋸職（第八大区八小区五ヶ山村四十七番屋敷）の届	朱書にて「書面之趣等届ケ候事明治九年八月十八日」と奥書あり。欄外に「第十三号」と朱書	
楮紙、墨、無地、切紙	網取村御渡山二而小松弐本伐候処山ノ口源市見當リ殊の外無り成る差留ニ相成、同人儀左の通ヶ條、書上候	一．肥前木挽雇入凡拾年斗も杉松ニ而伐木挽立肥前江持越商業仕候事　一．末木ヲ以大木等拵是又肥前江持越候儀も見当リ候事　一．讒之事を六ヶ敷申掛金銭ゆすり候儀も承知仕居申事　一．御用之杉伐取候儀も御座候事　右之通4條ニ御座候以上	
楮紙、墨、無地、横折、切紙	元利合テ九円九十銭、米壱俵など惣合計拾円五十銭の請求書		
楮紙、墨、切紙	善右衛門が人夫を一人御山方御宿へよこしたことの證拠		
楮紙、墨、罫紙（緋）	五ヶ山村字赤坂の畑弐歩（地価三銭九厘）を買受けた為、登記済の証明の下付を申請している。	朱筆で「登記済明治二十一年八月十三日」とある。	

那珂川町網取：山田善寛家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
B-17	地所賣渡証		明治26年11月22日		那珂郡南畑村大字五ヶ山字網取田中勝次他二名	南畑村大字五ヶ山　山田善八	
B-18	土地賣渡証		明治23年9月15日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山田中深蔵(印)	山田善八殿	
B-19	受取	備忘	旧11月7日		勘次	山田善八	
B-20	記	備忘	明治18年11月12日		山田善八		
B-21	賣渡證		明治39年4月拾吉日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山　賣渡人田中筆吉(印)	山田善八殿	
B-22	質物證文之事		明治4年未ノ正月		受人卯三郎（印)、畠主茂三郎（印)	善右衛門殿	
B-23	受取証	備忘	明治23年旧7月3日		筑地虎吉	山田善八殿	
B-24	記	備忘			五ヶ山　有岡香	善吉、善市	
B-25	入學頼（ママ）		明治37年12月27日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山　山田與曽吉、保證人　山田善八	筑紫郡長廣辻信次郎殿	
B-26	状況報告書		明治37年12月26日		山田善八	福岡縣知事岡嶋醇	
B-27	地所賣渡証		明治19年1月31日		那珂郡五ヶ山村賣渡人築地和平(印)同郡同村証人鬼塚茂八	山田善八殿	
B-28	地所賣渡証	証文	明治20年1月		那珂郡五ヶ山村賣渡人田中源蔵、証人田中勝次	山田善八	
B-29	報告書	その他	明治30年5月20日		糸嶋外二郡茶業組合長　服部利明		
B-30	報告書		明治37年4月		糸嶋早良筑紫粕屋宗像朝倉遠賀鞍手嘉穂茶業組合長		
B-31	領収書	その他	明治37年5月10日		服部利明	山田善八	
B-32	金受取證		明治35年旧2月28日		受取主平岡治吉(印)	山田善八殿	
B-33	土地賣渡証		明治32年11月27日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山賣渡人香野安吉（印)	山田善八殿	
B-34	土地賣渡証		明治35年9月3日		香野惣平	山田善八	
B-35	受取証	証文	明治25年旧12月29日		田中源次郎	山田善八	
B-36	明治三十二年度南畑村各神社経費豫算決議案	備忘					
B-37	地所永代賣渡証		明治18年4月30日		賣渡人鬼塚三平(印)証人築地和平(印)証人香野善吉(印)	山田善八殿	
B-38	櫨実摘採願	上申	明治20年9月15日		筑後国那珂郡五ヶ山村願主山田善八、保証人田中勝次、同人田中源四郎	福岡縣知事　安場保和	
B-39	地所賣渡証		明治21年1月日		那珂郡五ヶ山村賣渡人山田善八(印)同郡同村証人田中源次郎(印)	田中藤次郎殿	
B-40	地所賣渡証	証文	明治21年2月27日		賣渡人田中源次郎、証人田中嘉代吉	山田善八	
B-41	地所賣渡証		明治19年10月23日		賣渡人筑地源八、証人筑地喜市	山田善八	
B-42	證據	証文	辰正月		庄屋吉次		
B-43	證據		卯12月		庄屋吉次		
B-44	記	その他	旧12月25日		東野勘次	山田善八	
B-45	受取証	証文	明治20年旧3月1日		田中源蔵	山田善八	
B-46	賣渡証	証文	明治39年旧3月6日		田中筆吉	山田善八	
B-47-1	自家用濁酒・焼酎免許証	通達	明治29年10月22日		福岡縣知事男爵　岩村高俊	山田善八	
B-47-2	請取証	証文	12月11日		組合長　亀地廣吉	山田善八	
B-47-3	請取証	証文	12月14日		築地鹿吉	山田善八	
B-48	代替ニ付地所譲渡地券御書換願		明治19年12月15日		那珂郡五ヶ山村譲渡人山田善六証人田中勝次　同香野善二郎	山田善八殿	
B-49	報告書			明治35年3月11日	糸島早良筑紫粕屋宗像茶業組合服部利明		
B-50	受取証		明治31年旧12月29日		香野惣平(印)	山田善八殿	
B-51-1	受取証		明治31年旧3月30日		香野惣平(印)	山田善八殿	
B-51-2	受取証		明治31年旧11月11日		香野惣平	山田善八殿	
B-52	証文	証文	10月17日		築地忠次郎、使築地中太夫、鶴山祐三郎	山田善八	
B-53	賣渡証		明治37年4月12日		筑紫郡南畑村大字五ヶ山千百弐拾五番地平岡藤平(印)	山田善八殿	
B-54-1	賣渡證		明治24年旧4月8日		田中筆吉(印)	山田善八殿	
B-54-2-1	請取証		明治24年3月26日		田中筆吉(印)	山田善八殿	
B-54-2-2	請取証		明治24年旧3月19日		預主田中筆吉(印)、証人田中勝次	山田善八殿	
B-54-2-3	請取証		明治24年旧3月14日		田中筆吉(印)	山田善八殿	
B-55	地所賣渡証	証文	明治25年2月10日		田中ツ子	山田善八	
B-56	地所永代賣渡証	証文	明治18年11月		築地忠次郎、築地和三郎	山田善八	
B-57	地所永代賣渡証		明治16年1月22日		五ヶ山村二千百六拾七番地賣主鳥飼新吉(印)、証人福冨喜平(印)証人鳥飼久平(印)	當村山田善八殿	
B-58	地所賣渡証	証文	明治20年1月		田中源蔵、田中勝次	山田善八	
B-59	金借用証		明治32年旧2月25日		借用主築地乙吉(印)、弁償人鳥飼新吉(印)	山田善八殿	
B-60	永代売渡証	証文	明治32年旧12月		築地乙吉　鳥飼新吉	山田善八	
B-61	地所売渡証	証文	明治20年1月19日		田中源四郎、田中浅吉	山田善八	
B-62	地所売渡証		明治26年11月21日		山田善八	山田松次郎	
B-63	地所売渡証	証文	明治21年		田中源四郎、田中嘉平、田中源次郎	山田善八	
B-64-1	確証	証文	明治15年10月		鳥飼新吉	山田善八	
B-64-2	売渡証	証文	明治24年3月25日		鬼塚弥市、田中勝次	山田善八	
B-65	地所永代證書		明治15年午4月		賣渡人地主五ヶ山村築地源八(印)証人同村築地嘉市(印)	山田善八殿	
C-0	紙袋						
C-1	組合員証	その他			茶業組合事務所	山田善八	
C-2	雑	その他					
C-3	炭製造業鑑札		明治38年12月26日		福岡縣役所	山田善八	
C-4	貯金領収通知書				逓信省(赤間關)為替貯金出張所	筑紫国那珂郡五ヶ山村山田善八殿	
C-5	報告書	その他	明治35年5月		筑豊二市十三郡茶業組合長服部利明		
C-6	約定証	証文	大正3年7月9日		山田与三吉	若狭国三方郡西郷村橋本嘉吉	
C-7	覚			大正3年7月25日			

形　状	内　容	備　考	調査日
楮紙、墨、切紙	字平野の山林六反五畝歩を四円八拾銭で賣渡した際の証書	朱筆で「五ヶ山第二三八號登記済明治七年三月十六日」とある	
楮紙、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁	筑紫郡南畑村大字五ヶ山字網取の畑拾六歩、同山林弐拾七歩を金弐円にて受取	「福岡區裁判所老司出張所」の公印あり。明治参拾四年吉月拾壱日の登記印	
楮紙、墨、切紙、前欠カ	利子金壱円四銭の受取証		
楮紙、墨、折紙	厄祝に必要な徳利・樽・肴等の本数と人名の書上。	「一．肴代弐拾銭善四郎、一．同樽一ツ同、一．肴代弐拾銭、又四郎、一．同樽一ツ、同」など	
楮紙、墨、活字、罫紙（黒、青）、竪帳、墨付2丁	筑紫郡南畑村大字五ヶ山字網取の山林四畝拾五歩を金参円にて売渡し	明治参拾九年四月拾壱日に登記済、福岡區裁判所老司出張所」の公印あり	
	太市屋敷の上畠（壱畝拾六歩高弐斗壱升六合五勺）を質物として金拾九貫七百文の受取、来ル亥ノ年迄五ヶ年の間差出中置候	同年同月組頭築地市作、庄屋築地吉次の名で山田善右衛門殿へ提出	
楮紙、墨、切紙	山林代金六拾銭の受取証		
楮紙、墨、切紙	枚（六寸板、一寸板）の書上	「六寸板　三丈五十九寸　代三百廿六銭」など	
楮紙、罫紙（青）、半折	山田與曽吉の同郡農事講習所入学願	南畑村長池田知三郎の署名あり	
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	明治三十六年二月に福助を受けて造林したが（杉植林地弐反歩）、その一部が枯損した為、その部分を植賣した旨を報告している		
楮紙、罫紙（青）、竪帳、墨付2丁	那珂郡五ヶ山村字川口の畑（弐畝拾弐歩）を金拾圓にて売渡し	戸表堤通方の署名あり	
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙、下げ綴、こより	五ヶ山村字赤坂の田弐畝三歩（地価四円九拾六銭五里）を三拾八円で売渡した		
洋紙、活字、印刷物（活版）	糸島、早良組合と筑紫組合が合併し、新組合長の選出、経費歳出入豫算等		
洋紙、活字、印刷物（活版）	同年同月十日正十二時ヨリ合同委員会開会、その議決の詳細		
洋紙、墨、活字、切紙	組合経費金支払証（明治三十七年度分、弐拾五銭）	明治三十七年四月～三十八年三月までの茶業組合証（製造人山田善八）が一枚入っている。	
楮紙、罫紙、半折	金八円の受取証		
楮紙、罫紙（青）、半折	同郡南畑村大字五ヶ山字網取の畑（弐畝八歩）を金拾円にて売渡し		
洋紙、墨、罫紙（青）	字網取　郡村宅地三畝拾弐歩を三拾円で賣り渡した。		
洋紙、墨、切紙	現金拾五円、金五円証書と利金三円五十銭の受取証		
洋紙、墨、罫紙（役場用紙）、二ツ綴、こより、一括点数2枚	明治三十二年度の歳入と支出の表		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁	筑前国那珂郡五ヶ山村字川口の林（凡三段六畝三歩）を拾壱円弐拾銭にて売渡し	明治十八年旧四月三十日付、戸長堤通方の署名あり	
洋紙、墨、罫紙（青）、二ツ綴、一括点数4枚	五ヶ山村抱え内前田の那珂川筋の櫨、四本と字赤坂の赤坂川筋の一本の実の採取を廿四年までの五ヶ年間請負う旨を申請している。（これらの木は先祖代々植立てていたが明治八年地租改正に付、官有河川内となってしまっていた。）	朱印で請負を許可する旨を県知事が明記している。	
楮紙、墨、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁	那珂郡五ヶ山村字川口の畑弐畝拾弐歩を金拾圓にて売渡し		
洋紙、罫紙（緋）、下げ綴、一括点数2枚	五ヶ山村字櫻谷の田四畝二十九歩、畑拾九歩を拾八円で賣渡している。（元々は共有地だった）		
洋紙、墨、罫紙（青）、二ツ目綴、こより、一括点数2枚	五ヶ山村字添ヶ谷の藪壱反歩を五円で売渡している		
楮紙、墨	「御境目奉行宿為致候」とある	B-15と類似する	
楮紙、墨、切紙	「一、夫壱人　大廻　右者御役所宿為致候」とある	B-15、B-42と類似	
墨、罫紙（青）、前欠	「元金参拾円　中利子金四円五拾銭」とある。金銭借用証か。	前欠か	
楮紙、墨、切紙	上納金弐拾銭の受取証		
墨、罫紙（青）、切紙	芽講一口を米一俵で売渡している。		
洋紙、墨、専用紙	自家用の濁酒・焼酎免許証		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	_莽（株莽カ）壱円七拾銭の請取証		
楮紙、墨、罫紙（青）	木炭の株金二円六拾銭の受取証		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、一ツ綴、表紙共13丁（墨付11丁、一括点数1枚）	筑前国那珂郡五ヶ山村の田・畠・藪など27ヶ所の書換願		
洋紙、活字、無地、印刷物（活版）	明治卅五年三月十一日本組合通常委員会ヲ福岡市東中洲丸万にて開会、同回通常会決議の要項		
楮紙、墨、無地、切紙	拾五圓の受領証		
楮紙、墨、罫紙（青）、切紙	字網取千百十二番地の郡村宅地三畝拾三歩（代金百四十五圓）の内金八拾圓の受取	B-51は同折	
楮紙、墨、罫紙（黒）、切紙	金拾五圓と金弐拾圓の受取り	B-51-1の金百四十五圓の残りか	
楮紙、墨、罫紙（緋、なし）、切紙	講銀弐円の受取証		
楮紙、墨、活字、罫紙（赤）、印刷物、半折	筑紫郡南畑村大字五ヶ山字網取千百弐拾四番地の畑弐拾歩（地價金四拾銭）金五円の賣渡証		
楮紙、墨、罫紙（青）、竪帳、一ツ綴、墨付2丁	千弐百五拾壱番字赤坂田壱反四畝三歩の賣渡証	B-54はこよりにて合綴、同年旧三月八日付の「登記証明ト引替」る旨の書付あり	
楮紙、墨、無地（青）、竪帳、ひねり綴、こより、墨付3丁	金三円廿銭の田地賣渡シ、代金請取証	B-54-2は合綴	
楮紙、墨、罫紙（青）、竪帳、ひねり綴	金四拾弐円の請取証	B-54-2は合綴	
楮紙、墨、罫紙（青）、横帳、ひねり綴、こより	金五円の請取証		
墨、罫紙（青）、切紙、一ツ綴、こより	字赤坂の田壱反四畝三歩（この他畦畔、用水路、悪水路を含む）を二拾円で売渡した。		
洋紙、墨、罫紙（青）、一ツ綴、こより、一括点数2枚	漆ヶ谷の田壱畝拾壱歩を米四俵と拾円で売渡した。		
楮紙、墨、罫紙（青）、横帳、一ツ綴、こより、墨付2丁	千百四十一番字前田の田壱反歩（比地価金拾四円八拾四銭七厘）の賣渡証	戸長冨田真次郎（印）の朱書署名あり	
楮紙、墨、罫紙（青）、ひねり綴	字赤坂の田三畝拾五歩を三十八円五十銭で売渡している		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、切紙	金六円（抵当：字添ヶ谷竹山）の借用証		
洋紙、墨、罫紙（青）、切紙	字山神の竹林壱ヶ所を元円と米一俵にて売渡している		
洋紙、墨、罫紙（緋）、ひねり綴、一括点数2枚	字網取の林六畝七歩を壱円五十銭で売渡している。		
洋紙、墨、罫紙（緑）、切紙	字網取の山林二反六畝歩を三円五拾銭で売渡している	朱筆で“五ヶ山地所第二〇六号”とある	
洋紙、墨、罫紙（緋）、一ツ綴、一括点数2枚	字網取の林弐拾七歩を四拾銭で売渡している		
洋紙、墨、罫紙（緋）、	売却した前田耕地の田に接近する所有の畦道を善八が通る事を認める確証		
洋紙、墨、罫紙（青）、切紙	字川口の林六反八畝拾五歩を拾七円で売り渡している		
楮紙、墨、罫紙（赤）、竪帳、一ツ綴、こより	千三十五番地字添ヶ谷の畑三畝廿六歩（地價金二円二十八銭六厘）を金拾五円で売渡し	不入道村外七ヶ村戸長冨田真次郎の署名あり	
墨	Cを一括		
洋紙、墨	「福岡縣筑前九郡組合茶業組合員筑紫郡南畑村山田善八」とある		
洋紙、鉛筆、専用紙（マス目のノート）、前欠、後欠	歌詩の写し「テンノウヘイカバンザイト／コエガサイゴトツヅラレタ／シンユウカラノオタヨリヲ／ジイトナカズニキイタコノ…」		
洋紙、墨、活字、専用紙	炭ガマ1竈の鑑札		
洋紙、墨、活字、専用紙、綴、下げ綴、こより	・明治廿三年二月五日弐拾銭・明治廿二年七月十二日拾六銭・明治廿二年十月廿三日弐拾銭・明治廿二年九月九日拾銭・明治廿二年四月十六日弐拾銭・明治廿二年六月十二日拾銭・明治廿二年一月廿八日弐拾銭　計7点		
洋紙、活字、印刷物（活版）、切紙	組合委員会の決議（歳入・歳出・41年度収支決算等）報告		
墨、活字	金三円借用の証「十一月卅日取金請取候也」とある	C-9と関連カ	
洋紙、墨、罫紙（青）	「手附金弐十七円外ニ五十二円一銭」「〆壱円八拾六銭五歩　右ハ手附金ゟ仕払」など		

那珂川町網取：山田善寛家文書

番　号	表　題	機　能	作成年月日	記載年月日	作成・発給	充　所	上　書
C-8	約束手形	証文	大正元年9月2日		山田松次郎	矢野重造	
C-9	賓渡		大正3年7月9日		若狭國三方郡西郷村橋本嘉吉(印)	山田与三吉殿	
C-10	明治四十四年度第六回組合事業報告書		明治45年2月18日		無限責任南畑信用組合　監事添田朴也　監事土部重吉		本紙と同質
C-11	米借用証		明治29年4月		借主築地忠次郎(印)弁証人築地佐吉	山田善八殿	
C-12	金借用証		明治39年12月30日		借主田中藤吉(印)弁償人田中辰次(印)	山田善八殿	
C-13	金借用証		明治39年旧11月		借用主田中筆吉(印)、弁償人田中瀧次(印)、仝田中勝次(印)	山田善八殿	
C-14	賓渡証		明治31年旧12月		賓渡人江口伍平、証人平岡藤平、仝香野佐八	山田善八殿	
C-15	借用証	証文	明治29年9月27日		築地虎吉、田中喜代吉	山田善	
C-16	金借用證書		明治12年旧正月25日		香野丈平　田中岩次郎	山田クラ	
C-17	金借用証		明治41年旧11月29日		山口喜三郎、田中瀧次	山田善八	
C-18	入会券		明治34年3月5日		九州潤徳會筑前本部	山田善八	
C-19	借用証		大正4年2月20日		山田松次郎　山田與三吉	真鍋太三	
C-20	褒賞		明治40年12月17日		筑紫郡長正七位勲六等堀善之亟	山田善八	
C-21	記						
C-22	記						
C-23	記						
C-24	便箋						
C-25							
C-26	青年學校　化學NO1						
C-27	愛馬進軍歌						
C-28	封筒						
C-29	國民進軍歌						
C-30	紙片						
C-31	記						
C-32	少年兵を送る歌						
C-33	復仇賦						
C-34	海の進軍						
C-35	大日本海洋少年團々歌						
C-36	出征兵士を送る歌	その他			陸軍省情報部		
C-37	記						
C-38	處女の友	その他(雑誌)					
C-39	記		7月18日				
C-40	紙片						
C-41	商標	その他					
C-42	記						
C-43	記						
C-44	記						
C-45	童謡歌詞				山田光代		
C-46	紙片						
C-47	記						
C-48	雑誌切抜き						
C-49	軍歌	その他(歌詞)					
C-50	歌詞						
C-51	軍歌						
C-52	軍歌	その他					
C-53	軍歌						
C-54	軍歌						
C-55	童謡歌詞						
C-56	記						
C-57	軍歌						
C-58	記						
D-1	古銭	その他					

形　状	内　容	備　考	調査日
洋紙、専用紙（手形）	拾八円の約束手形		
楮紙、墨、活字、無地、専用紙、切紙	稲扱一挺を金三円にて売渡		
楮紙、活字、印刷物（活版）、竪帳、ステープラ、墨付7丁	意見書、第一號議案、同四十四年度事業成蹟報告など		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	米壱俵の借用証（抵当：家財道具）		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	金拾円（字川口の宅地三畝拾歩）の借用証		
楮紙、墨、罫紙（青）、半折	金参円（字網取、郡村宅地廿六歩）の借用証		
楮紙、墨、罫紙（黒）、半折	墓地（代金壱円三拾銭）の売渡し		
楮紙、墨	米半俵の借用証		
楮紙、墨	拾五円を四十二年旧十二月に返済する証		
洋紙、墨、罫紙（青）	金拾弐円利子一ヶ月に壱歩五厘を借用　男牛一頭を抵当物件としている		
洋紙、墨、活字、専用紙、印刷物（活版）	金一円で加盟している		
洋紙、墨、罫紙（青）	五十円の借用、抵当は網取の宅地六畝歩となっている	欄外に「大正五年十月一日返済」とあり全文にスミで×がついている	
墨、切紙	第一回稲立毛品評会の褒賞状		
	「七福神も笑ひ顔」「蟻の田植も一志きり」など句らしきものが並ぶ	C-22と関連カ、2枚は句が並んでおり、残りの一枚は「壱千三百九拾築地辰次」といったリストになっている	
楮紙、墨、罫紙（青）、半折、一括点数11枚	「井二通ふたび雪の道」「娘に搗た年の餅」などの句集		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	「九段のちかい」の歌詞	上下欠	
洋紙、罫紙、一括点数5枚	紙片五枚（白紙）		
	琴の教則本の一部か	欄外に「琴P159…」とあり	
洋紙、無地、印刷物（謄写版）	「物理変化」裏面には「分数」とあり		
洋紙、無地、切紙	「愛國行進曲」「愛馬進軍歌」の歌詞	後欠、C-25と関連か	
洋紙、無地	絵入の封筒		
洋紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	楽譜と歌詞		
洋紙、切紙	バラ絵柄の紙片		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	歌詞（「轟沈」）		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	歌詞（軍歌か）		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	歌詞（軍歌か）		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	歌詞（軍歌か）		
楮紙、その他、無地、印刷物（謄写版）、切紙	楽譜と歌詞		
洋紙、活字、印刷物（活版）、冊子、一括点数2枚、前欠、後欠	歌詞と譜面付き		
楮紙、鉛筆、無地、切紙	「ヒサカタノヒカリノドケキハルノヒニシズココロナクハナノチルラン」ほか9首		
洋紙、活字、印刷物（活版）、冊子、一括点数2枚、前後欠	皇太子殿下御誕生奉祝歌や川柳など		
洋紙、鉛筆、無地、横帳	手習いのノート		
洋紙、切紙、			
洋紙、印刷物、切紙	「大将さ久ら　商標登録」とある		
洋紙、鉛筆、無地、切紙	「歴史」のノートの一部	帳はずれ	
洋紙、鉛筆、無地、切紙	「ハクイノツトメオトメニアレド…」などと記す		
洋紙、鉛筆、切紙	大航空の歌、荒城の月、仰げば尊し、鯉のぼり等、歌詞の写し	C-39、42と関連する	
洋紙、鉛筆、ペン、無地、切紙	「メンコイ小馬」の歌詞		
楮紙、無地	白紙		
洋紙、鉛筆、切紙	「きたれきたれやいざきたれ」で始まる歌の写し		
洋紙、活字、印刷物、切紙	「讀者の漫畫」、「海の進軍」の歌譜など		
洋紙、前後欠	「朝だ元気で」「靖国神社の歌」等軍歌の歌詞	枚数3枚	
楮紙、鉛筆、無地、切紙	「ホタルノヒカリ」など		
楮紙、カーボン、無地、切紙	「手をとり合って」「仰ぐ御稜威」の歌詞		
洋紙、カーボン、切紙	国民合唱必勝の歌		
洋紙、カーボン、無地、切紙	「軍艦」「敵は幾萬」他3曲		
	防空監視の歌	C-49、52、55と同一	
楮紙、カーボン、無地、切紙	「初夏」の歌詞と楽譜		
洋紙、鉛筆	インドネシア諸島とフィリピンの地図を書き、石油、ゴム、コーヒーで色分けしている		
楮紙、カーボン、無地、切紙	「十億の進軍」「怒濤萬里」の歌詞		
洋紙、鉛筆	上海便り、少年兵を送る歌の歌詞の写し		
	計16枚の古銭	封筒の中に詳細なメモあり	

五ヶ山ダム関係収集民具一覧

		番号		名称	地方名	採集地	旧所有者	採集年月日	備考
1	1	西村 1		一段もったて（鋤）	スキ（鋤）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
2	2	西村 2		回転馬鍬（まぐわ）	マガ（マンガ）、馬鍬	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
3	3	西村 3		一段もったて（鋤）	スキ（鋤）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
4	4	西村 4		一段もったて（鋤）	スキ（鋤）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
5	5	西村 5		機械ガンヅメ（田打車）	ガンヅメ（雁爪）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
6	6	西村 6		機械ガンヅメ（田打車）	ガンヅメ（雁爪）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
7	7	西村 7		機械ガンヅメ（田打車）	ガンヅメ（雁爪）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
8	8	西村 8		機械ガンヅメ（田打車）	ガンヅメ（雁爪）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
9	9	西村 9		田植定規		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
10	10	西村 10		田植定規		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
11	11	西村 11		牛の鞍		小川内	西村哲也	H17. 7.24	小さい牛用（引かせる時のもの）
12	12	西村 12		牛の鞍		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
13	13	西村 13		牛の鞍		小川内	西村哲也	H17. 7.24	引かせる時のもの
14	14	西村 14		牛の鞍		小川内	西村哲也	H17. 7.24	木製の鞍の下に敷く
15	15	西村 15		牛の鞍		小川内	西村哲也	H17. 7.24	木製の鞍の下に敷く
16	16	西村 16		どう引き用の棒		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
17	17	西村 17		モッコ	モッコ	小川内	西村哲也	H17. 7.24	シュロ編み
18	18	西村 18		千歯	千歯（せんば）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
19	19	西村 19		千歯	千歯（せんば）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
20	20	西村 20		本膳	本膳（ほんぜん）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
21	21	西村 21		本膳	本膳（ほんぜん）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
22	22	西村 22	1	座繰機	糸巻き機	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
23	23		2	座繰りの糸巻き		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
24	24	西村 23	1	機織りの部品		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
25	25		2	機織りの部品		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
26	26		3	機織りの部品		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
27	27	西村 24		振り馬鍬（フリマガ）	振り馬鍬（ブリマガ）	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
28	28	西村 25		一斗升		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
29	29	西村 26		摺り切り棒（摺り子木）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
30	30	西村 27		暖房器具（手あぶり？）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
31	31	西村 28	1	羽釜（ハガマ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
32	32		2	羽釜の蓋		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
33	33	西村 29	1	羽釜（ハガマ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
34	34		2	羽釜（ハガマ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
35	35	西村 30		鍋（ナベ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
36	36	西村 31	1	鍋（ナベ）？		小川内	西村哲也	H17. 7.24	浅い
37	37		2	鍋の丸蓋		小川内	西村哲也	H17. 7.24	木製
38	38	西村 32		鍋（ナベ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
39	39	西村 33		羽釜（ハガマ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	鉄製
40	40	西村 34		鍋（ナベ）		小川内	西村哲也	H17. 7.24	大鍋
41	41	西村 35		臼	からうす	小川内	西村哲也	H17. 7.24	
42	42	西村 36		甕		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
43	43	西村 37		うんすけ		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
44	44	西村 38		うんすけ		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
45	45	西村 39		甕		小川内	西村哲也	H17. 7.24	味噌がめ？
46	46	西村 40		うんすけ		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
47	47	西村 41		うんすけ		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
48	48	西村 42		空気入れ		小川内	西村哲也	H17. 7.24	木製
49	49	西村 43		自働消火器		小川内	西村哲也	H17. 7.24	
50	1	築地幸 1		お櫃		東小河内	築地幸子	H17.11.18	2升入り
51	2	築地幸 2		作業着		東小河内	築地幸子	H17.11.18	久留米絣
52	3	築地幸 3		絣のひとえ		東小河内	築地幸子	H17.11.18	久留米絣
53	1	鬼塚健 1	1	ちきり		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
54	2		2	ちきりの分銅		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	「定錘　秤量式拾五瓩」
55	3	鬼塚健 2	1	ちきり		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	
56	4		2	ちきりの分銅		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	「ハカタ～」
57	5	鬼塚健 3	1	ちきり		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
58	6		2	ちきりの分銅		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
59	7	鬼塚健 4		ヤキリ（矢切り）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	カネ（鉄）を切る
60	8	鬼塚健 5		チョウナ	コジュウノウ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
61	9	鬼塚健 6		ボンゴシ	ボンゴシ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	石割りの道具
62	10	鬼塚健 7		ジャッキ	ダルマジャッキ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	
63	11	鬼塚健 8		馬草切り	マグサ切り	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
64	12	鬼塚健 9		斧	ヨキ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
65	13	鬼塚健 10	1	鉈	ナタ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
66	14		2	鉈	ナタ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
67	15	鬼塚健 11		ドリル		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	木に穴をあける

Tab. Ⅺ 4 - 1　五ヶ山ダム関係収集民具一覧①

	番号		名称	地方名	採集地	旧所有者	採集年月日	備考
68	16 鬼塚健 12	1	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄が曲がる
69	17	2	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	柄が曲がる
70	18	3	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄が曲がる
71	19	4	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄が曲がる
72	20	5	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄はまっすぐ
73	21	6	ノコギリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄が曲がる
74	22 鬼塚健 13		ヤスリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
75	23 鬼塚健 14	1	ヤットコ（火ばさみ）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	ふつうのタイプ
76	24	2	ヤットコ（火ばさみ）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	ふつうのタイプ
77	25	3	ヤットコ（火ばさみ）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	細棒、上部ねじれ
78	26	4	ヤットコ（火ばさみ）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	先端がＬ字に曲がる
79	27 鬼塚健 15		ヤスリ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	鋸の目立て
80	28 鬼塚健 16		竹のふし落とし		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
81	29 鬼塚健 17	1	三つ叉鍬		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
82	30	2	三つ叉鍬		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	柄が湾曲
83	31 鬼塚健 18		馬屋の肥出し	マヤノコエダシ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	二股
84	32 鬼塚健 19		石割り道具	イシワリドウグ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	132 点を 3 袋に収納
85	33 鬼塚健 20	1	屋根葺き鎌	ヤネフキガマ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
86	34	2	屋根葺き鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
87	35 鬼塚健 21		杉の皮剥き	スギノカワムキ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
88	36 鬼塚健 22		鳶	トビ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
89	37 鬼塚健 23	1	馬草鎌	マグサガマ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
90	38	2	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	
91	39	3	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
92	40	4	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
93	41	5	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
94	42	6	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
95	43	7	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
96	44	8	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
97	45	9	馬草鎌		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
98	46 鬼塚健 24		金具		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
99	47 鬼塚健 25	1	草入れ籠	クサイレカゴ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
100	48	2			桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	
101	49 鬼塚健 26	1	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
102	50	2	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
103	51	3	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
104	52	4	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
105	53	5	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
106	54	6	ダツ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
107	55 鬼塚健 27		ダツ編み機		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
108	56 鬼塚健 28		ワリコ（割子）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	木箱入り
109	57 鬼塚健 29		サカエ重		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	3 段
110	58 鬼塚健 30		机		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	低い机
111	59 鬼塚健 31	1	下駄		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	桐材
112	60	2	下駄		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
113	61	3	下駄		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
114	62	4	下駄		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
115	63 鬼塚健 32		田植え縄		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	9 点
116	64 鬼塚健 33		漆椀		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	木箱入り
117	65 鬼塚健 34		蒸籠	セイロ	桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	2 段
118	66 鬼塚健 35		機械ガンヅメ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	田の草押し
119	67 鬼塚健 36	1	南畑ダムパンフレット		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	
120	68	2	農業教科書（「作物」）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	戸苅義次編　1964　実教出版
121	69	3	農業教科書（「新農業経営」）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	岩片磯雄　　1965　実教出版
122	70	4	農業教科書（「基礎総合農業　栽培編」）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	福岡県高等学校農業教育研究会
123	71	5	週刊アサヒ芸能		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	（S43 年 5 月 19 日号［通算 1142 号］）
124	72	6	地図帳（「最新高等地図」）		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	田中啓爾　　1964　日本書院
125	73 鬼塚健 37		リン		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	餅を置いた板の間に挟むもの
126	74 鬼塚健 38	1	籾入れ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.18	小
127	75	2	籾入れ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	中
128	76	3	籾入れ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	大
129	77 鬼塚健 39		臼		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
130	78 鬼塚健 40		モロブタ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	2 段、蓋あり
131	79 鬼塚健 41		カラシタタキ		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
132	80 鬼塚健 42		挽き臼		桑河内	鬼塚健吉	H17.11.23	
133	1 田中保 1		回転マガ		網取	田中　保	H18. 3. 9	
134	2 田中保 2		マガ		網取	田中　保	H18. 3. 9	
135	3 田中保 3	1	米千歯		網取	田中　保	H18. 3. 9	
136	4	2	米千歯		網取	田中　保	H18. 3. 9	墨書あり

Tab. Ⅺ 4 - 1　五ヶ山ダム関係収集民具一覧②

		番号		名称	地方名	採集地	旧所有者	採集年月日	備考
137	5		3	米千歯		網取	田中　保	H18. 3. 9	
138	6	田中保 4		モッタテ		網取	田中　保	H18. 3. 9	「第六千弐百拾七号」
139	7	田中保 5		二段モッタテ		網取	田中　保	H18. 3. 9	いその式センゼル号（A 型）
140	8	田中保 6		ガンヅメ		網取	田中　保	H18. 3. 9	先端のみ
141	9	田中保 7	1	ヒトマオシ		網取	田中　保	H18. 3. 9	除草機；竹の柄
142	10		2	ヒトマオシ		網取	田中　保	H18. 3. 9	除草機；竹の柄
143	11	田中保 8	1	機械ガンヅメ		網取	田中　保	H18. 3. 9	鳥取県サカイヤタイチ製作
144	12		2	機械ガンヅメ		網取	田中　保	H18. 3. 9	鳥取県サカイヤタイチ製作
145	13	田中保 9		ヤキヘラ		網取	田中　保	H18. 3. 9	
146	14	田中保 10		計算尺		網取	田中　保	H18. 3. 9	
147	15	田中保 11	1	鋸	ダンギリノコ	網取	田中　保	H18. 3. 9	
148	16		2	鋸		網取	田中　保	H18. 3. 9	
149	17	田中保 12		尺	シャク	網取	田中　保	H18. 3. 9	木材を切るときに使う
150	18	田中保 13		足踏み脱穀機		網取	田中　保	H18. 3. 9	「島根県八束郡揖屋駅前　サトー式稲麦扱機」
151	1	伊藤博 1	1	番傘	バンガサ	東小河内	伊藤博行	H18. 3. 9	第 23 号
152	2		2	番傘		東小河内	伊藤博行	H18. 3. 9	第 51 号
153	3		3	番傘		東小河内	伊藤博行	H18. 3. 9	第 52 号
154	1	武廣邦 1		ミシン		小川内	武廣邦敏	H18. 3. 9	ブラザー製　製造番号 A84167　S25 購入
155	2	武廣邦 2		オルガン		小川内	武廣邦敏	H18. 3. 9	ヤマハ製
156	3	武廣邦 3		小屋設計図		小川内	武廣邦敏	H18. 3. 9	倉庫（牛小屋）の設計図（板：S30 頃）
157	1	築地敏 1		お膳		大野	築地敏恵	H18. 3.15	箱入り；昭和 33 年の新聞に包む
158	2	築地敏 2		食器椀類		大野	築地敏恵	H18. 3.15	箱入り；昭和 32 年の新聞に包む
159	3	築地敏 3		お膳		大野	築地敏恵	H18. 3.15	箱入り
160	4	築地敏 4		本膳		大野	築地敏恵	H18. 3.15	箱入り；昭和 35 年の新聞に包む
161	5	築地敏 5		割子		大野	築地敏恵	H18. 3.15	漆塗り
162	6	築地敏 6		サカエ重	サカエジュウ	大野	築地敏恵	H18. 3.15	
163	7	築地敏 7		茶櫃		大野	築地敏恵	H18. 3.15	胴張茶櫃
164	8	築地敏 8		えぐり・お櫃		大野	築地敏恵	H18. 3.15	
165	9	築地敏 9		土面		大野	築地敏恵	H18. 3.15	大黒さん
166		築地蔵 1		蔵のカギ		大野	築地蔵次	H18. 3.23	谷智子さんが預かってきたもの
167	1	築地九 1	1	からしのばし		桑河内	築地九内	H18. 4.27	
168	2		2	からしのばし		桑河内	築地九内	H18. 4.27	
169	3	築地九 2	1	ちきり		桑河内	築地九内	H18. 4.27	分銅
170	4		2	ちきり		桑河内	築地九内	H18. 4.27	分銅
171	5		3	ちきり		桑河内	築地九内	H18. 4.27	棹
172	6	築地九 3		トビクチ		桑河内	築地九内	H18. 4.27	
173	7	築地九 4		唐箕		桑河内	築地九内	H18. 4.27	九州農機株式会社
174	1	鬼塚泰 1		キカイガンヅメ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
175	2	鬼塚泰 2	1	飛行機マガ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
176	3		2	飛行機マガ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
177	4	鬼塚泰 3		稲こぎ千歯		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
178	5	鬼塚泰 4		ヒトマオシ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
179	6	鬼塚泰 5		湯たんぽ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	底面に印刻スタンプ 2 あり（1 は丸に高）
180	7	鬼塚泰 6	1	カラシタタキ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	4 歯
181	8		2	カラシタタキ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	6 歯
182	9	鬼塚泰 7		消火器		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	京都・明立社
183	10	鬼塚泰 8		一斗升		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
184	11	鬼塚泰 9		すりきり棒		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
185	12	鬼塚泰 10		おきこたつ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
186	13	鬼塚泰 11		飯びつ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	蓋付き
187	14	鬼塚泰 12		フタマオシ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
188	15	鬼塚泰 13		ゴハンジョウケ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
189	16	鬼塚泰 14		ゴハンジョウケ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
190	17	鬼塚泰 15		ちきり分銅		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
191	18	鬼塚泰 16		ちきり分銅		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
192	19	鬼塚泰 17		タライ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
193	20	鬼塚泰 18		タライ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
194	21	鬼塚泰 19		桶		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
195	22	鬼塚泰 20		アイロンコテ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	4 本
196	23	鬼塚泰 21		ヤキヘラ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	3 本
197	24	鬼塚泰 22		砧		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
198	25	鬼塚泰 23		鞍		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
199	26	鬼塚泰 24		鉄釜		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
200	27	鬼塚泰 25		帽子（ハット）		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	玉屋呉服店
201	28	鬼塚泰 26		ヨキ		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	
202	29	鬼塚泰 27		唐箕		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	青く塗る
203	30	鬼塚泰 28		〔書籍類〕 修身小学 修身科　国史科　読方　地理　裁縫　算術		大野	鬼塚泰介	H18. 4.27	書籍と鬼塚喜代松氏の関係書類 吉田利行編輯　1885 星文館蔵版

Tab. Ⅺ 4 - 1　五ヶ山ダム関係収集民具一覧③

		番号		名称	地方名	採集地	旧所有者	採集年月日	備考
				明治俳句					竹林秋竹編　1901　博文館
				標準算術学習書					1924　東京モナス
				新時代の雄弁法					清瀬一郎　1924　帝国教育会出版部
				全国小学校教員代表者御親閲					1934
				全国小学校教員精神作興大会　報告書					
				初等科　理科２					文部省　1942
				内科診療の実際					西川義方　1944　南山堂
				昭和23年度社会事業施設一覧					福岡県民生部
				辞典					西川義方　1944　南山堂
204	31	鬼塚泰101		鞍	テイキ	大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	牛用
205	32	鬼塚泰102		馬鍬（まが）		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
206	33	鬼塚泰103		芥子叩き		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
207	34	鬼塚泰104		蓆編み機		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
208	35	鬼塚泰105		一斗升		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	すりきり棒４本　　昭和30年代か
209	36	鬼塚泰106		木挽き鋸		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
210	37	鬼塚泰107	1	機械ガンヅメ		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	「シバタ式除草器」のシールあり
211	38		2						
212	39		3						
213	40	鬼塚泰108		一段もったて		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	「礒野式瑞風号（+）」
214	41	鬼塚泰109		大工道具一式		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	かんな・玄翁など80点
215	42	鬼塚泰110	1	そろばん		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	５つ玉
216	43		2						４つ玉（大）「五年　鬼塚かほる」
217	44		3						４つ玉（小）
218	45	鬼塚泰111		小刀		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
219	46	鬼塚泰112		文鎮		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
220	47	鬼塚泰113		木製たばこ入れ		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	蓋に「大宰府」銘
221	48	鬼塚泰114		貯金箱		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
222	49	鬼塚泰115		古銭		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	開元通寶・至道元寶・寛永通報・1銭・清銭など60枚
				開元通寶					１枚
				至道元寶					１枚
				皇宋通寶					１枚
				元豊通寶					２枚
				政和通寶					１枚
				洪武通寶					１枚
				永楽通寶					１枚
				萬暦通寶					１枚
				乾隆通寶					２枚
				道光通寶					２枚
				光緒通寶					１枚
				常平通寶					１枚
				寛永通寶					７枚
				天保通寶					１枚
				文久通寶					１枚
				壹両					１枚
				一銭銅貨					４枚
				十銭銅貨					１枚
223	50	鬼塚泰116		裁縫設計図		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	３分割
224	51	鬼塚泰117		裁縫設計図		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	２分割
225	52	鬼塚泰118		結納目録		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
226	53	鬼塚泰119		書類等一式		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	地図・日記など（革トランク入り）
227	54	鬼塚泰120		掛け軸		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	５本ほか
228	55	鬼塚泰121		馬鍬		大野	鬼塚泰介	H18. 6. 7	
229	1	築地正輝１		米櫃		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	蓋付き
230	2	築地正輝２		米櫃		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	蓋付き
231	3	築地正輝３		鞍		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
232	4	築地正輝４		鞍		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
233	5	築地正輝５		鞍		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
234	6	築地正輝６		鞍		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
235	7	築地正輝７		米麦貯蔵罐		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	ブリキ
236	8	築地正輝８		漆椀		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	「吸物椀拾人前」箱入り
237	9	築地正輝９		箱お膳		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	大正～昭和の頃使用
238	10	築地正輝10		ラジオ		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
239	11	築地正輝11	1	田植え定規		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	１・２とも同一規格
240	12		2						
241	13	築地正輝12	1	壁塗り用叩き板		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	１・２で大小あり
242	14		2						
243	15	築地正輝13		しょうけ		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
244	16	築地正輝14		ちきり		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	本体
245	17	築地正輝15		ちきり		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	本体、14より大

Tab.Ⅺ 4 - 1　五ヶ山ダム関係収集民具一覧④

		番号		名称	地方名	採集地	旧所有者	採集年月日	備考
246	18	築地正輝 16		分銅		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	ちきり用
247	19	築地正輝 17		分銅		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	ちきり用
248	20	築地正輝 18		分銅		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	ちきり用
249	21	築地正輝 19		水筒		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	
250	22	築地正輝 20		一升瓶入れしょいこ		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	網籠になっている
251	23	築地正輝 21		〔書類・書籍類〕		東小河内	築地正輝	H18. 6.22	書籍・雑誌・日誌・日記等
				箋註蒙求校本					岡白駒箋註　　佐々木向陽標疏　1885
				日本外史					頼又三郎増補 1894
				米麦採種の奨め					福岡県立農事試験場 1927
				農業の将来と農業協同組合					我妻東策 1947 家の光協会
				農業協同組合関係法令集					丸山幡千代編 1948 福岡県農協推進協議会
				農業調整委員用事務要覧					農林省農政局編 1949 農業技術協会
				三體新書翰					久保天随 1911 積善館本店
				第71回　第72回帝国議会農村問題					森徳久 1937 農村経済調査局
				第73回帝国議会農村問題年報					森徳久 1938 農村経済調査局
				新編　軍人青年祝文演説　七千題					重齋　大畑裕 1909 求光閣
				軍人青年祝文演説　八千題					重齋　大畑裕 1910 求光閣
				新編　軍人青年祝文　壹萬題					重齋　大畑裕 1910 求光閣
				栽桑要義					三矢與六　述 1925 京都花園　中島書院
				産業組合監査の仕方					藤間五郎 1937 東京産業組合研究社
				産業組合の本質とその進路					賀川豊彦 1940 協同組合新聞社
				改正刪補・日本外史字類大全					河村與一郎 1897 積善館
				明治大帝					長谷川卓郎 1927 大日本雄弁会講談社
				祝賀弔祭　演説と挨拶					大日本雄弁学会編 1937 巧人社
				朗読と挨拶					日高直爾 1936 岡林書店
				趣味修養　国民掌典					馬場峰月（直美）編纂 1915 帝国実業学会
				改正　帝国法令全書					吉永鐵太郎編纂 1909 田中宋栄堂
				美文之資料					中村巷編纂 1909 矢島誠進堂書店
				姓名の考へ方　付け方					東洋姓名学会編 1935 不動社
				市町村会議員・市町村実務家　宝典					黒　潮 1933 日本国民書院
				人生道場					伊福部隆彦 1940 壮年社
				人の運					大町桂月 1926 至誠堂書店
				新しい兎の飼ひ方					久本彌 1931 資文堂
				俳句資料　新撰歳時記					田中白人 1920 一書堂書店
				増補　俳諧例句　新撰歳時記					今井柏浦 1920 博文館
				歌の作り方					金子薫園 1921 新潮社
				芭蕉十哲名句集					俳句研究会 1922 精文館書店
				俳句手ほどき					樵耕庵宗匠 1921 藤谷崇文館
				木犀　10～12月号（通巻88～90号）					1930
				博多文林　2～5月号					松尾正次郎編 1922
				枯野　2月号（第4巻第2号）					1924
				暁鐘　第3巻12月号					1924
				俳句集「短句集」					1922 蜩聲会
				俳句集「短句集」第27巻1～3号					1924 蜩聲会
				家畜取引の知識					社団法人　日本家畜商協会編 1962
				若葉　第5巻					福岡県立福岡農業高等学校 1964
				歌のサニー・カーニバル					平凡社
				宴会にすぐ役立つ　園芸・唄の手帳					振興楽譜編集部編
				お座敷小唄（ポケットソング⑥）					1968 東京楽譜出版社
				家畜商法（附 政令及び省令）					福岡県家畜商組合連合会
				昭和35年度　九州各県家畜市場案内					福岡県家畜商組合連合会
				家畜商講習会テキスト附録　供託所一覧　2冊					
				森林組合手帳					1960
				夏吉炭坑関係日誌10冊					1916～1920
				当用日記22冊（築地傳吉氏）					1928～1943
				議案関係書類					
252	1	築地幾雄 1		太鼓		大野	築地幾雄	2006/11/16確認	
253	2	築地幾雄 2		和鏡（御神体）		大野	築地幾雄	2006/11/16確認	
254	3	築地幾雄 3		ひょうそく		大野	築地幾雄	2006/11/16確認	
255	4	築地幾雄 4		看板（「大野集会所」）		大野	築地幾雄	2006/11/16確認	
256	5	築地幾雄 5		「総丈量野取帳」3冊		大野	築地幾雄	2006/11/16確認	明治21年　　総代鬼塚重三代

Tab. Ⅺ 4 - 1　五ヶ山ダム関係収集民具一覧⑤

報告書抄録

ふりがな	ごかやま・おがわち
書名	五ヶ山・小川内
副書名	福岡県那珂川町五ヶ山・佐賀県吉野ヶ里町小川内における文化財調査１
巻次	福岡県営五ヶ山ダム関係文化財調査報告Ⅰ
シリーズ名	福岡県文化財調査報告書
シリーズ番号	第215集
編著者名	宮島寛・東和敬・服部英雄・吉良国光・佐々木哲哉・松村利規・佐藤正彦・山野善郎・錦織亮介・井上晋・下山正一・川野良信・柚原雅樹・永渕成樹・松原孝俊・吉田洋一・本田佳奈・寺崎直利・中西裕二・谷智子・伊﨑俊秋
編集機関	福岡県教育委員会（教育庁総務部文化財保護課）
所在地	812-8575　福岡県福岡市博多区東公園７番７号
電話番号ほか	TEL. ０９２－６４３－３８７５　　FAX. ０９２－６４３－３８７８ E-mail　kbunkazai@pref.fukuoka.lg.jp
発行年月日	西暦　2008年３月31日

	ふりがな 所在地	コード 市町村	調査期間	調査原因
	ふくおかけんちくしぐんなかがわまちごかやま 福岡県筑紫郡那珂川町五ヶ山	403059	2002.4 ～ 2007.8	福岡県営五ヶ山ダム建設
	さがけんかんざきぐんよしのがりちょうまつくまおがわち 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町松隈小川内			

要約	福岡県営五ヶ山ダムは、昭和53～54年（1978～1979）の福岡都市圏の異常渇水を受けて、洪水調節、既得用水の安定供給、異常渇水時の緊急水補給等を担う多目的ダムとして計画された。そのダム建設に伴って影響を受ける地域は、福岡県那珂川町五ヶ山４集落と佐賀県吉野ヶ里町小川内集落の広い範囲に及び、計66世帯が移転していくこととなったため、埋蔵文化財以外の、自然・歴史・民俗・建造物・美術工芸の各部門に関する文化財調査を平成14年（2002）度から平成19年（2007）度まで実施した。本報告書はその記録である。

福岡県行政資料	
分類番号 ＪＨ	所属コード 2114107
登録年度 19	登録番号 7

福岡県営五ヶ山ダム関係文化財調査報告Ⅰ

五ヶ山・小川内

〔第４巻〕

福岡県文化財調査報告書　第215集

発 行 日　平成20(2008)年３月31日

発行機関　福岡県教育庁総務部文化財保護課
〒812-8575 福岡県福岡市博多区東公園７番７号

印　　刷　大野印刷株式会社
〒812-0004 福岡市博多区榎田２丁目２番65号